
潮来市
地域福祉に関するアンケート
結果報告書

～ みんなで変える！ 変わる！ 潮来の福祉 ～

= 福祉先進都市を目指して =

令和2年10月

潮来市

(裏白)

目 次

序章 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査対象者と回収結果	1
3	報告書を見る際の注意	1
4	基本属性	2
5	前回調査との比較	6

第1章 一般市民アンケート

第1節	地域とのつながりについて	15
1-1-1	ご近所付き合い	15
1-1-2	ご近所による支え合いの必要性	17
1-1-3	気になる地域の課題	20
1-1-4	地域の助け合う気風	22
1-1-5	自治会（区）の加入	23
1-1-6	自治会の加入率減少について	26
第2節	地域共生社会について	28
1-2-1	「地域共生社会」の言葉の認知度	28
1-2-2	困ったときの相談先	30
1-2-3	友人・知人の相談をつないだ経験	31
1-2-4	困っている家庭に出来そうな手助け	33
1-2-5	ボランティア活動の関心	34
1-2-6	『ボランティアセンター』の認知度	36
1-2-7	ボランティア活動の参加条件	38
第3節	地域福祉活動の推進について	39
1-3-1	『民生委員・児童委員』の認知度	39
1-3-2	『民生委員・児童委員』活動の理解	41
1-3-3	『社会福祉協議会（社協）』の認知度	42
1-3-4	福祉の相談窓口がある安心感	44
1-3-5	『社会福祉協議会』活動の理解	45
1-3-6	『社会福祉協議会』への期待	45
第4節	安心して暮らせる福祉のまちづくりについて	47
1-4-1	地域の治安	47
1-4-2	『福祉』の考え方	49
1-4-3	『福祉』の担い手	51
1-4-4	障がいのある人への差別や偏見	52
1-4-5	「障害者差別解消法」の認知度	53
1-4-6	「成年後見制度」の認知度	54
1-4-7	「成年後見制度」の利用意向	55
1-4-8	地域福祉の重点施策	56

第2章 民生委員アンケート

第1節 民生委員活動について	59
2-1-1 民生委員活動のやりがい	59
2-1-2 民生委員活動の負担感	61
2-1-3 『福祉』の担い手	63
2-1-4 気になる世帯等の情報交換や連絡	64
第2節 安心して暮らせる福祉のまちづくりについて	65
2-2-1 「地域共生社会」の言葉の認知度	65
2-2-2 障がいのある人への差別や偏見	66
2-2-3 地域の助け合う気風	67
2-2-4 気になる地域の課題	68
2-2-5 地域福祉の重点施策	69

第3章 区長アンケート

第1節 自治会（区長）活動について	71
3-1-1 区長としての活動日数	71
3-1-2 自治会（区長）活動のやりがい	72
3-1-3 自治会（区長）活動の負担感	74
3-1-4 『福祉』の担い手	76
3-1-5 気になる世帯等の情報交換や連絡	77
第2節 地域福祉に対する考え方について	78
3-2-1 「地域共生社会」の言葉の認知度	78
3-2-2 障がいのある人への差別や偏見	79
3-2-3 地域の助け合う気風	80
3-2-4 気になる地域の課題	81
3-2-5 地域福祉の重点施策	82

第4章 ボランティアアンケート

第1節 ボランティア活動について	83
4-1-1 ボランティア活動のやりがい	83
4-1-2 ボランティア活動の課題や問題点	83
4-1-3 活動内容を広げたいこと	84
第2節 地域福祉に対する考え方について	86
4-2-1 「地域共生社会」の言葉の認知度	86
4-2-2 障がいのある人への差別や偏見	87
4-2-3 地域の助け合う気風	88
4-2-4 気になる地域の課題	89
4-2-5 地域福祉の重点施策	90

第5章 中学生・高校生アンケート

第1節 地域のつながりやボランティア活動について	91
5-1-1 住みよさ意識	91
5-1-2 潮来市への愛着	92
5-1-3 自分からのあいさつ	94
5-1-4 お祭りやイベントの参加	94
5-1-5 「福祉」への関心	96
5-1-6 学校以外のボランティア活動への参加	97
5-1-7 今後、やってみたいボランティア活動	98
5-1-8 ボランティアを活発にするために大切なこと	99
第2節 地域福祉活動の推進について	100
5-2-1 「地域共生社会」の言葉の認知度	100
5-2-2 ご近所による助け合い	101
5-2-3 「潮来市社会福祉協議会（社協）」の認知度	102
5-2-4 福祉関係への就労希望	103
5-2-5 悩みごとの相談相手	104
5-2-6 自分からの声かけ	105
5-2-7 福祉のまちづくりの重点施策	106
資料編	
集計表 自由記述	107
(1) 一般市民アンケート	107
(2) 民生委員アンケート	125
(3) 区長アンケート	131
(4) ボランティアアンケート	137
(5) -① 中学生アンケート	143
(5) -② 高校生アンケート	152

(裏白)

序章 調査の概要

(裏白)

1 調査の目的

この調査は、『潮来市地域福祉計画・地域福祉活動計画』の進行管理ならびに計画見直しを目的として、地域のつながりやボランティア活動への参加意向、地域福祉活動に対する理解等を把握し、だれもが住み慣れた地域で安心・安全に住み続けられる福祉のまちづくりを推進するための基礎資料とするものである。

2 調査対象者と回収結果

本調査は、以下の調査を実施した。

種 類	調 査 対 象 者	調査方法	有効回答数
① 一般市民アンケート	18歳以上の市民 2,000人 を無作為抽出	郵送配布・回収	940人 (47.0%)
② 民生委員アンケート	民生委員・児童委員 71人	郵送配布・回収	62人 (87.3%)
③ 区長アンケート	区長 66人	郵送配布・回収	57人 (86.4%)
④ ボランティア アンケート	ボランティアセンター 42団体	郵送配布・回収	33団体 (78.6%)
⑤ 中学生・高校生 アンケート	市内中学2年生全員	各学校を通じて 配布・回収	210人
	潮来高校1～3年生 全員	各学校を通じて 配布・回収	362人

【調査期間】一般市民アンケート：令和2年8月5日（水）から8月21日（金）まで（締切日にお礼状兼督促を発送）。その他のアンケートは、8月下旬から9月上旬にかけて実施。

3 報告書を見る際の注意

- ① 各設問の集計は、すべて単純集計、属性別（フェースシート）クロス集計を行った。
- ② 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。したがって、合計が100%を上下する場合もある。
- ③ 複数回答の設問は、1回答者が2つ以上の回答ができる質問である。このときの回答の計は回答者数（100%）を超える。
- ④ 図表および文章中で、選択肢を一部省略、並び替えをしている。

4 基本属性

① 一般市民アンケート

《性別》

○「女性」の割合が52.6%で高い。

	実数 (人)	構成比 (%)
男性	436	(46.4)
女性	494	(52.6)
無回答	10	(1.1)
合計	940	(100.0)

《年齢別》

○「60～69歳」が23.0%、「70～79歳」が21.4%でやや高い。

	実数 (人)	構成比 (%)
18～29歳	74	(7.9)
30～39歳	95	(10.1)
40～49歳	119	(12.7)
50～59歳	148	(15.7)
60～69歳	216	(23.0)
70～79歳	201	(21.4)
80歳以上	83	(8.8)
無回答	4	(0.4)
合計	940	(100.0)

《地区別》

○「延方地区」が25.3%、「潮来地区」が19.6%である。

	実数 (人)	構成比 (%)
潮来地区	184	(19.6)
津知地区	116	(12.3)
延方地区	238	(25.3)
大生原地区	57	(6.1)
日の出地区	174	(18.5)
大洲区、十番区	14	(1.5)
かすみ地区	61	(6.5)
八代地区	76	(8.1)
無回答	20	(2.1)
合計	940	(100.0)

《家族構成別》

○「二世帯世帯」が41.1%、「一世帯世帯」が26.7%である。

	実数 (人)	構成比 (%)
ひとり暮らし	90	(9.6)
一世帯世帯	251	(26.7)
二世帯世帯	386	(41.1)
三世帯世帯	173	(18.4)
その他	30	(3.2)
無回答	10	(1.1)
合計	940	(100.0)

② 民生委員アンケート

《担当地区別》

- 「潮来第一中学校区」が30.6%、「潮来第二中学校区」が29.0%でやや高い。

	実数 (人)	構成比 (%)
潮来第一中学校区	19	(30.6)
潮来第二中学校区	18	(29.0)
日の出中学校区	11	(17.7)
牛堀中学校区	13	(21.0)
無回答	1	(1.6)
合計	62	(100.0)

《民生委員の経験年数別》

- 「3年未満」の割合が74.2%で高い。

	実数 (人)	構成比 (%)
3年未満	46	(74.2)
3～6年	7	(11.3)
6～9年	3	(4.8)
9～12年	2	(3.2)
12年以上	4	(6.5)
無回答	0	(0.0)
合計	62	(100.0)

③ 区長アンケート

《区長の担当地区別》

- 「潮来地区（十番区、十四番区含む）」と「延方地区」が22.8%ずつでやや高い。

	実数 (人)	構成比 (%)
潮来地区(十番区、十四番区含む)	13	(22.8)
津知地区	6	(10.5)
延方地区	13	(22.8)
大生原地区	5	(8.8)
日の出地区 (大洲区含む)	7	(12.3)
かすみ地区	6	(10.5)
八代地区	7	(12.3)
無回答	0	(0.0)
合計	57	(100.0)

《職業別》

- 「無職」が29.8%、「会社員」が28.1%である。

	実数 (人)	構成比 (%)
会社員	16	(28.1)
公務員	6	(10.5)
自営業	11	(19.3)
無職	17	(29.8)
その他	6	(10.5)
無回答	1	(1.8)
合計	57	(100.0)

④ ボランティアアンケート

《活動対象別》

○「高齢者等」の活動が78.8%で高い。

《複数回答》	実数 (団体)	構成比 (%)
高齢者等	26	(78.8)
障がい者(児)	6	(18.2)
児童	11	(33.3)
その他	5	(15.2)
無回答	1	(3.0)
合計	33	(100.0)

⑤-1 中学生アンケート

《学校別》

○「潮来第一中学校」が29.5%でやや高い。

	実数 (人)	構成比 (%)
潮来第一中学校	62	(29.5)
潮来第二中学校	58	(27.6)
日の出中学校	47	(22.4)
牛堀中学校	43	(20.5)
無回答	0	(0.0)
合計	210	(100.0)

《性別》

○「女性」の割合が51.9%でやや高い。

	実数 (人)	構成比 (%)
男性	100	(47.6)
女性	109	(51.9)
無回答	1	(0.5)
合計	210	(100.0)

⑤-2 高校生アンケート

《学年別》

○「高校1年生」が35.9%である。

	実数 (人)	構成比 (%)
高校1年生	130	(35.9)
高校2年生	107	(29.6)
高校3年生	125	(34.5)
無回答	0	(0.0)
合計	362	(100.0)

《性別》

○「女性」の割合が50.6%である。

	実数 (人)	構成比 (%)
男性	179	(49.4)
女性	183	(50.6)
無回答	0	(0.0)
合計	362	(100.0)

《居住地別》

○「潮来市内」の割合は37.3%である。

	実数 (人)	構成比 (%)
潮来市内	135	(37.3)
潮来市外	227	(62.7)
無回答	0	(0.0)
合計	362	(100.0)

5 前回調査との比較

(1) 地域とのつながりについて

- ご近所付き合いをみると、「とても親しく付き合っている」が前回よりも3.2ポイント減少し、「付き合いはほとんどない」が2.4ポイント増加した。
- ご近所による支え合いの必要性をみると、「とても必要だと思う」が前回よりも4.1ポイント減少したが、「ある程度必要だと思う」を合わせると前回と大きな違いはない。

図 ご近所付き合い（問5）

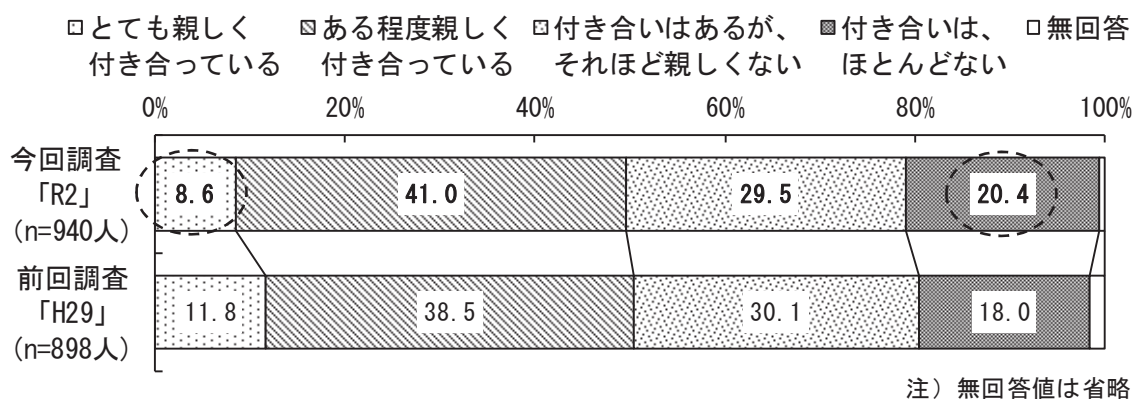
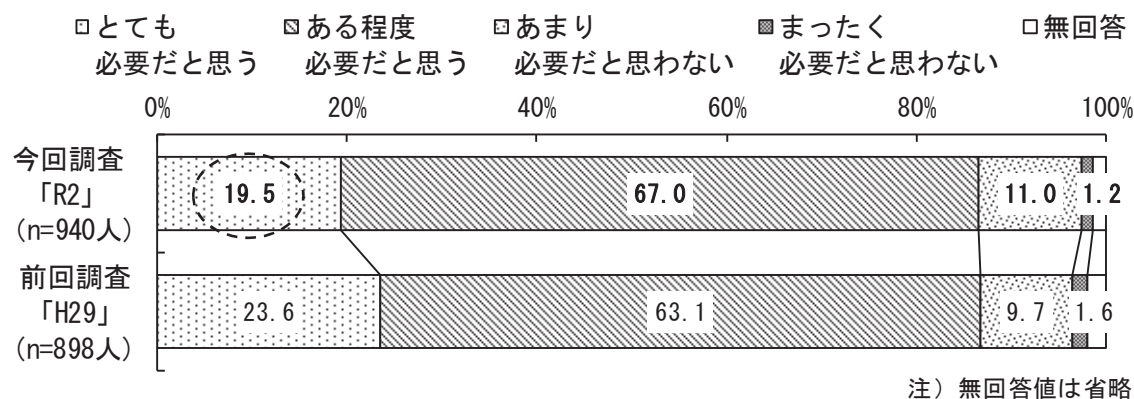


図 ご近所による支え合いの必要性（問6）



- 気になる地域の課題をみると、今回は「災害など非常時での協力体制」が前回よりも4.7ポイント増加して最も高くなっている。
- 地域の助け合う気風をみると、「全体的にあると思う」が若干減少し、「部分的にはあると思う」が1.0ポイント増加、「あまりない」が1.3ポイント増加した。

図 気になる地域の課題（問7）【複数回答】

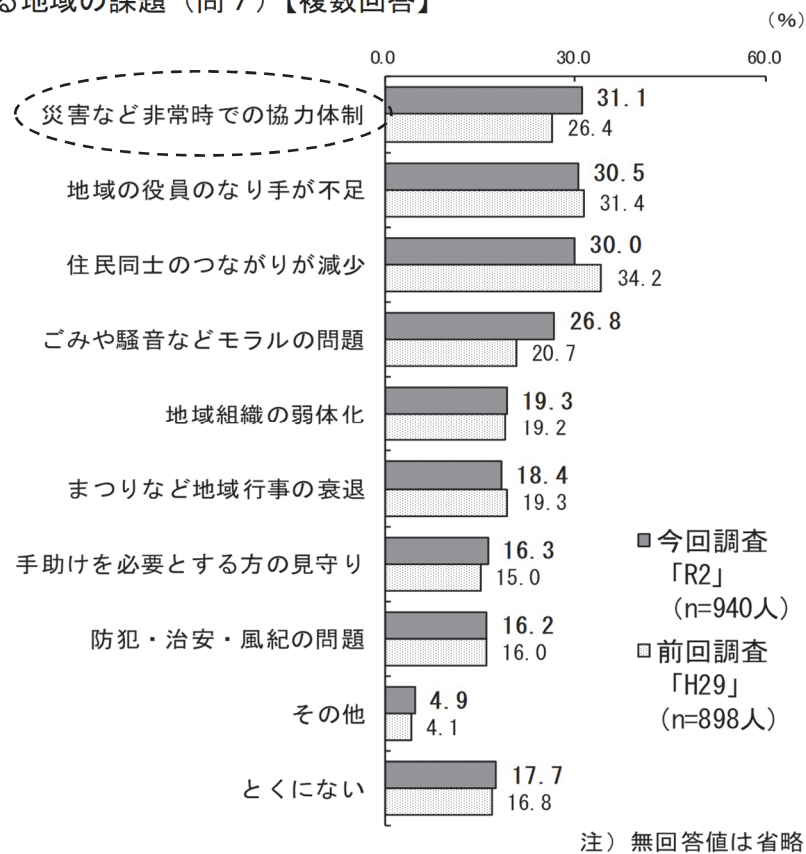
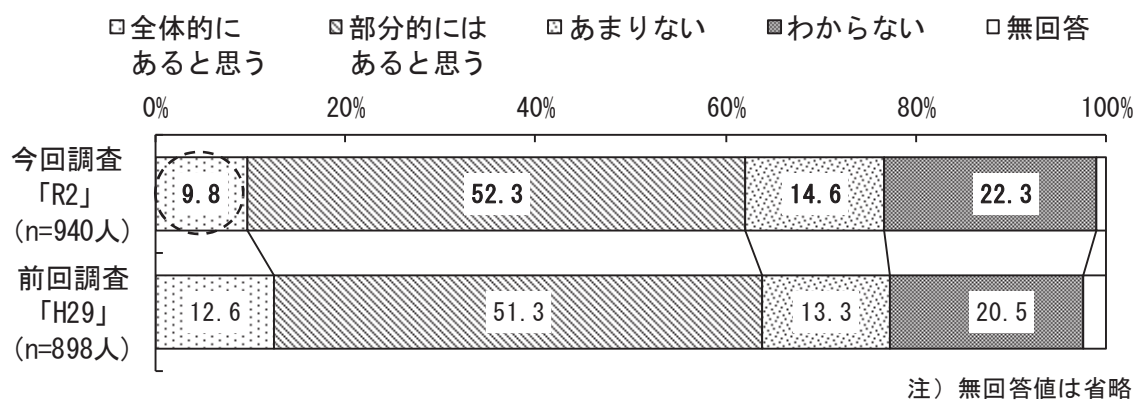
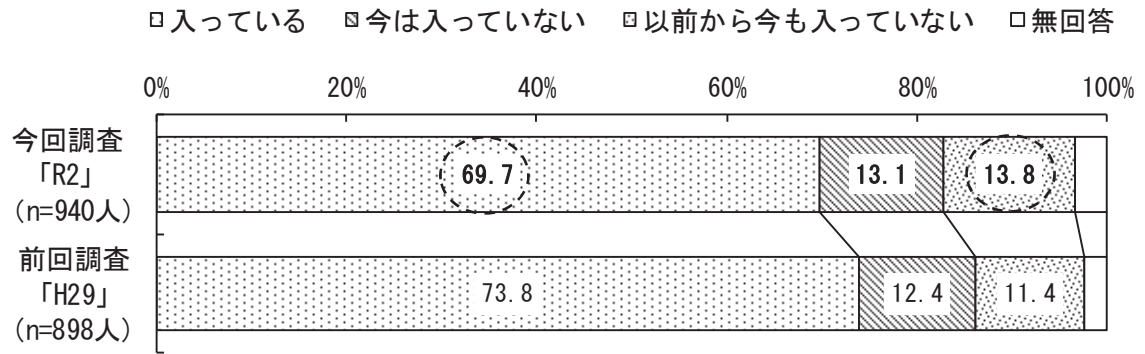


図 地域の助け合う気風（問8）



➤自治会（区）の加入をみると、「入っている」が前回よりも 4.1 ポイント減少し、「以前から今も入っていない」が 2.4 ポイント増加した。

図 自治会（区）の加入（問9）



注) 無回答値は省略

(2) 地域福祉活動の推進について

- 『民生委員・児童委員』の認知度をみると、「担当している人の名前や顔も知っている」が前回よりも 3.6 ポイント減少し、「はじめて聞いた (知らなかった)」が 2.2 ポイント増加した。
- 『社会福祉協議会 (社協)』の認知度をみると、前回とほぼ同様の傾向である。

図 『民生委員・児童委員』の認知度 (問 18)

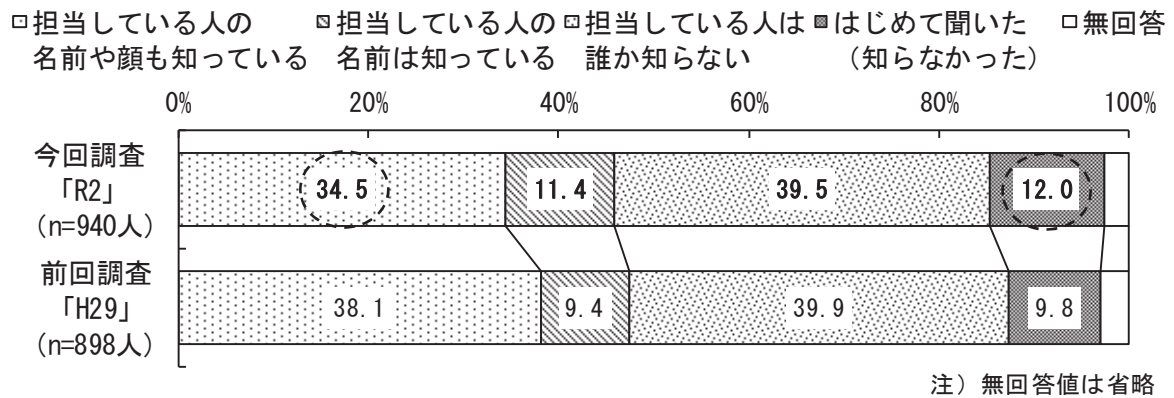
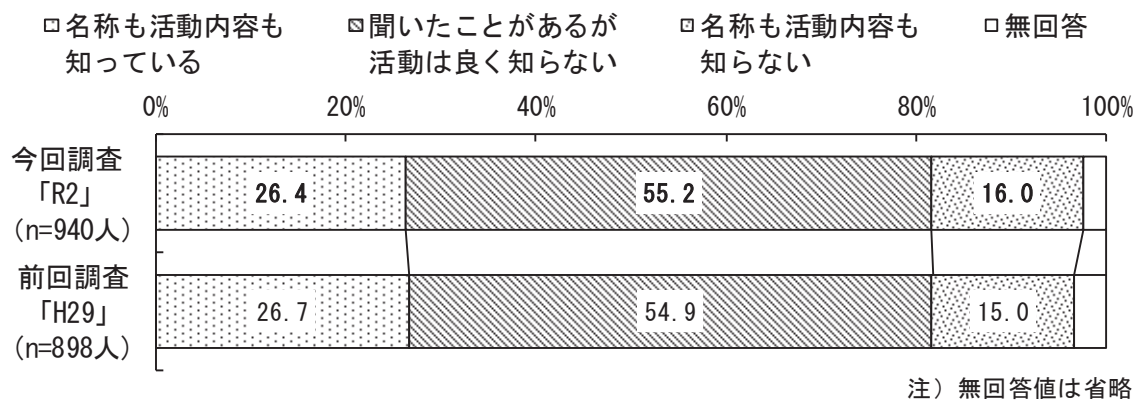
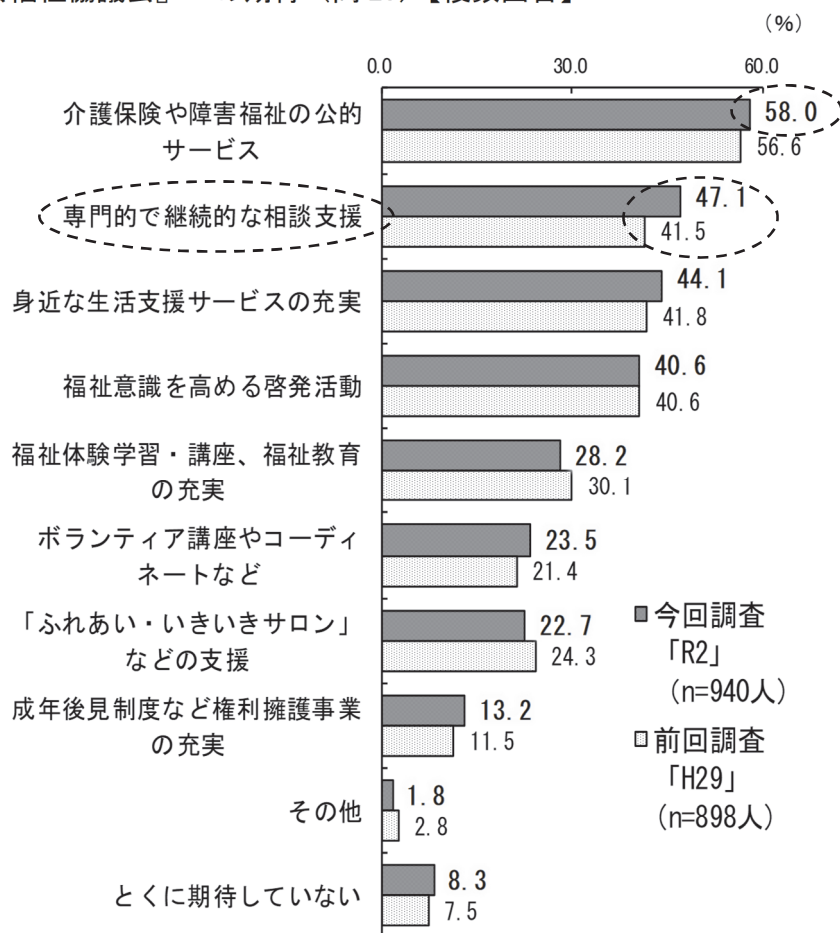


図 『社会福祉協議会 (社協)』の認知度 (問 20)



➤『社会福祉協議会』への期待をみると、前回と同じく「介護保険や障害福祉の公的サービス」が最も高いが、次に「専門的で継続的な相談支援」が前回よりも 5.6 ポイント増加している。

図 『社会福祉協議会』への期待（問 23）【複数回答】

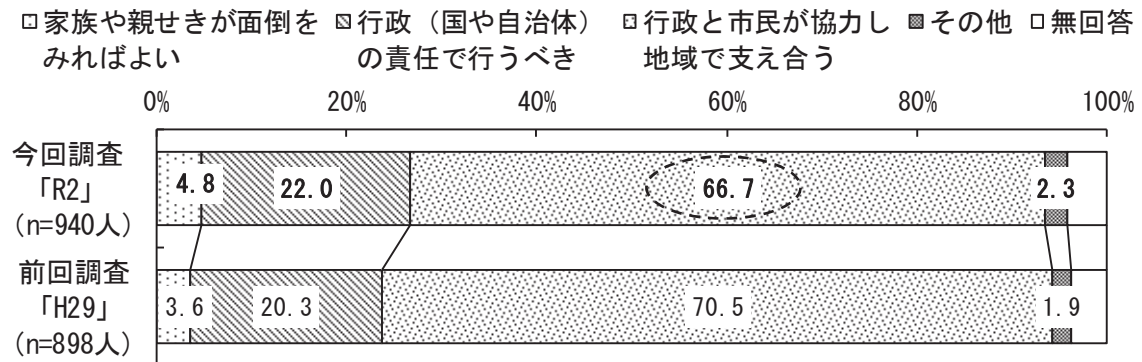


注) 無回答値は省略

(3) 安心して暮らせる福祉のまちづくりについて

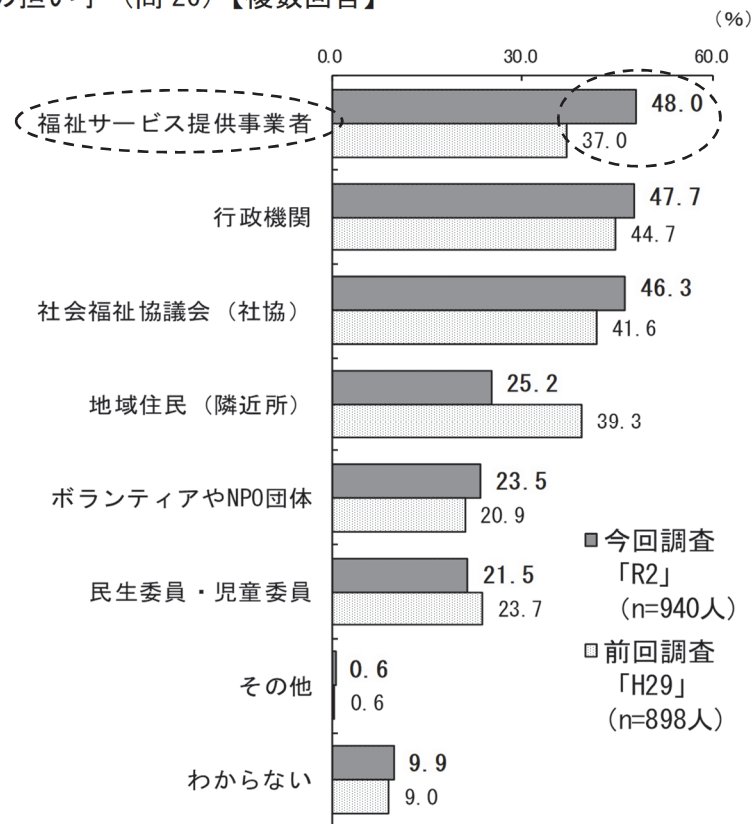
- 『福祉』の考え方をみると、「行政と市民が協力し地域で支え合う」が最も高いが、前回よりも3.8ポイント減少した。
- 『福祉』の担い手をみると、「福祉サービス提供事業者」が、前回よりも11ポイント増加して最も高い。

図 『福祉』の考え方（問25）



注) 無回答値は省略

図 『福祉』の担い手（問26）【複数回答】



注) 無回答値は省略

- 障がいのある人への差別や偏見をみると、「少しはあると思う」が、前回よりも4.4ポイント増加し、「とくにないと思う」が3.5ポイント減少した。
- 「障害者差別解消法」の認知度をみると、「だいたい内容は知っている」と「聞いたことはある」が前回よりも減少し、「知らなかった」が、前回よりも5.5ポイント増加した。

図 障がいのある人への差別や偏見（問 27）

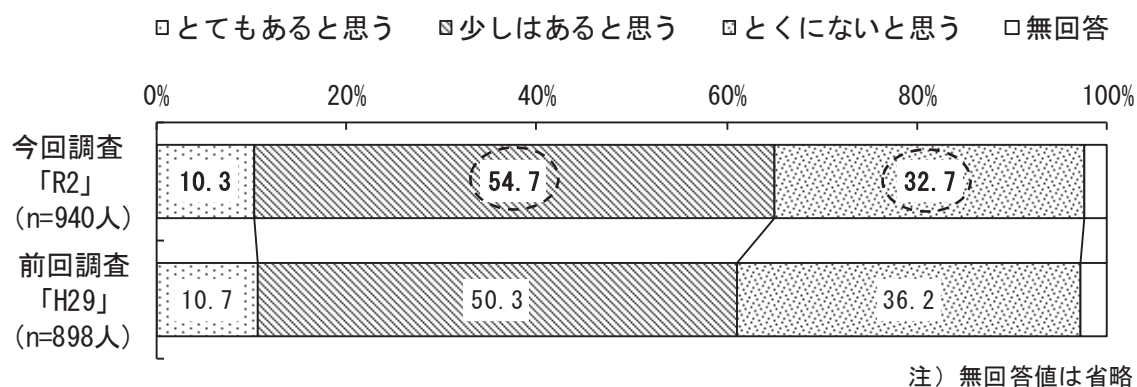
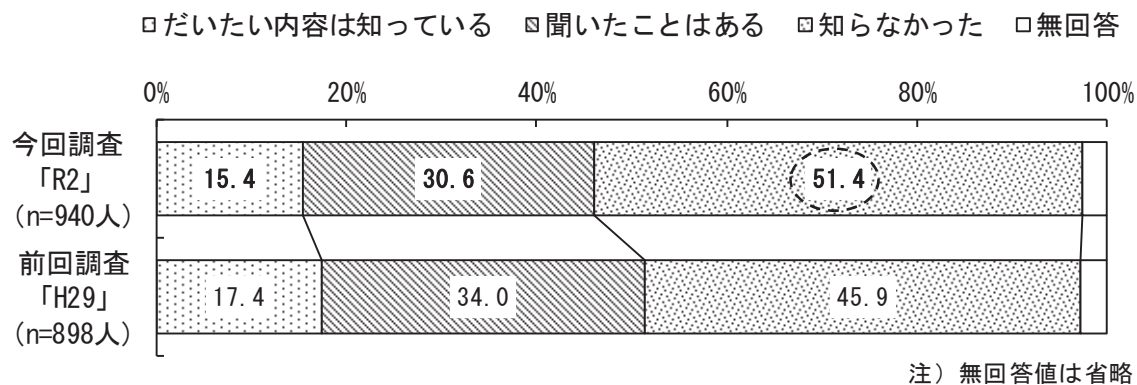
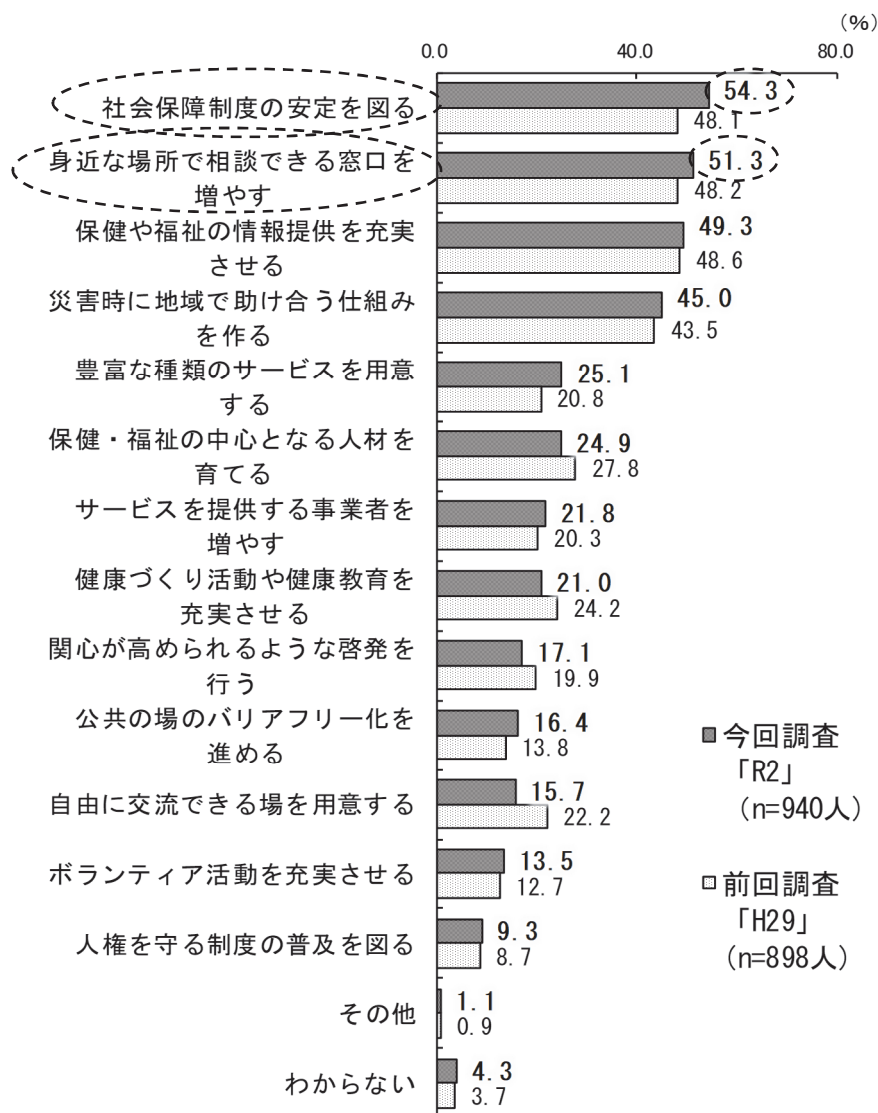


図 「障害者差別解消法」の認知度（問 28）



➤地域福祉の重点施策をみると、「社会保障制度の安定を図る」が、前回よりも6.2ポイント増加して最も高い。次に「身近な場所で相談できる窓口を増やす」が前回より3.1ポイント増加して続いている。

図 地域福祉の重点施策（問31）【複数回答】



注) 無回答値は省略

(裏白)

第1章 一般市民アンケート

(裏白)

第1節 地域とのつながりについて

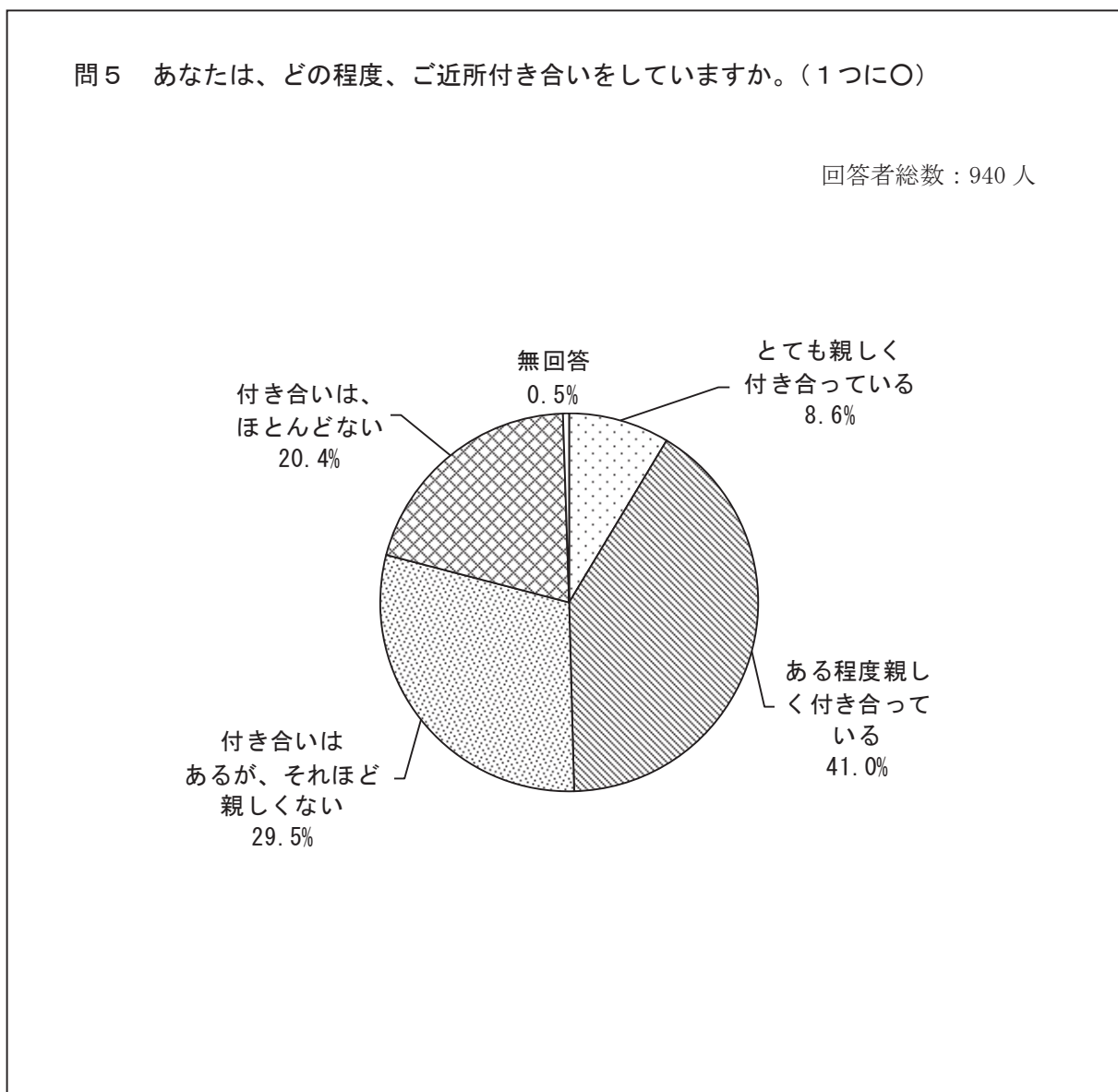
1-1-1 ご近所付き合い

「ある程度親しく付き合っている」が41.0%。

現在のご近所とお付き合いは、「ある程度親しく付き合っている」が41.0%で高く、次に「付き合いはあるが、それほど親しくない」が29.5%である。

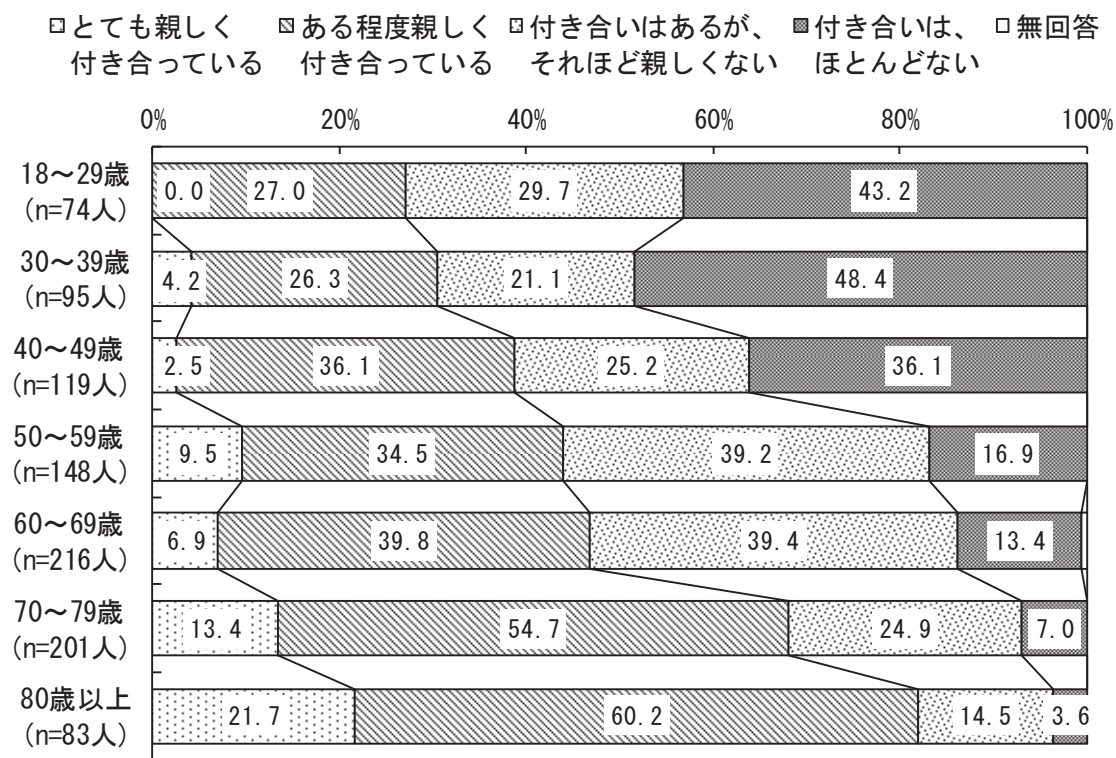
その一方で、「付き合いはほとんどない」という人が20.4%となっている。

図 ご近所付き合い



【年齢別】

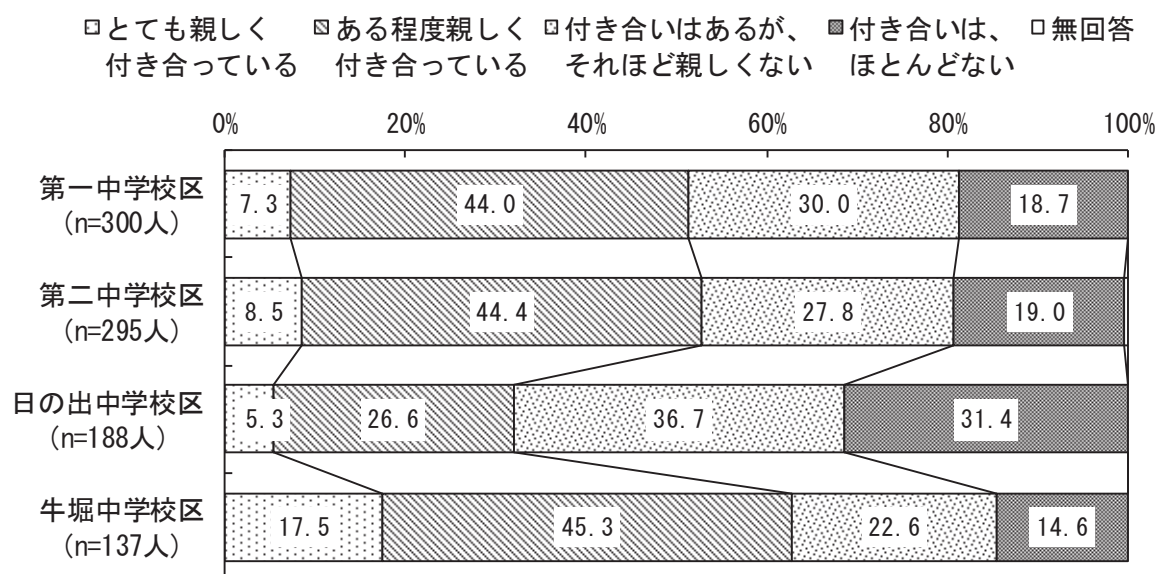
現在のご近所とのお付き合いを年齢別にみると、「とても親しく付き合っている」と「ある程度親しく付き合っている」を合わせると、年齢が上がるにつれて高くなる。また、“30～39歳”は「付き合いはほとんどない」が48.4%で特に高い。



注) 無回答値は省略

【地区別】

地区別にみると、“日の出中学校区”は「付き合いは、ほとんどない」が31.4%で高い。



注) 無回答値は省略

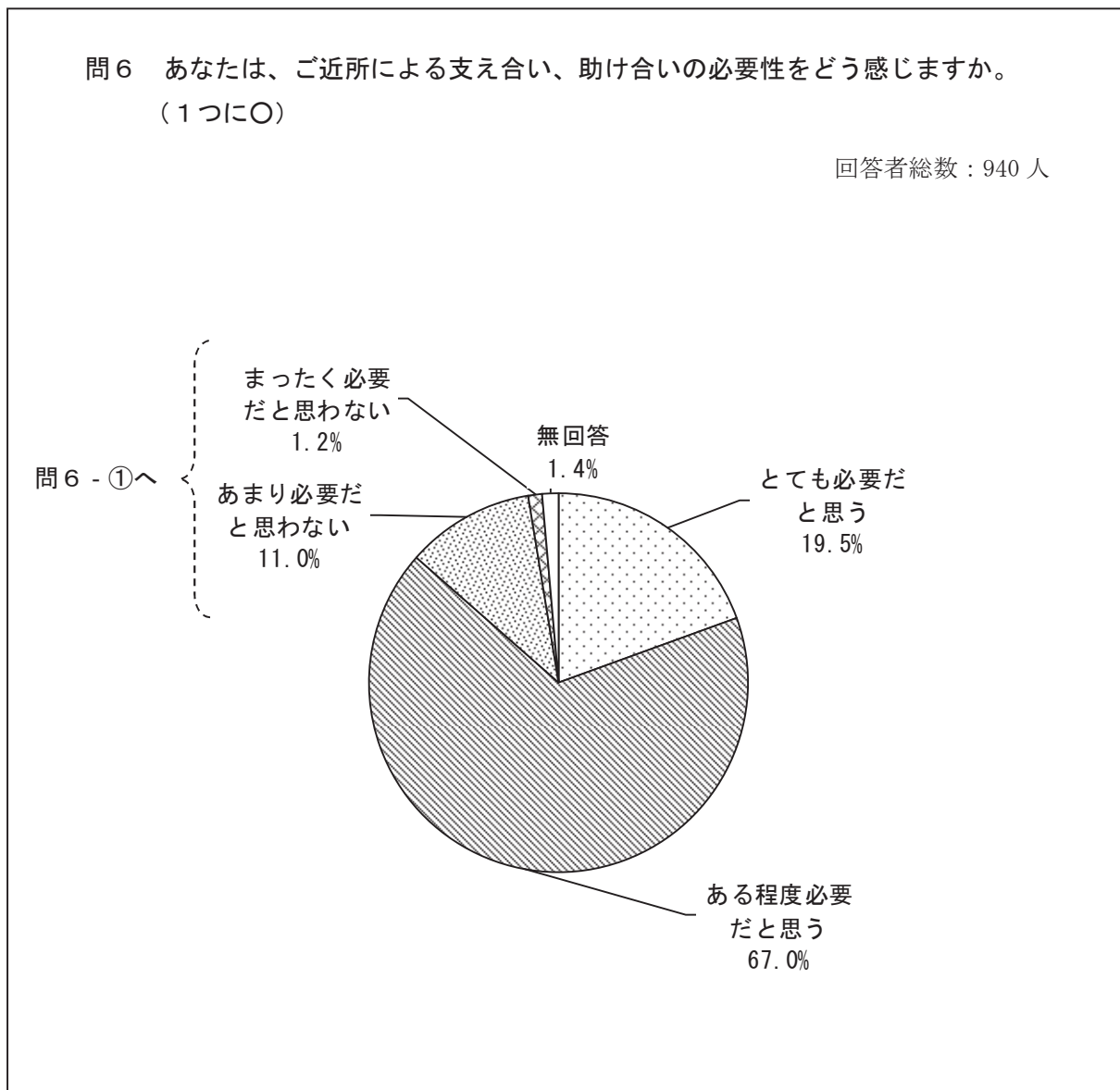
1-1-2 ご近所による支え合いの必要性

「とても必要だと思う」と「ある程度必要だと思う」を合わせて86.5%。

ご近所による支え合い、助け合いの必要性は、「とても必要だと思う」が19.5%、「ある程度必要だと思う」が67.0%で、合わせると“必要と思う”が86.5%で大半を占める。

その一方、ご近所による支え合いは「あまり必要だと思わない」が11.0%、「まったく必要だと思わない」が1.2%である。

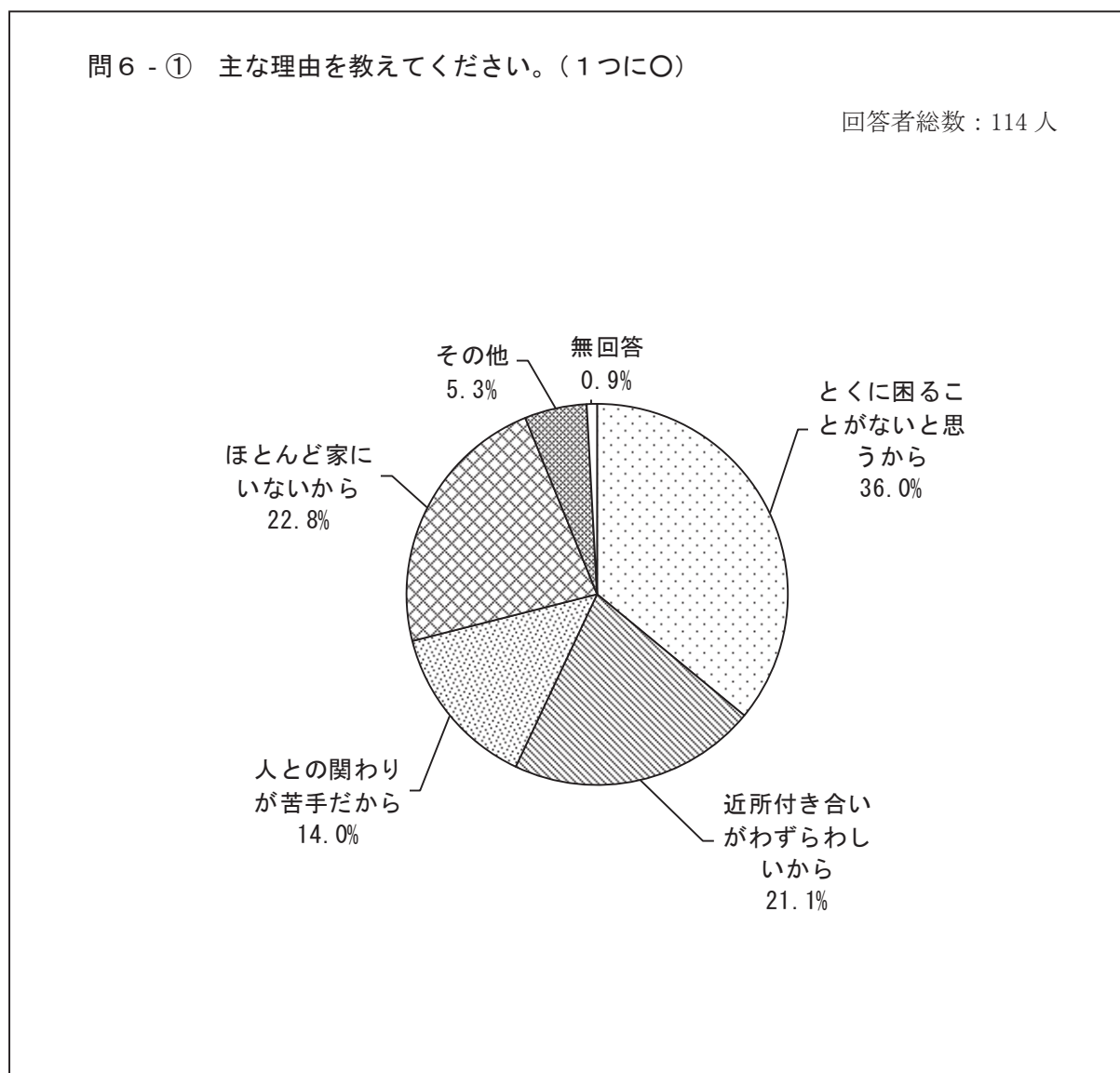
図 ご近所による支え合いの必要性



◆主な理由

ご近所による支え合い、助け合いは必要だと思わないと回答した人に、主な理由をたずねたところ、「とくに困ることがないと思うから」が 36.0%で最も高く、次に「ほとんど家にいないから」が 22.8%で続く。

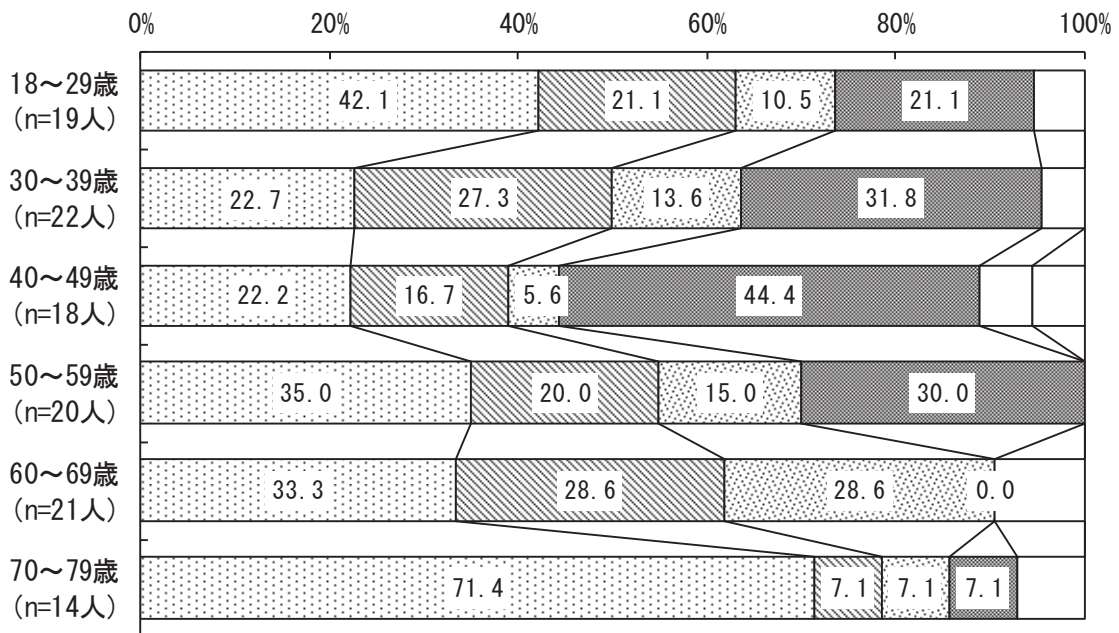
図 近所による支え合いが必要だと思わない主な理由



【年齢別】

ご近所による支え合い、助け合いは必要だと思わないと回答した人を年齢別にみると、“40～49歳”は「ほとんど家にいないから」が44.4%で高い。また、“70～79歳”は「とくに困ることがないと思うから」が71.4%で高い。

□とくに困ることがないと思うから □近所付き合いがわずらわしいから □人との関わりが苦手だから □ほとんど家にいないから □その他 □無回答

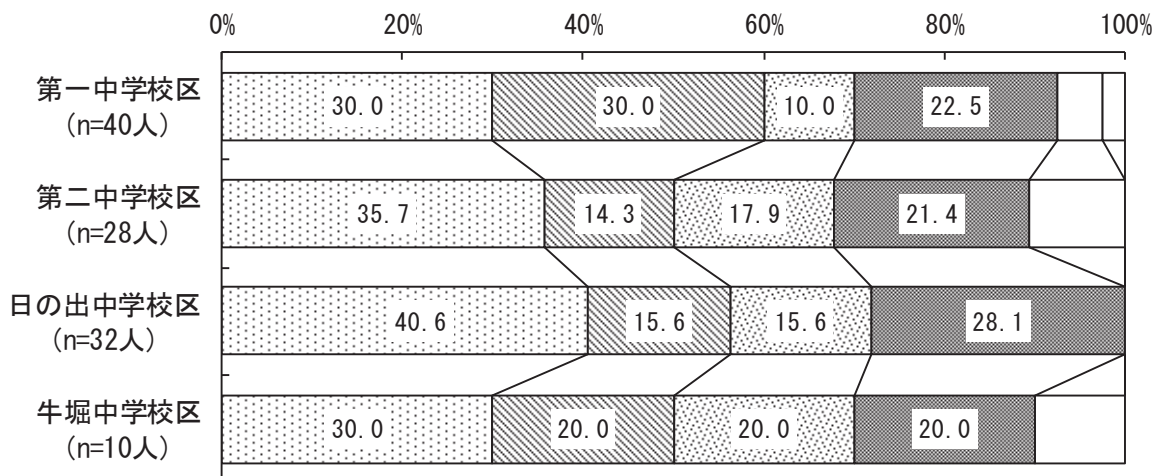


注) 80歳以上の回答無し。その他、無回答値は省略

【地区別】

地区別にみると、“日の出中学校区”は「とくに困ることがないと思うから」が40.6%で高い。

□とくに困ることがないと思うから □近所付き合いがわずらわしいから □人との関わりが苦手だから □ほとんど家にいないから □その他 □無回答



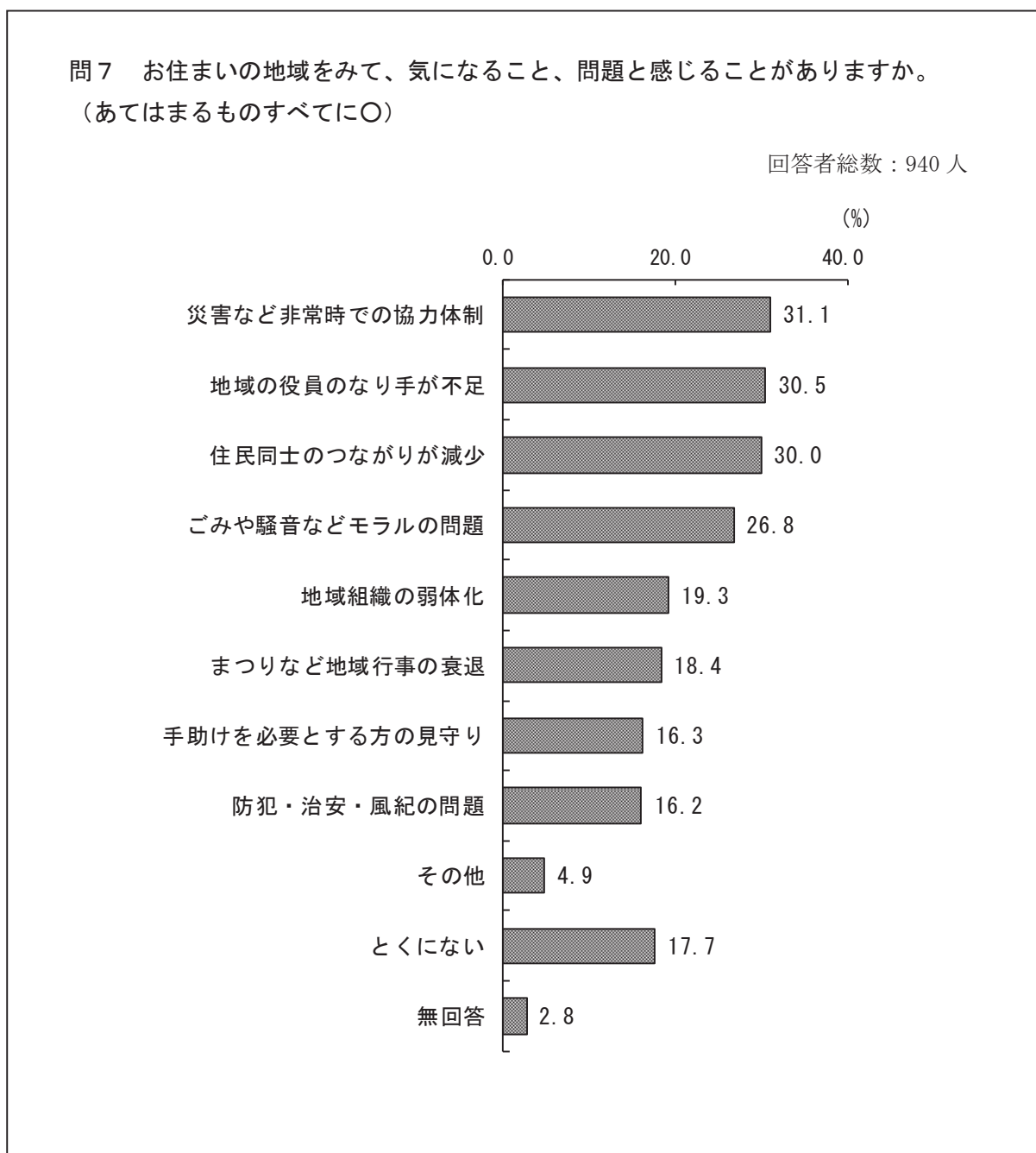
注) その他、無回答値は省略

1-1-3 気になる地域の課題

「災害など非常時での強力体制」が31.1%で最も高い。

お住いの地域をみて、気になること、問題と感ずることは、「災害など非常時での強力体制」が31.1%で最も高い。次に、「地域の役員のなり手が不足」が30.5%、「住民同士のつながりが減少」が30.0%で続く。

図 気になる地域の課題



【地区別】

お住いの地域をみて、気になること、問題と感ずることを、地区別にみると、“日の出中学校区”は、「災害など非常時での強力体制」が37.2%で特に高い。また、“牛堀中学校区”は、「地域の役員のなり手が不足」が40.9%で高い。

表 気になる地域の課題

	回答者総数	地区別			
		潮来第一 中学校区	潮来第二 中学校区	日の出 中学校区	牛堀 中学校区
回答者総数	940 (100.0)	300 (100.0)	295 (100.0)	188 (100.0)	137 (100.0)
災害など非常時での協力体制	292 (31.1)	87 (29.0)	91 (30.8)	70 (37.2)	38 (27.7)
地域の役員のなり手が不足	287 (30.5)	82 (27.3)	87 (29.5)	57 (30.3)	56 (40.9)
住民同士のつながりが減少	282 (30.0)	87 (29.0)	93 (31.5)	59 (31.4)	38 (27.7)
ごみや騒音などモラルの問題	252 (26.8)	86 (28.7)	74 (25.1)	55 (29.3)	34 (24.8)
地域組織の弱体化	181 (19.3)	52 (17.3)	59 (20.0)	35 (18.6)	32 (23.4)
まつりなど地域行事の衰退	173 (18.4)	65 (21.7)	54 (18.3)	29 (15.4)	24 (17.5)
手助けを必要とする方の見守り	153 (16.3)	46 (15.3)	50 (16.9)	31 (16.5)	23 (16.8)
防犯・治安・風紀の問題	152 (16.2)	40 (13.3)	41 (13.9)	48 (25.5)	20 (14.6)
その他	46 (4.9)	17 (5.7)	15 (5.1)	7 (3.7)	7 (5.1)
とくにない	166 (17.7)	54 (18.0)	51 (17.3)	33 (17.6)	25 (18.2)
無回答	26 (2.8)	9 (3.0)	11 (3.7)	2 (1.1)	0 (0.0)

※地区「無回答」の20名を除く。

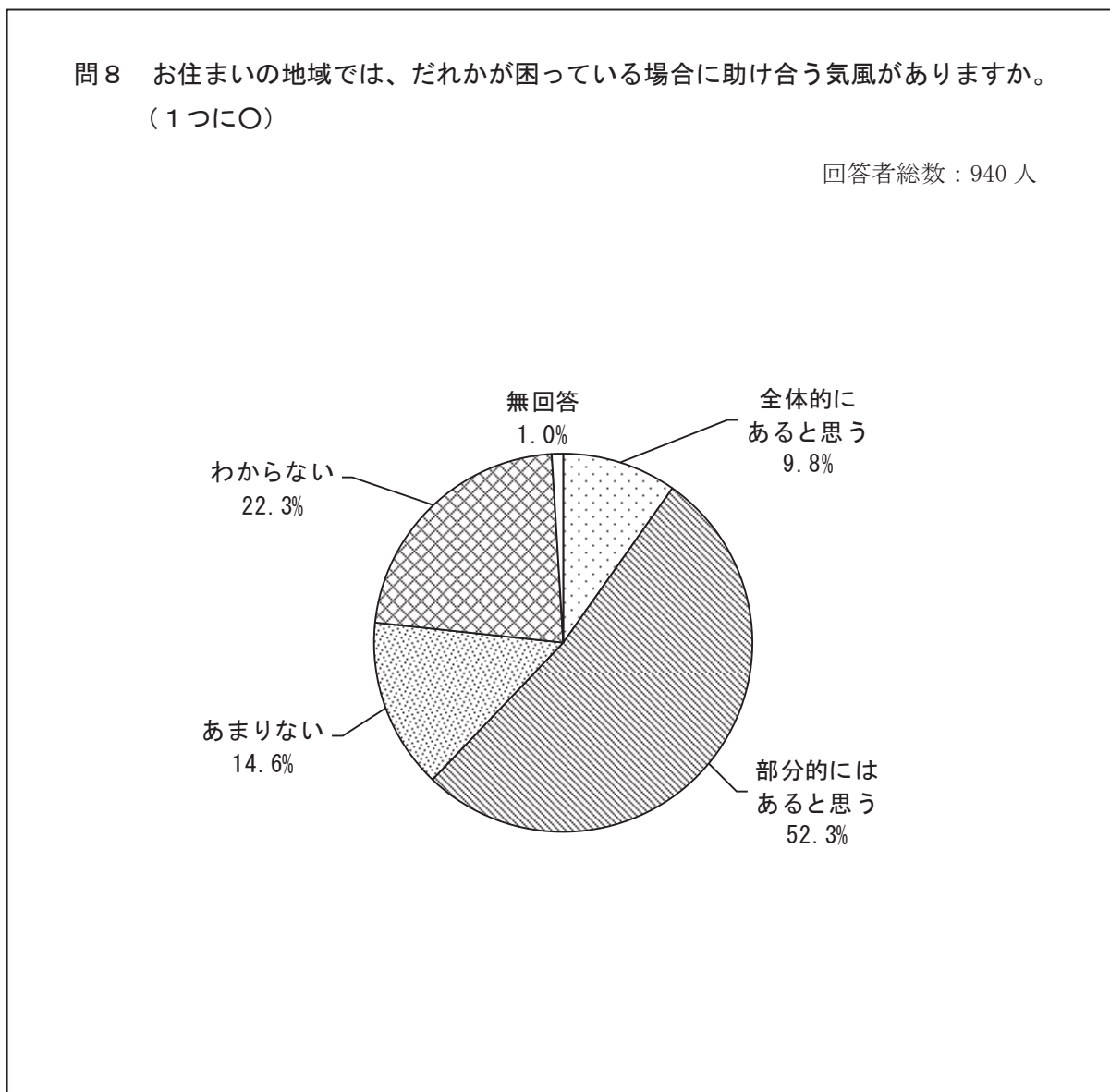
1-1-4 地域の助け合う気風

「部分的にはあると思う」が52.3%。

お住いの地域では、だれかが困っている場合に助け合う気風があると思うかたずねたところ、「全体的にあると思う」が9.8%、「部分的にはあると思う」が52.3%である。

その一方で、「あまりない」が14.6%である。

図 地域の助け合う気風

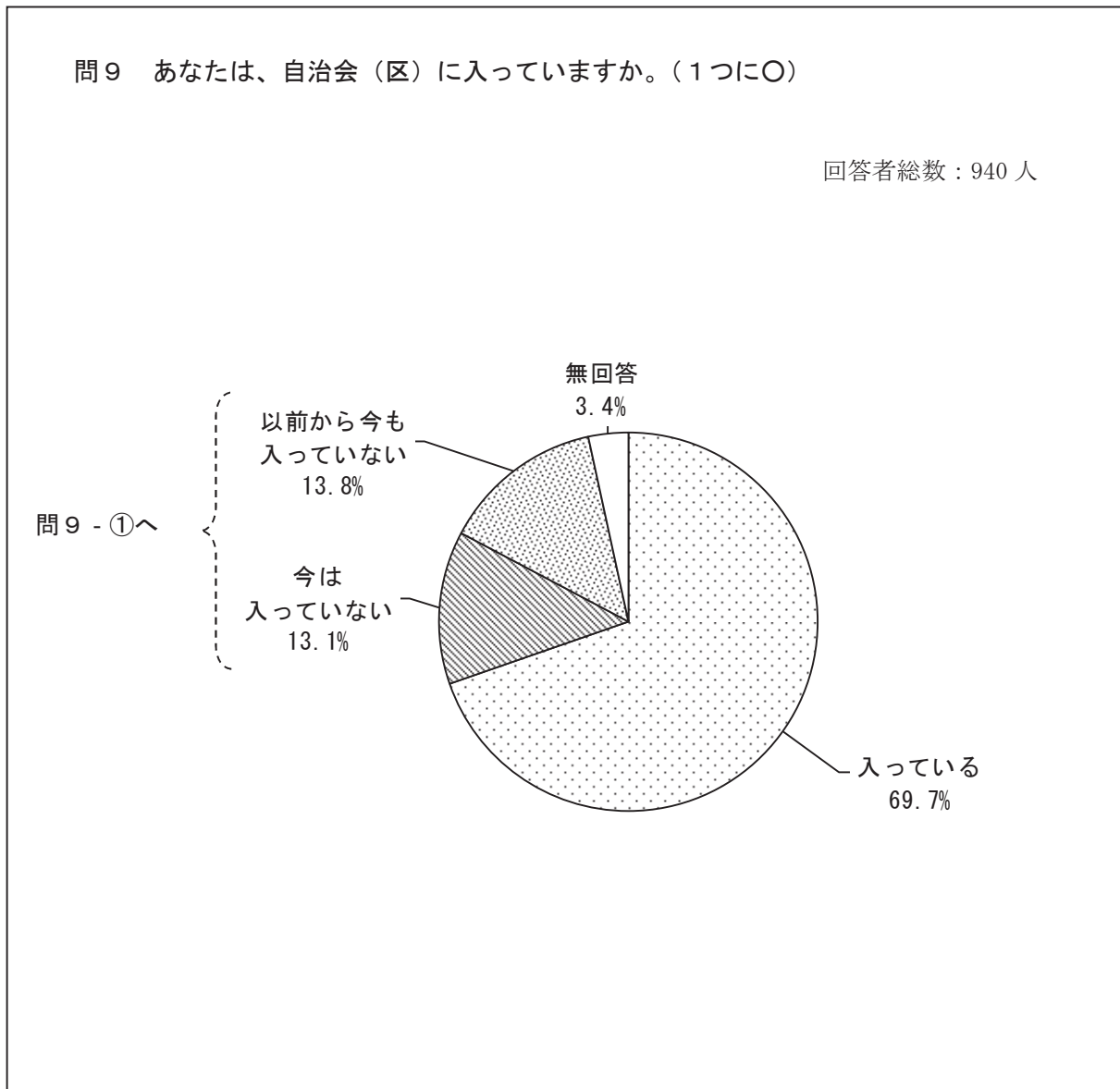


1-1-5 自治会（区）の加入

「入っている」が 69.7%で高い。

自治会（区）への加入については、「入っている」が 69.7%で高い。
また、「今は入っていない」が 13.1%、「以前から今も入っていない」が 13.8%である。

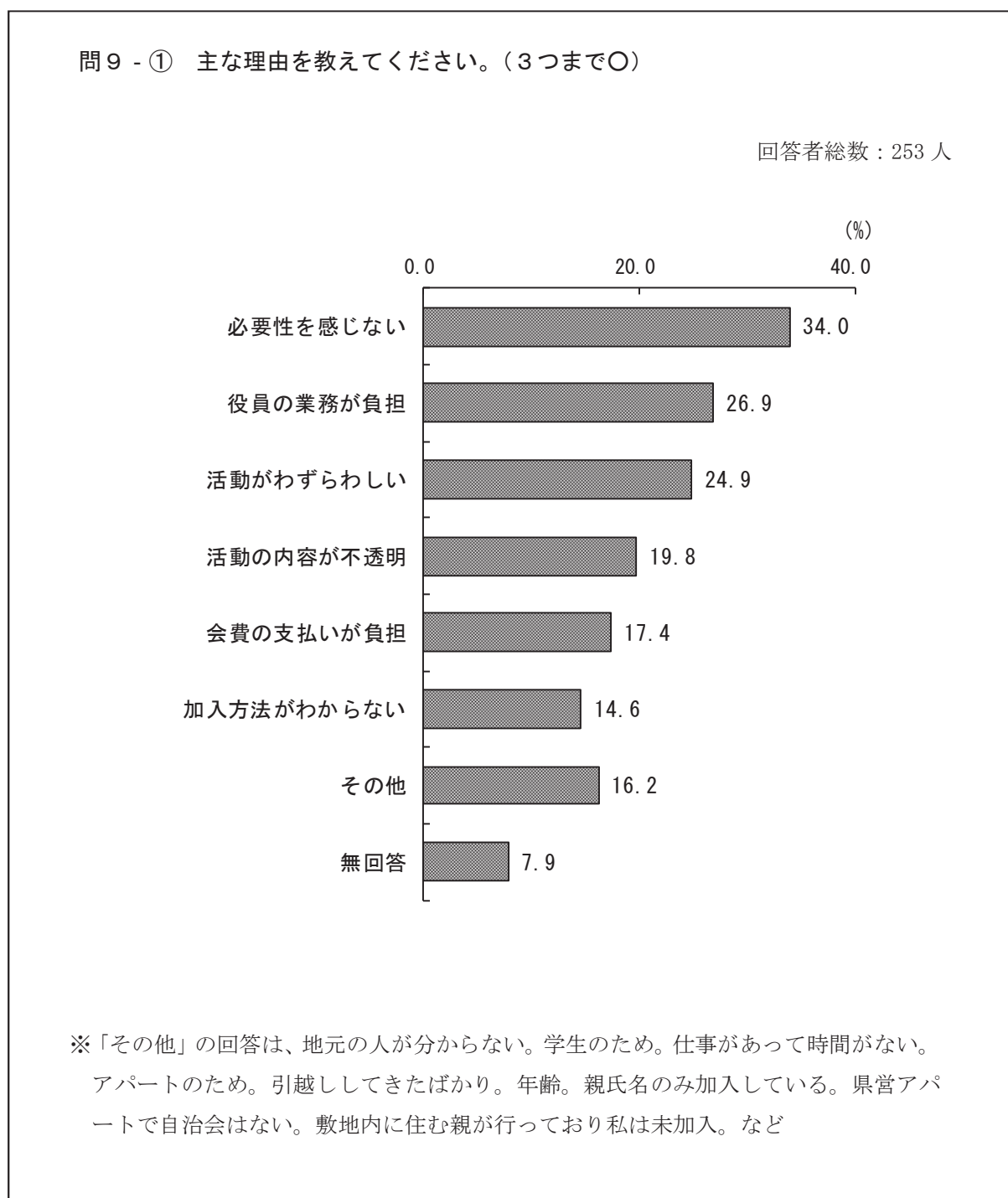
図 自治会（区）の加入



◆主な理由

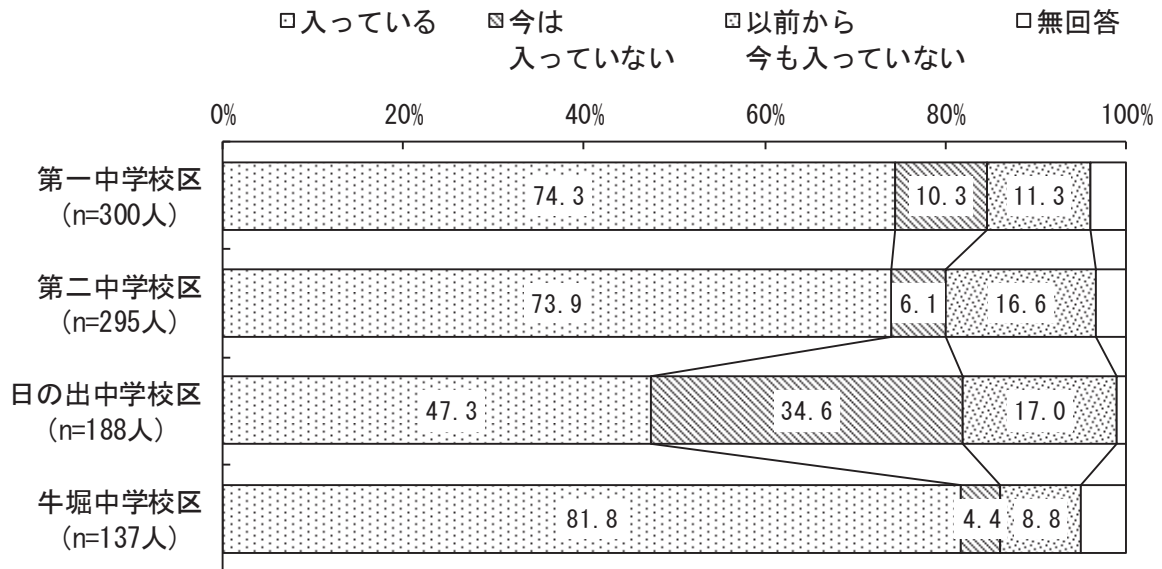
現在、自治会に加入していないと回答した人に、主な理由をたずねたところ、「必要性を感じない」が34.0%で最も高く、次に「役員の業務が負担」が26.9%で続く。

図 自治会に加入していない人の主な理由



【地区別】

自治会（区）への加入について地区別にみると、“日の出中学校区”は「入っている」が47.3%で他の地区よりも特に低い。



注) その他、無回答値は省略

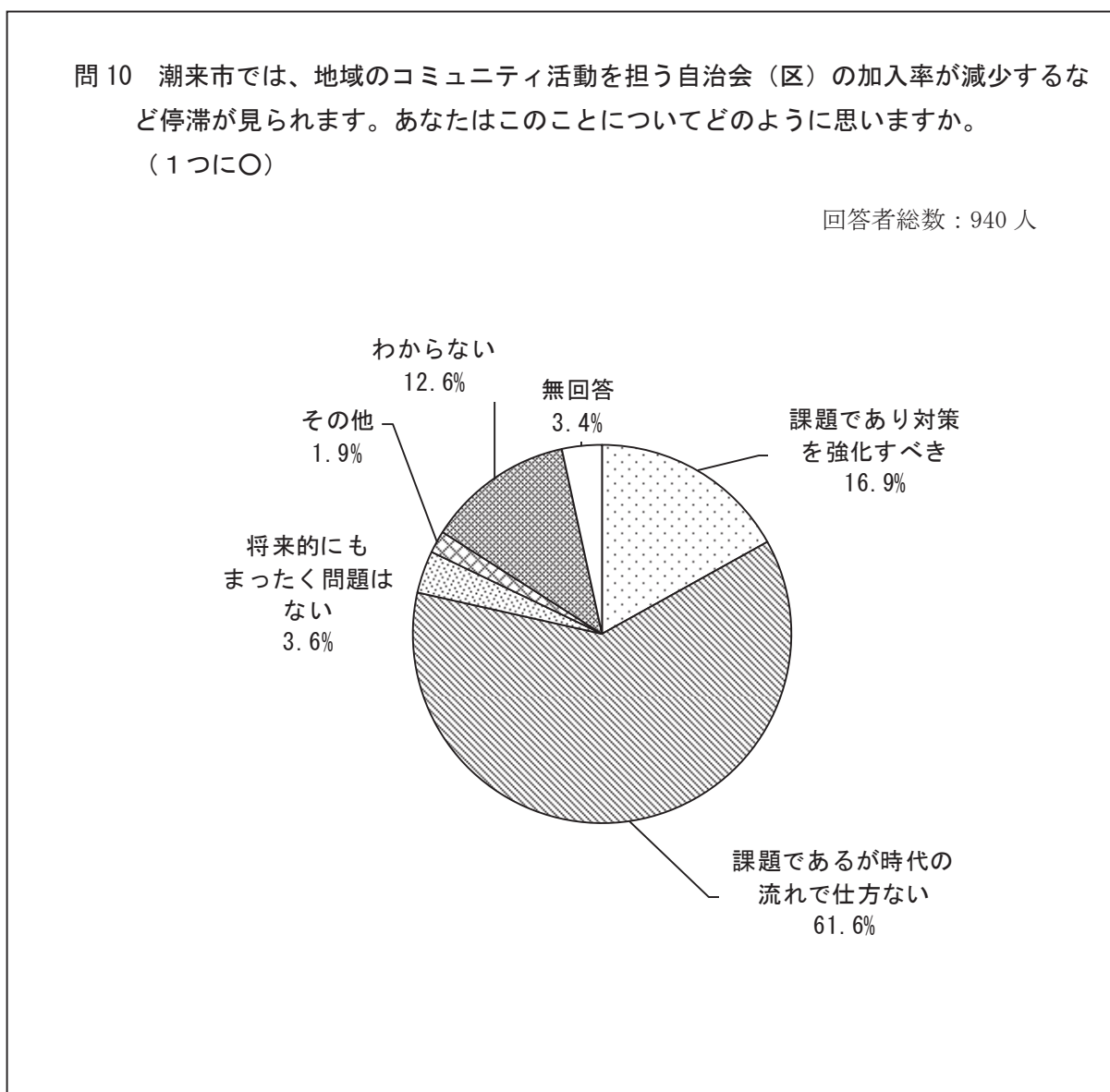
1-1-6 自治会の加入率減少について

「課題であるが時代の流れで仕方ない」が61.6%で高い。

地域のコミュニティ活動を担う自治会（区）の加入率が減少するなど停滞についての考えは、「課題であるが時代の流れで仕方ない」が61.6%で最も高い。

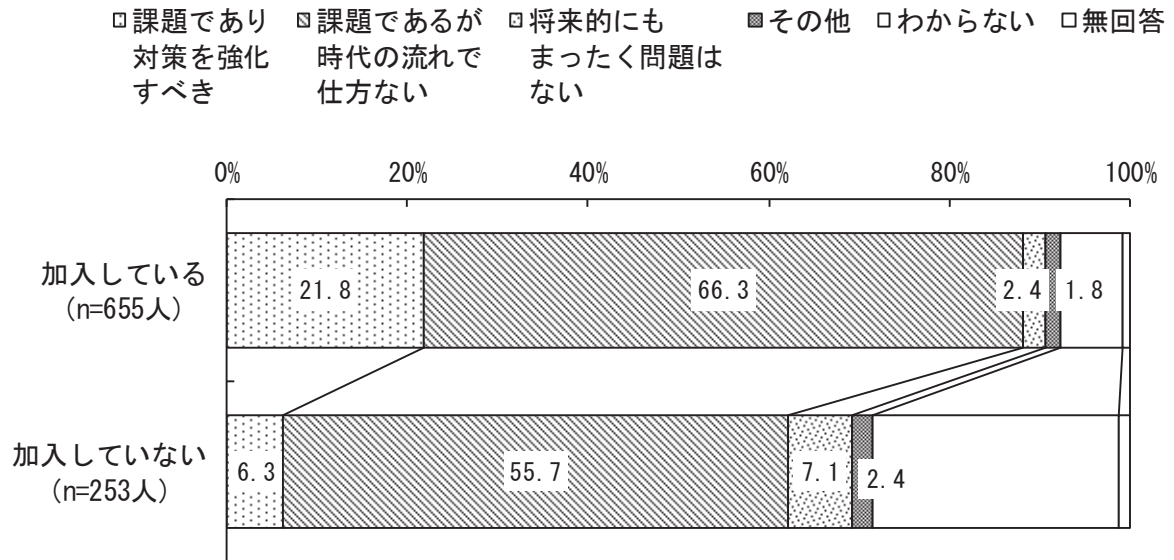
その一方で、「課題であり対策を強化すべき」が16.9%である。

図 自治会の加入率減少について



【自治会加入者別】

地域のコミュニティ活動を担う自治会（区）の加入率が減少するなど停滞について、自治体加入者別に見たところ、「課題であり対策を強化すべき」は、“加入している”人が21.8%に対して、“加入していない”人は6.3%に止まる。



注) 無回答値は省略

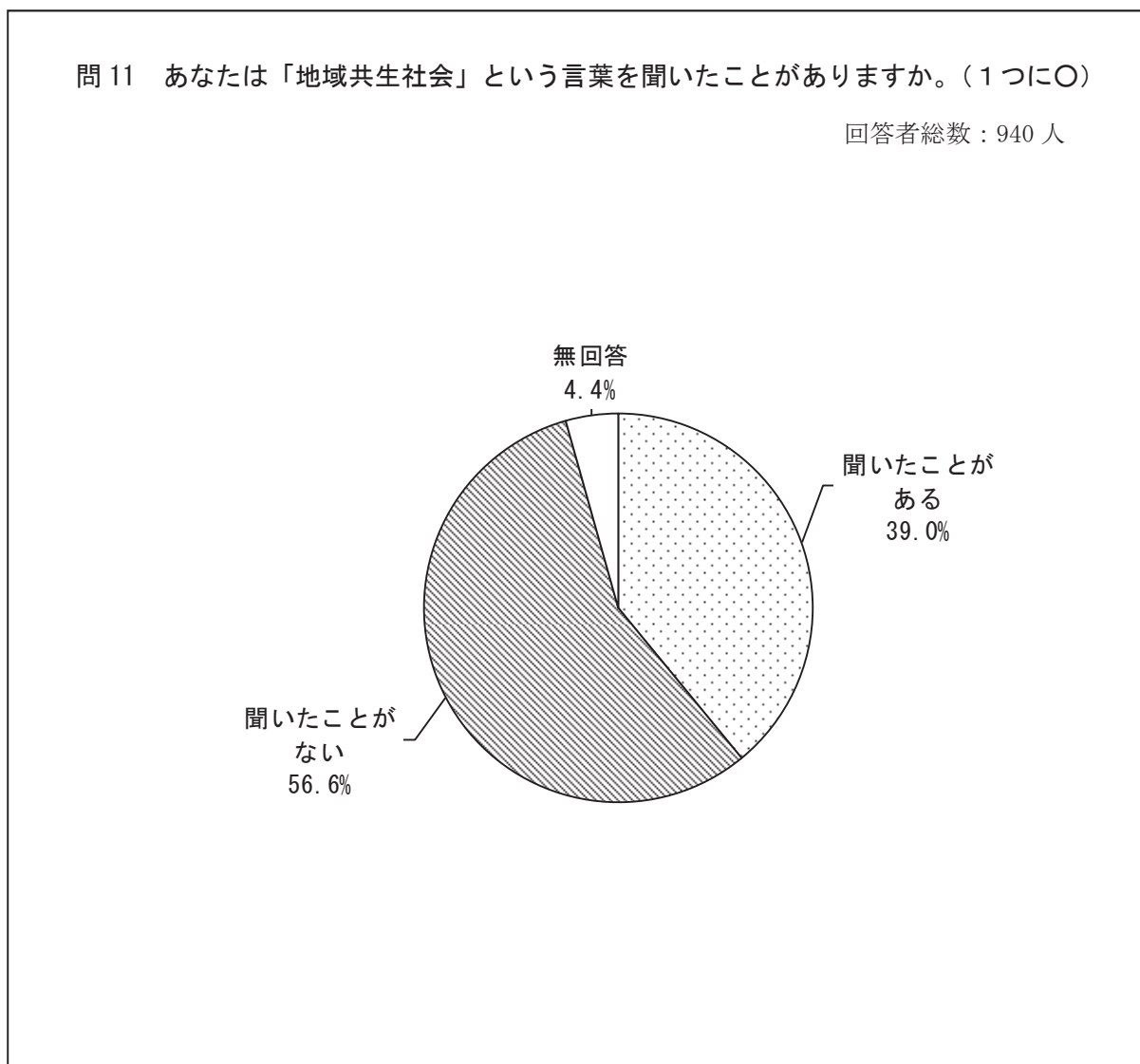
第2節 地域共生社会について

1-2-1 「地域共生社会」の言葉の認知度

「聞いたことがある」が39.0%。

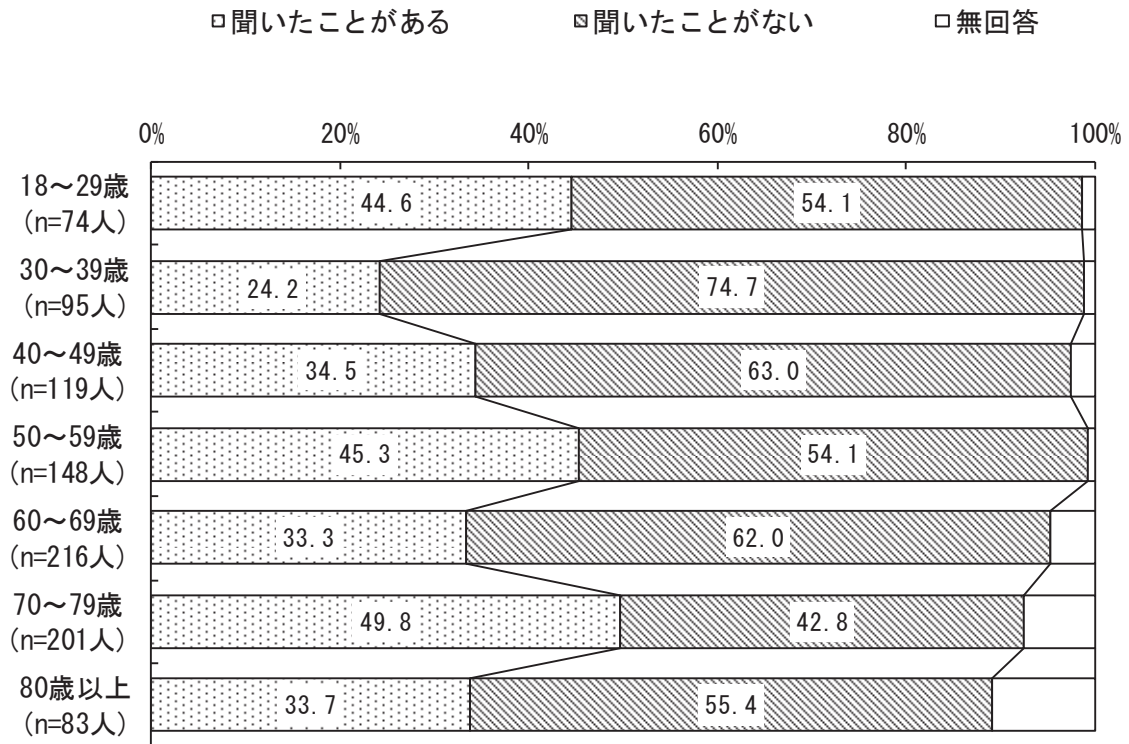
「地域共生社会」という言葉を聞いたことがあるかは、「聞いたことがある」が39.0%である。その一方で「聞いたことがない」が56.6%を占める。

図 「地域共生社会」の言葉の認知度



【年齢別】

「地域共生社会」という言葉を聞いたことがあるかを年齢別にみると、「30～39歳」は「聞いたことがある」が24.2%で他の年代よりも低い。



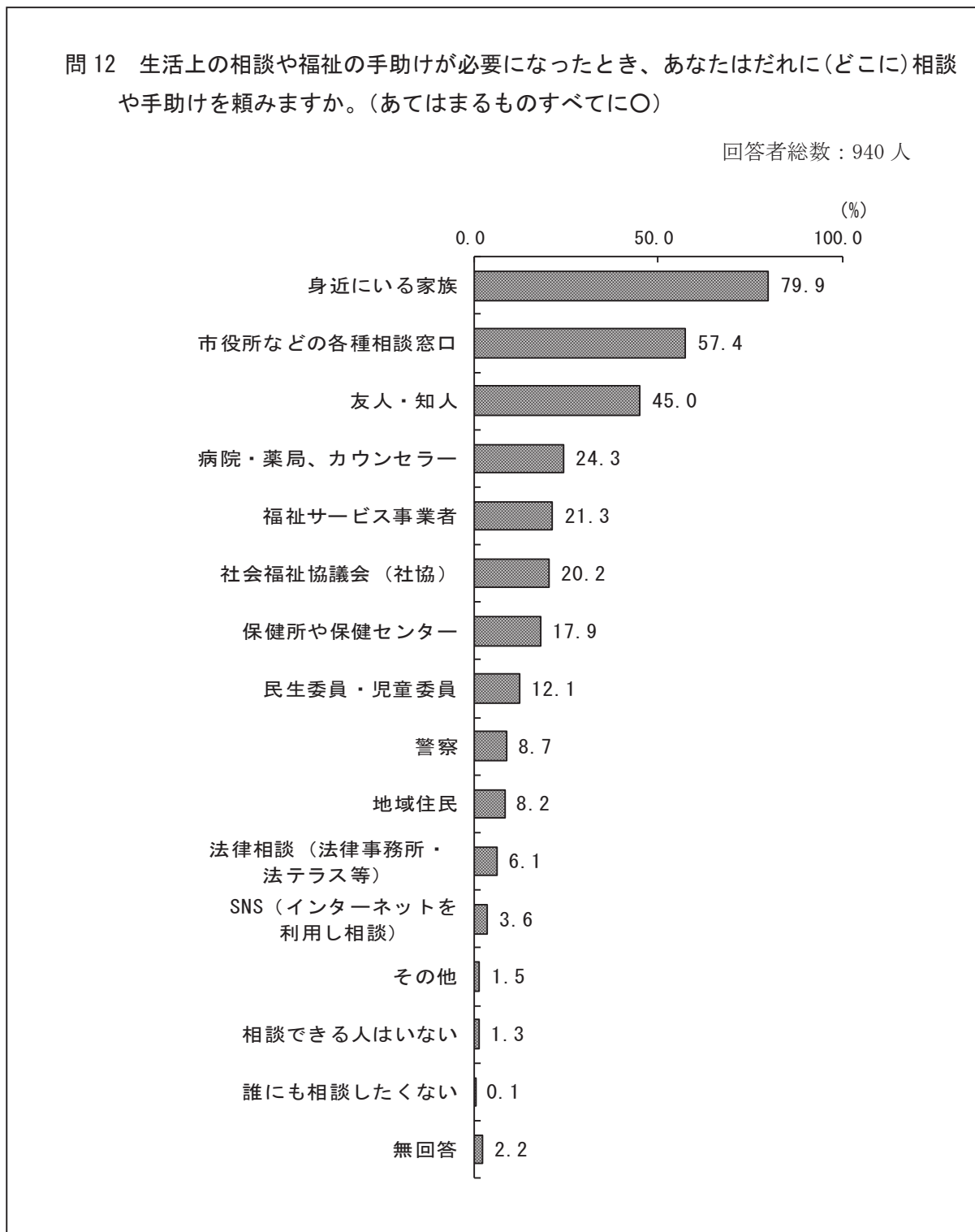
注) 無回答値は省略

1-2-2 困ったときの相談先

「身近にいる家族」や「市役所などの各種相談窓口」が高い。

生活上の相談や福祉の手助けが必要になったときの相談先は、「身近にいる家族」が79.9%で最も高く、次に「市役所などの各種相談窓口」が57.4%で続く。

図 困ったときの相談先

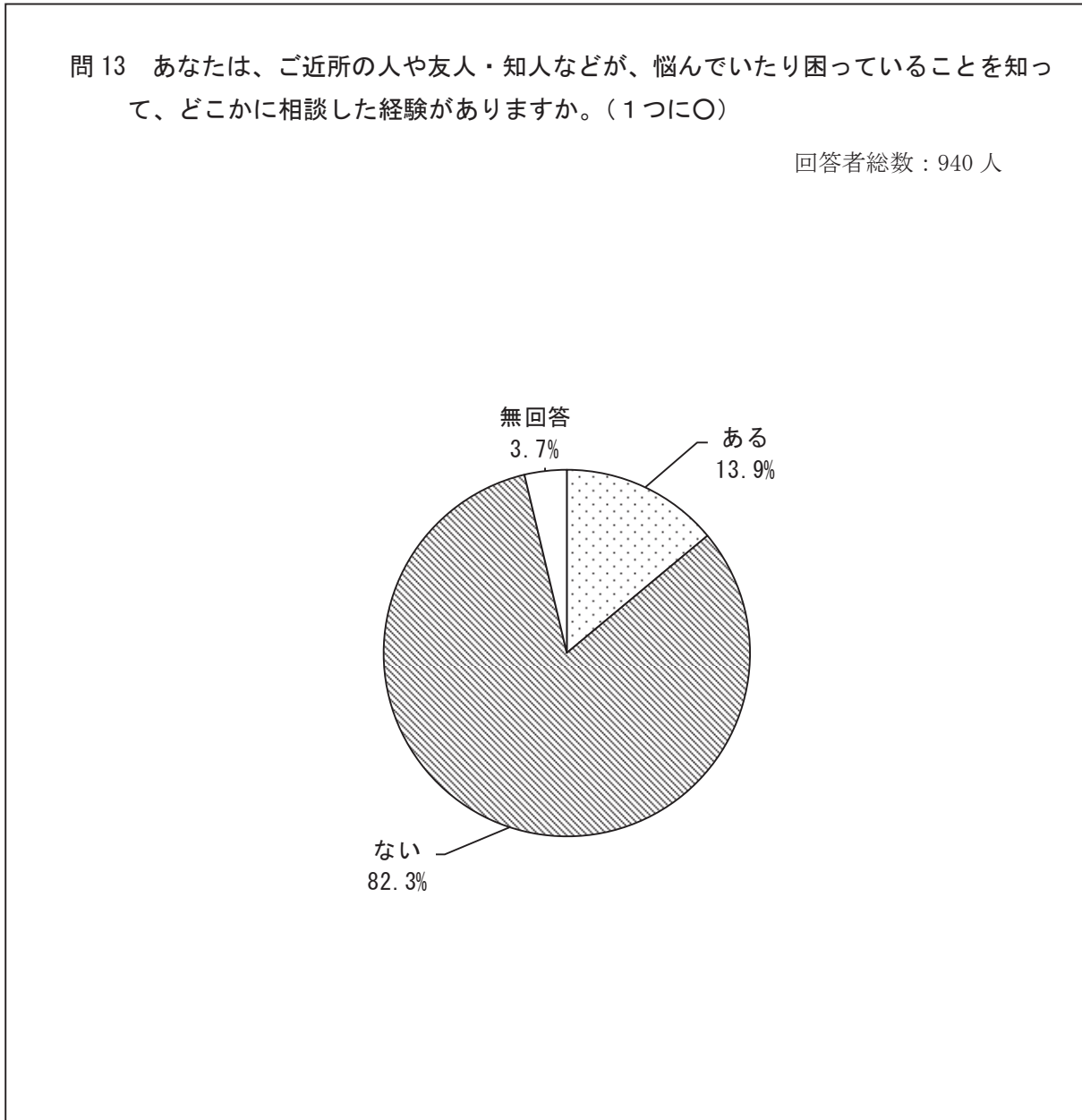


1-2-3 友人・知人の相談をつないだ経験

「ある」が13.9%。

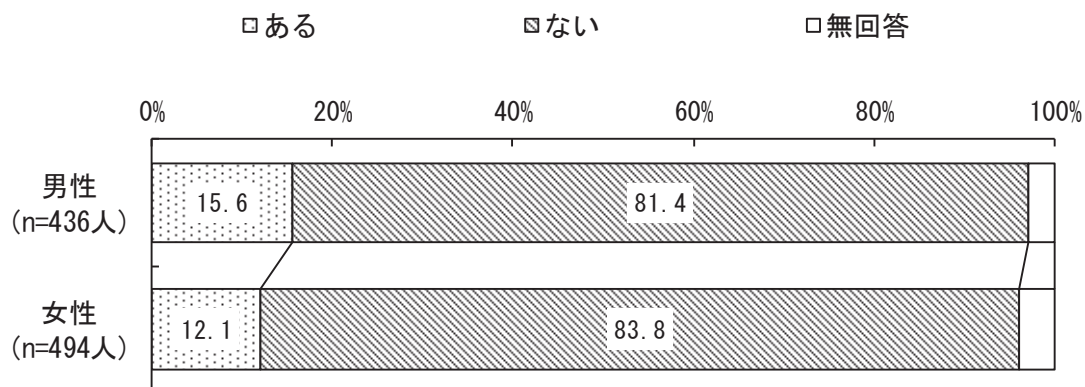
ご近所の人や友人・知人などが悩んでいたたり困っていることを知って、どこかに相談をつないだ経験は、「ある」が13.9%である。

図 友人・知人の相談をつないだ経験



【性別】

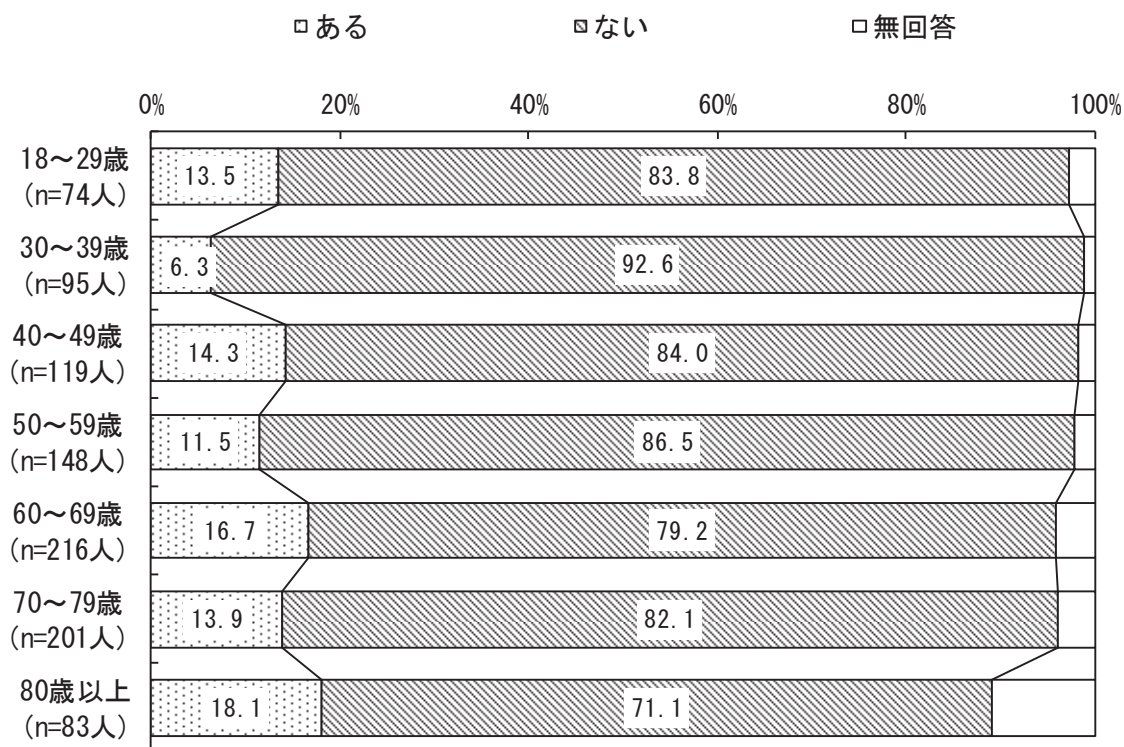
どこかに相談をつないだ経験が「ある」という人を性別で見ると、“男性”が15.6%、“女性”が12.1%である。



注) 無回答値は省略

【年齢別】

どこかに相談をつないだ経験が「ある」という人を年齢別で見ると、“30～39歳”は6.3%で他の年代と比べてやや低い。



注) 無回答値は省略

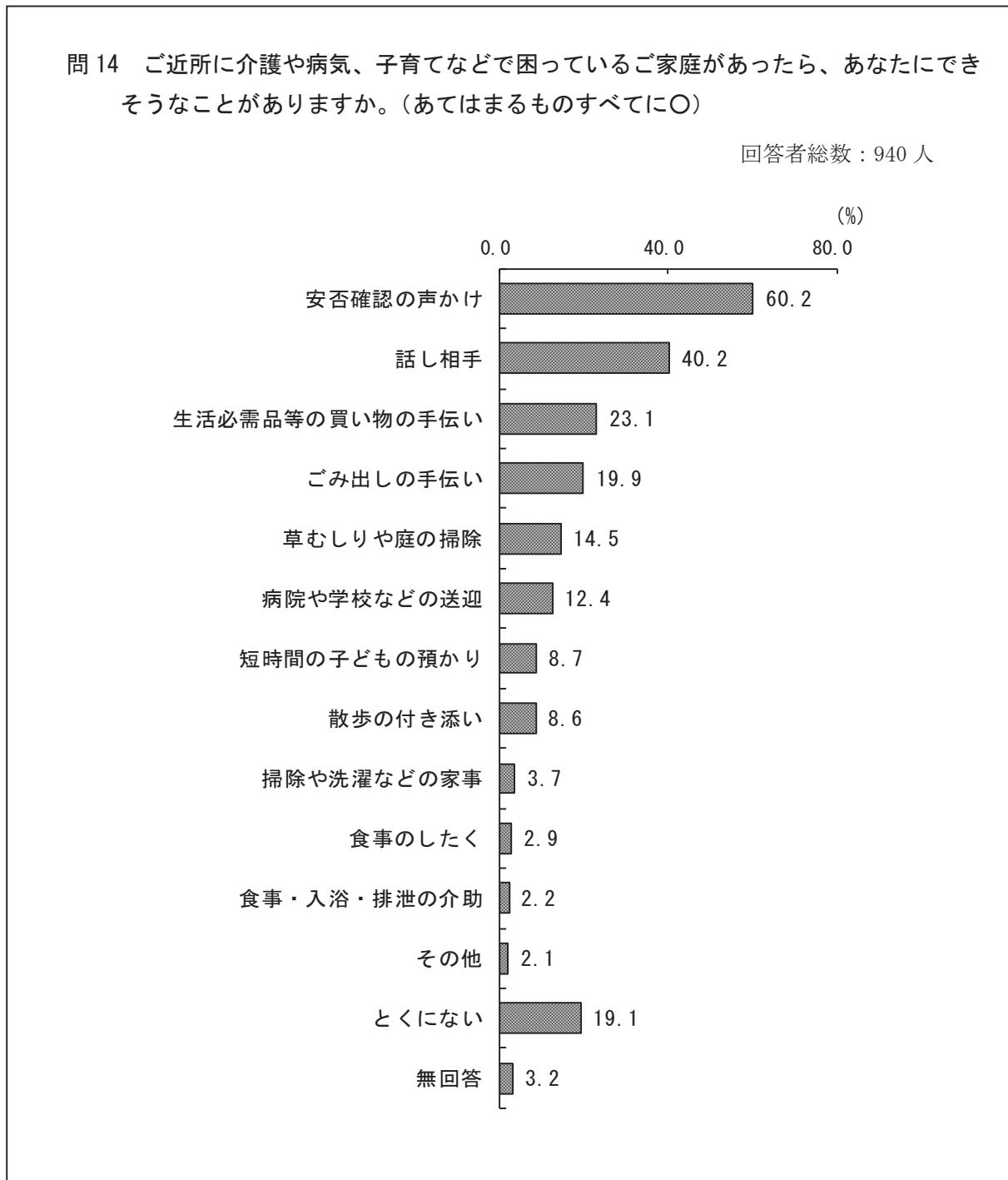
1-2-4 困っている家庭に出来そうな手助け

「安否確認の声かけ」が60.2%で最も高く、次に「話し相手」が続く。

ご近所に介護や病気、子育てなどで困っている家庭があったら出来そうな手助けは、「安否確認の声かけ」が60.2%で最も高い。

次に「話し相手」が40.2%、「生活必需品等の買い物の手伝い」が23.1%で続く。

図 困っている家庭に出来そうな手助け

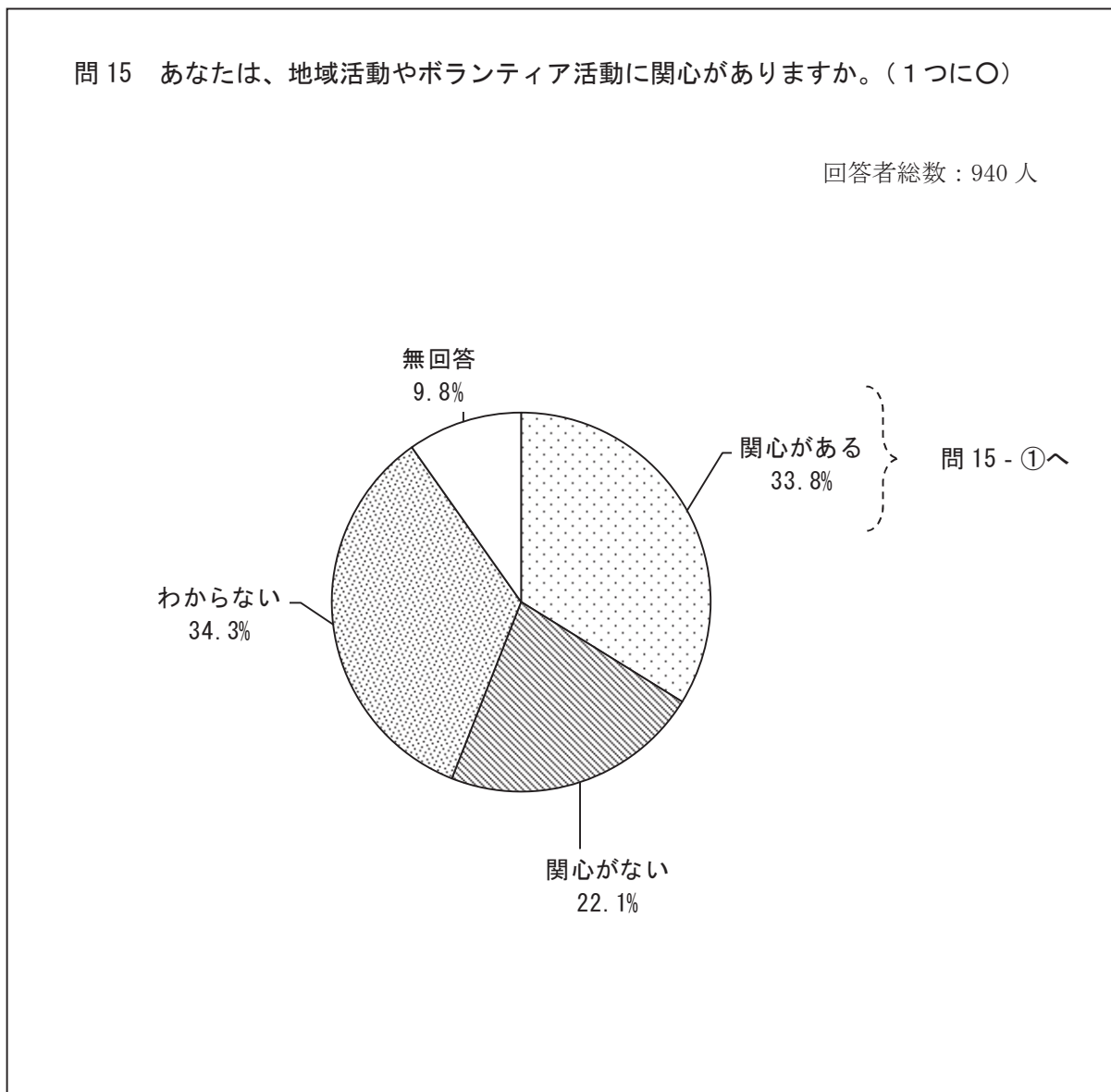


1-2-5 ボランティア活動の関心

「関心がある」が 33.8%。

地域活動やボランティア活動に関心があるかは、「関心がある」が 33.8%である。
その一方で、「関心がない」が 22.1%、「わからない」が 34.3%である。

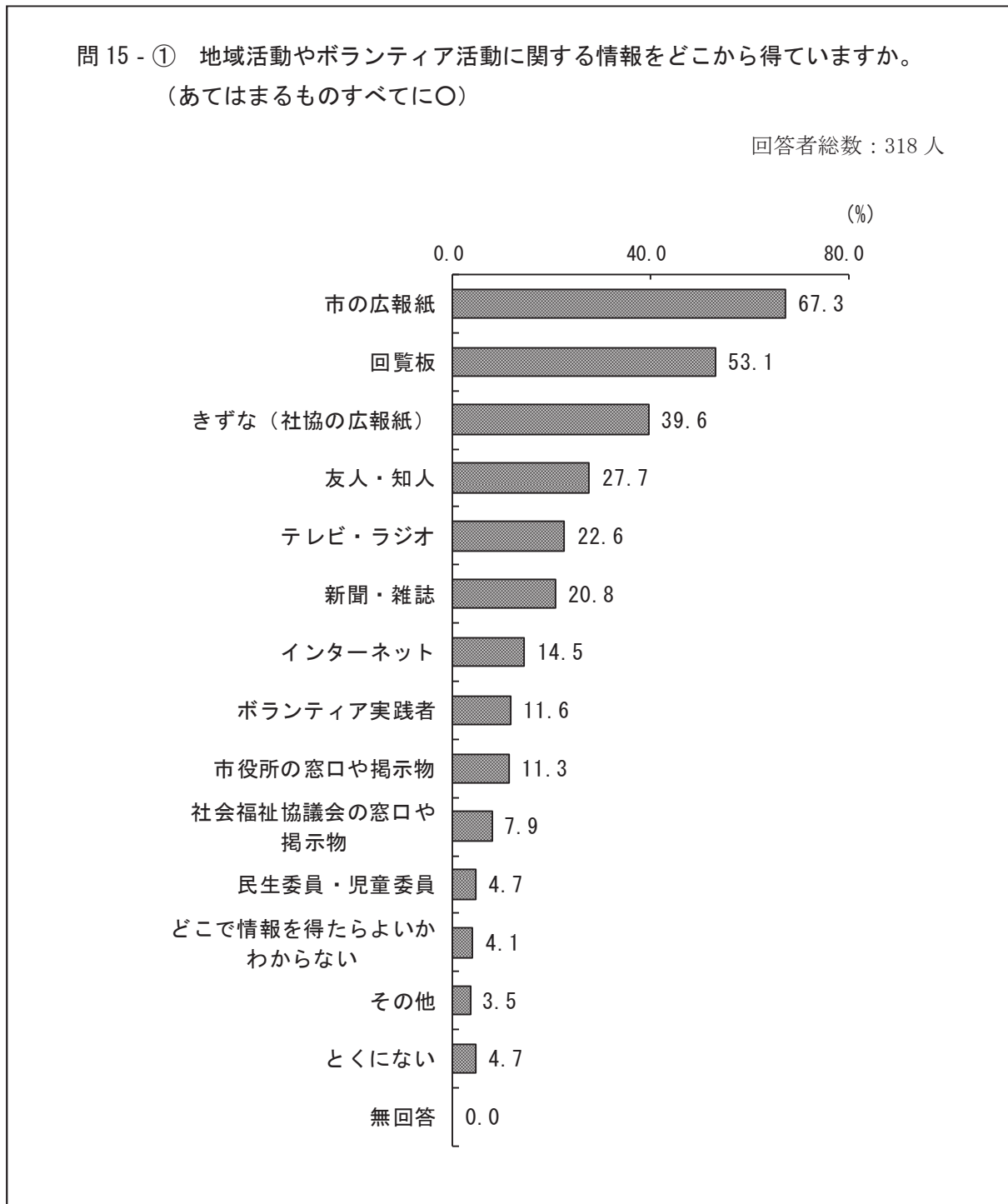
図 ボランティア活動の関心



◆ボランティア活動の情報の入手先

地域活動やボランティア活動に関心があると回答した人に、ボランティア活動の情報の入手先をたずねたところ、「市の広報紙」が67.3%で最も高く、次に「回覧板」が53.1%、「きずな（社協の広報紙）」が39.6%で続く。

図 ボランティア活動の情報の入手先



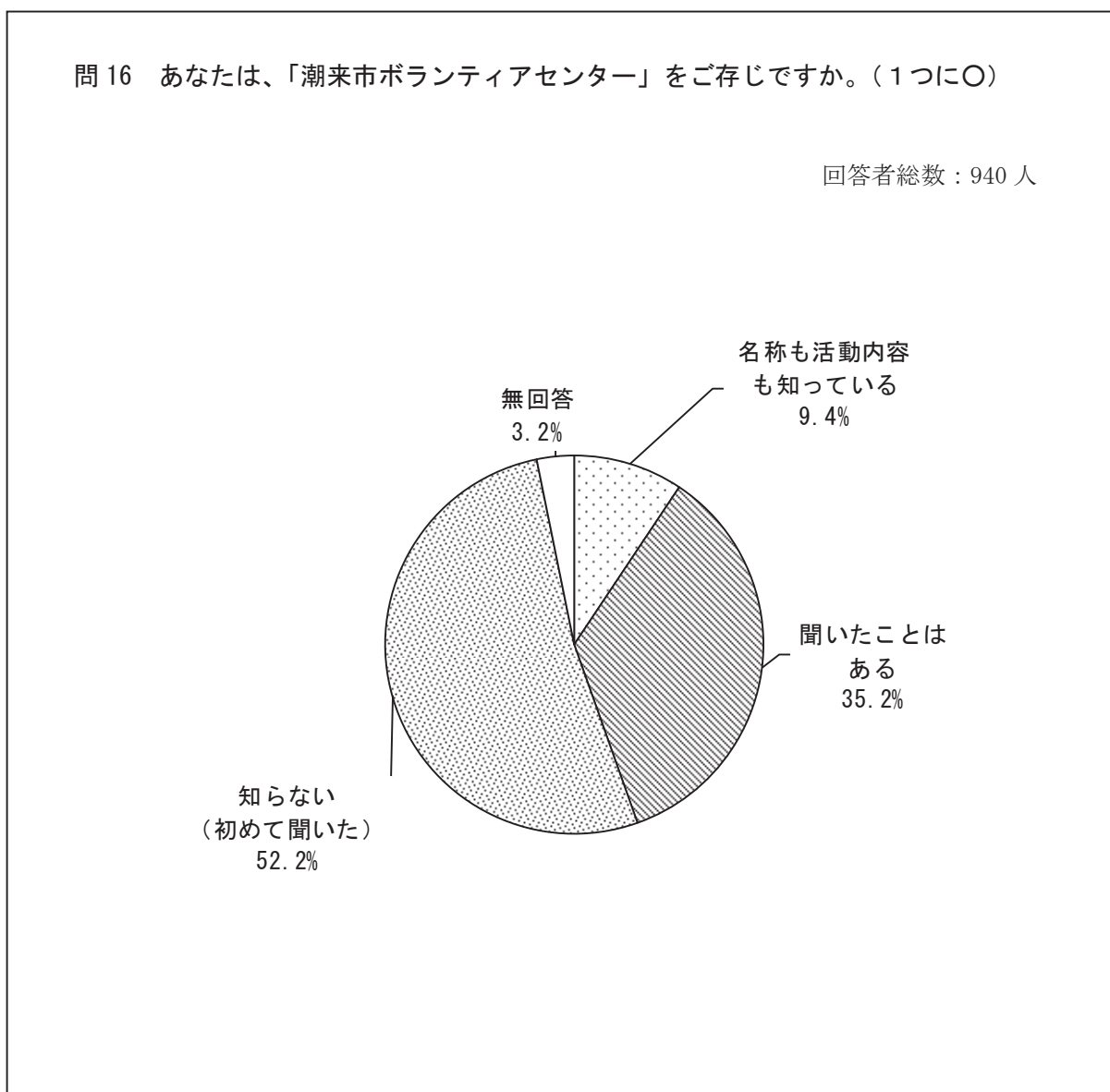
1-2-6 『ボランティアセンター』の認知度

「知らない（初めて聞いた）」が52.2%。

『ボランティアセンター』の認知度については、「名称も活動内容も知っている」が9.4%、「聞いたことがある」が35.2%で、“知っている”が44.6%である。

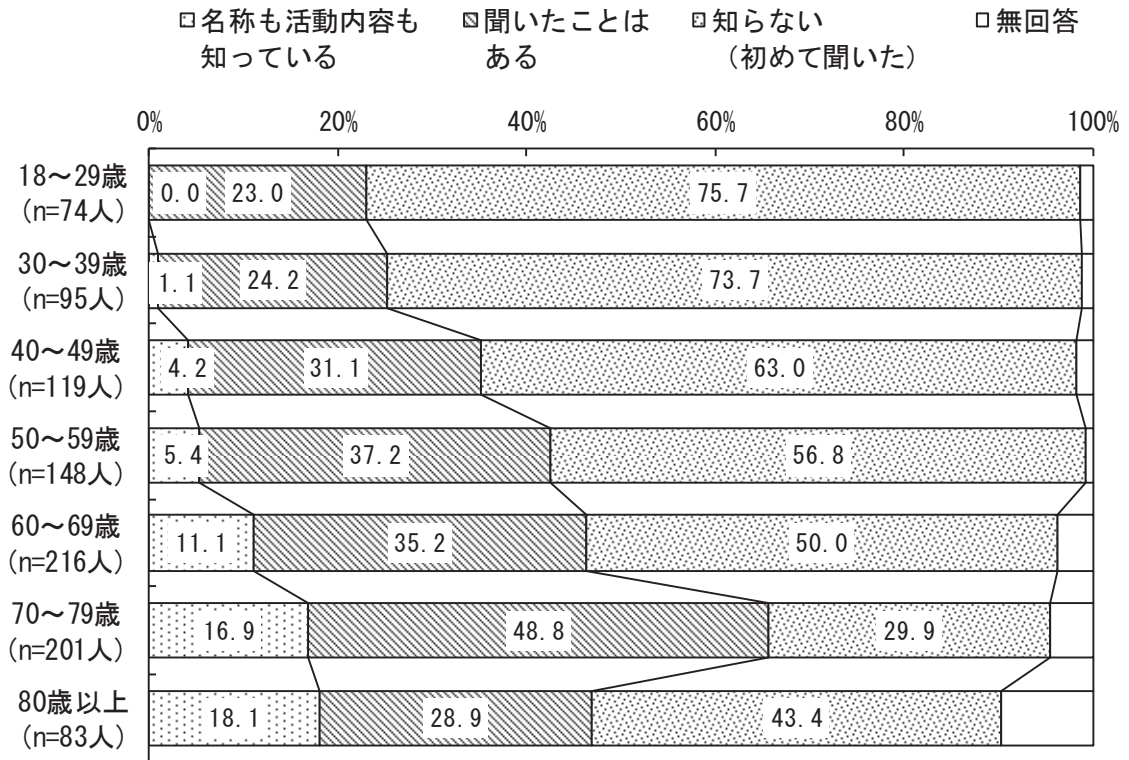
その一方で、「知らない（初めて聞いた）」が52.2%を占める。

図 『ボランティアセンター』の認知度



【年齢別】

『ボランティアセンター』の認知度を年齢別にみると、全体として、年齢層が上がるほど認知度が高くなる傾向がみられる。

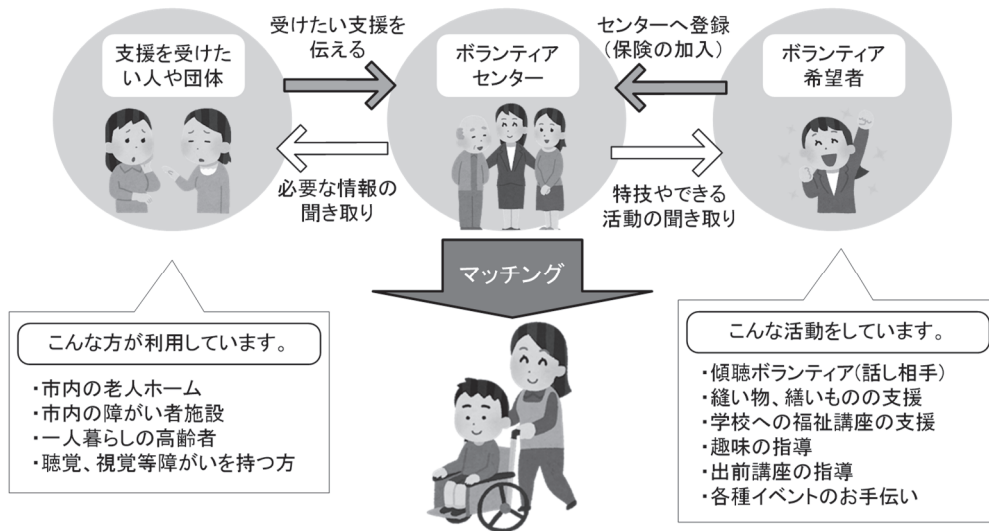


注) 無回答値は省略



『ボランティアセンター』の仕組み

「ボランティアセンター（潮来市社会福祉協議会内）」では、ボランティアをしたい人と、してほしい人との調整役を行っています。



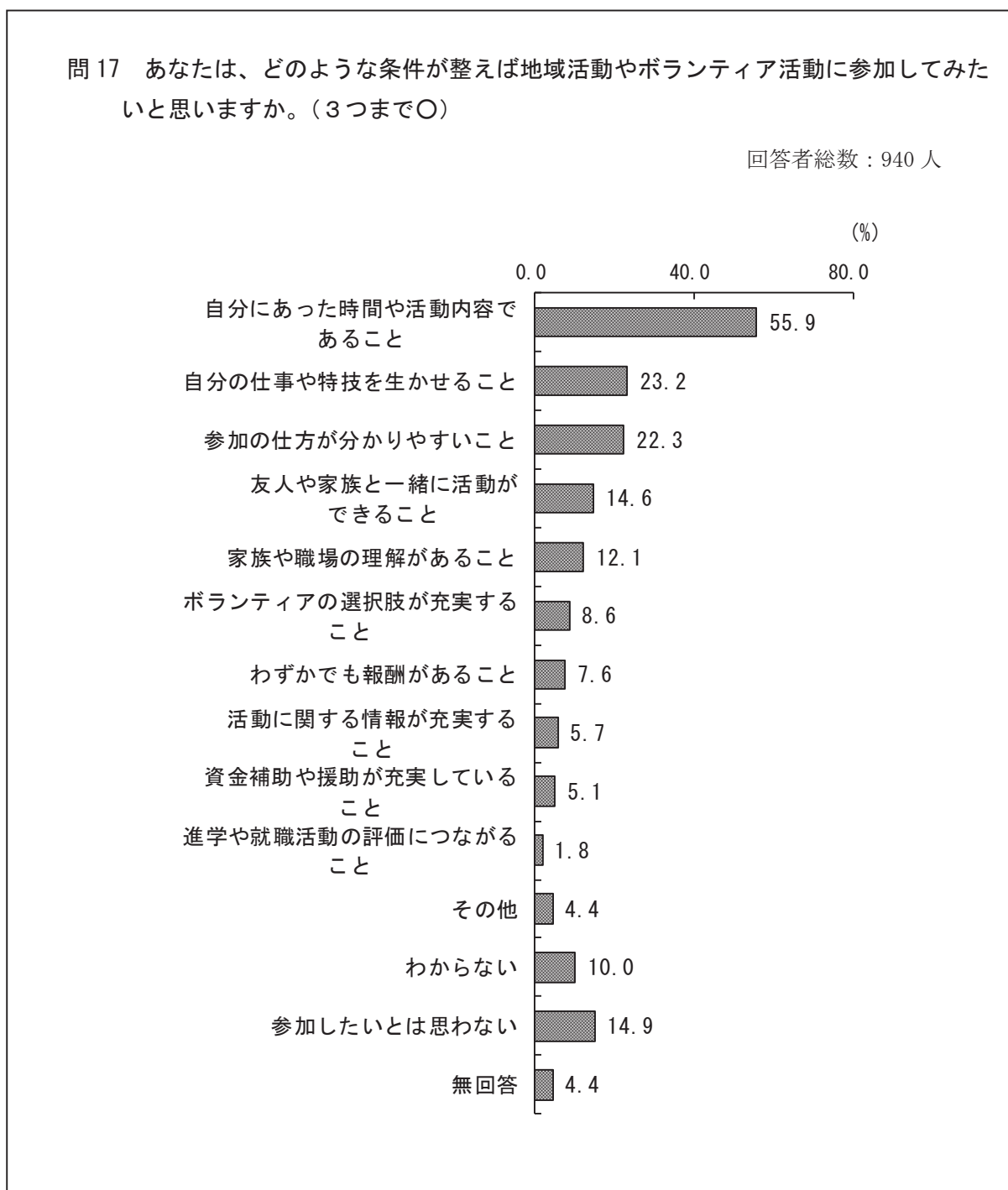
1-2-7 ボランティア活動の参加条件

「自分にあった時間や活動内容であること」が55.9%で最も高い。

どのような条件を整えば地域活動やボランティア活動に参加したいと思うかは、「自分にあった時間や活動内容であること」が55.9%で最も高い。

次に「自分の仕事や特技を生かせること」が23.2%、「参加の仕方が分かりやすいこと」が22.3%で続く。

図 ボランティア活動の参加条件



第3節 地域福祉活動の推進について

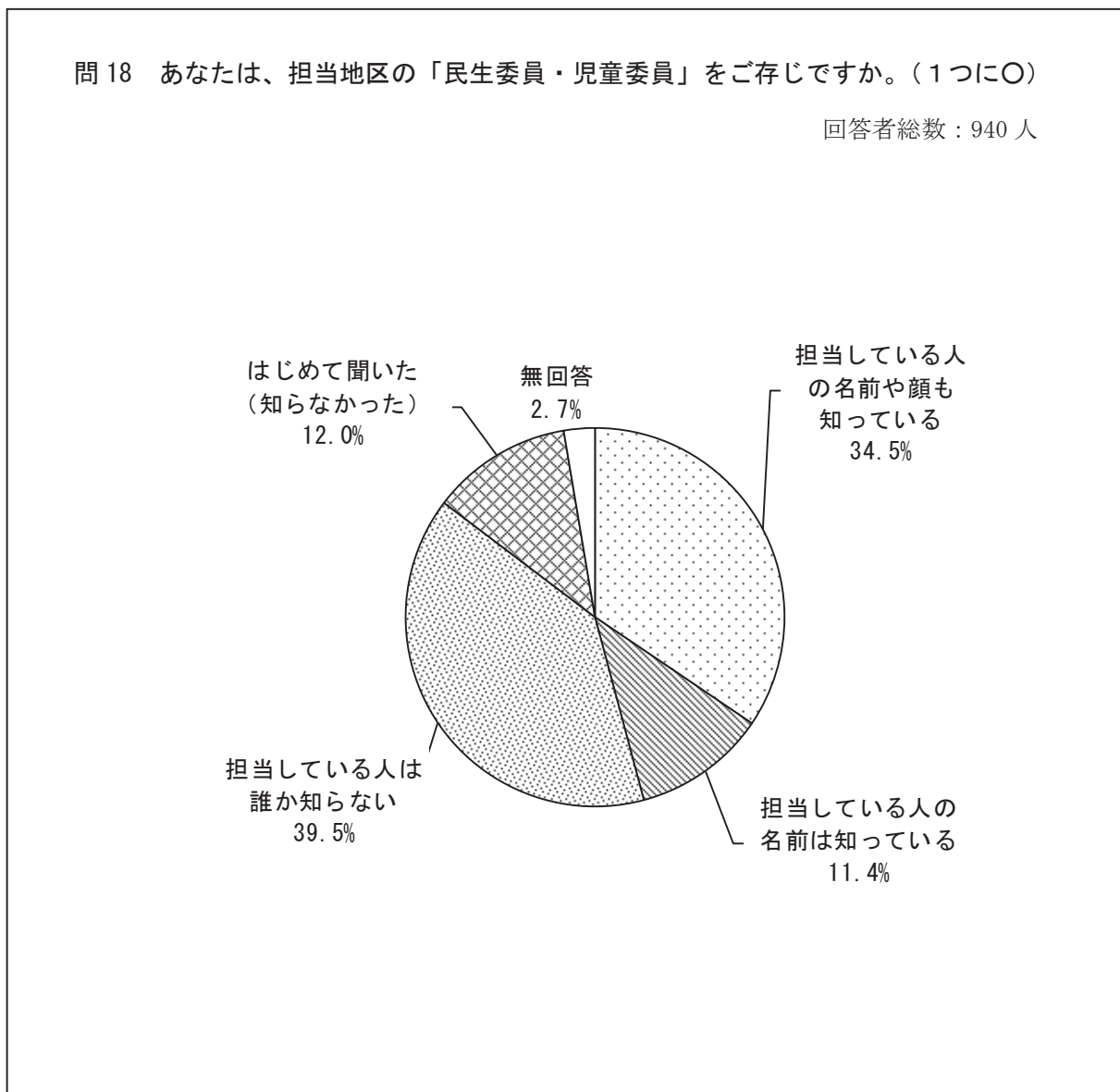
1-3-1 『民生委員・児童委員』の認知度

「担当している人は誰か知らない」が39.5%。

担当地区の『民生委員・児童委員』を知っているかは、「担当している人の名前や顔も知っている」が34.5%、「担当している人の名前は知っている」が11.4%である。

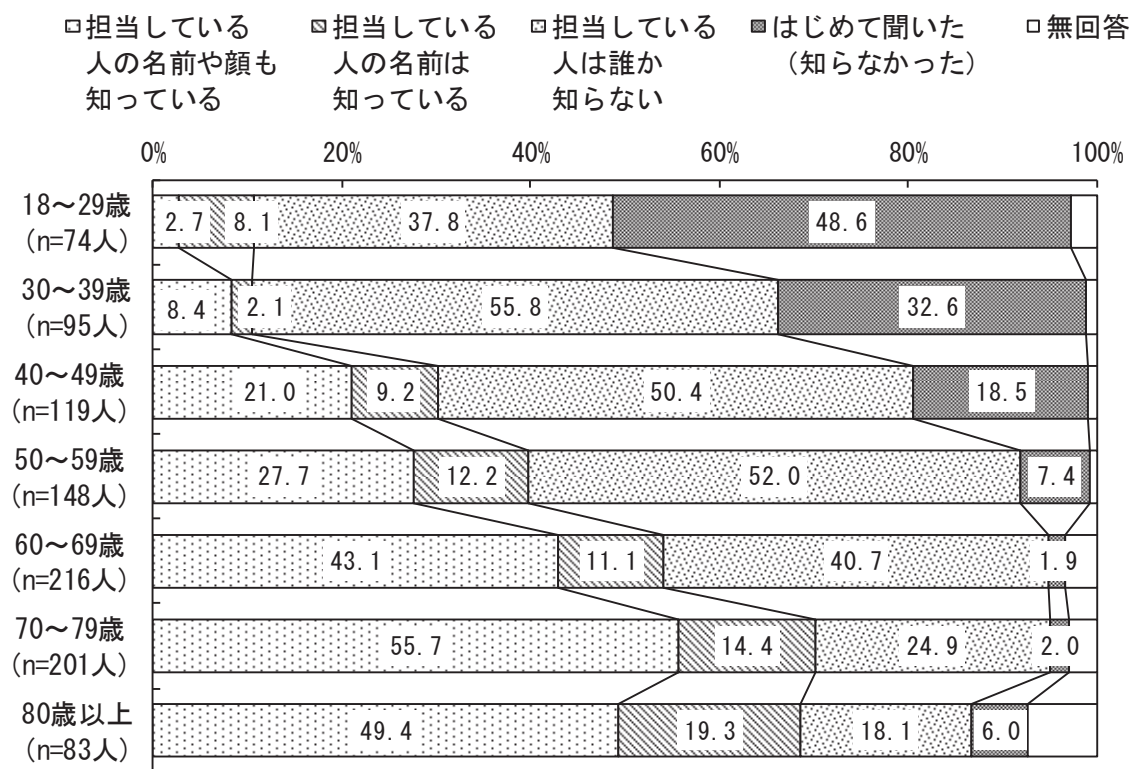
その一方で、「担当している人は誰か知らない」が39.5%で高い。

図 『民生委員・児童委員』の認知度



【年齢別】

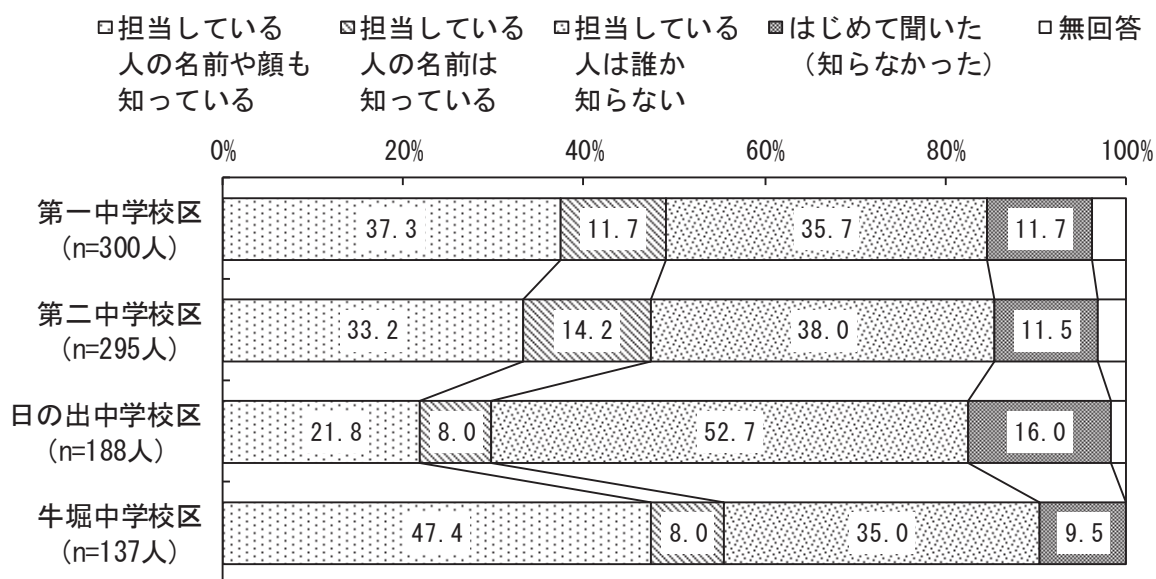
『民生委員・児童委員』の認知度を年齢別にみると、年齢層が上がるほど認知度も高くなる。「担当している人の名前や顔も知っている」は、“70～79歳”が55.7%で高い。



注) 無回答値は省略

【地区別】

地区別にみると、“日の出中学校区”は民生委員の認知度が、他の地区よりも低い。



注) 無回答値は省略

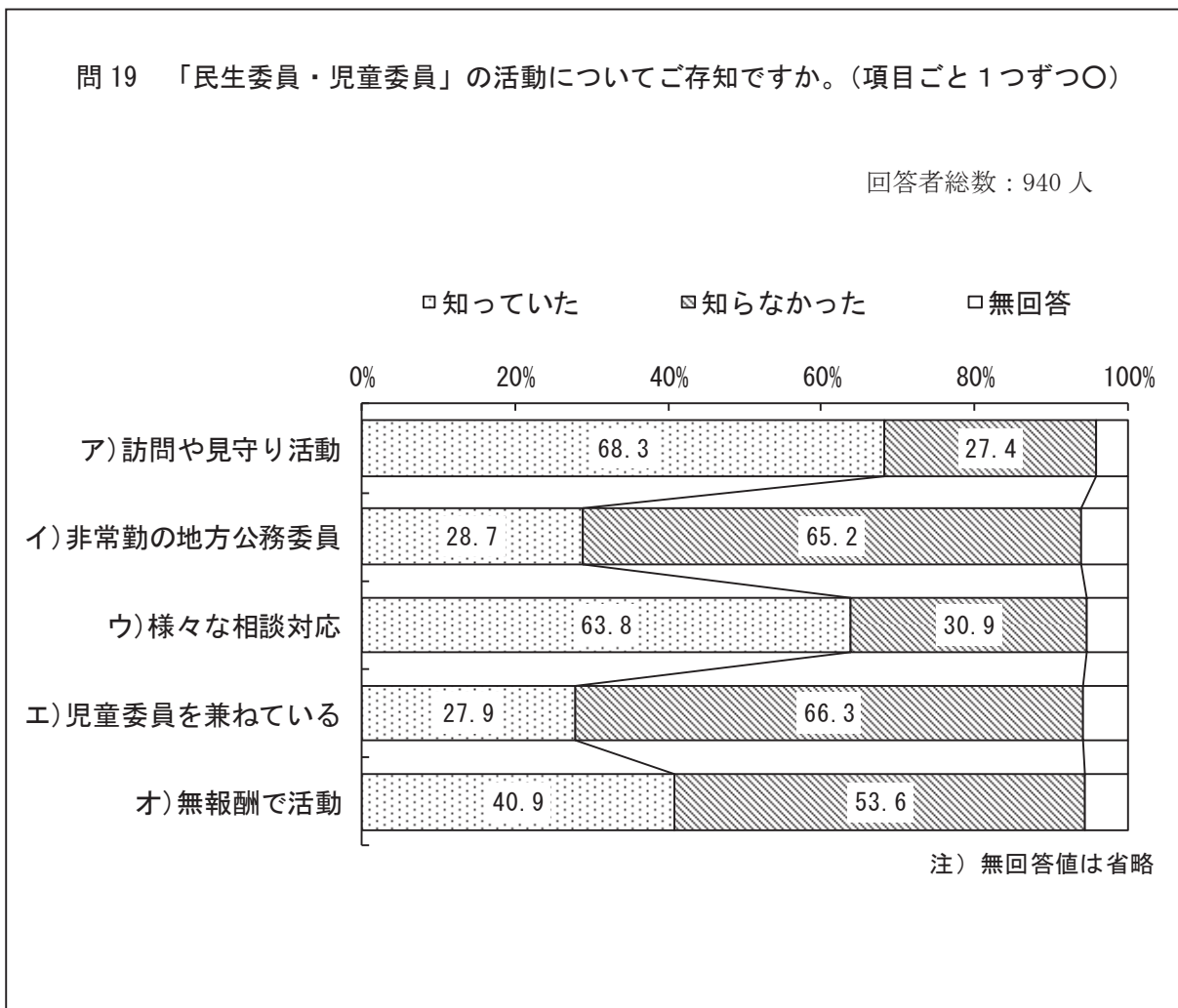
1-3-2 『民生委員・児童委員』活動の理解

『訪問や見守り活動』を行っていることを「知っていた」が68.3%。

『民生委員・児童委員』活動の内容を知っているかたずねたところ、「知っていた」との回答は『ア) 訪問や見守り活動』が68.3%、『ウ) 様々な相談対応』が63.8%で比較的高い。

その一方で、『イ) 非常勤の地方公務員』のことを「知っていた」が28.7%、『エ) 児童委員を兼ねている』が27.9%で低い。

図 『民生委員・児童委員』活動の理解



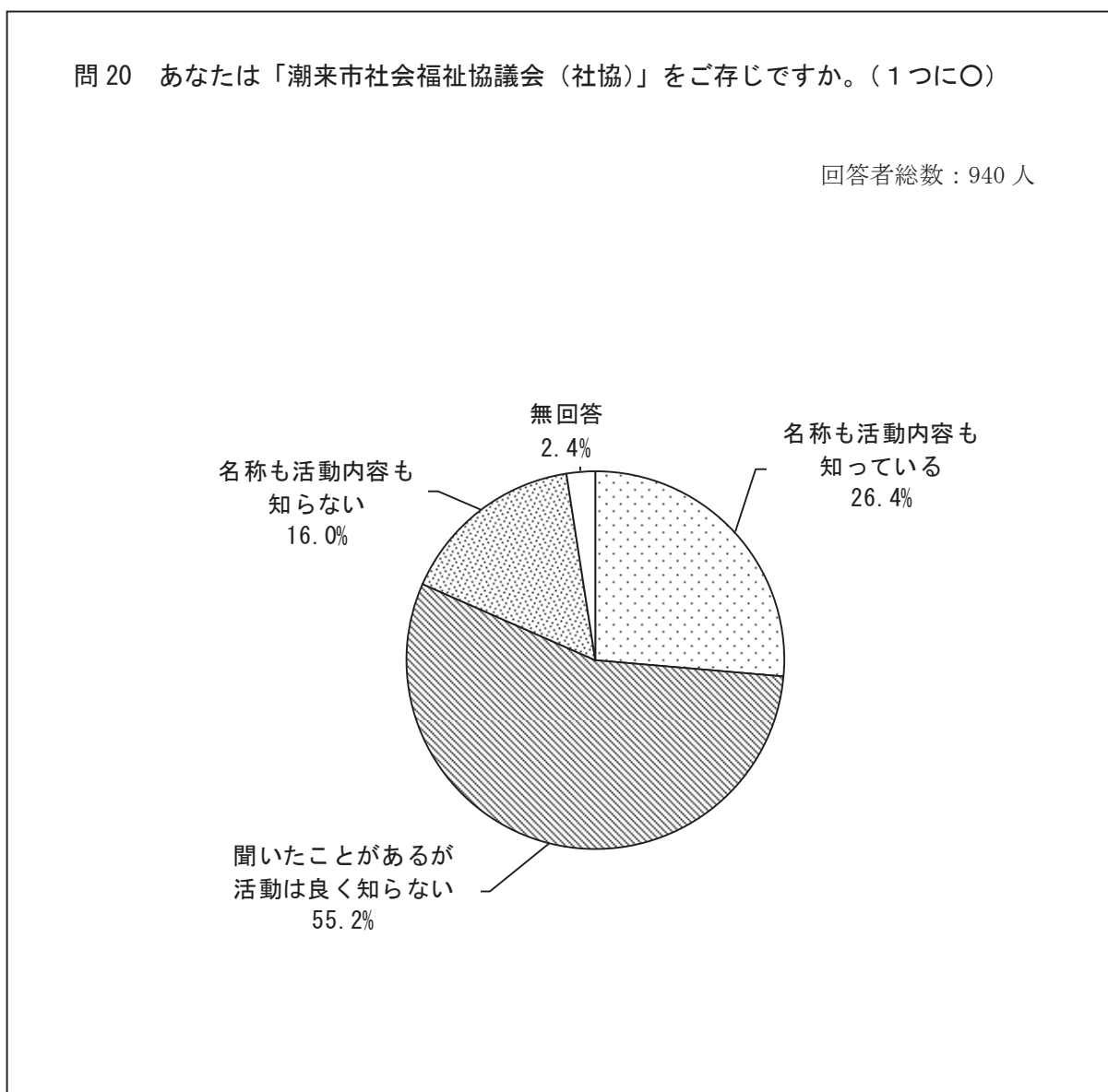
1-3-3 『社会福祉協議会（社協）』の認知度

「聞いたことがあるが活動は良く知らない」が55.2%。

『潮来市社会福祉協議会（社協）』の認知度は、「聞いたことがあるが活動は良く知らない」が55.2%で高い。また、「名称も活動内容も知っている」が26.4%である。

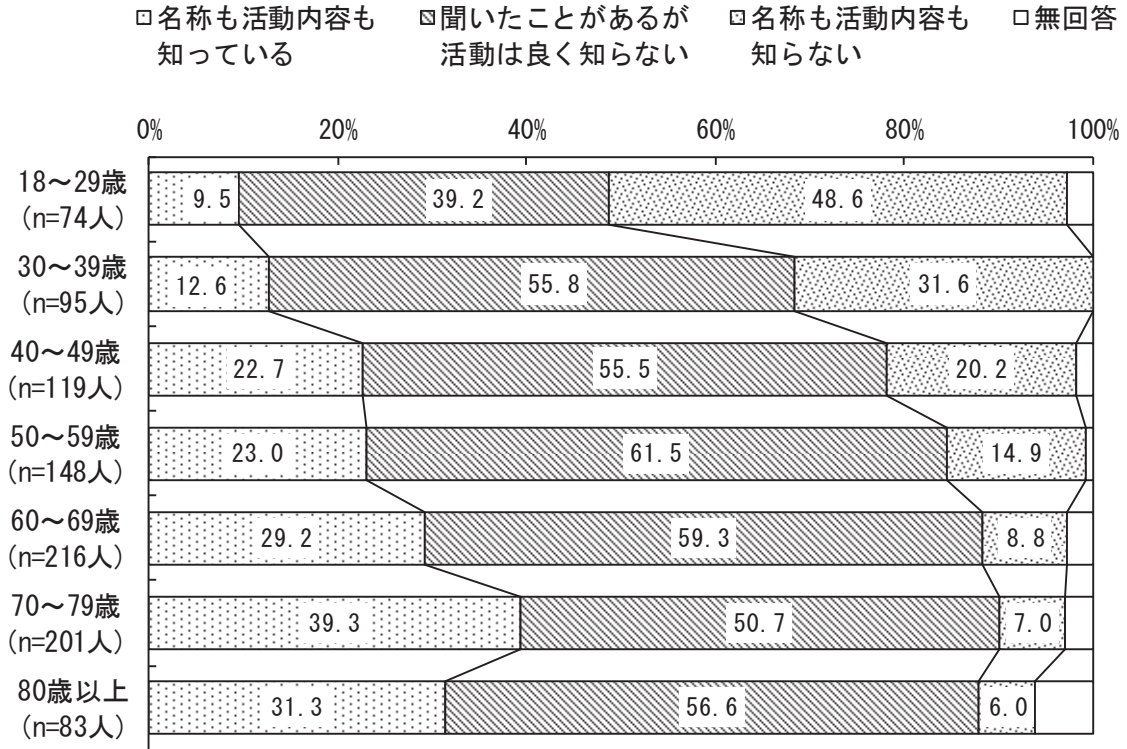
その一方で、「名前も活動内容も知らない」が16.0%を占める。

図 『社会福祉協議会（社協）』の認知度



【年齢別】

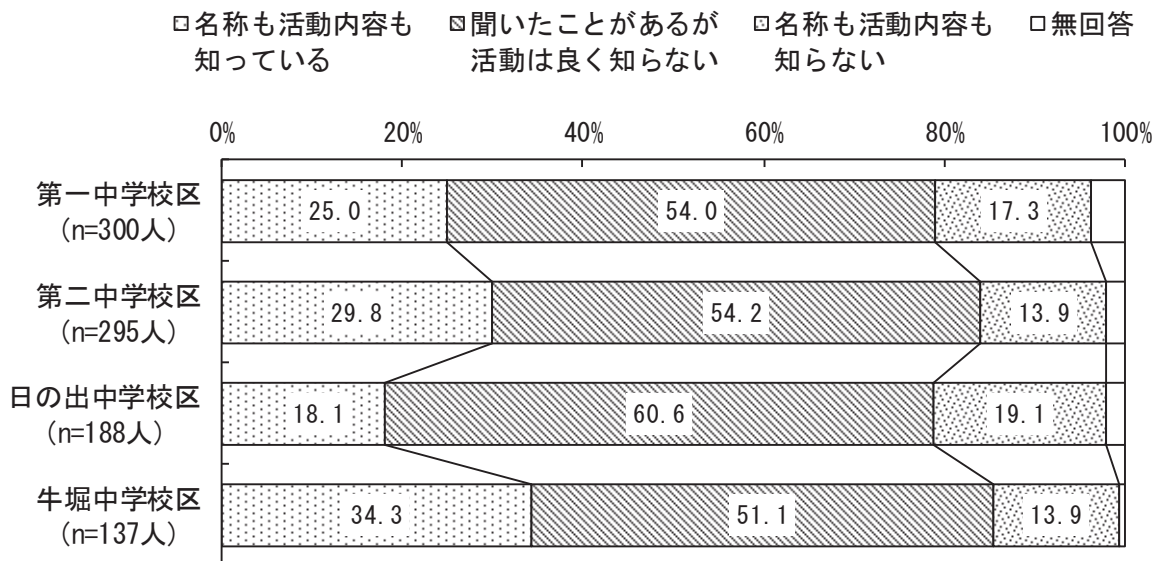
『潮来市社会福祉協議会（社協）』の認知度を年齢別にみると、全体として年齢層が上がるほど認知度も高い。特に“70～79歳”は「名称も活動内容も知っている」が39.3%で高い。



注) 無回答値は省略

【地区別】

地区別にみると、“日の出中学校区”の認知度が他の地区よりも低い。



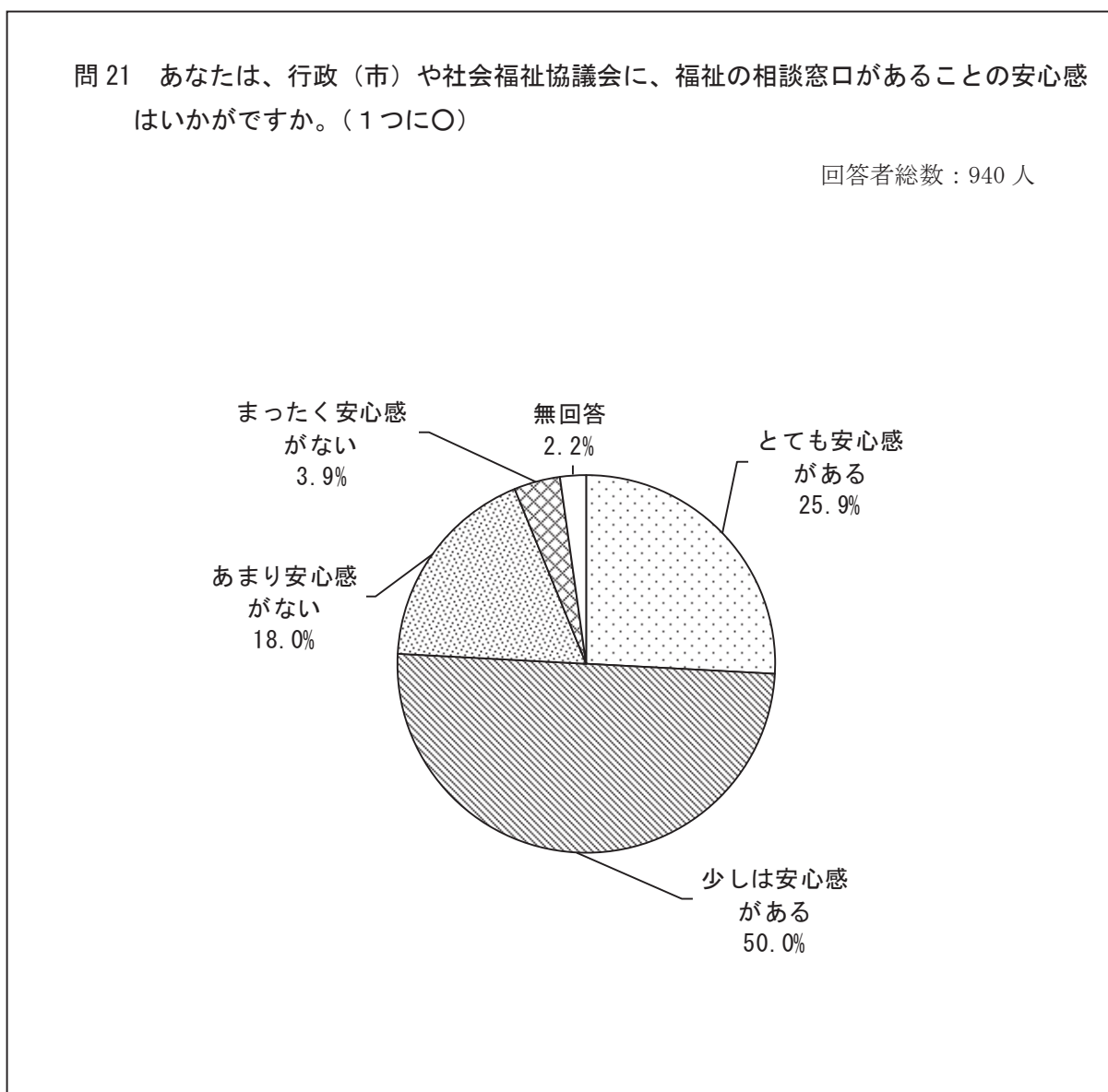
注) 無回答値は省略

1-3-4 福祉の相談窓口がある安心感

「とても安心感がある」と「少しは安心感がある」を合わせて75.9%。

行政（市）や社会福祉協議会に、福祉の相談窓口があることの安心感は、「とても安心感がある」が25.9%、「少しは安心感がある」が50.0%で、合わせると“安心感がある”が75.9%である。

図 福祉の相談窓口がある安心感



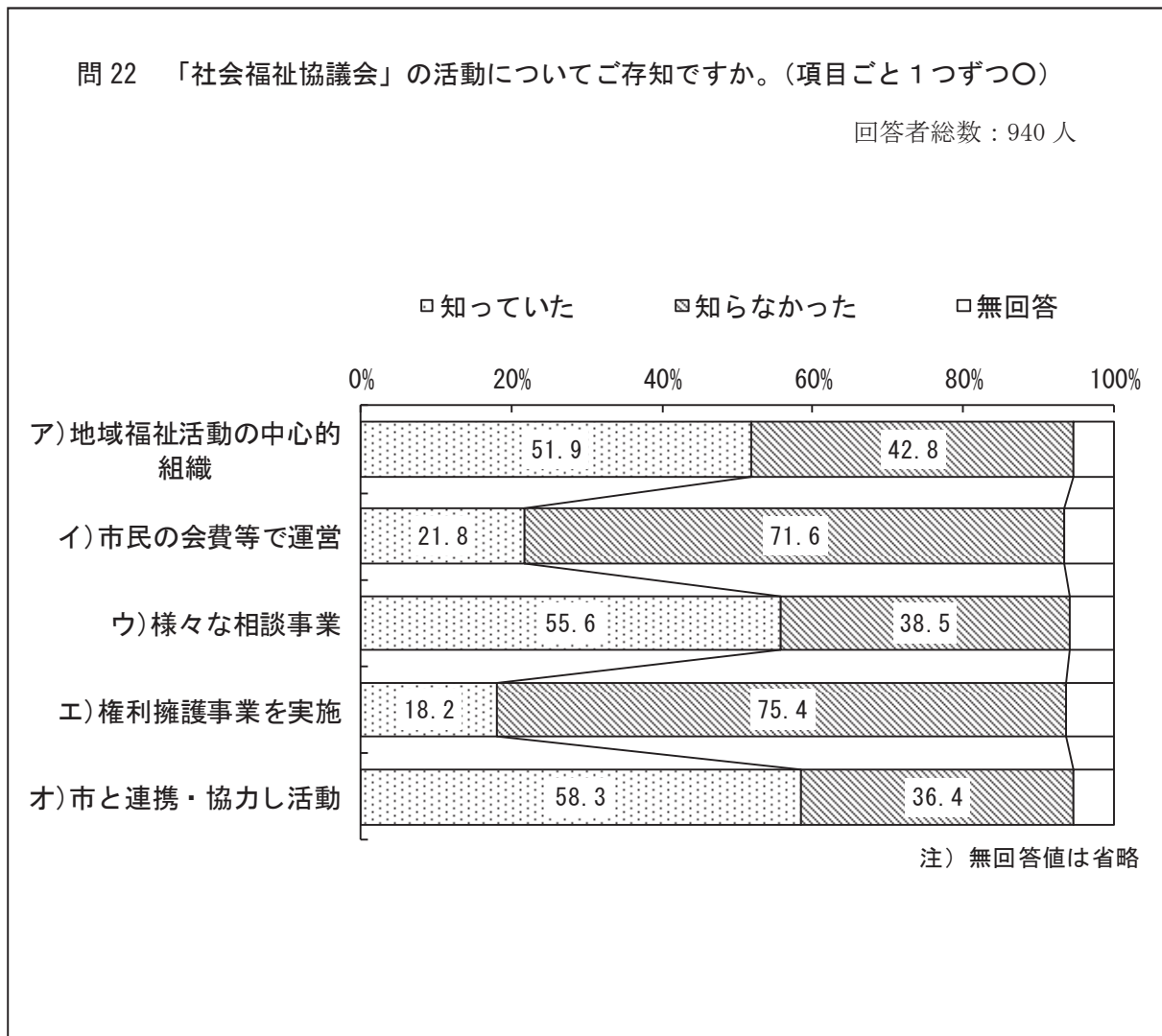
1-3-5 『社会福祉協議会』活動の理解

『イ) 市民の会費等で運営』と『エ) 権利擁護事業を実施』は、「知らなかった」が約2割に止まる。

『社会福祉協議会』活動の内容を知っているかたずねたところ、「知っていた」との回答は『ア) 地域福祉活動の中心的組織』が51.9%、『ウ) 様々な相談事業』が55.6%、『オ) 市と連携・協力し活動』が58.3%である。

その一方で、『イ) 市民の会費等で運営』を「知っていた」が21.8%、『エ) 権利擁護事業を実施』が18.2%である。

図 『社会福祉協議会』活動の理解

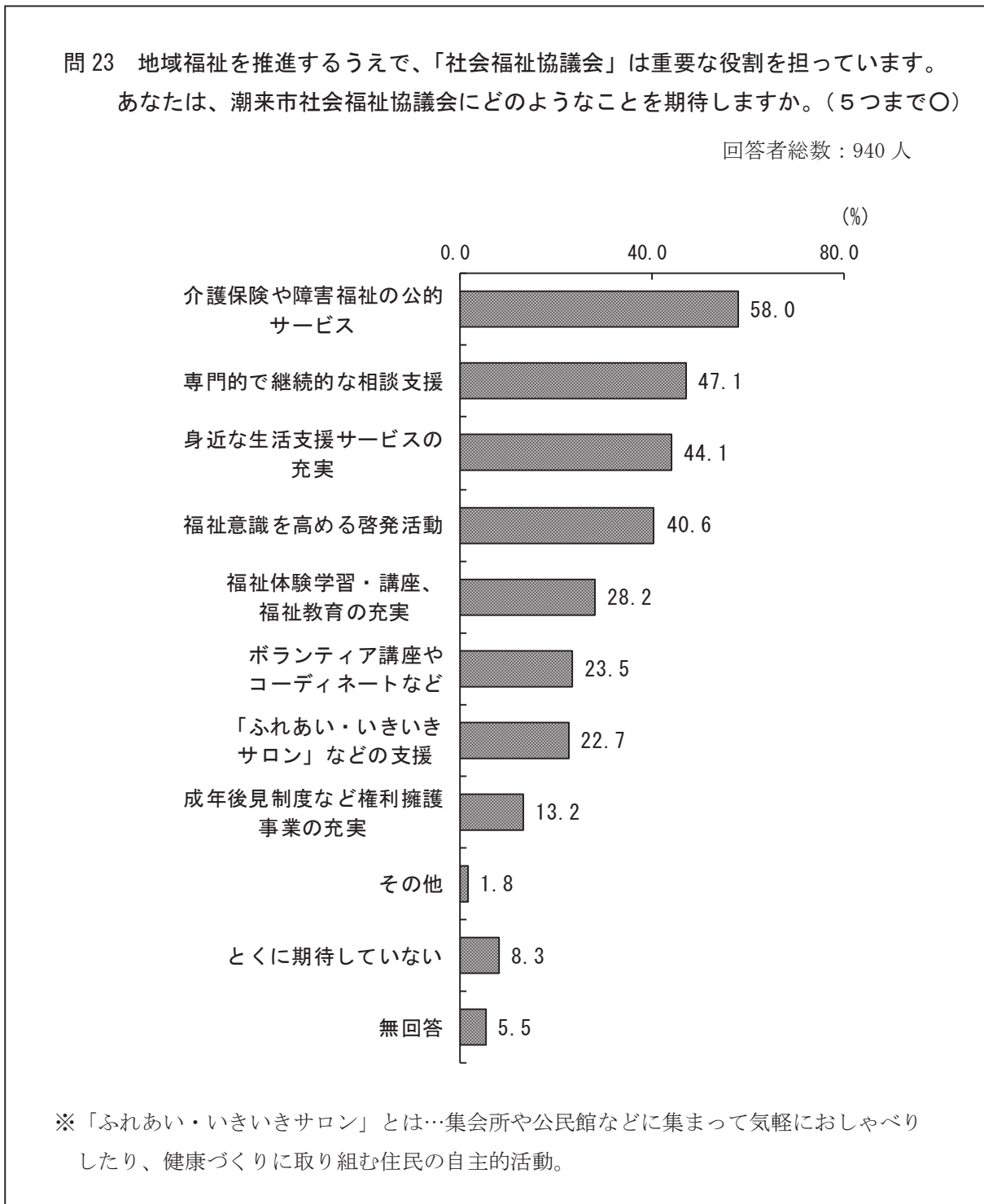


1-3-6 『社会福祉協議会』への期待

「介護保険や障害福祉の公的サービス」や「専門的で継続的な相談支援」が高い。

『潮来市社会福祉協議会』への期待をたずねたところ、「介護保険や障害福祉の公的サービス」が 58.0%で最も高い。次に「専門的で継続的な相談支援」が 47.1%、「身近な生活支援サービスの充実」が 44.1%で続く。

図 『社会福祉協議会』への期待



第4節 安心して暮らせる福祉のまちづくりについて

1-4-1 地域の治安

「あまり変わらないと思う」が77.7%で高い。

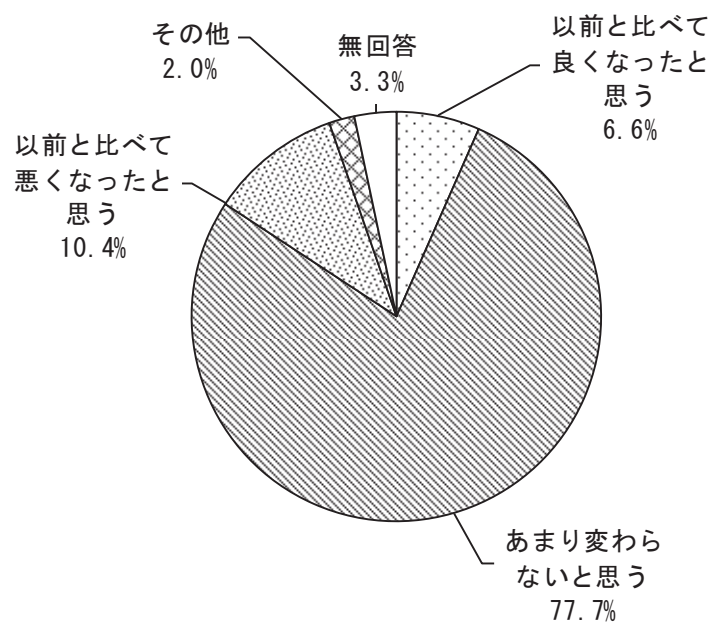
住んでいる地域の治安については、「あまり変わらないと思う」が77.7%で高い。また、「以前と比べて良くなったと思う」は6.6%である。

その一方で、「以前と比べて悪くなったと思う」が10.4%である。

図 地域の治安

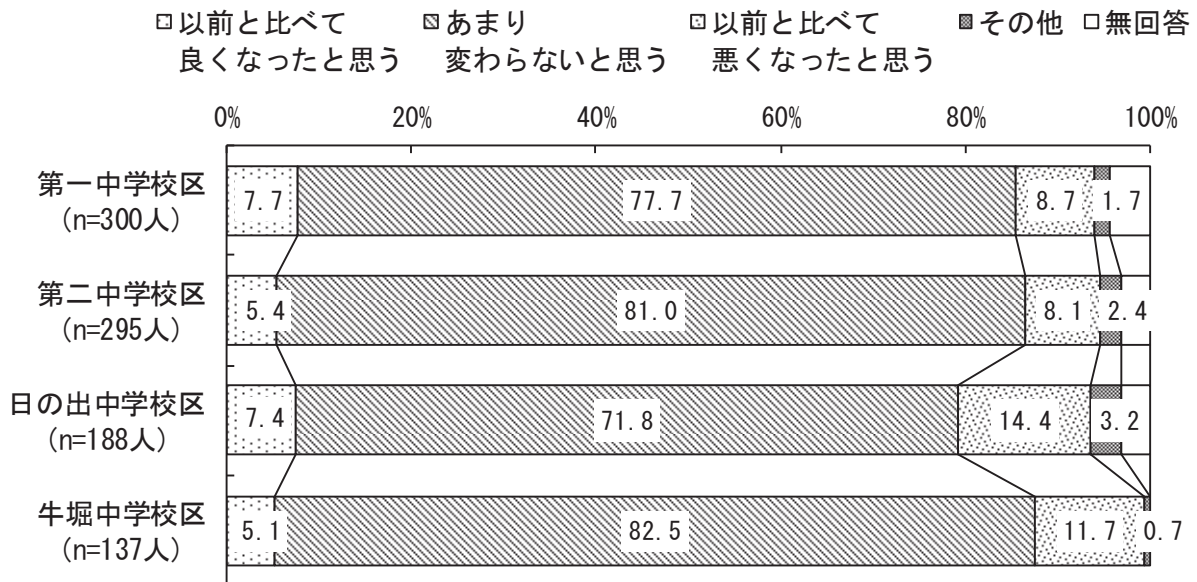
問24 あなたが住んでいる地域の治安について、どのように感じていますか。
(1つに○)

回答者総数：940人



【地区別】

住んでいる地域の治安について地区別にみると、“日の出中学校区”は「以前と比べて悪くなった」が14.4%で他地区と比べてやや高い。



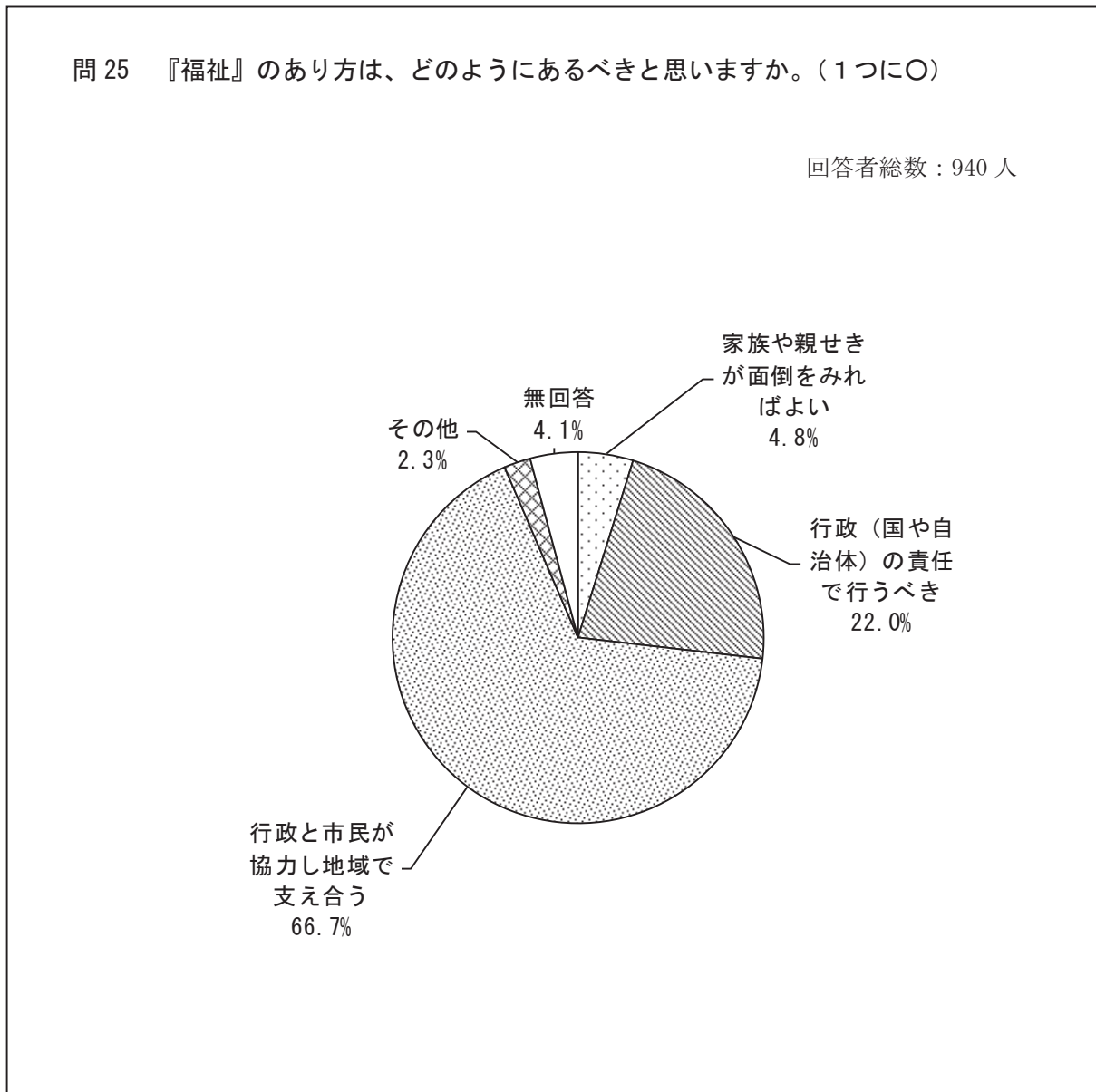
注) 無回答値は省略

1-4-2 『福祉』の考え方

「行政と市民が協力し地域で支え合う」が66.7%で高い。

『福祉』についての考え方は、「行政と市民が協力し地域で支え合う」が66.7%で高い。また、「行政（国や自治体）の責任で行うべき」は22.0%である。

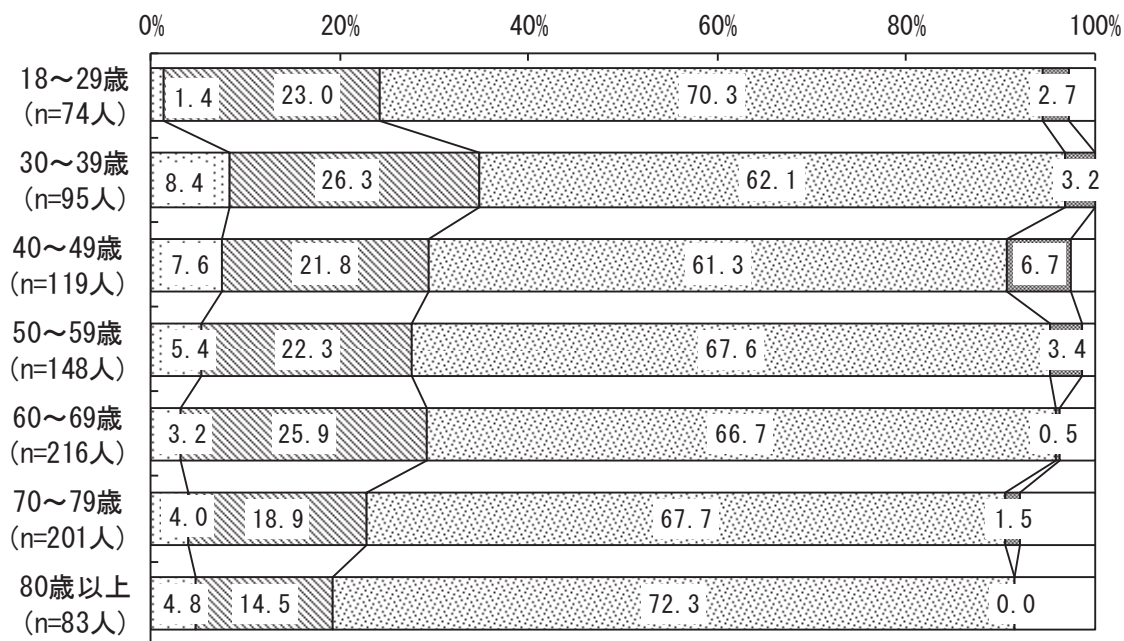
図 『福祉』の考え方



【年齢別】

『福祉』についての考え方を年齢別でみると、「家族や親せきが面倒をみればよい」と「行政（国や自治体）の責任で行うべき」とも“30～39歳”が他の年代と比べてやや高い。

□家族や親せきが面倒をみればよい □行政（国や自治体）の責任で行うべき □行政と市民が協力し地域で支え合う ■その他 □無回答



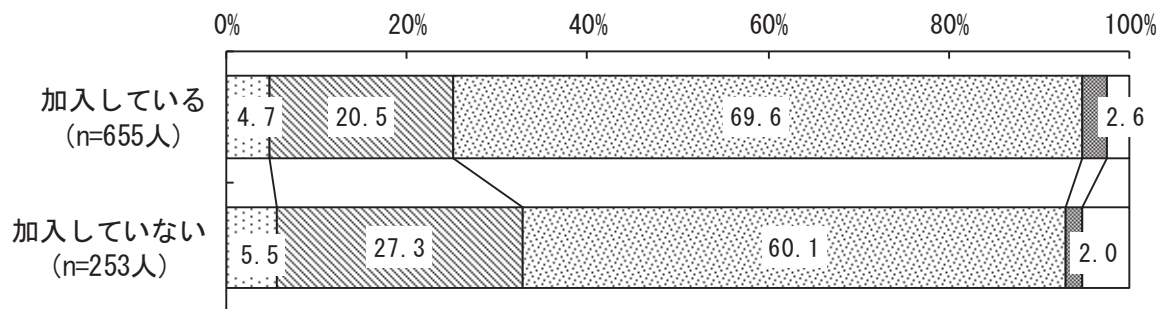
注) 無回答値は省略

【自治会加入者別】

自治会加入者別にみると、「行政と市民が協力し地域で支え合う」は、“加入している”人は69.6%で高い。

その一方で、「行政（国や自治体）の責任で行うべき」は、“加入していない”人が27.3%で高い。

□家族や親せきが面倒をみればよい □行政（国や自治体）の責任で行うべき □行政と市民が協力し地域で支え合う ■その他 □無回答



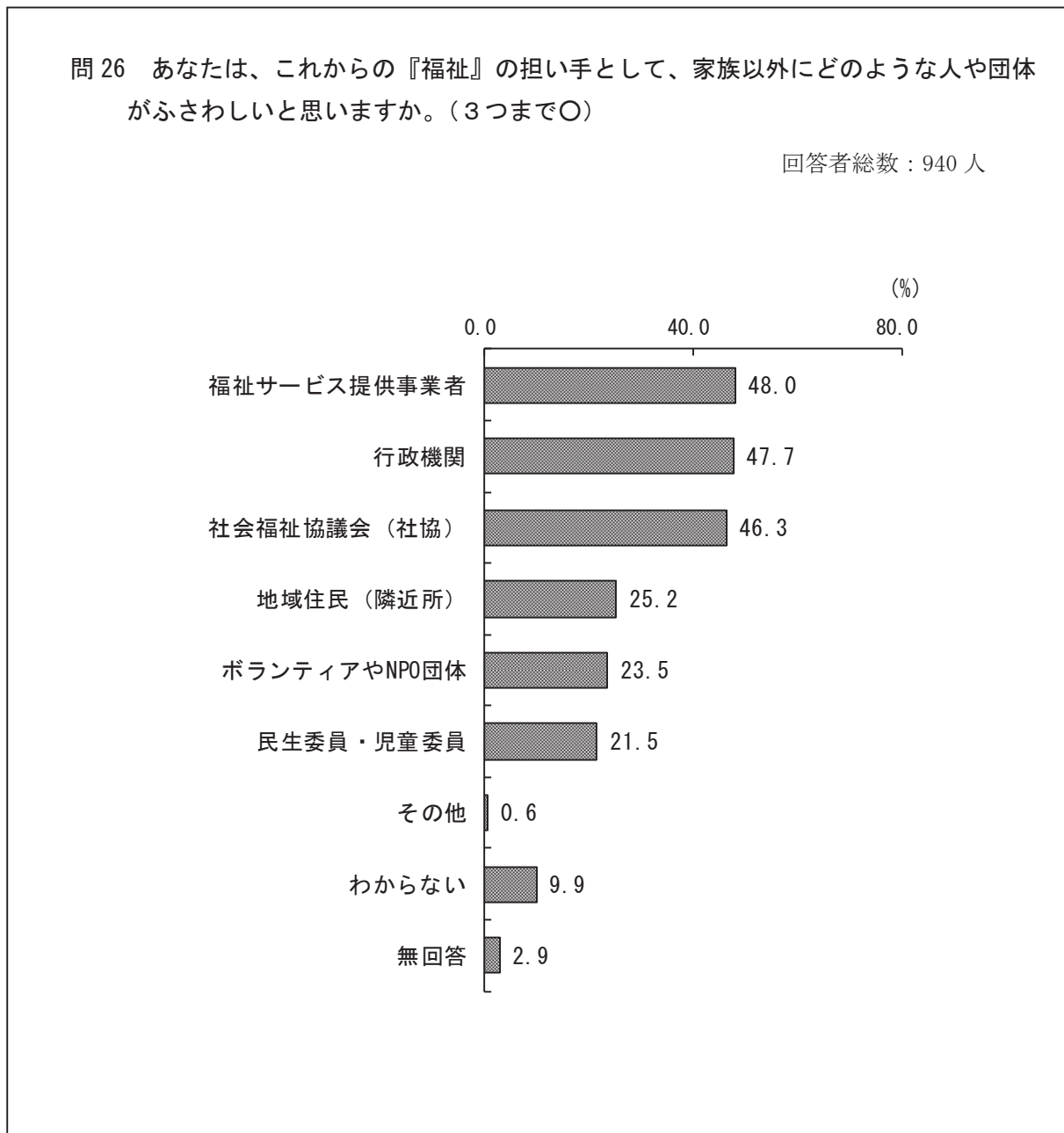
注) 無回答値は省略

1-4-3 『福祉』の担い手

「福祉サービス提供事業者」「行政機関」「社会福祉協議会（社協）」が高い。

これからの『福祉』の担い手として、家族以外にどのような人や団体がふさわしいと思うかは、「福祉サービス提供事業者」が48.0%、「行政機関」が47.7%、「社会福祉協議会（社協）」が46.3%で高い。

図 『福祉』の担い手

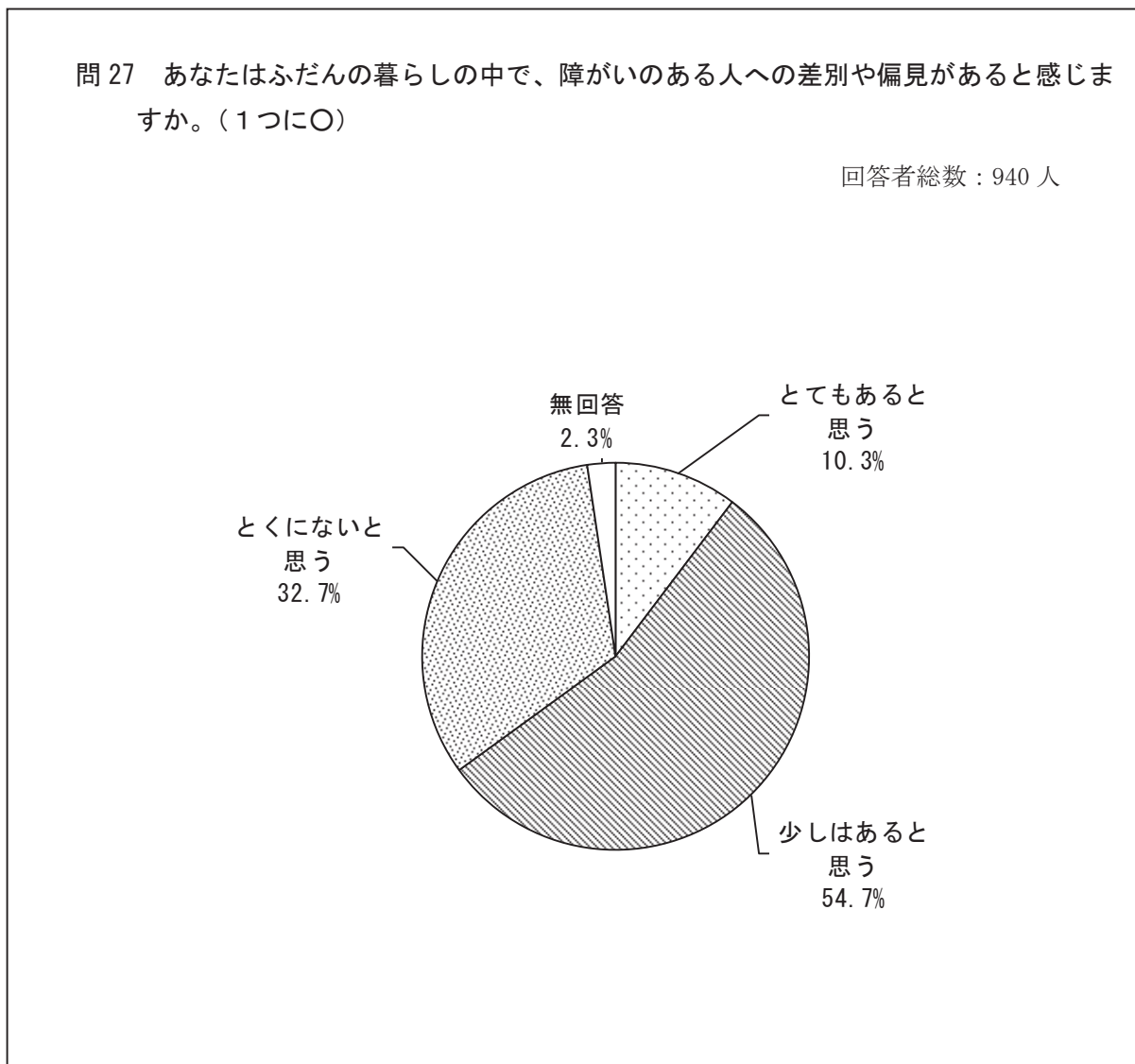


1-4-4 障がいのある人への差別や偏見

「とてもあると思う」と「少しはあると思う」を合わせると 65.0%。

障がいのある人への差別や偏見については、「とてもあると思う」が 10.3%、「少しはあると思う」が 54.7%で合わせると、“差別や偏見があると思う”が 65.0%を占める。

図 障がいのある人への差別や偏見



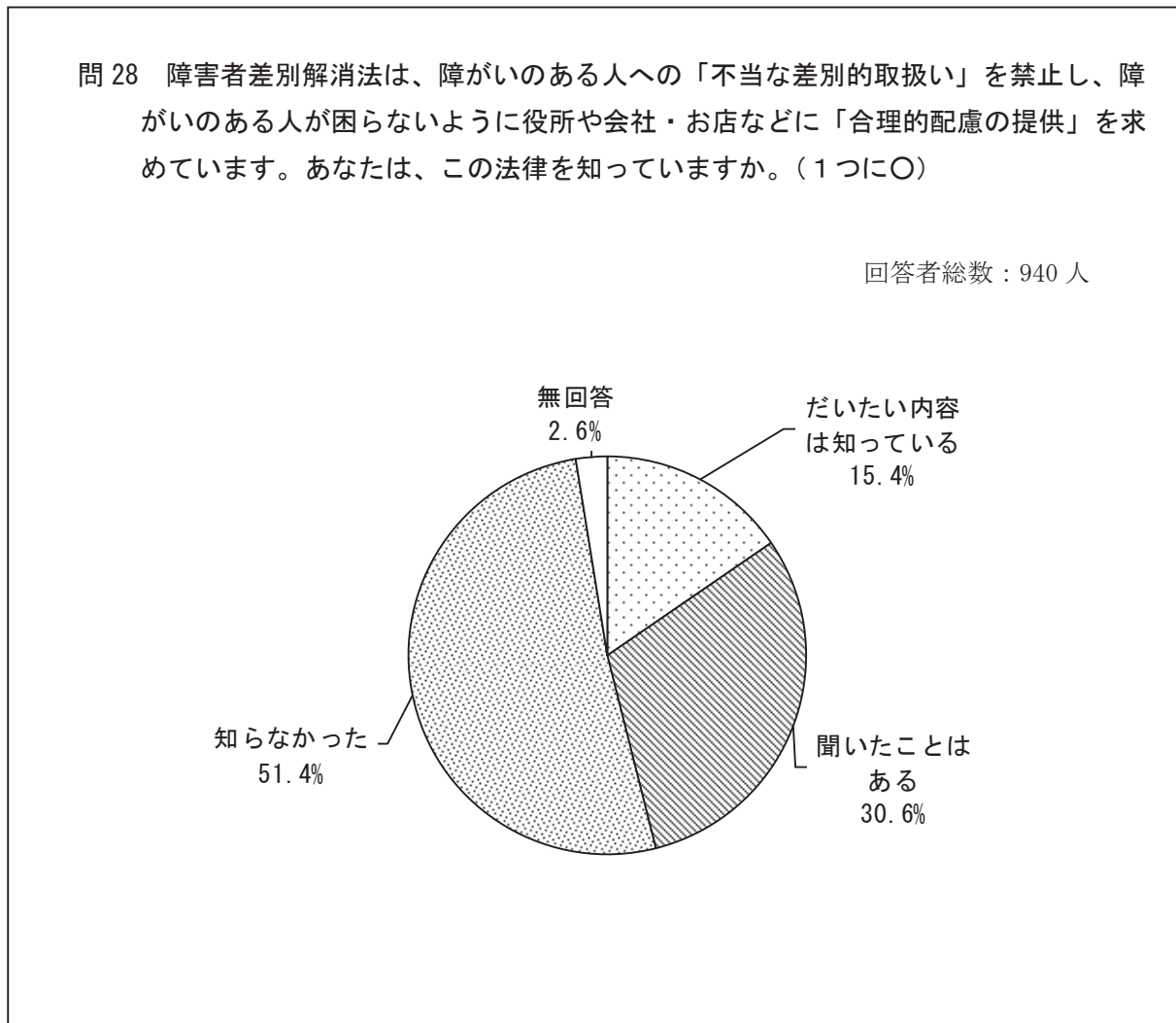
1-4-5 「障害者差別解消法」の認知度

「聞いたことはある」を含め、認知度は46.0%。

障害者差別解消法の認知度は、「だいたい内容は知っている」が15.4%である。また、「聞いたことはある」が30.6%である。

その一方で、「知らなかった」が51.4%を占める。

図 「障害者差別解消法」の認知度



『障害者差別解消法』とは

役所や会社、お店などの事業者が、障がいのある人に対して、正当な理由なく、障がいを理由として差別することを禁止しています（不当な差別的取り扱いの禁止）。

また、障がいのある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応することを求めています（合理的配慮の提供）。

「内閣府リーフレットより」

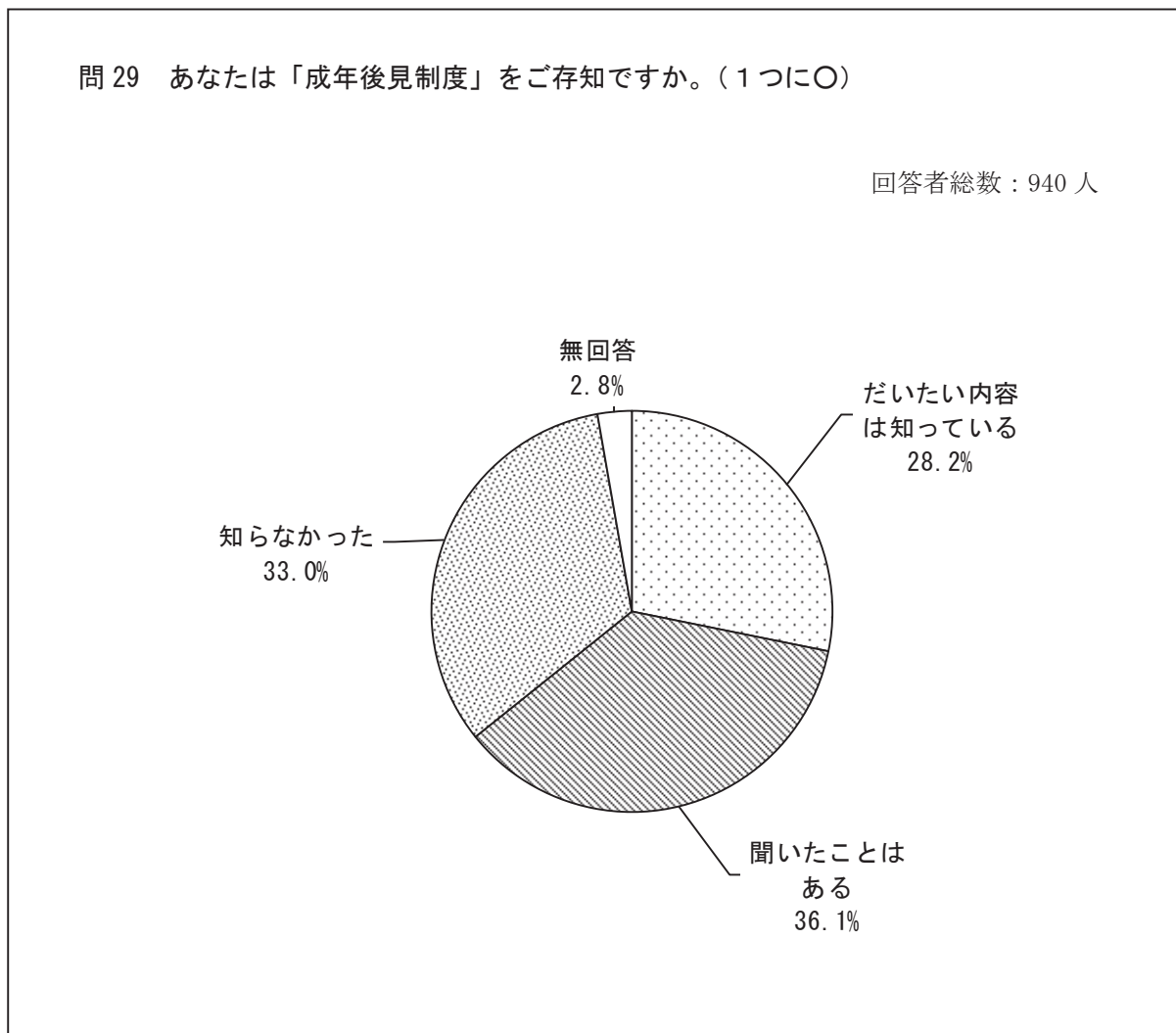
1-4-6 「成年後見制度」の認知度

「聞いたことはある」を含め、認知度は 64.3%。

成年後見制度の認知度は、「だいたい内容は知っている」が 28.2%である。また、「聞いたことはある」が 36.1%である。

その一方で、「知らなかった」は 33.0%である。

図 「成年後見制度」の認知度



『成年後見制度』とは

認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力が不十分の方々を保護し、支援する制度です。家庭裁判所によって選ばれた成年後見人等が本人の利益を考えながら、判断能力の程度など本人の事情に応じて財産を管理したり、身のまわりの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約を結ぶなど、本人を代理して保護・支援します。

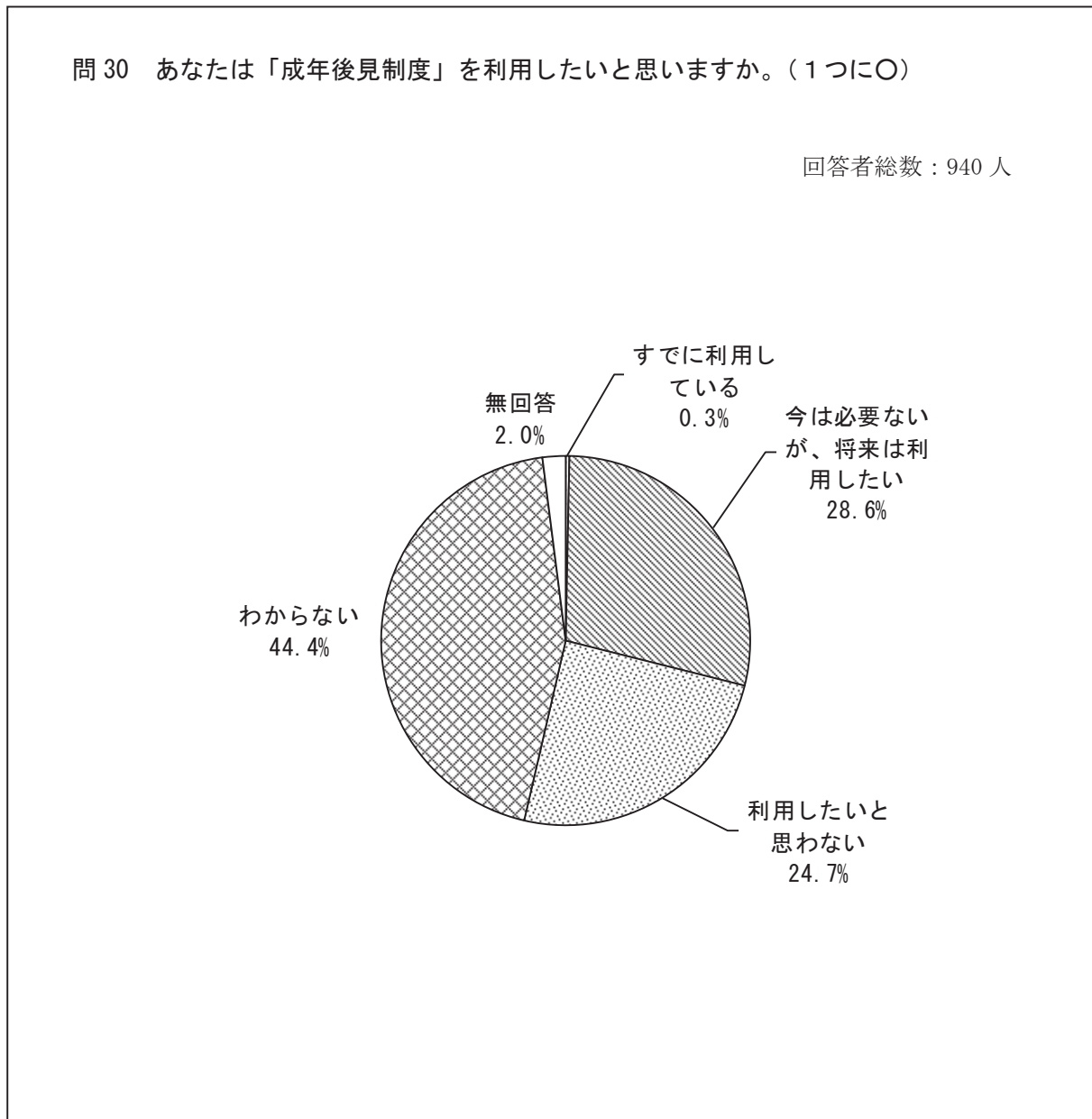
「法務省リーフレットより」

1-4-7 「成年後見制度」の利用意向

「今は必要ないが、将来は利用したい」が28.6%。

成年後見制度の利用意向は、「今は必要ないが、将来は利用したい」が28.6%である。また、「わからない」が44.4%で高い。

図 「成年後見制度」の利用意向

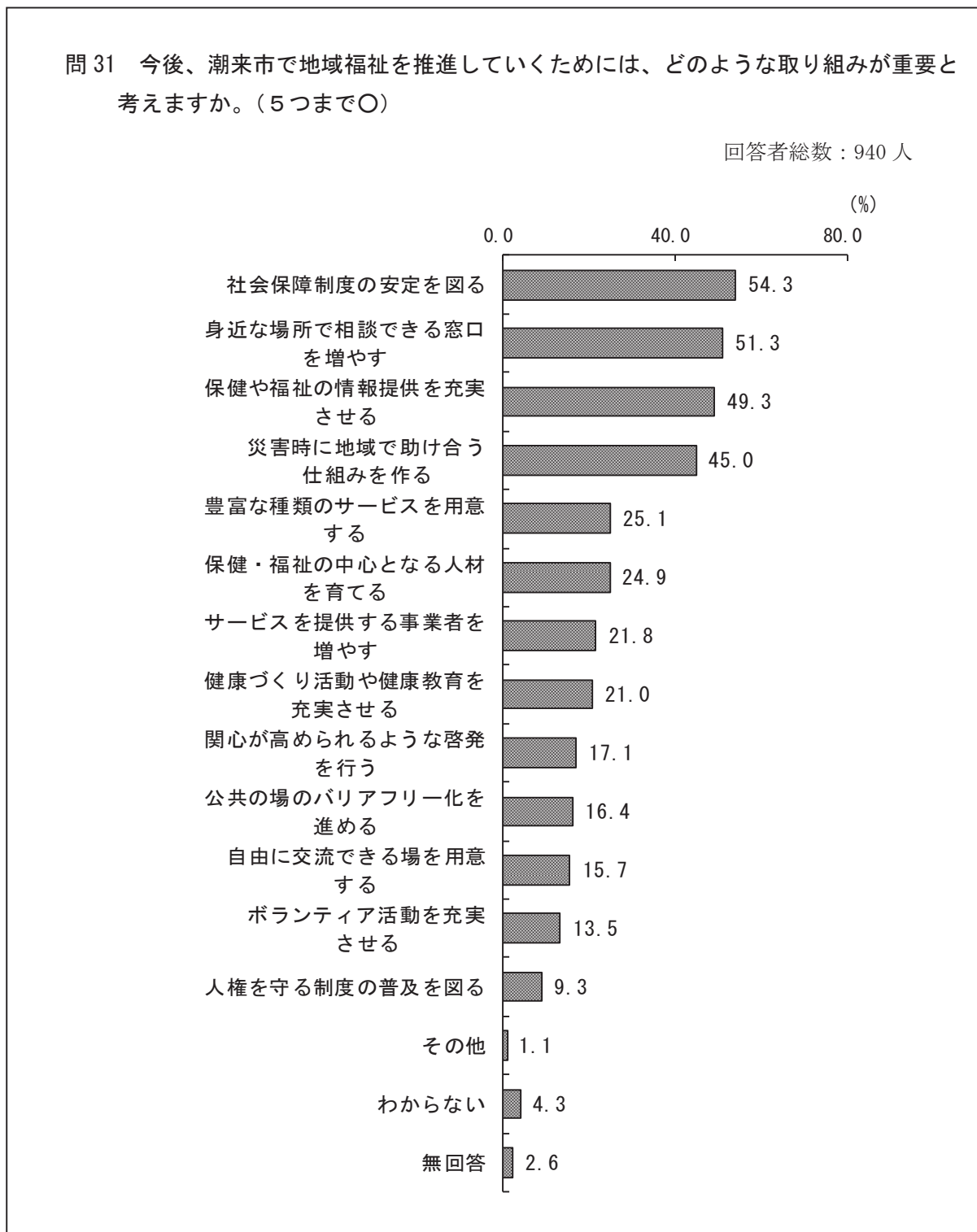


1-4-8 地域福祉の重点施策

「社会保障制度の安定を図る」や「身近な場所で相談できる窓口を増やす」が高い。

潮来市において、地域福祉を推進していくために重要な取り組みは、「社会保障制度の安定を図る」が54.3%で最も高い。次に「身近な場所で相談できる窓口を増やす」が51.3%、「保健や福祉の情報提供を充実させる」が49.3%で続く。

図 地域福祉の重点施策



【年齢別】（上位5位まで）

地域福祉を推進していくために重要なことを年齢別に比べてみると、“70～79 歳”や“80 歳以上”の方は、「身近な場所で相談できる窓口を増やす」が最も高い。

年齢によって、回答に若干のばらつきが見られる。

表 地域福祉の重点施策

	回答者総数	年齢別			
		18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳
回答者総数	940 (100.0)	74 (100.0)	95 (100.0)	119 (100.0)	148 (100.0)
社会保障制度の安定を図る	510 (54.3)	34 (45.9)	59 (62.1)	66 (55.5)	88 (59.5)
身近な場所で相談できる窓口を増やす	482 (51.3)	30 (40.5)	40 (42.1)	58 (48.7)	78 (52.7)
保健や福祉の情報提供を充実させる	463 (49.3)	27 (36.5)	44 (46.3)	52 (43.7)	78 (52.7)
災害時に地域で助け合う仕組みを作る	423 (45.0)	35 (47.3)	31 (32.6)	51 (42.9)	61 (41.2)
豊富な種類のサービスを用意する	236 (25.1)	17 (23.0)	24 (25.3)	38 (31.9)	40 (27.0)
		60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	
回答者総数		216 (100.0)	201 (100.0)	83 (100.0)	
社会保障制度の安定を図る		121 (56.0)	100 (49.8)	39 (47.0)	
身近な場所で相談できる窓口を増やす		115 (53.2)	111 (55.2)	49 (59.0)	
保健や福祉の情報提供を充実させる		111 (51.4)	104 (51.7)	46 (55.4)	
災害時に地域で助け合う仕組みを作る		93 (43.1)	105 (52.2)	44 (53.0)	
豊富な種類のサービスを用意する		65 (30.1)	32 (15.9)	19 (22.9)	

注) 年齢別「無回答」の4人を除く。

(裏白)

第2章 民生委員アンケート

(裏白)

第1節 民生委員活動について

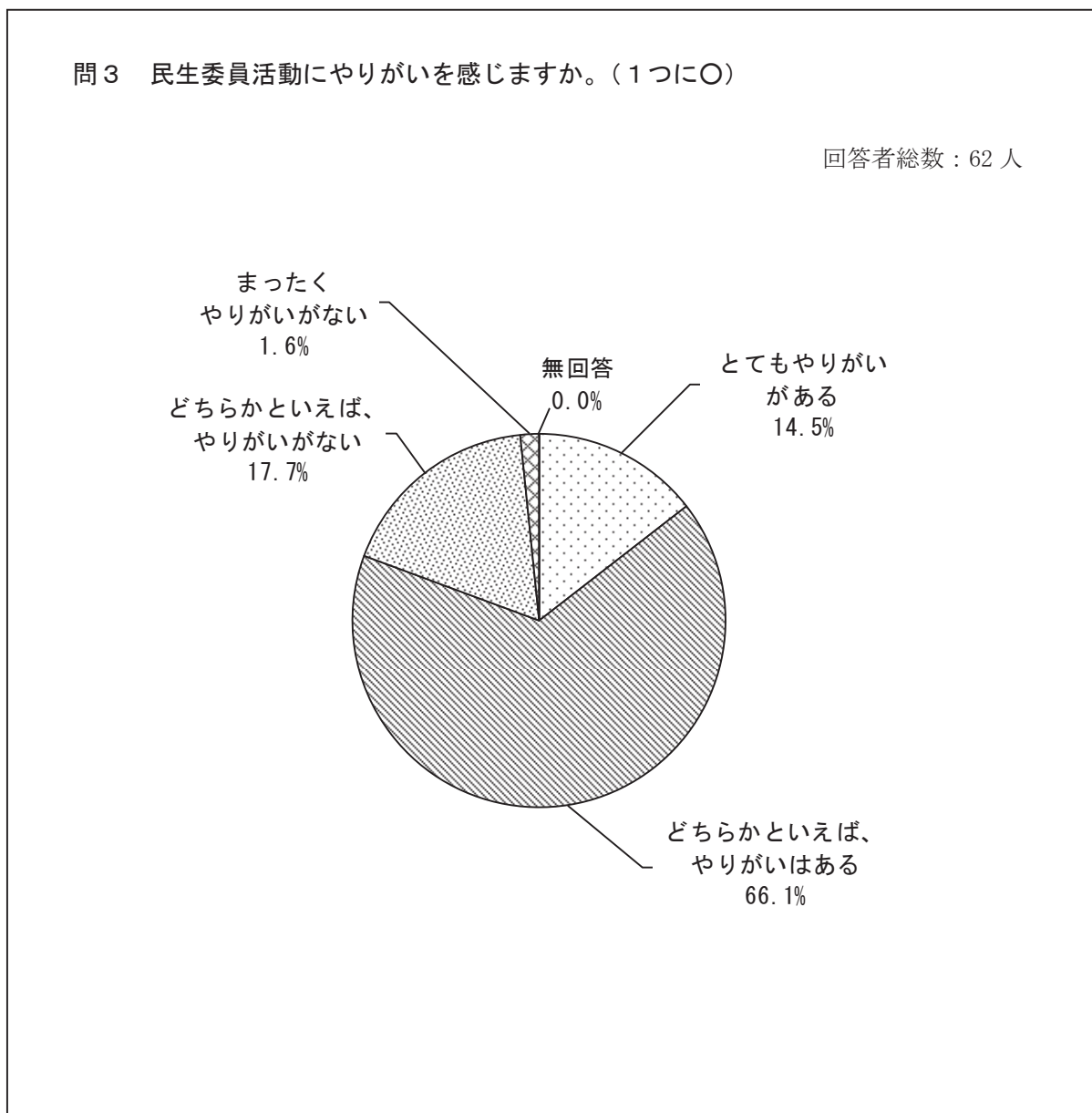
2-1-1 民生委員活動のやりがい

“やりがいがある”が80.6%。

民生委員活動のやりがいは、「とてもやりがいがある」が14.5%、「どちらかといえば、やりがいはある」が66.1%で合わせると“やりがいがある”が80.6%である。

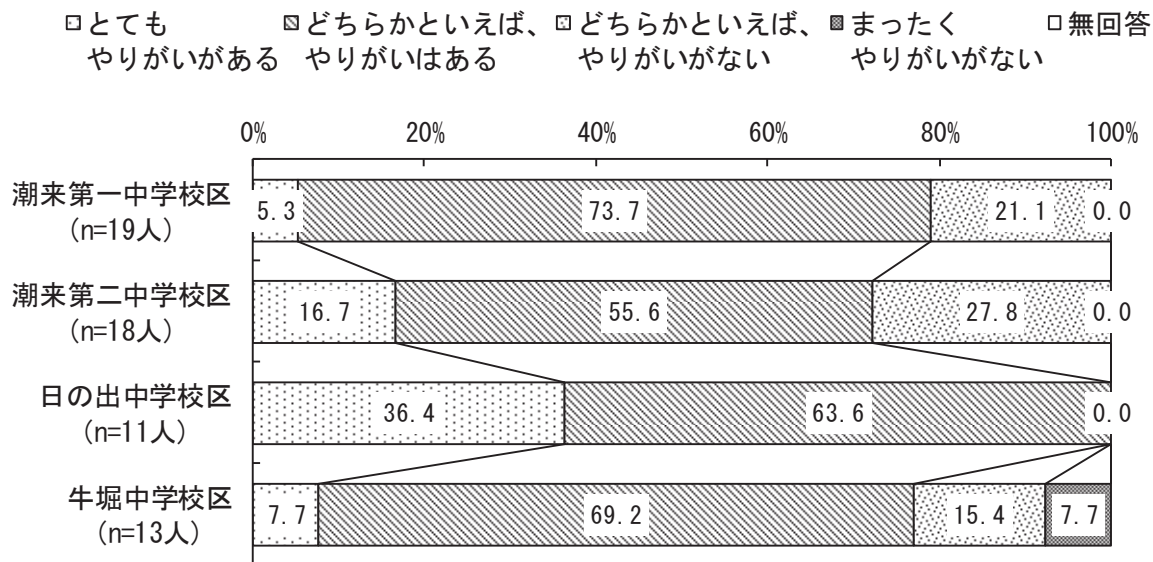
一方、「どちらかといえば、やりがいがない」が17.7%、「まったくやりがいがない」が1.6%で合わせると“やりがいがない”が19.3%である。

図 民生委員活動のやりがい



【担当地区別】

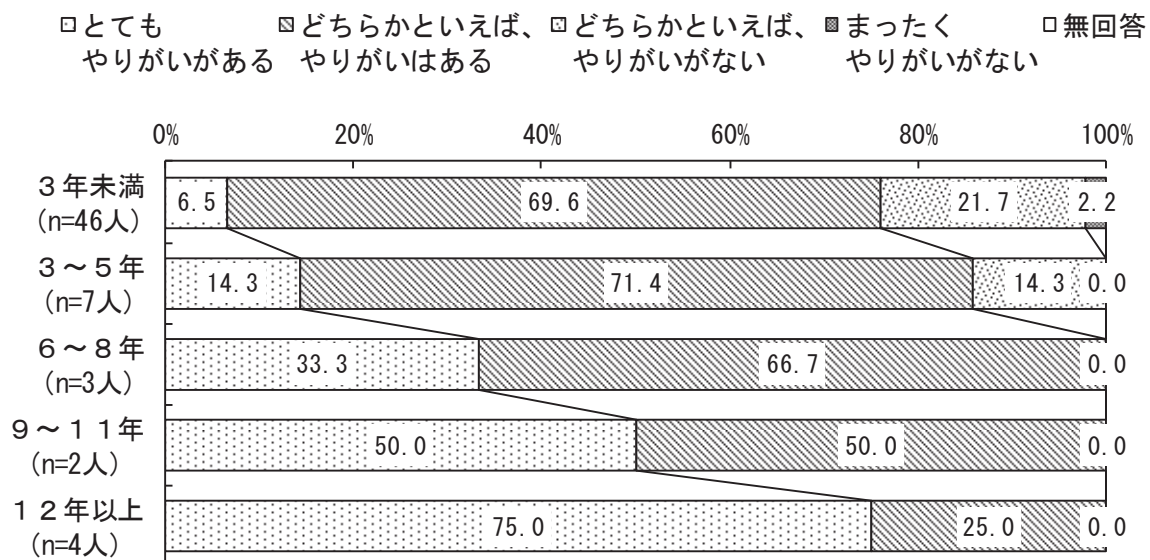
民生委員活動のやりがいを担当地区別にみると、“日の出中学校区”は「とてもやりがいがある」との回答が36.4%で高い。



注) 無回答値は省略

【経験年数別】

経験年数別にみると、経験年数が長い人ほど「とてもやりがいがある」との割合が高い。



注) 無回答値は省略

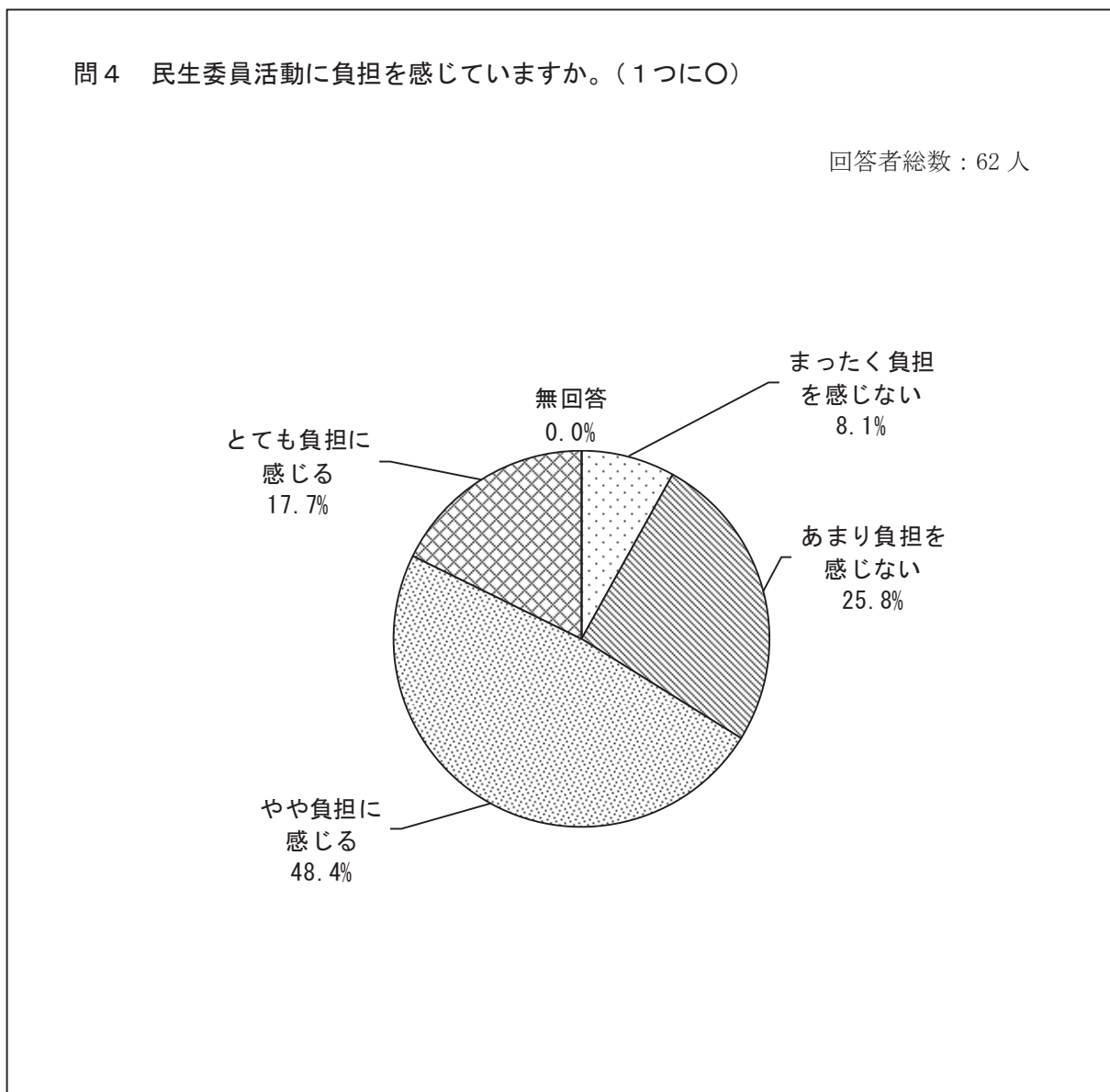
2-1-2 民生委員活動の負担感

“負担を感じない”が33.9%。その一方で“負担を感じる”が66.1%を占める。

民生委員活動の負担感は、「まったく負担を感じない」が8.1%、「あまり負担を感じない」が25.8%で合わせると“負担を感じない”が33.9%である。

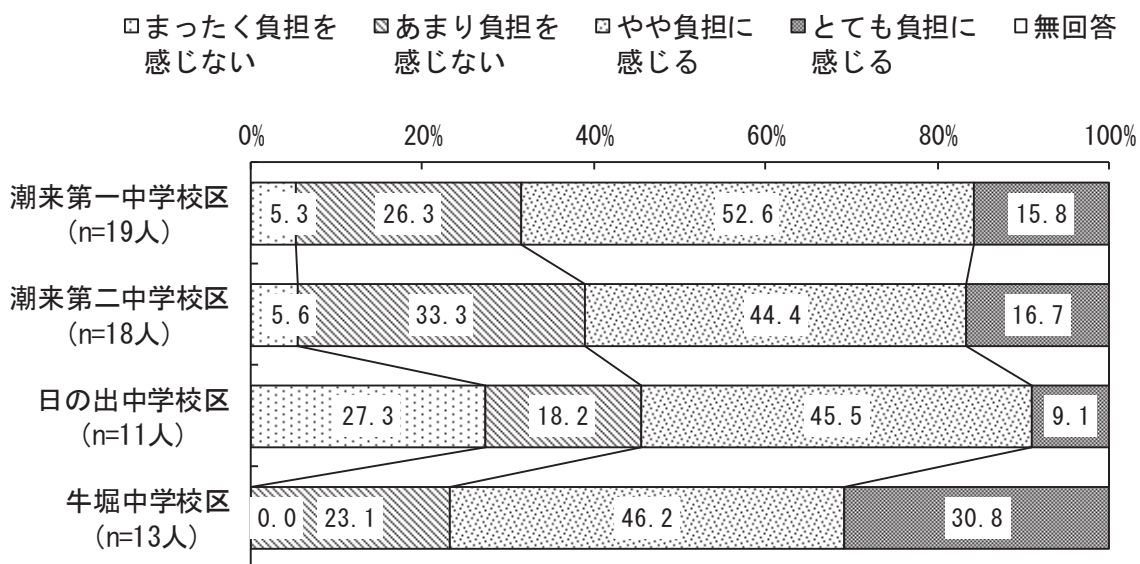
一方、「やや負担を感じる」が48.4%、「とても負担を感じる」が17.7%で合わせると“負担を感じる”が66.1%である。

図 民生委員活動の負担感



【担当地区別】

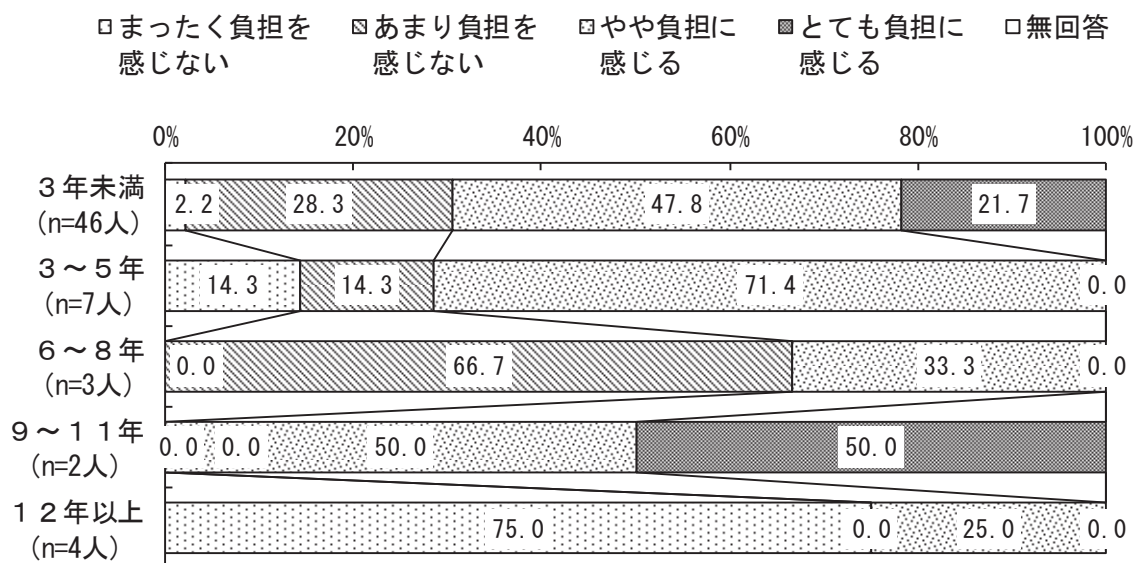
民生委員活動の負担感を担当地区別にみると、“牛堀中学校区”は「やや負担に感じる」と「とても負担に感じる」を合わせると77.0%で高い。



注) 無回答値は省略

【経験年数別】

経験年数別にみると、“3年未満”や“3～5年”未満の方は負担に感じる割合が比較的高い。



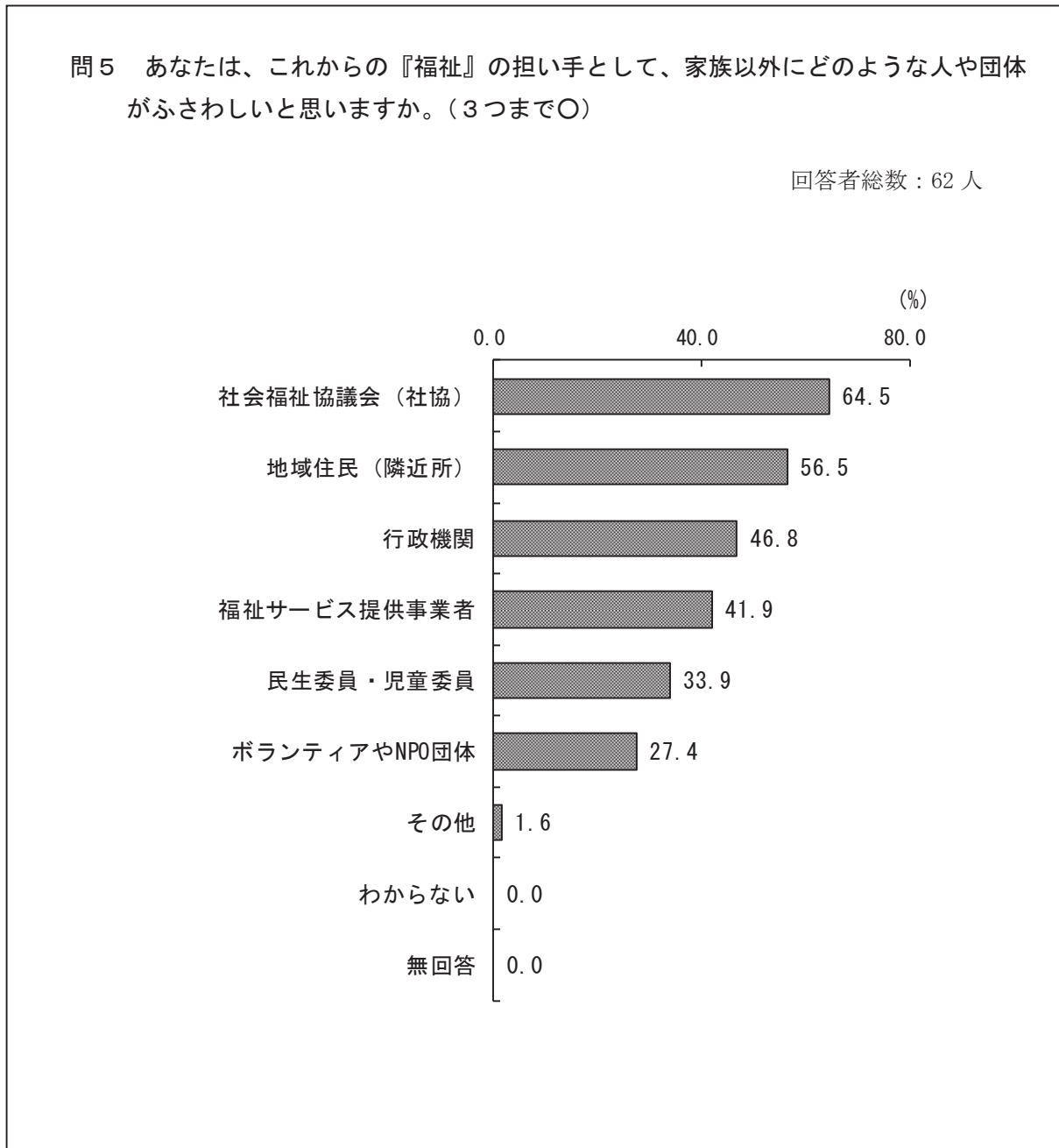
注) 無回答値は省略

2-1-3 『福祉』の担い手

「社会福祉協議会（社協）」が64.5%で最も高い。

これからの『福祉』の担い手として、ふさわしいと思う人や団体は、「社会福祉協議会（社協）」が64.5%で最も高い。次に「地域住民（隣近所）」が56.5%で続く。

図 『福祉の担い手』

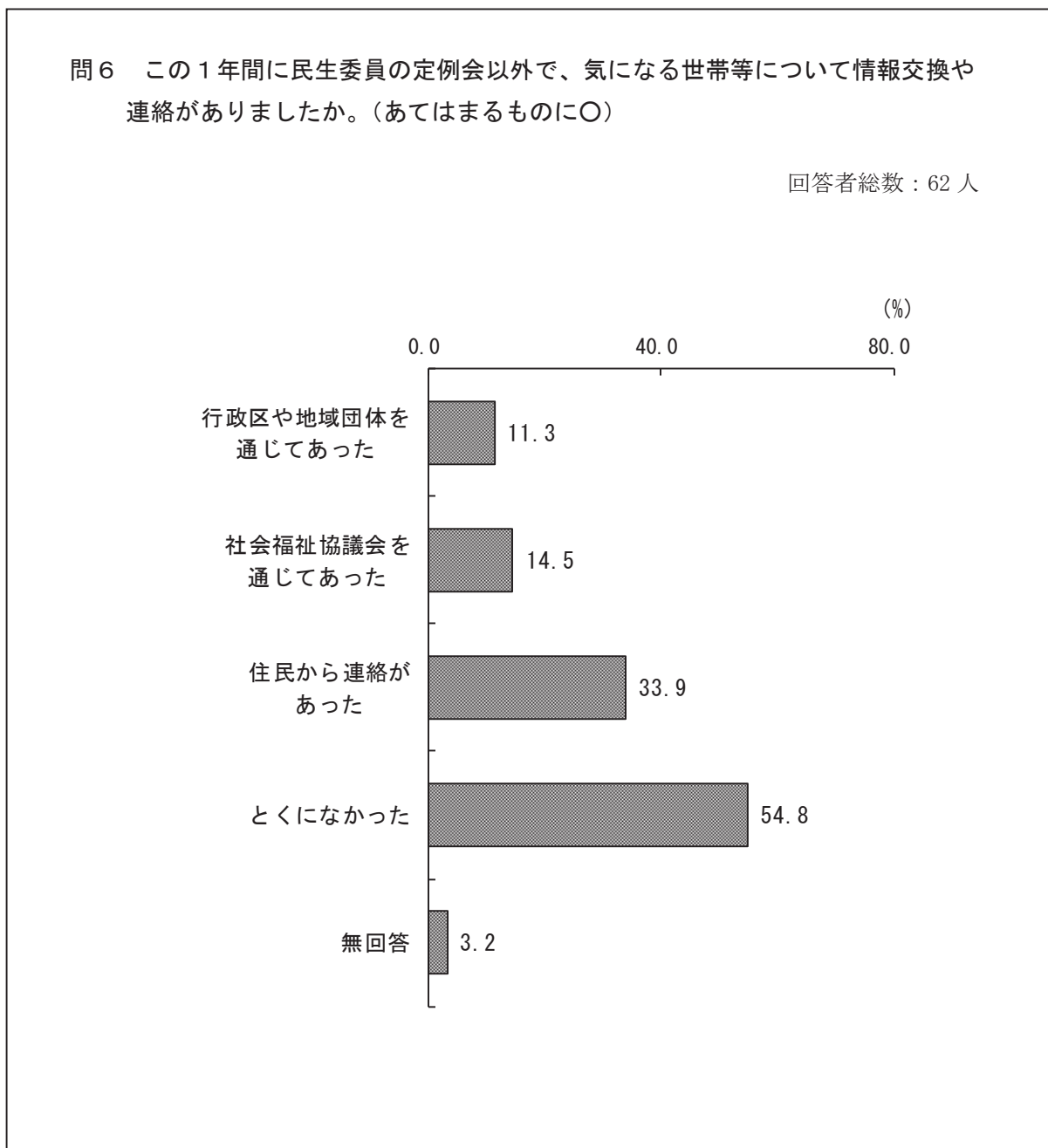


2-1-4 気になる世帯等の情報交換や連絡

この1年間に「住民から連絡があった」が33.9%。

気になる世帯等についての情報交換や連絡は、「とくになかった」が54.8%で高い。また、「住民から連絡があった」が33.9%である。

図 気になる世帯等の情報交換や連絡



※気になる世帯の具体的な記述内容は、資料編を参照。

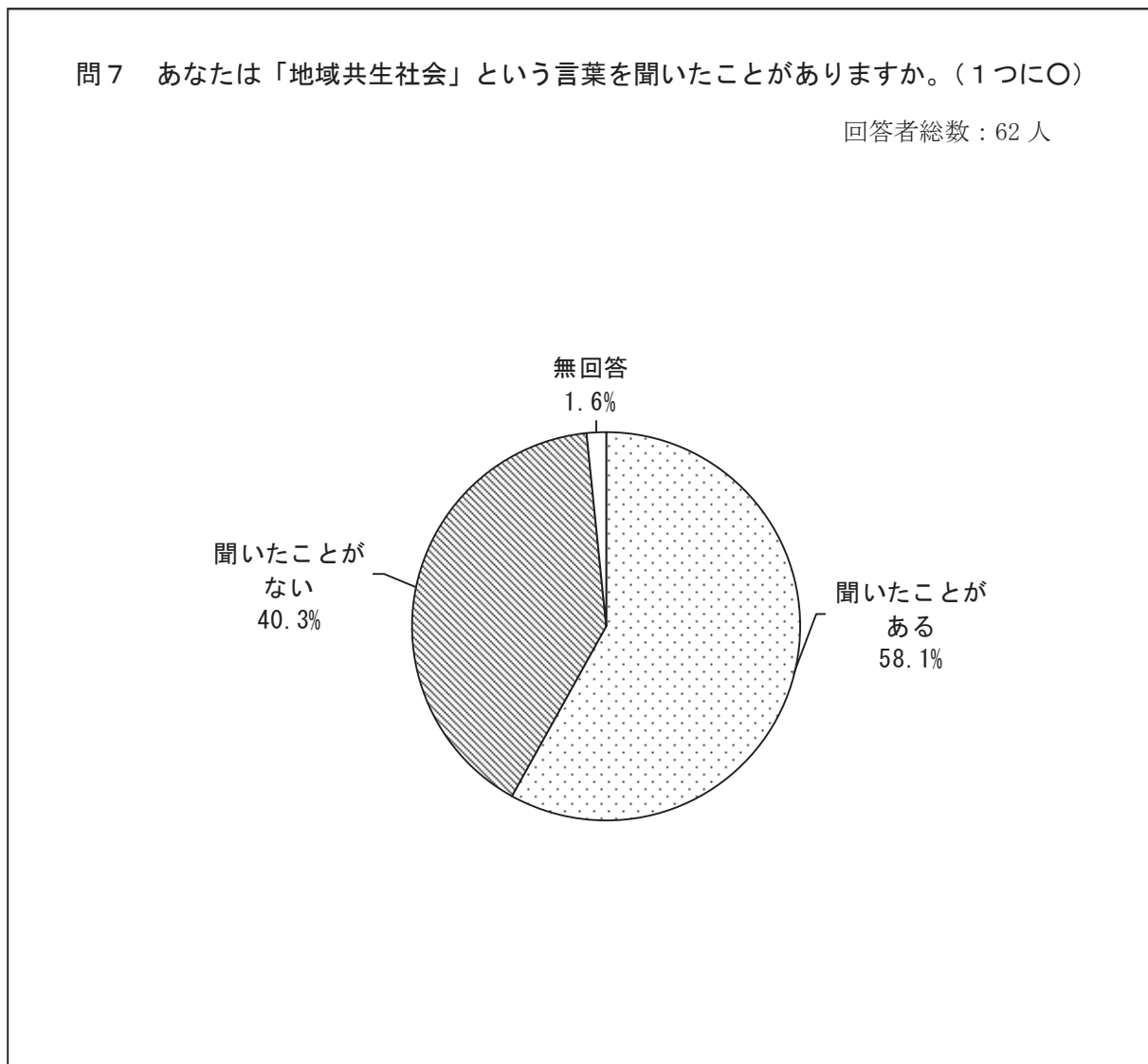
第2節 安心して暮らせる福祉のまちづくりについて

2-2-1 「地域共生社会」の言葉の認知度

「聞いたことがある」が58.1%。

「地域共生社会」という言葉を聞いたことがあるかは、「聞いたことがある」が58.1%である。その一方で「聞いたことがない」は40.3%である。

図 「地域共生社会」の言葉の認知度



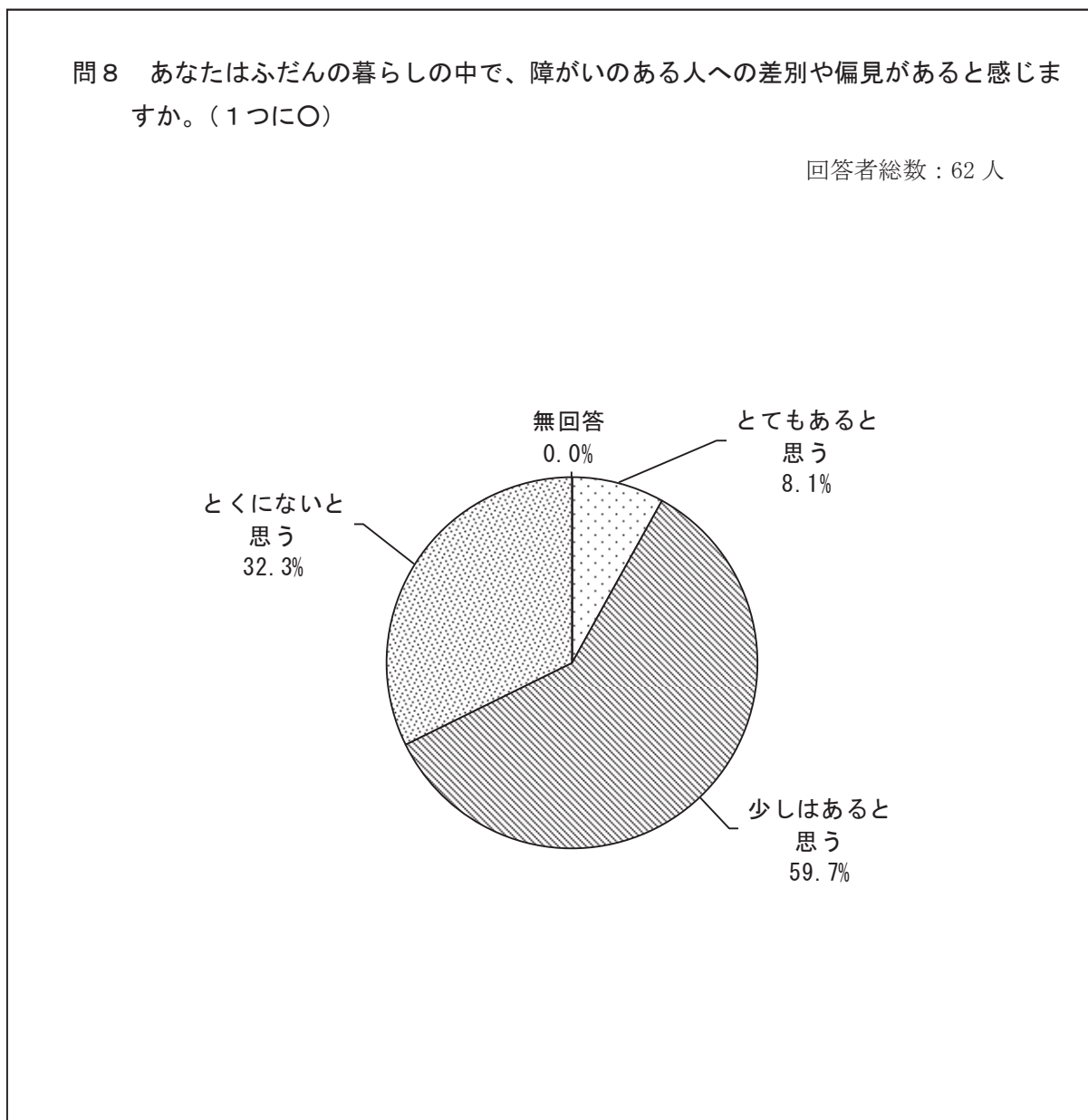
2-2-2 障がいのある人への差別や偏見

「とてもあると思う」と「少しはあると思う」を合わせて67.8%。

ふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じるかは、「とてもあると思う」が8.1%、「少しはあると思う」が59.7%で合わせると、“あると思う”が67.8%である。

その一方で、「とくにないと思う」は32.3%である。

図 障がいのある人への差別や偏見



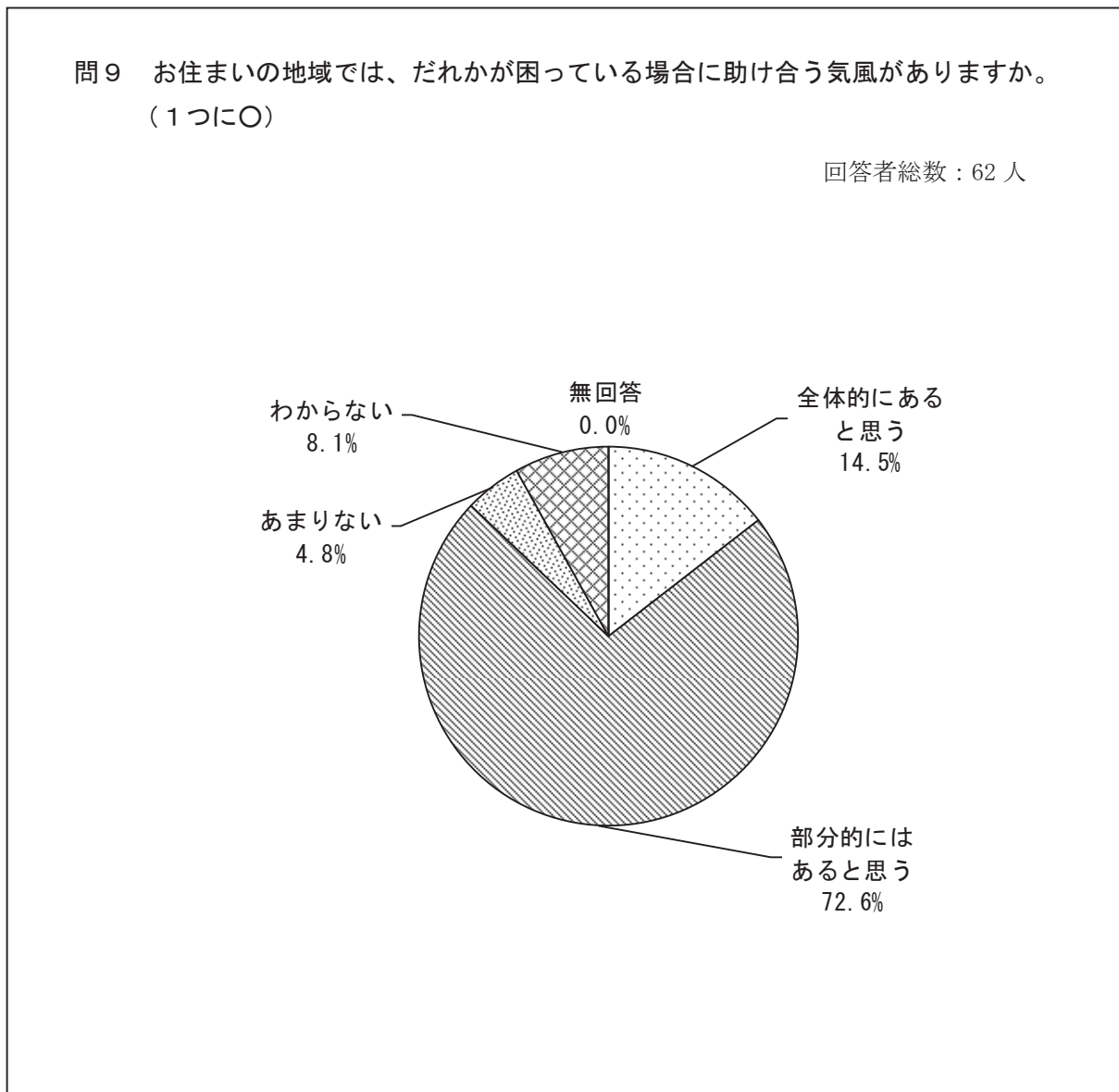
2-2-3 地域の助け合う気風

「全体的にあると思う」が14.5%、「部分的にはあると思う」が72.6%。

だれかが困っている場合に助け合う気風があるかは、「全体的にあると思う」が14.5%、「部分的にはあると思う」が72.6%である。

その一方で、「あまりない」が4.8%である。

図 地域の助け合う気風

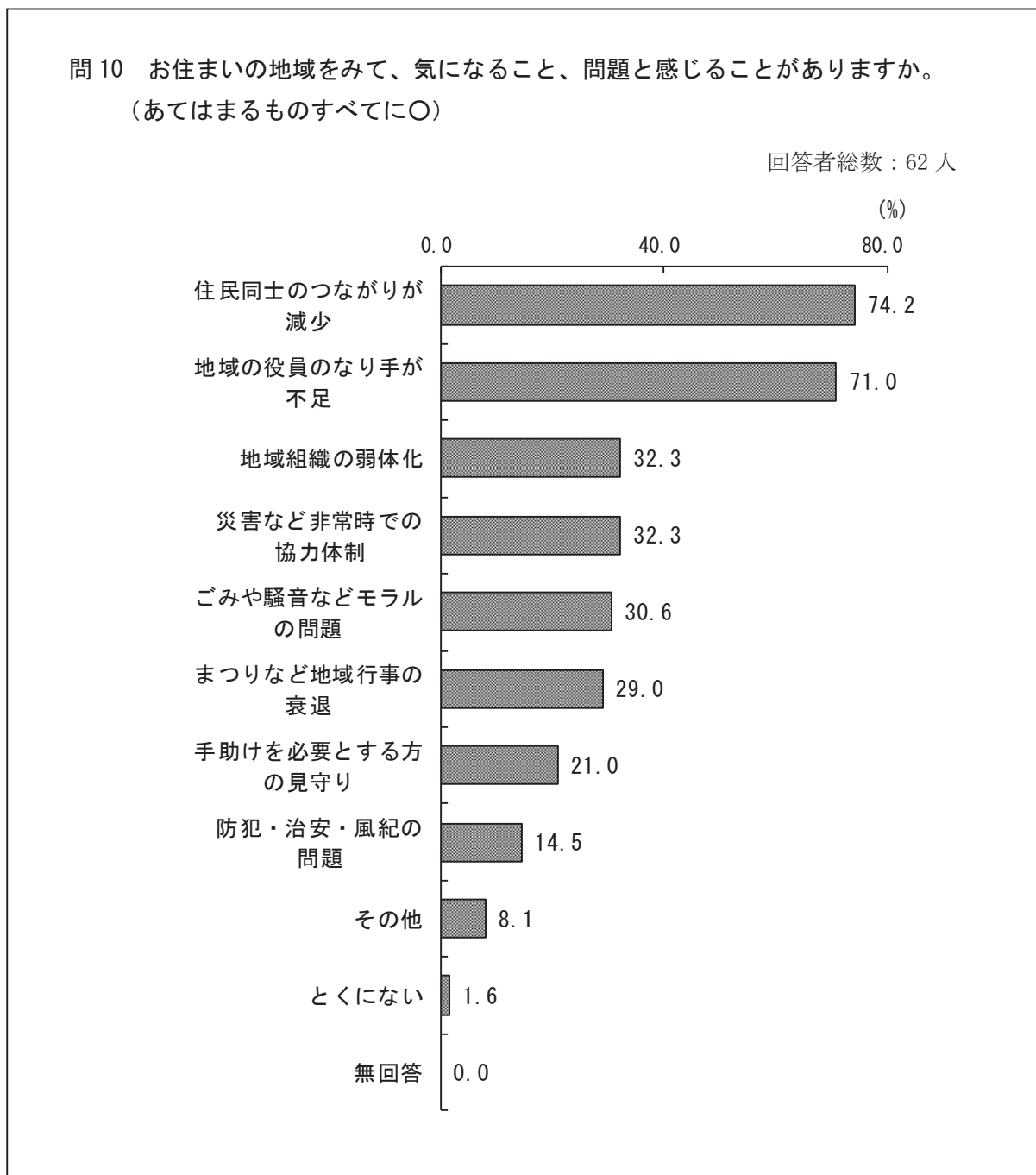


2-2-4 気になる地域の課題

「住民同士のつながりが減少」が最も高く、次に「地域の役員のなり手が不足」が続く。

身近な地域で気になること、問題と感ずることは、「住民同士のつながりが減少」が74.2%で最も高い。次に、「地域の役員のなり手が不足」が71.0%で続く。

図 気になる地域の課題

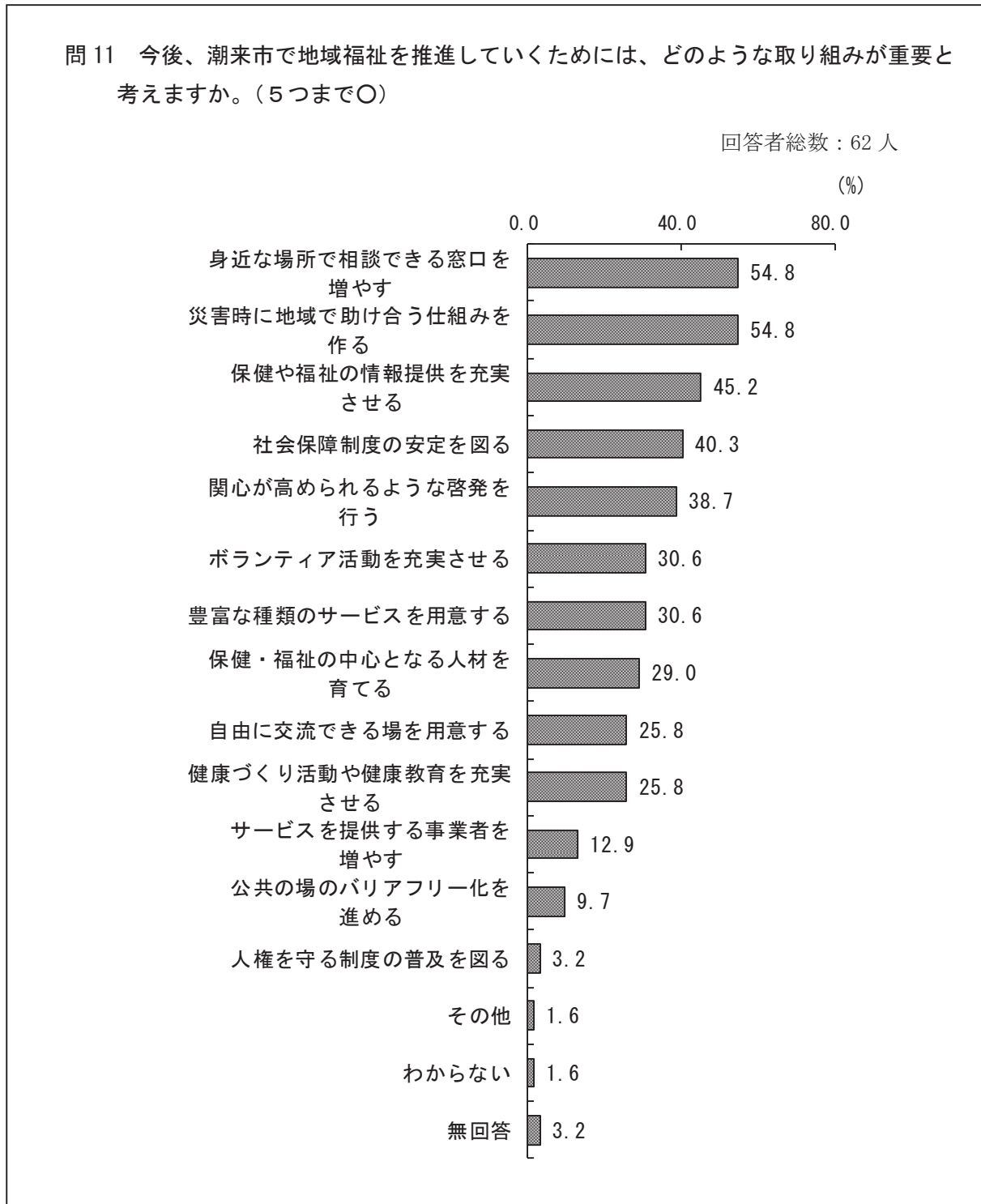


2-2-5 地域福祉の重点施策

「身近に相談できる窓口」と「災害時に助け合う仕組み」が高い。

潮来市において、地域福祉を推進していくために重要なことは、「身近な場所で相談できる窓口を増やす」と「災害時に地域で助け合う仕組みを作る」がそれぞれ 54.8%ずつで高い。次に「保健や福祉の情報提供を充実させる」が 45.2%で続く。

図 地域福祉の重点施策



(裏白)

第3章 区長アンケート

(裏白)

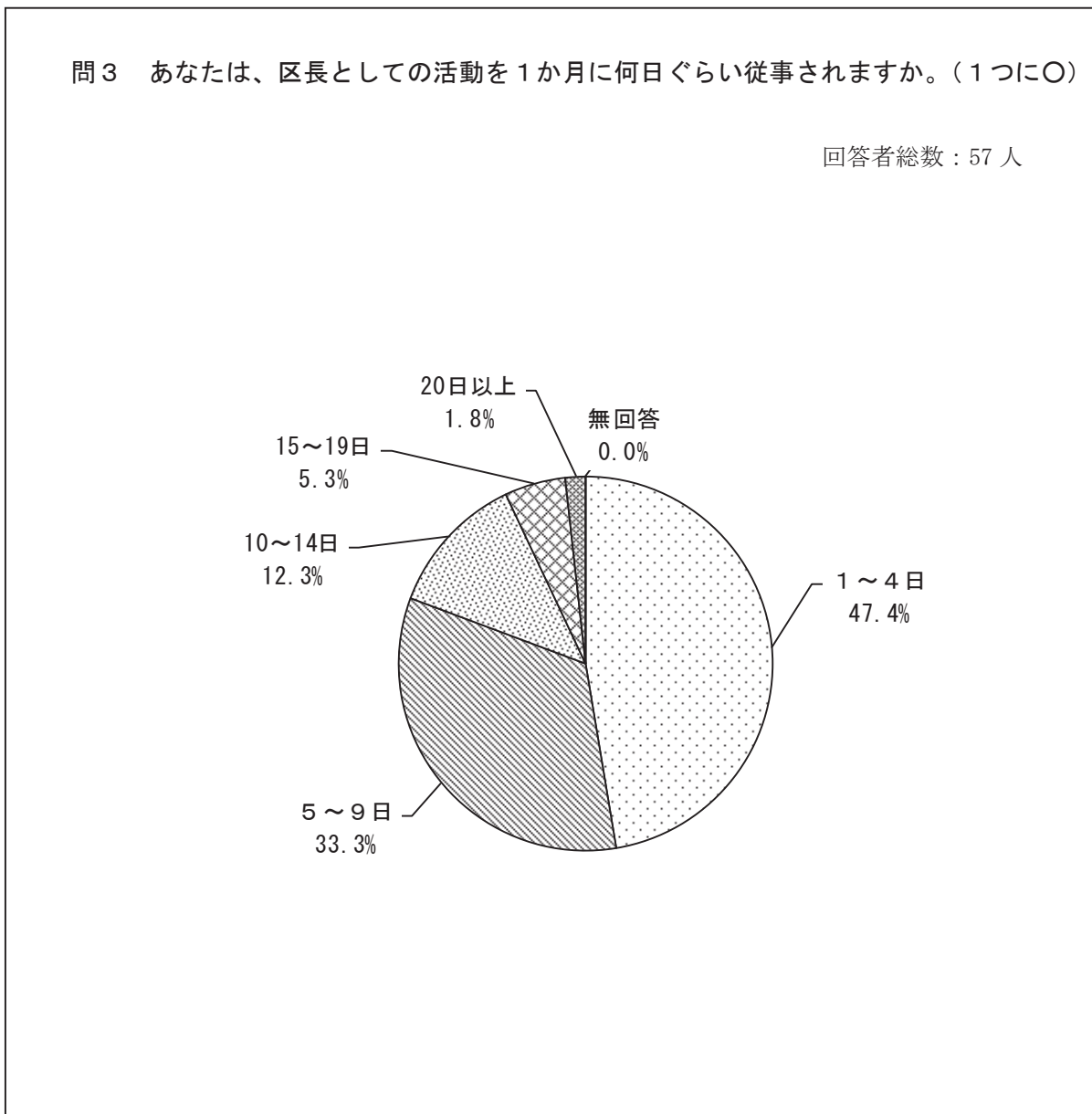
第1節 自治会（区長）活動について

3-1-1 区長としての活動日数

「1～4日」が47.4%で高い。

区長としての活動を1か月に何日ぐらい従事しているかは、「1～4日」が47.4%で高い。次に「5～9日」が33.3%で続く。

図 区長としての活動日数



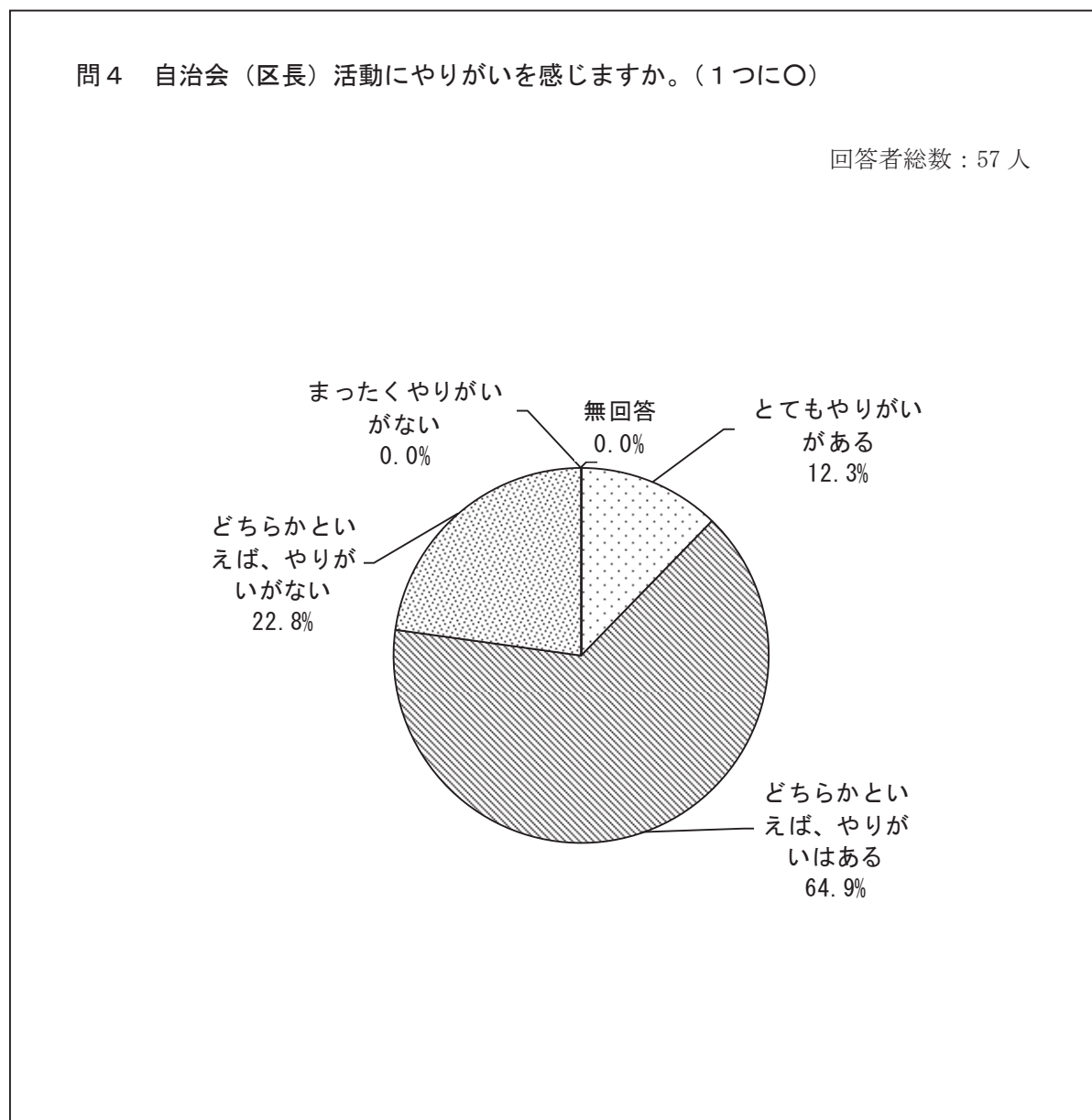
3-1-2 自治会（区長）活動のやりがい

「とてもやりがいがある」と「どちらかといえば、やりがいはある」を合わせて77.2%。

自治会（区長）活動のやりがいは、「とてもやりがいがある」が12.3%、「どちらかといえば、やりがいはある」が64.9%で合わせると“やりがいがある”が77.2%である。

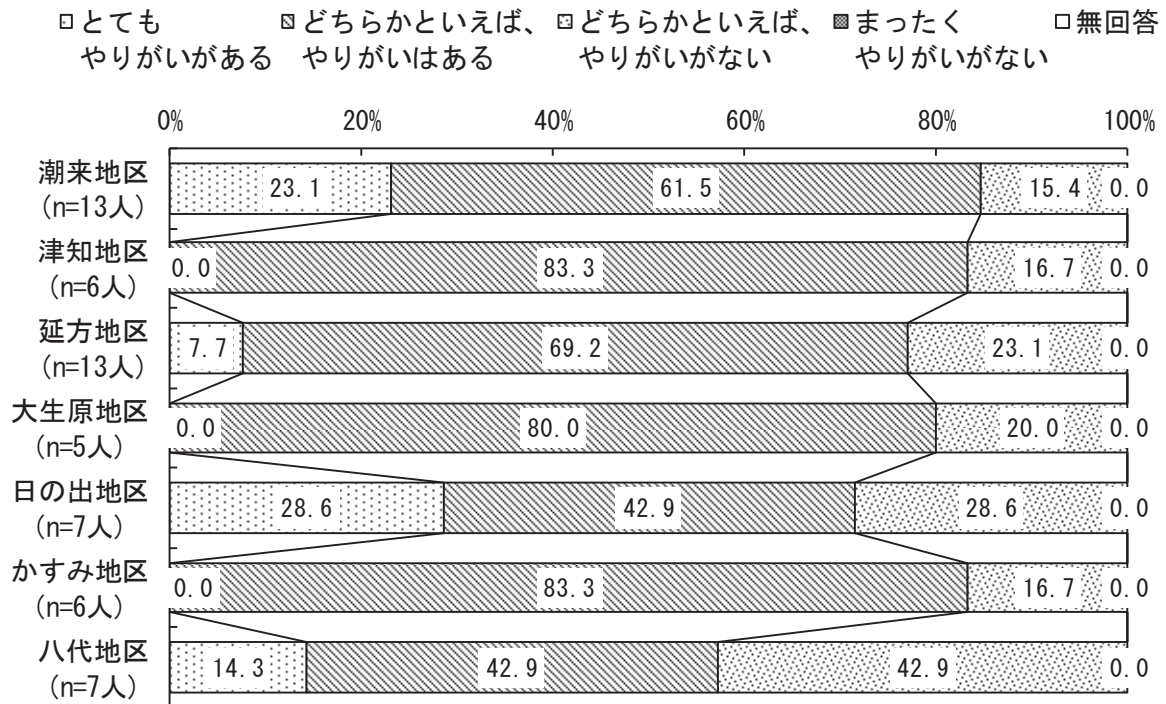
その一方で、「どちらかといえば、やりがいがない」が22.8%、「まったくやりがいがない」は0.0%である。

図 自治会（区長）活動のやりがい



【担当地区別】

自治会（区長）活動のやりがいを感じを担当地区別にみると、“潮来地区”と“日の出地区”は「とてもやりがいがある」との回答がやや高い。



注) 無回答値は省略

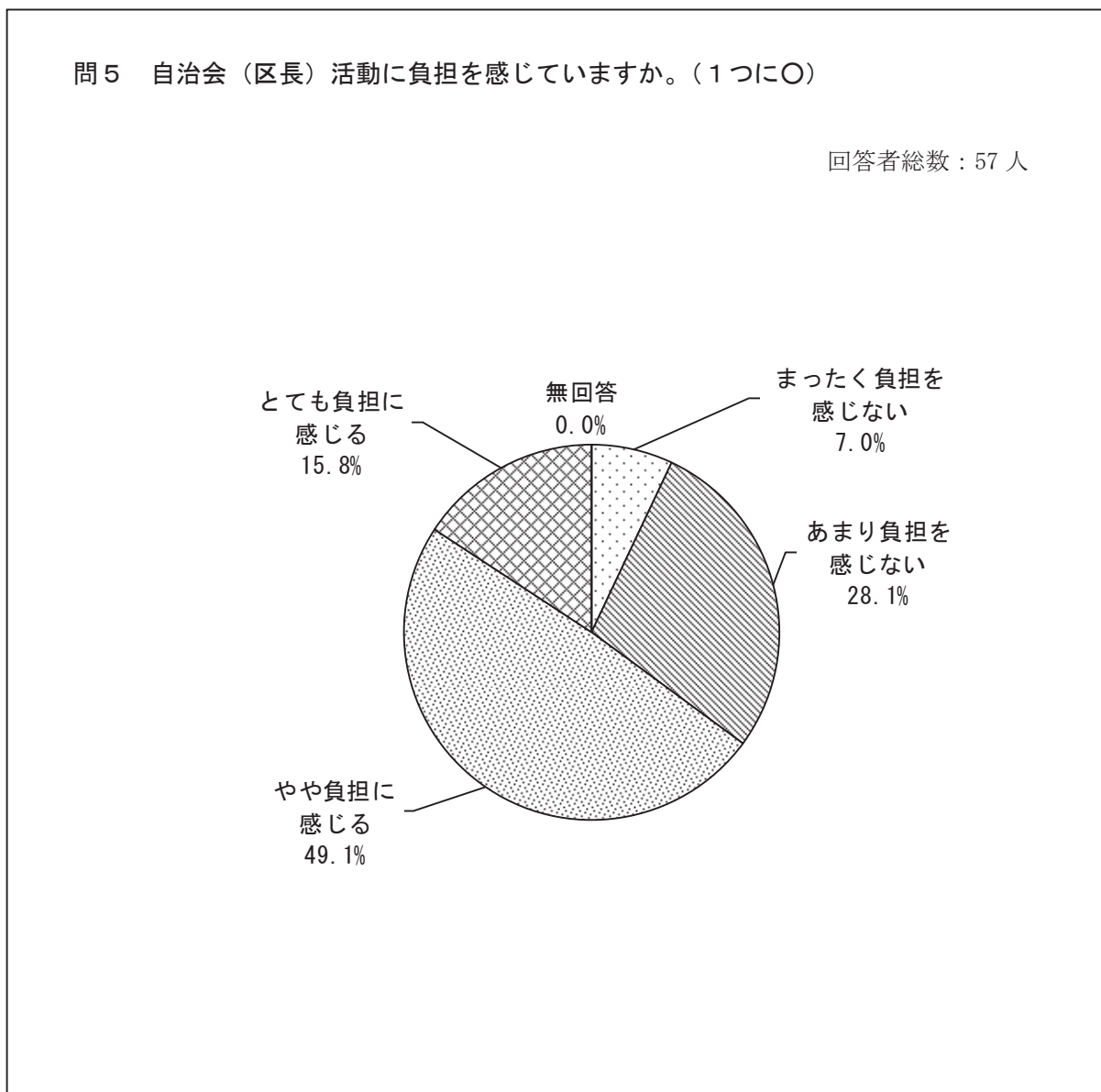
3-1-3 自治会（区長）活動の負担感

“負担を感じない”が35.1%。その一方で“負担を感じる”が64.9%。

自治会（区長）活動の負担感は、「まったく負担を感じない」が7.0%、「あまり負担を感じない」が28.1%で合わせると、“負担を感じない”が35.1%である。

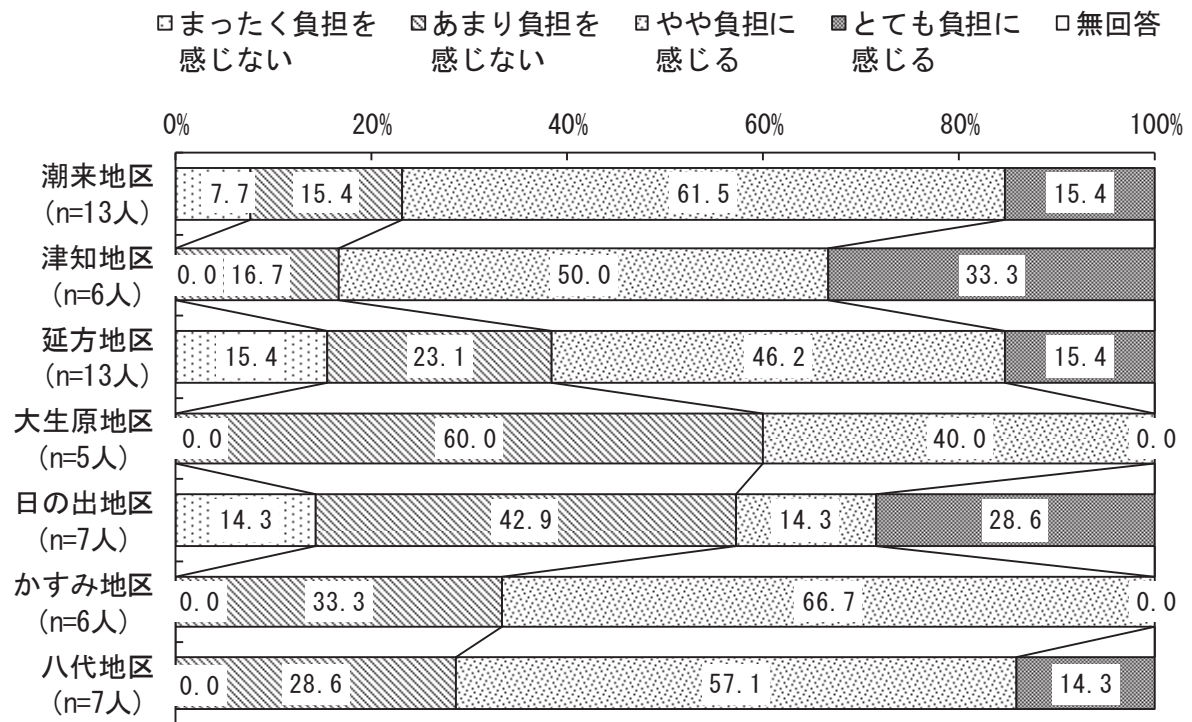
その一方で、「やや負担を感じる」が49.1%、「とても負担を感じる」が15.8%で合わせると、“負担を感じる”が64.9%である。

図 自治会（区長）活動の負担感



【担当地区別】

自治会（区長）活動の負担感を担当地区別にみると、負担を感じないとの回答は“大生原地区”や“日の出地区”がやや高い。その一方で、“津知地区”や“日の出地区”は「とても負担を感じる」も比較的高い。



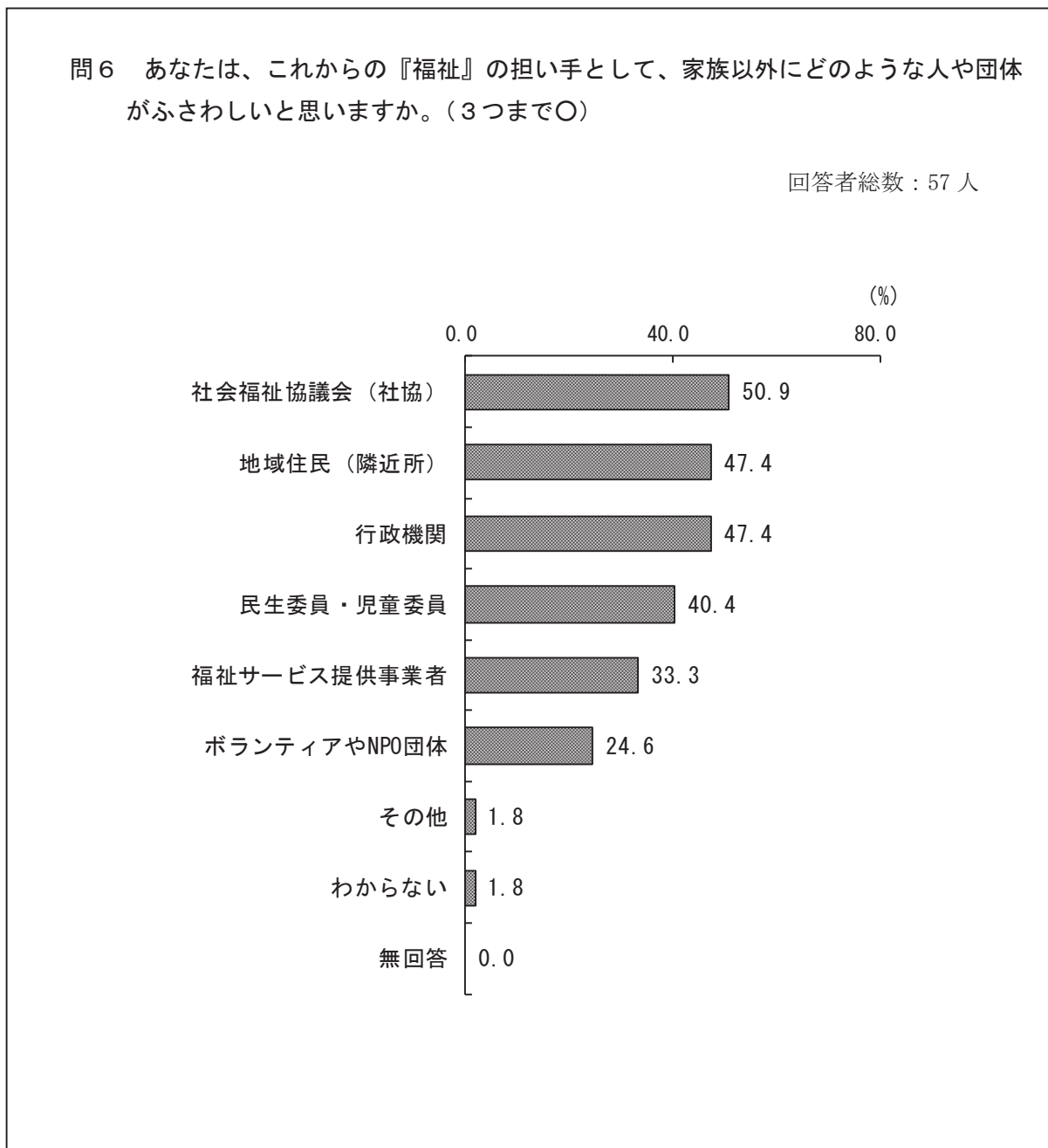
注) 無回答値は省略

3-1-4 『福祉』の担い手

「社会福祉協議会（社協）」が50.9%で最も高い。

これからの『福祉』の担い手として、ふさわしいと思う人や団体は、「社会福祉協議会（社協）」が50.9%で最も高い。次に「地域住民（隣近所）」と「行政機関」がともに47.4%ずつで続く。

図 『福祉の担い手』

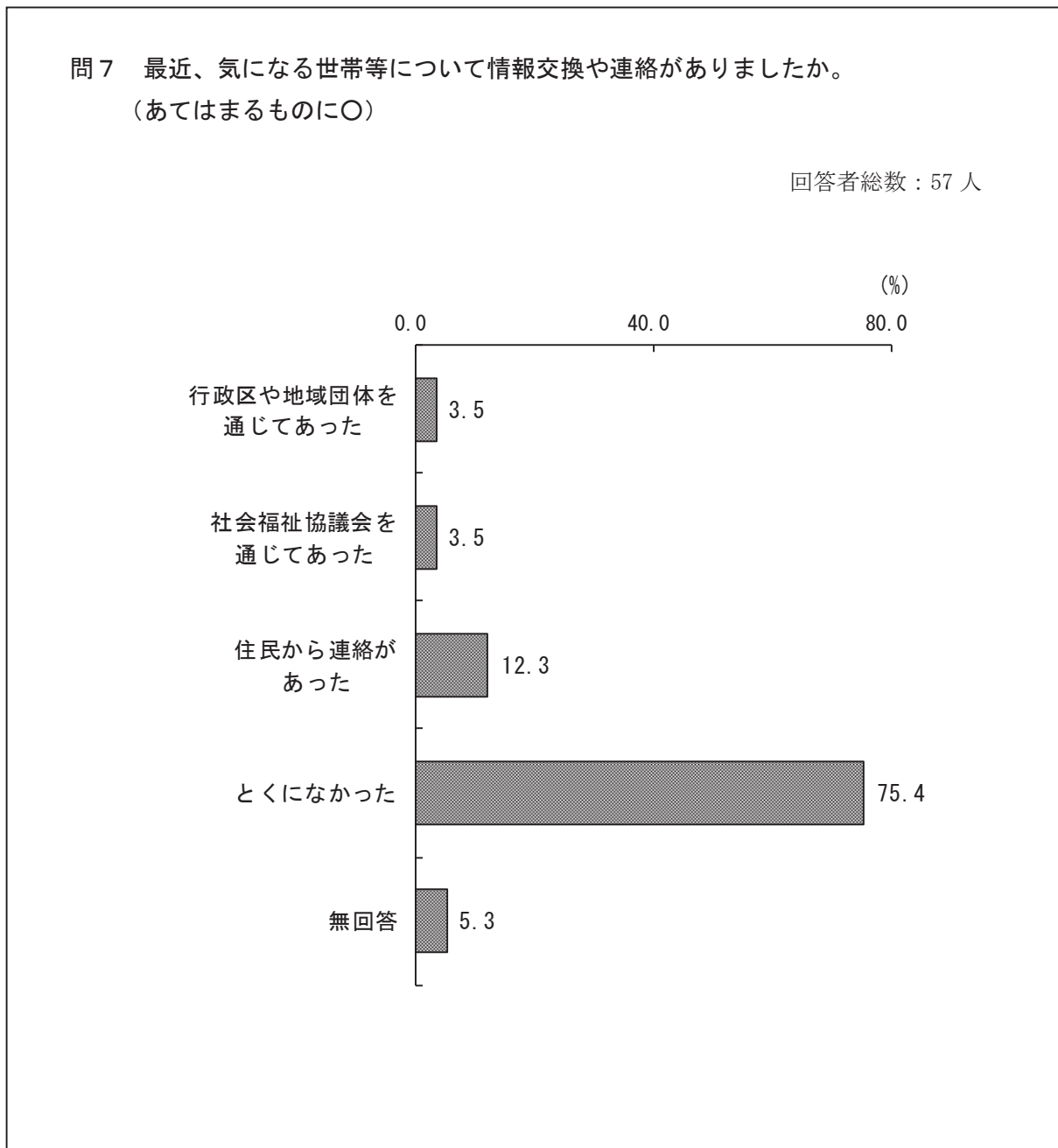


3-1-5 気になる世帯等の情報交換や連絡

「住民から連絡があった」が12.3%。

気になる世帯等についての情報交換や連絡は、「とくになかった」が75.4%で最も高い。また、「住民から連絡があった」が12.3%である。

図 気になる世帯等の情報交換や連絡



※気になる世帯の具体的な記述内容は、資料編を参照。

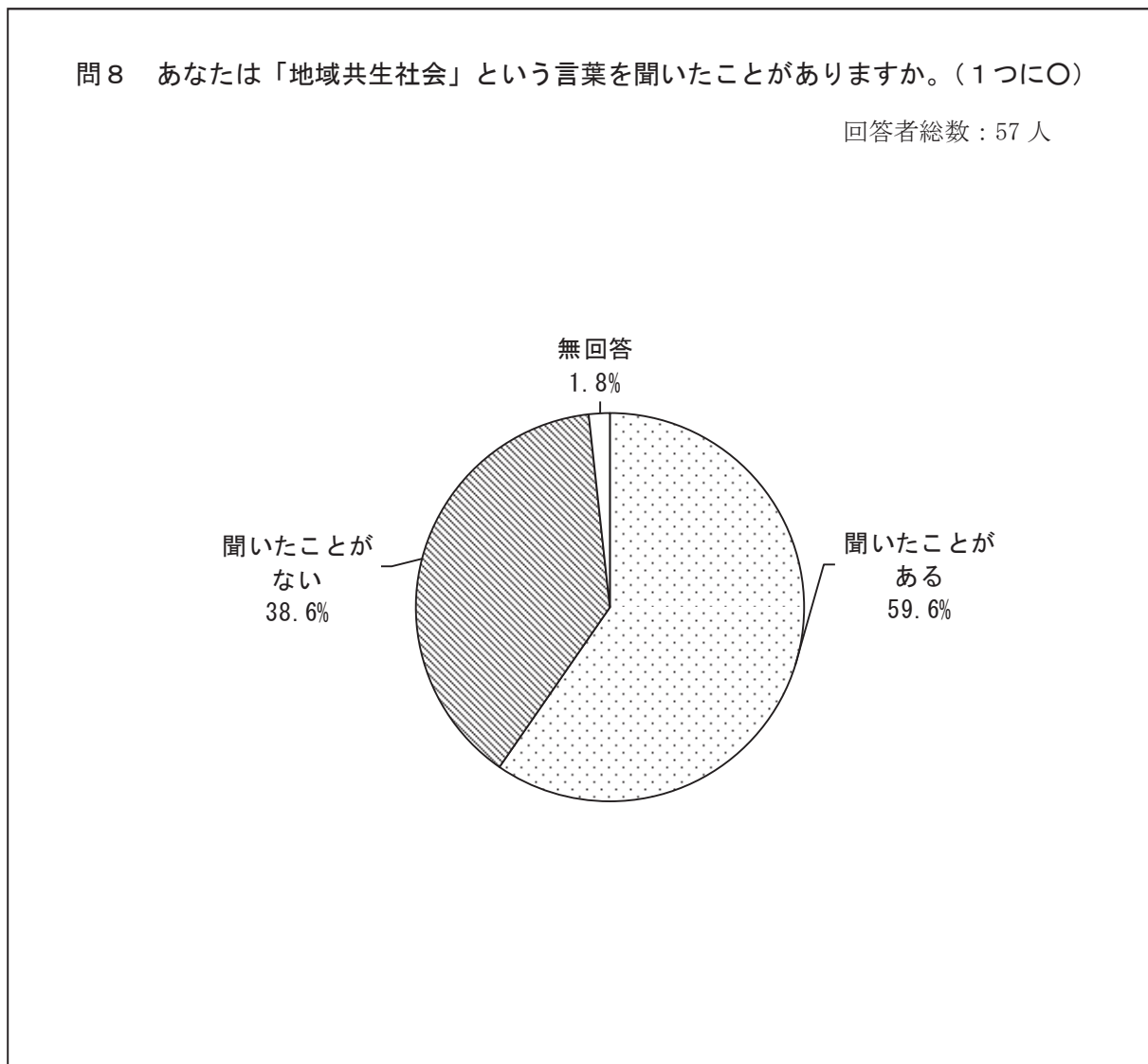
第2節 地域福祉に対する考え方について

3-2-1 「地域共生社会」の言葉の認知度

「聞いたことがある」が59.6%。

「地域共生社会」という言葉を聞いたことがあるかは、「聞いたことがある」が59.6%である。その一方で「聞いたことがない」は38.6%である。

図 「地域共生社会」の言葉の認知度



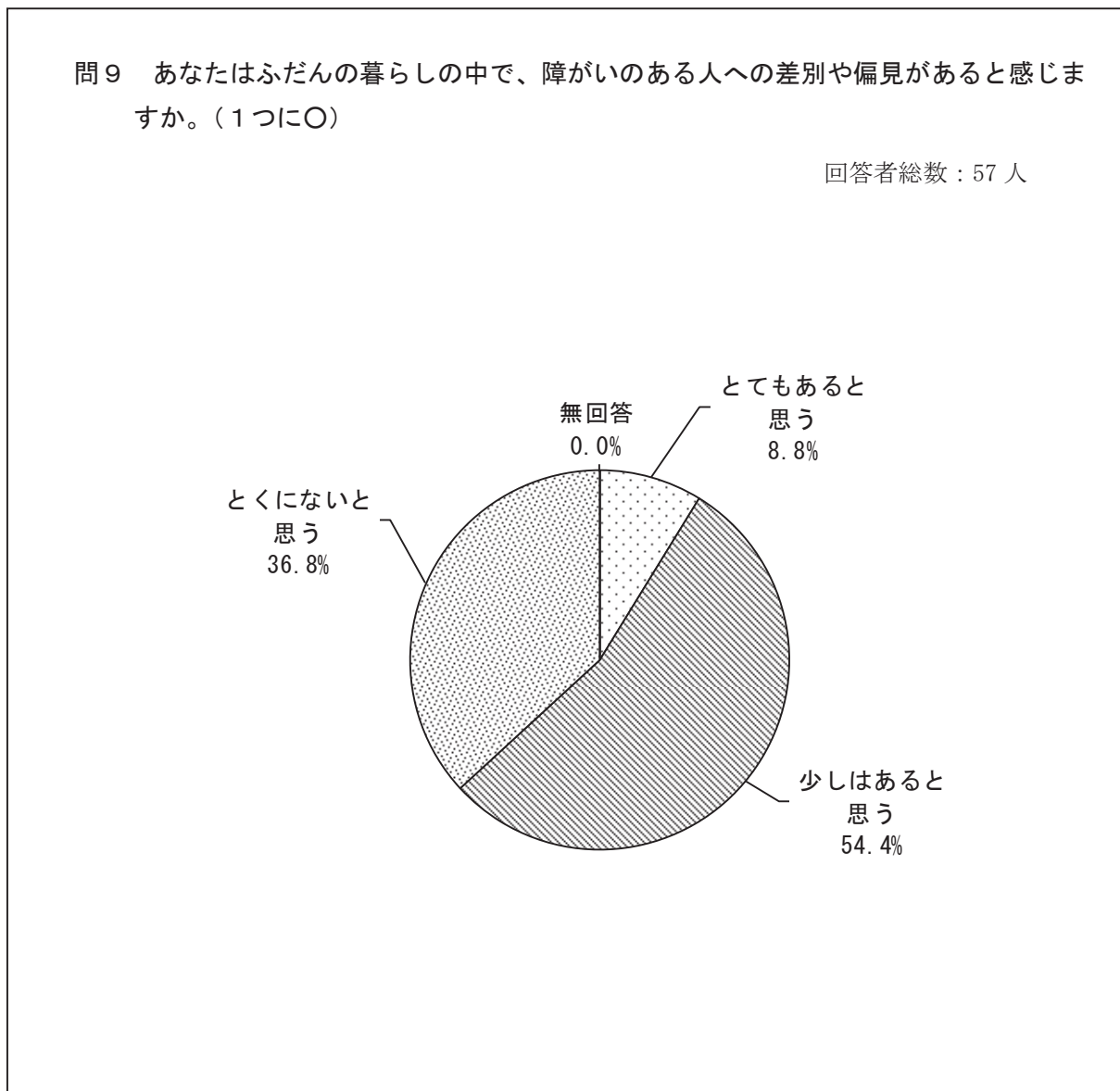
3-2-2 障がいのある人への差別や偏見

「とてもあると思う」と「少しはあると思う」を合わせて63.2%。

ふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じるかは、「とてもあると思う」が8.8%、「少しはあると思う」が54.4%で合わせると、“あると思う”が63.2%である。

その一方で、「とくにないと思う」は36.8%である。

図 障がいのある人への差別や偏見



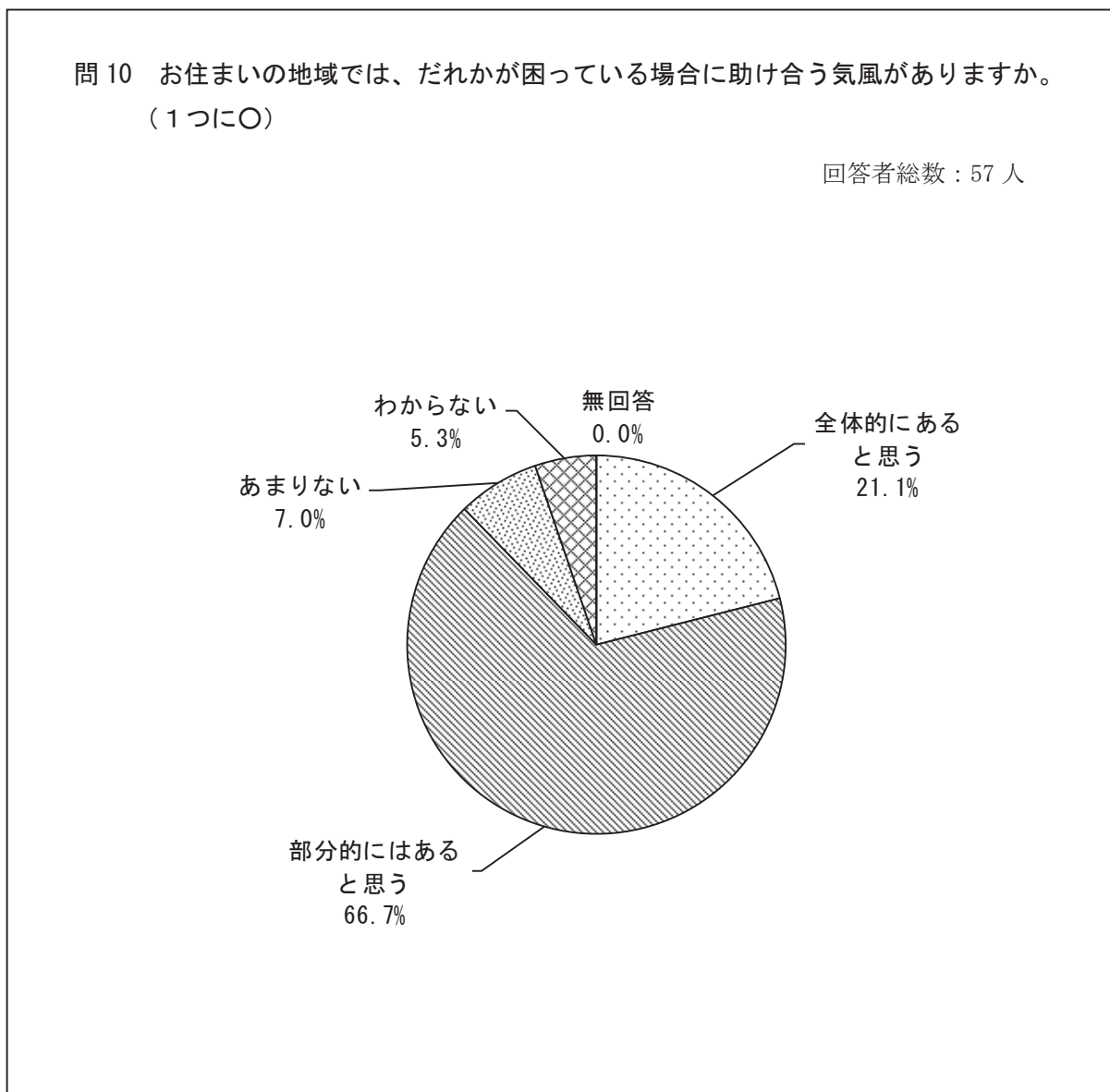
3-2-3 地域の助け合う気風

「全体的にあると思う」が 21.1%、「部分的にはあると思う」が 66.7%。

だれかが困っている場合に助け合う気風があるかは、「全体的にあると思う」が 21.1%、「部分的にはあると思う」が 66.7%である。

その一方で、「あまりない」が 7.0%である。

図 地域の助け合う気風

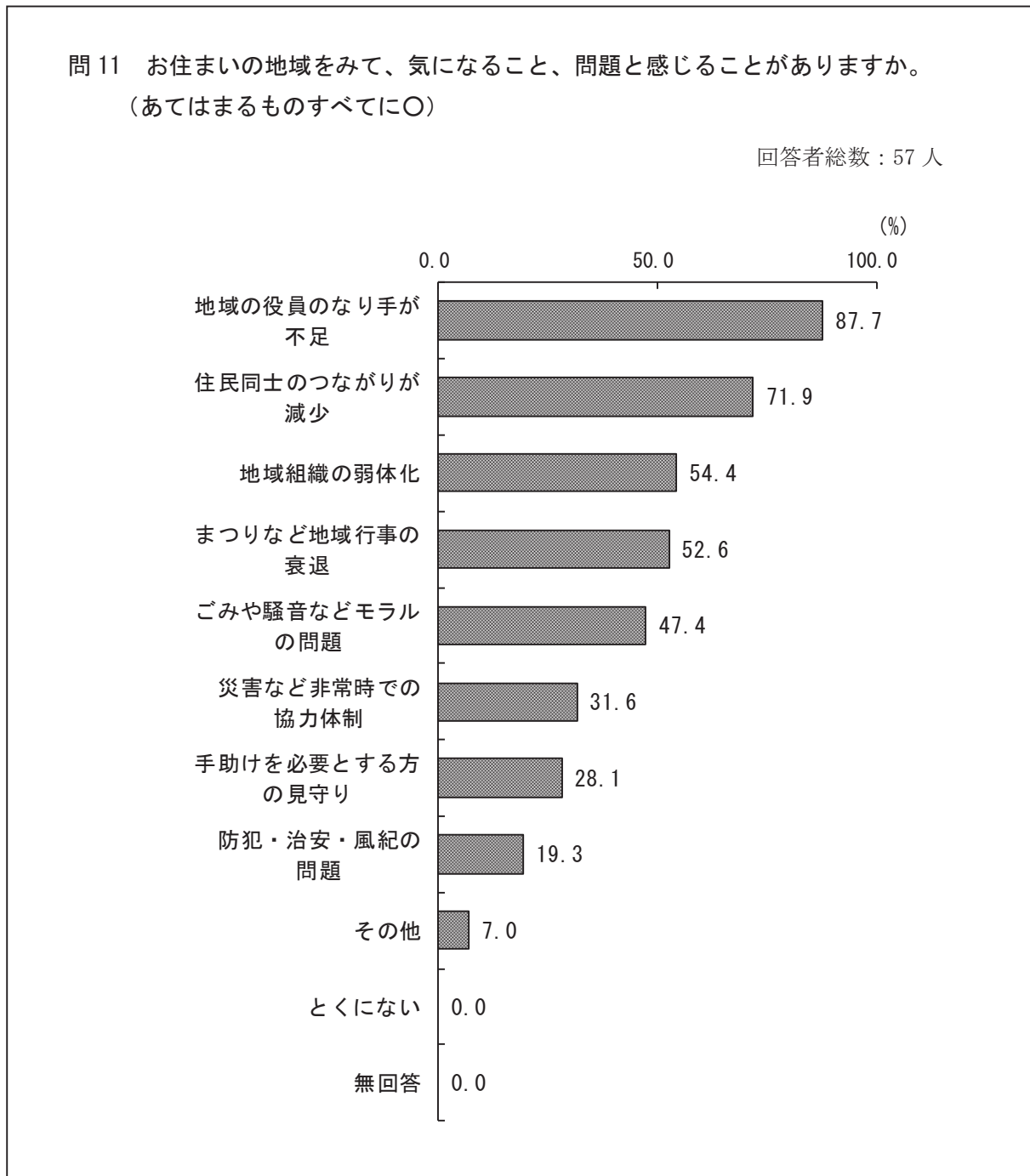


3-2-4 気になる地域の課題

「地域の役員のなり手が不足」が最も高く、次に「住民同士のつながりが減少」が続く。

身近な地域で気になること、問題と感ずることは、「地域の役員のなり手が不足」が87.7%で最も高い。次に、「住民同士のつながりが減少」が71.9%、「地域組織の弱体化」が54.4%で続く。

図 気になる地域の課題

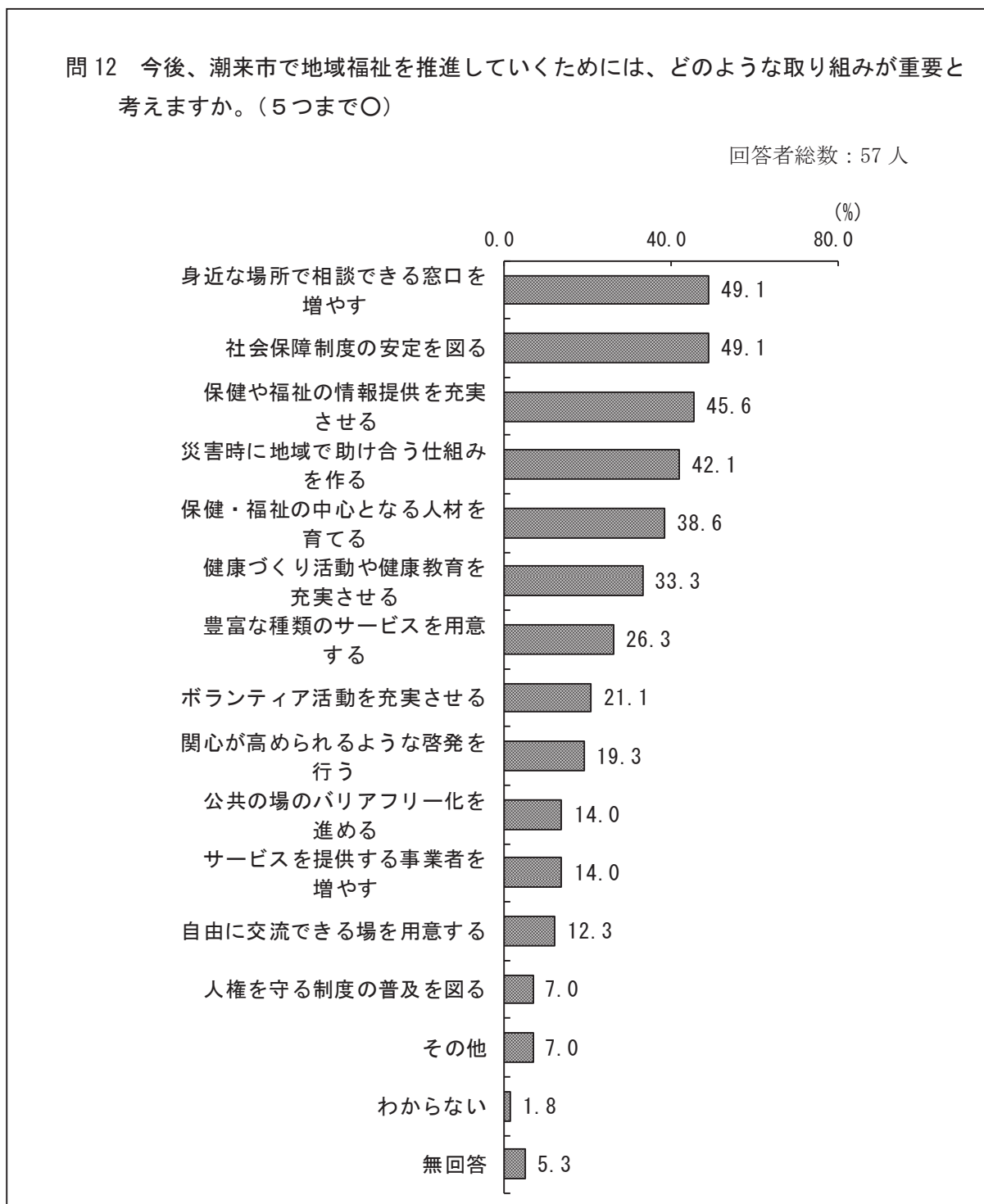


3-2-5 地域福祉の重点施策

「身近な場所で相談できる窓口を増やす」と「社会保障制度の安定を図る」が高い。

潮来市において、地域福祉を推進していくために重要なことは、「身近な場所で相談できる窓口を増やす」と「社会保障制度の安定を図る」がともに49.1%ずつで高い。

図 地域福祉の重点施策



第4章 ボランティアアンケート

(裏白)

第1節 ボランティア活動について

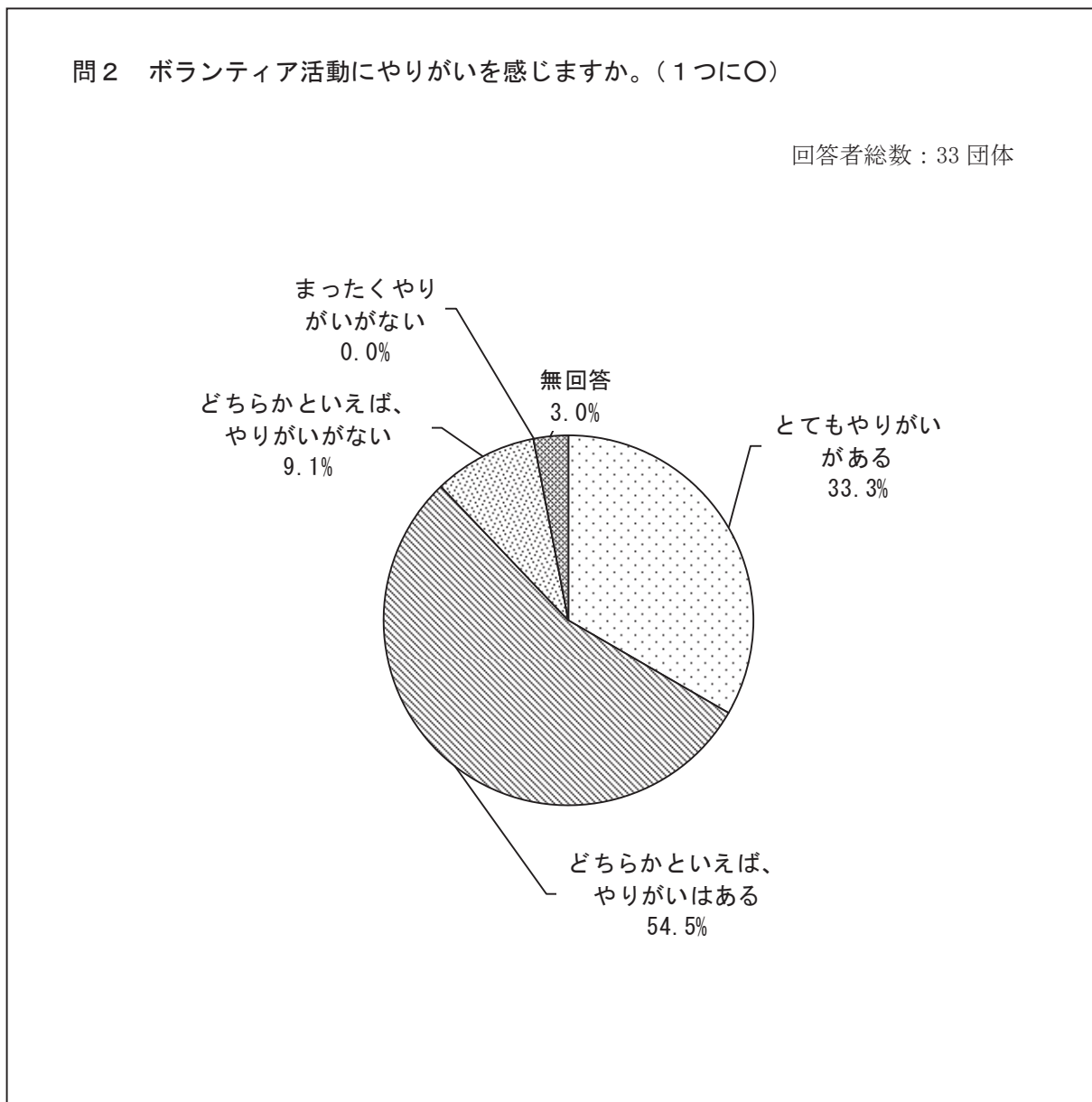
4-1-1 ボランティア活動のやりがい

「とてもやりがいがある」と「どちらかといえば、やりがいはある」を合わせて87.8%。

ボランティア活動のやりがいは、「とてもやりがいがある」が33.3%、「どちらかといえば、やりがいはある」が54.5%で合わせると“やりがいがある”が87.8%である。

その一方で、「どちらかといえば、やりがいがない」が9.1%、「まったくやりがいがない」は0.0%である。

図 ボランティア活動のやりがい

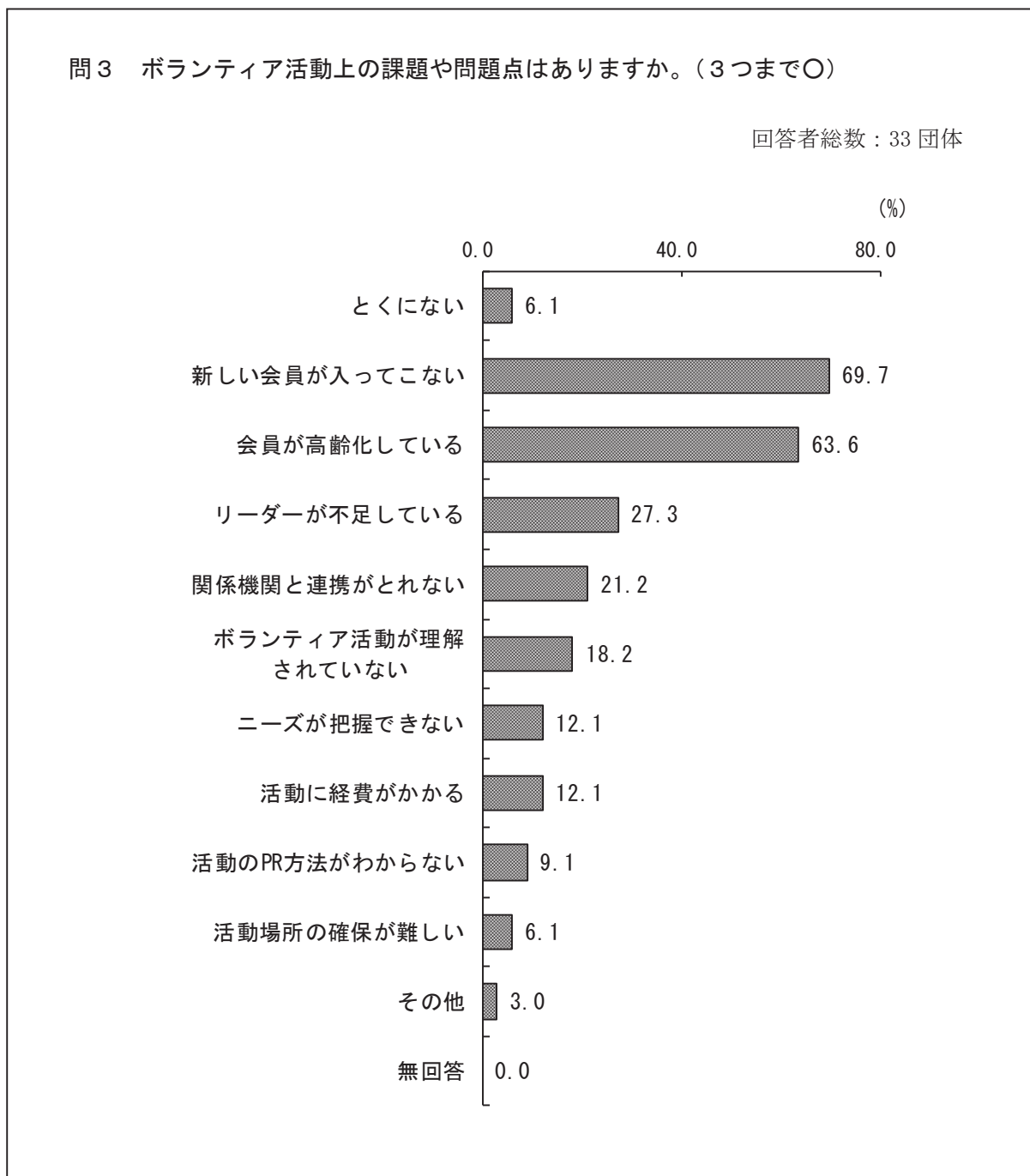


4-1-2 ボランティア活動の課題や問題点

「新しい会員が入ってこない」と「会員が高齢化している」が高い。

ボランティア活動上の課題や問題点は、「新しい会員が入ってこない」が 69.7%で最も高い。次に「会員が高齢化している」が 63.6%で続く。

図 ボランティア活動の課題や問題点

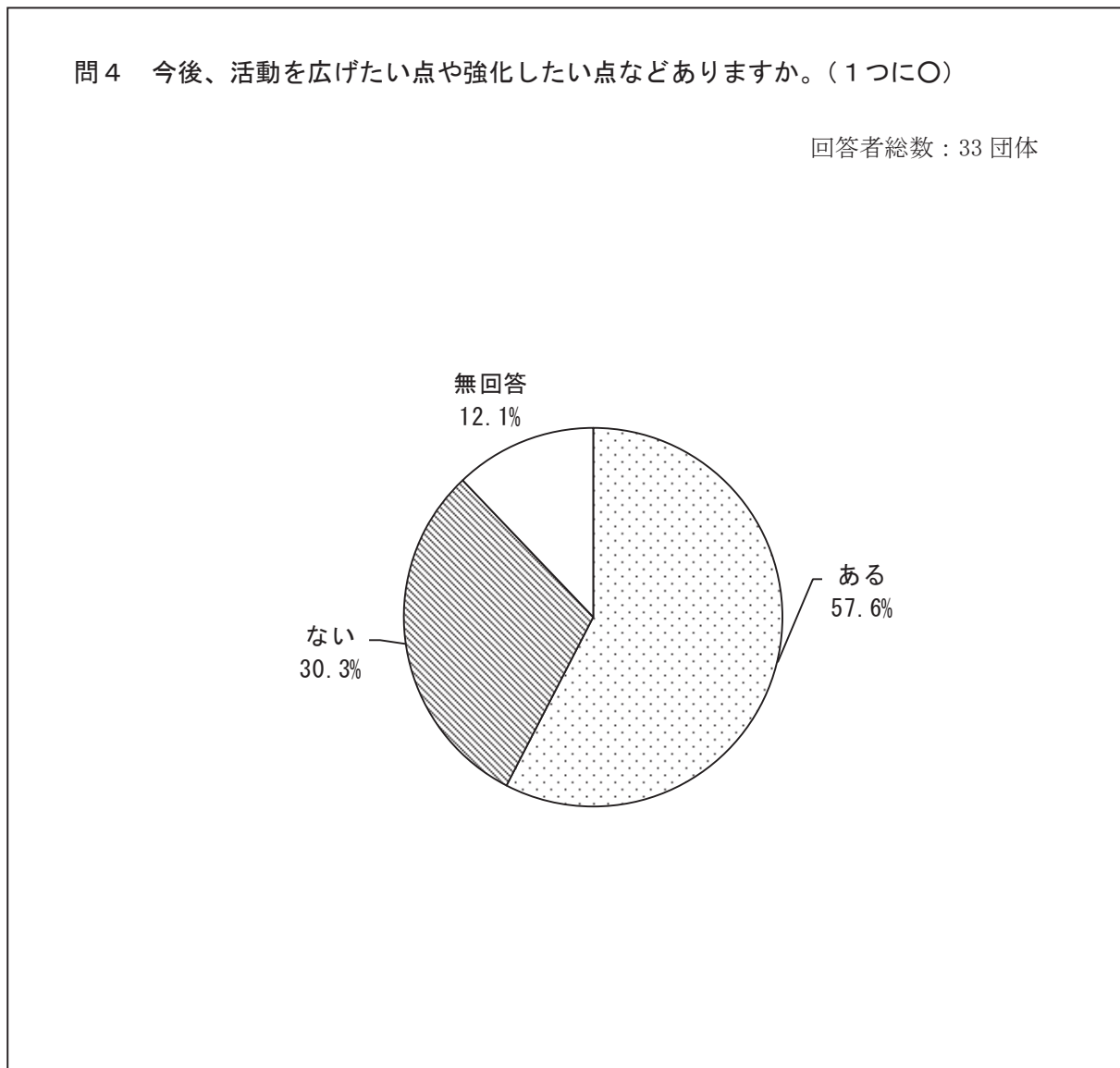


4-1-3 活動内容を広げたいこと

「ある」が57.6%。

今後、活動を広げたい点や強化したい点が「ある」は57.6%、「ない」は30.3%である。

図 活動内容を広げたいこと



※今後、活動を広げたい点や強化した点の具体的な記述内容は、資料編を参照。

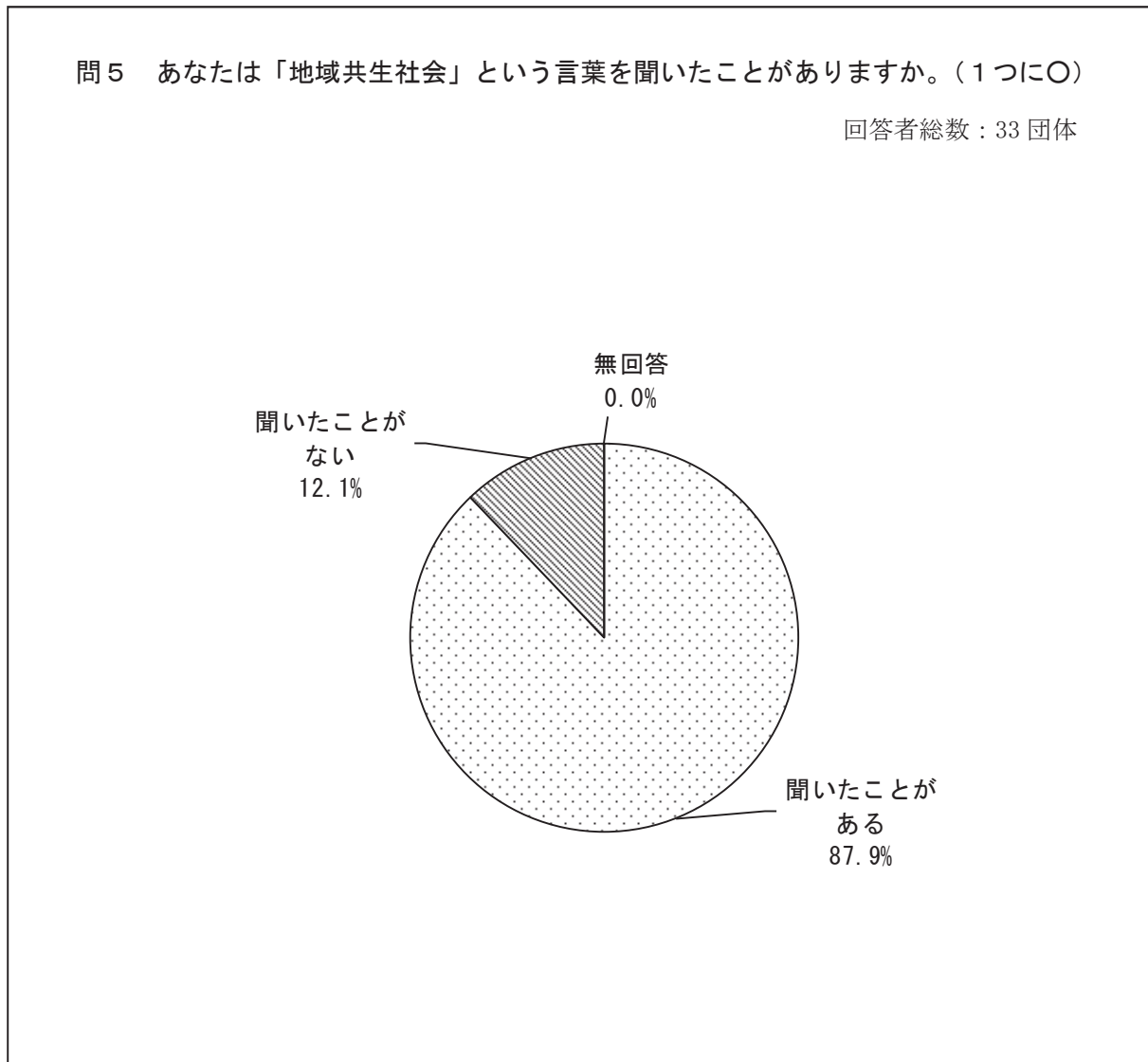
第2節 地域福祉に対する考え方について

4-2-1 「地域共生社会」の言葉の認知度

「聞いたことがある」が87.9%。

「地域共生社会」という言葉を聞いたことがあるかは、「聞いたことがある」が87.9%である。その一方で「聞いたことがない」は12.1%である。

図 「地域共生社会」の言葉の認知度



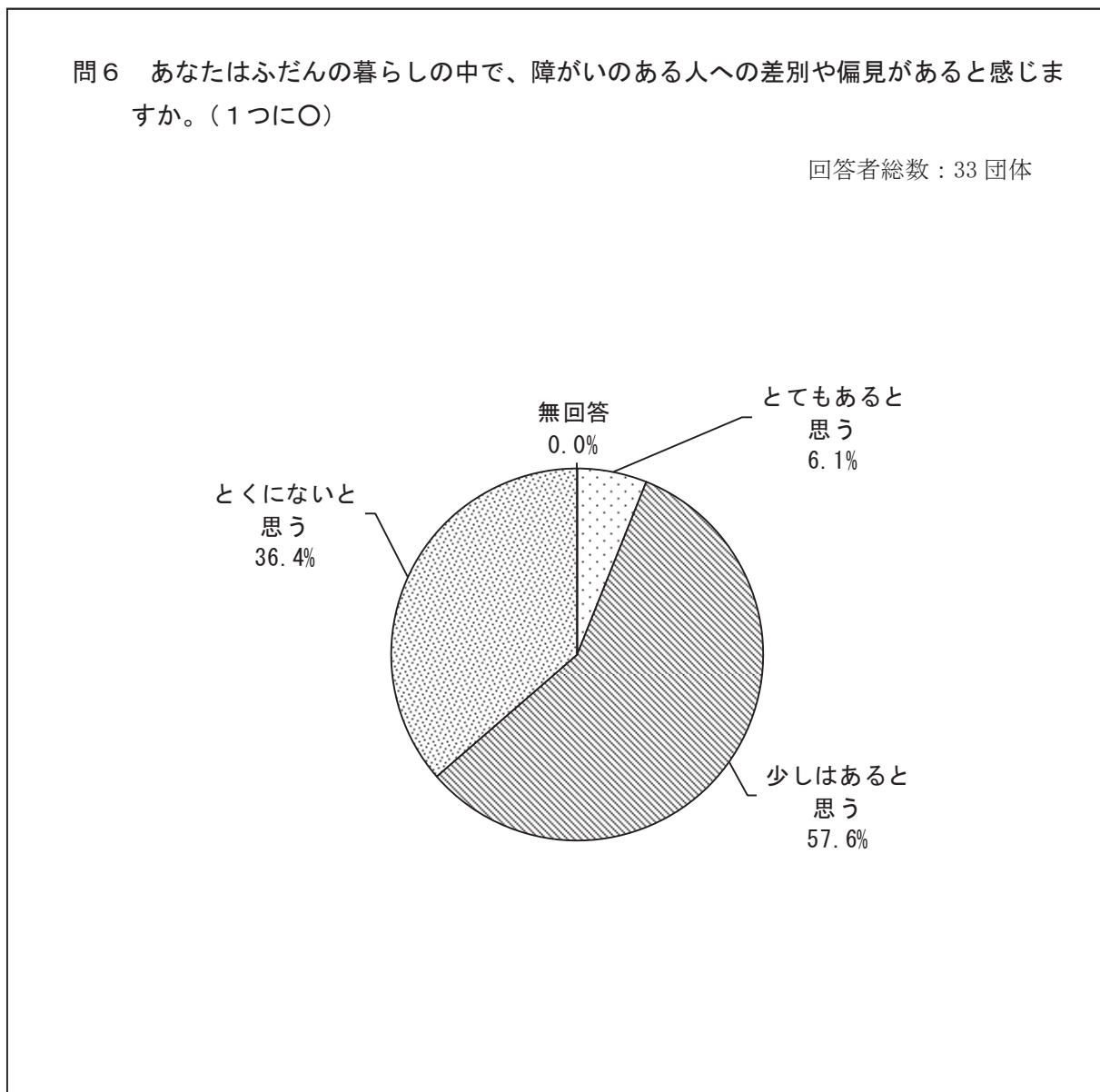
4-2-2 障がいのある人への差別や偏見

「とてもあると思う」と「少しはあると思う」を合わせて63.7%。

ふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じるかは、「とてもあると思う」が6.1%、「少しはあると思う」が57.6%で合わせると、“あると思う”が63.7%である。

その一方で、「とくにないと思う」は36.4%である。

図 障がいのある人への差別や偏見



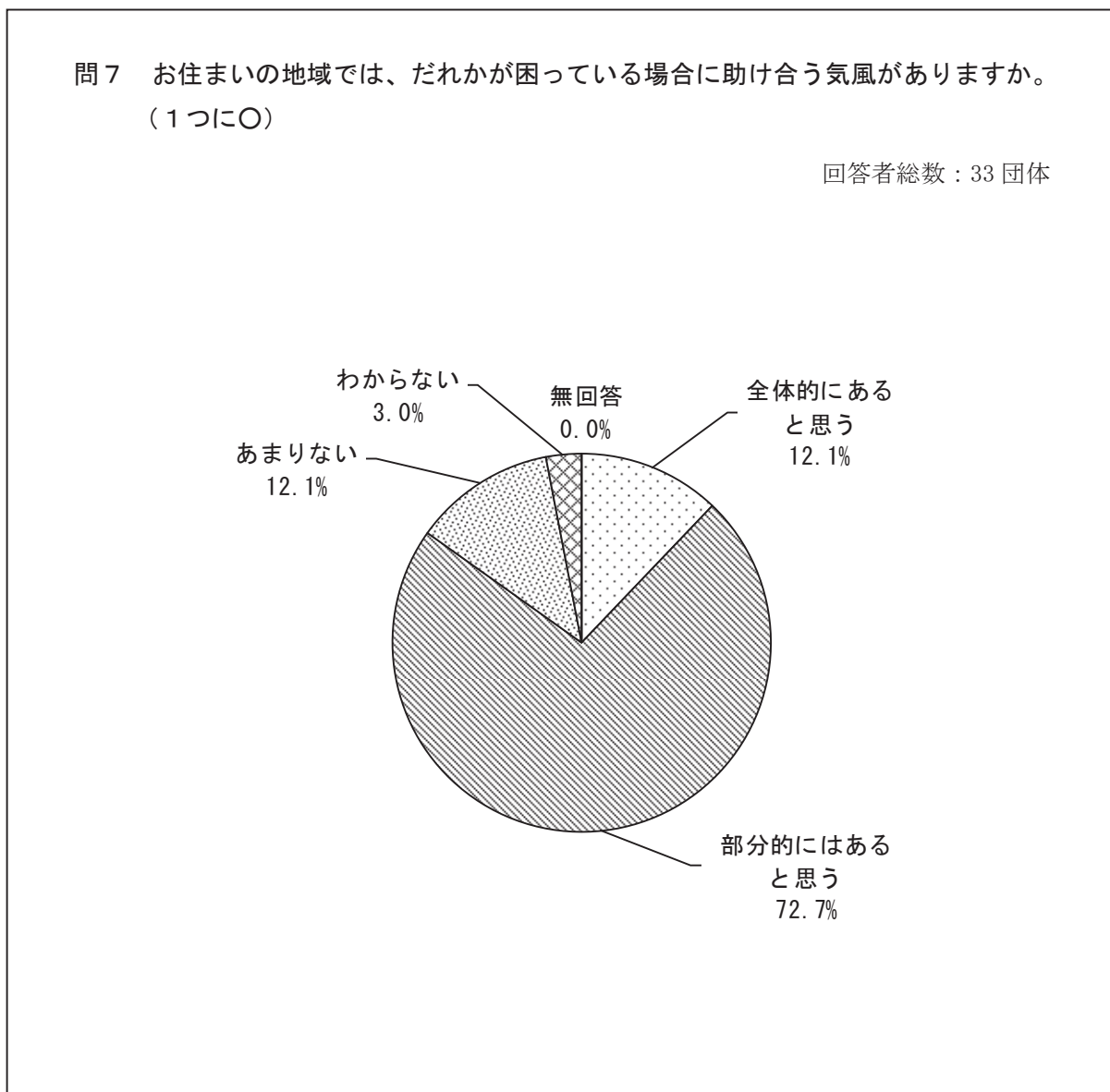
4-2-3 地域の助け合う気風

「全体的にあると思う」が 12.1%、「部分的にはあると思う」が 72.7%。

だれかが困っている場合に助け合う気風があるかは、「全体的にあると思う」が 12.1%、「部分的にはあると思う」が 72.7%である。

その一方で、「あまりない」が 12.1%である。

図 地域の助け合う気風

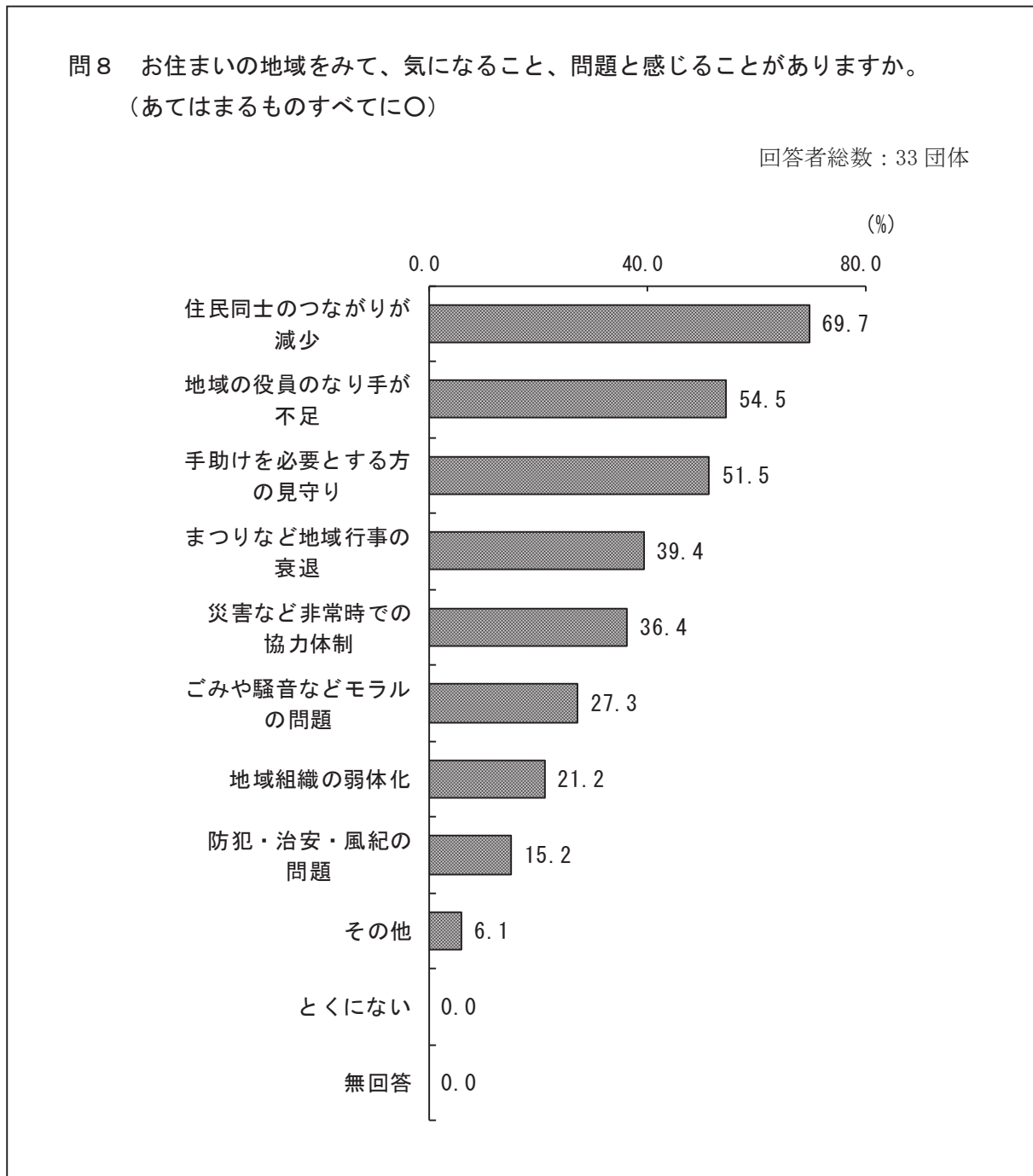


4-2-4 気になる地域の課題

「住民同士のつながりが減少」が最も高い。

身近な地域で気になること、問題と感ずることは、「住民同士のつながりが減少」が69.7%で最も高い。次に「地域の役員のなり手が不足」が54.5%、「手助けを必要とする方の見守り」が51.5%で続く。

図 気になる地域の課題

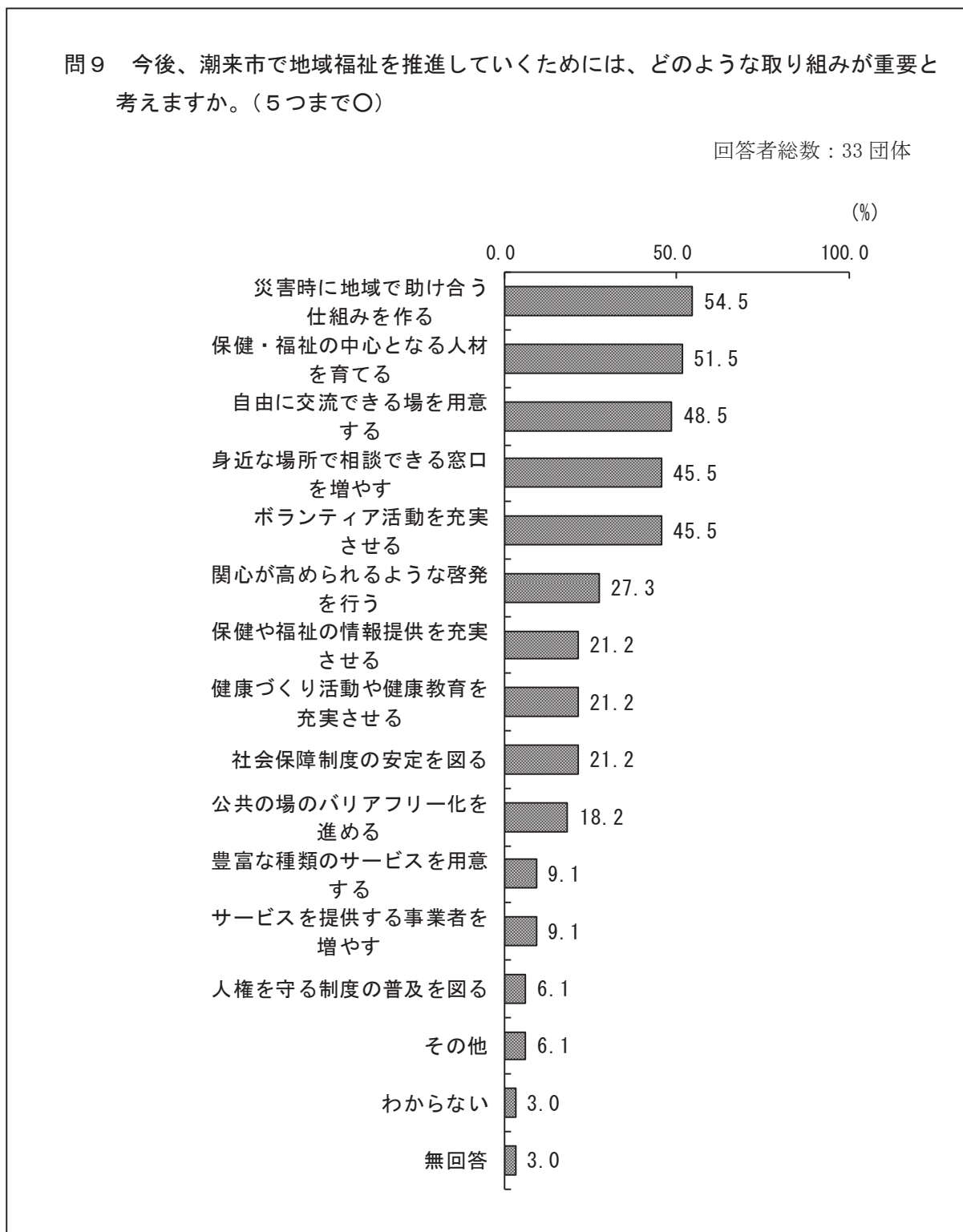


4-2-5 地域福祉の重点施策

「災害時に地域で助け合う仕組みを作る」が54.5%で最も高い。

潮来市において、地域福祉を推進していくために重要なことは、「災害時に地域で助け合う仕組みを作る」が54.5%で最も高い。

図 地域福祉の重点施策



第5章 中学生・高校生アンケート

(裏白)

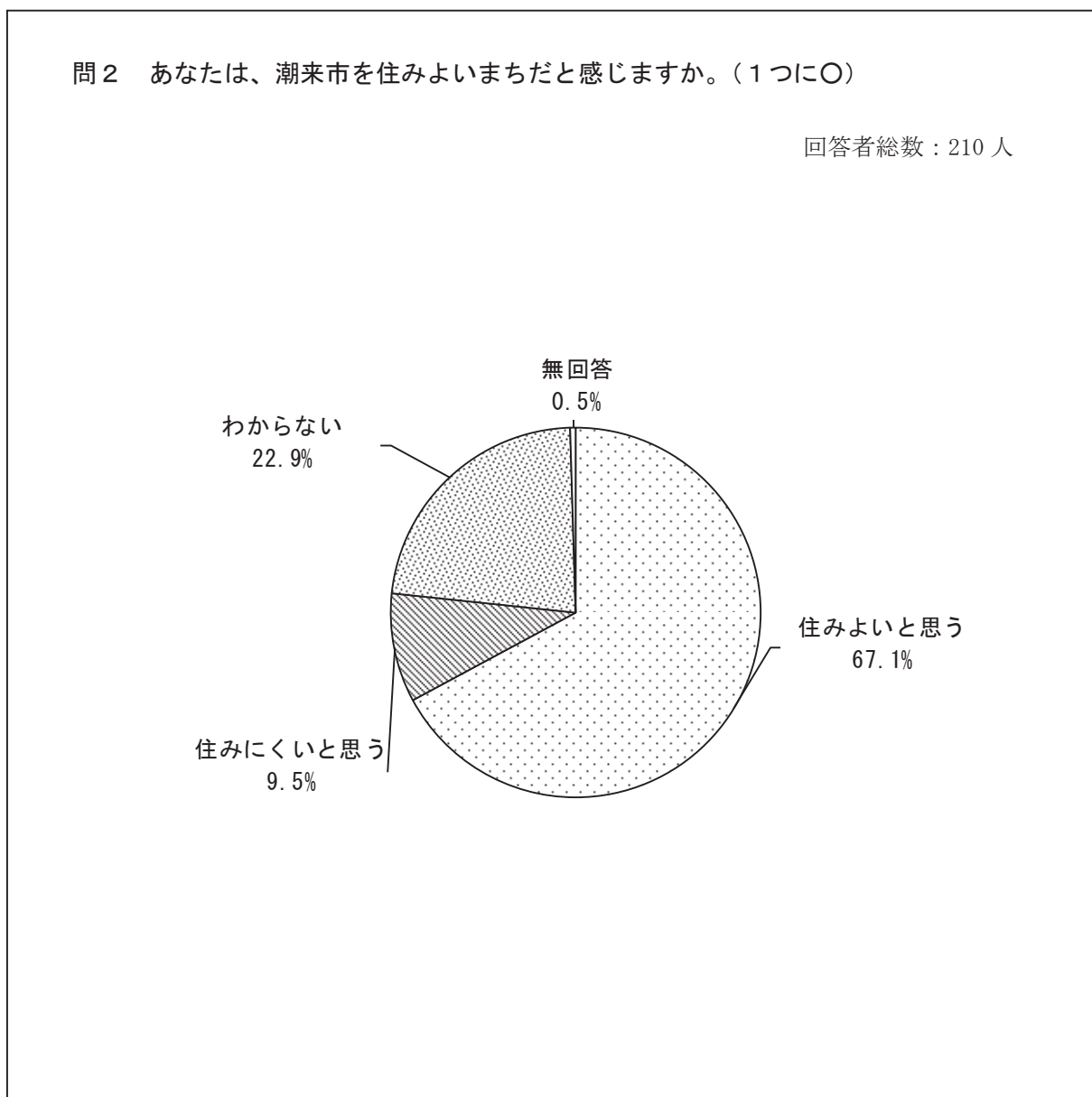
第1節 地域のつながりやボランティア活動について

5-1-1 住みよさ意識

「住みよいと思う」が67.1%。

中学生（中学2年生）に、潮来市の住みよさをたずねたところ「住みよいと思う」が67.1%である。その一方で、「住みにくいと思う」は9.5%である。

図 住みよさ意識《中学生のみ》



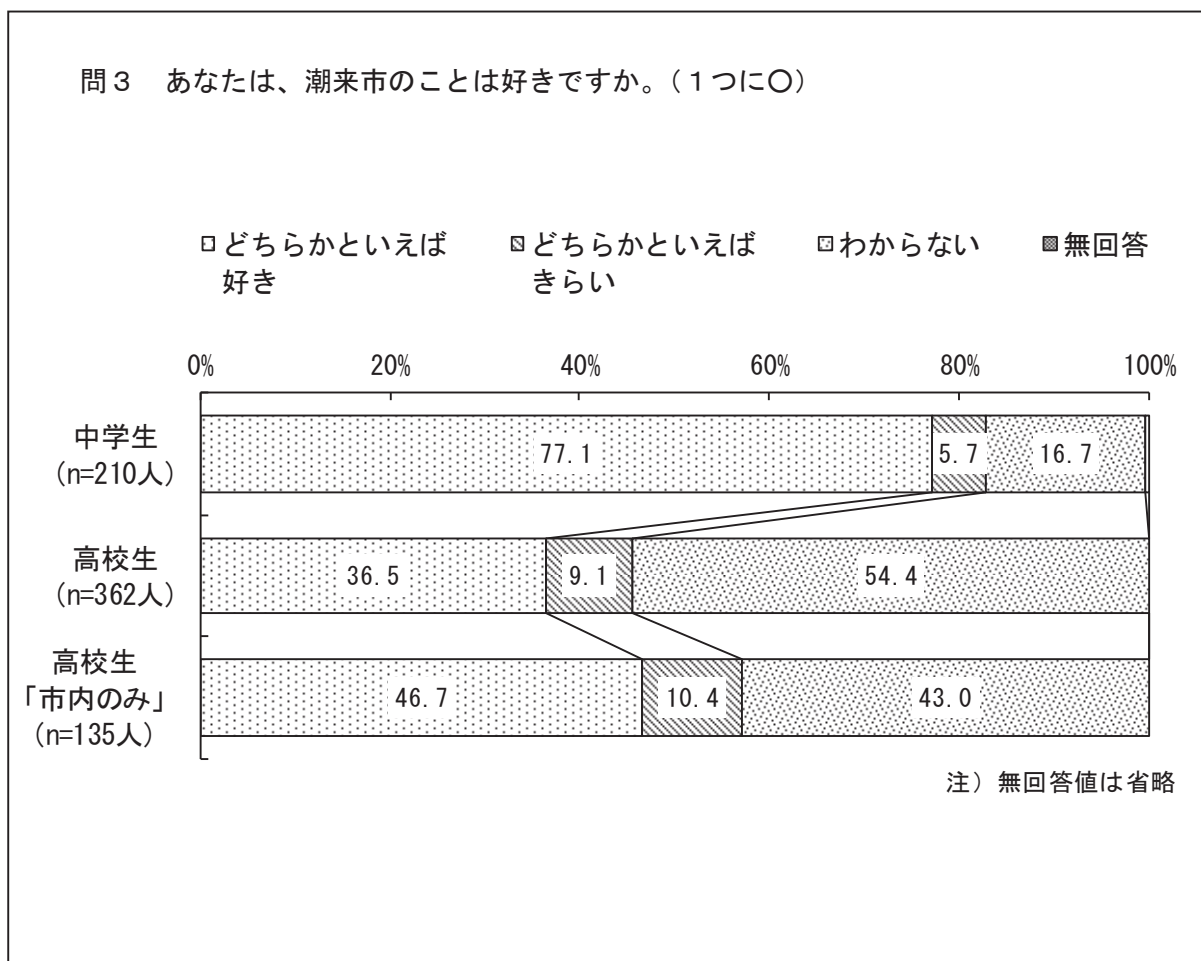
5-1-2 潮来市への愛着

「どちらかといえば好き」は、中学生が77.1%、高校生（市内在住のみ）が46.7%。

潮来市への愛着は、中学生は「どちらかといえば好き」が77.1%、「どちらかといえば嫌い」が5.7%である。

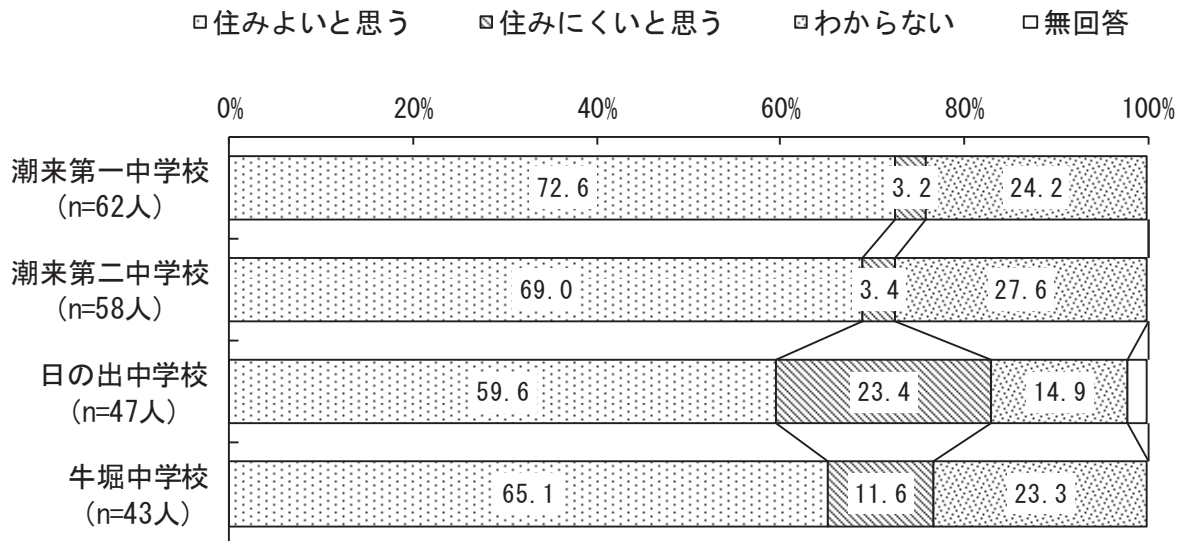
また、潮来高校の生徒（市外含む）は「どちらかといえば好き」が36.5%である。また、潮来高校の生徒（市内在住のみ）は「どちらかといえば好き」が46.7%である。

図 潮来市への愛着



住みよさ意識【中学生・学校別】

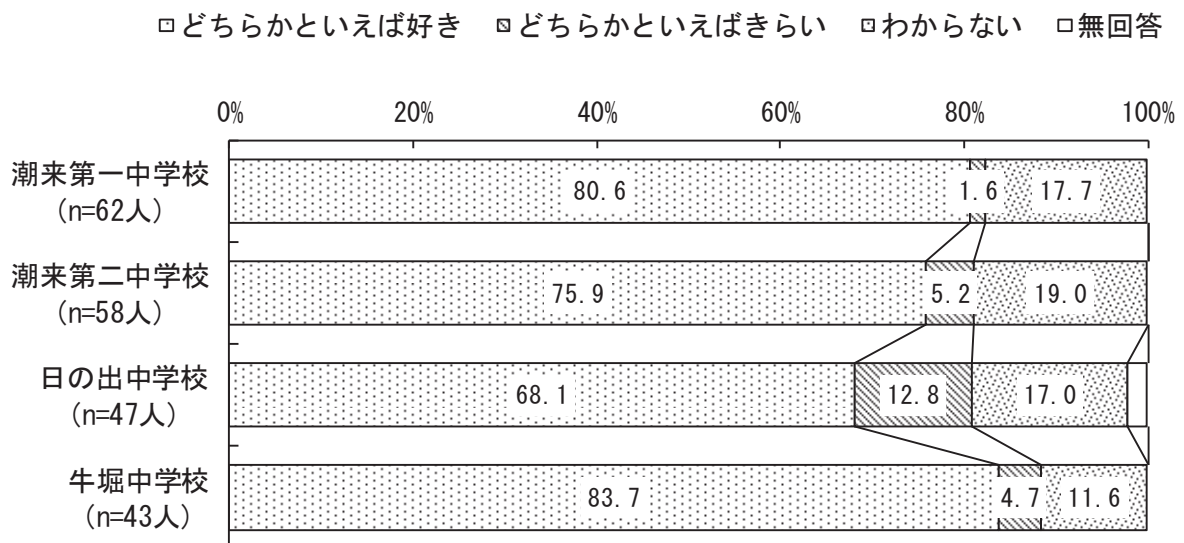
潮来市の住みよさ意識を中学校別にみると、「住みよいと思う」は“潮来第一中学校”が72.6%で比較的高い。



注) 無回答値は省略

潮来市への愛着【中学生・学校別】

潮来市への愛着を中学校別にみると、「どちらかといえば好き」は“牛堀中学校”が83.7%、“潮来第一中学校”が80.6%で比較的高い。



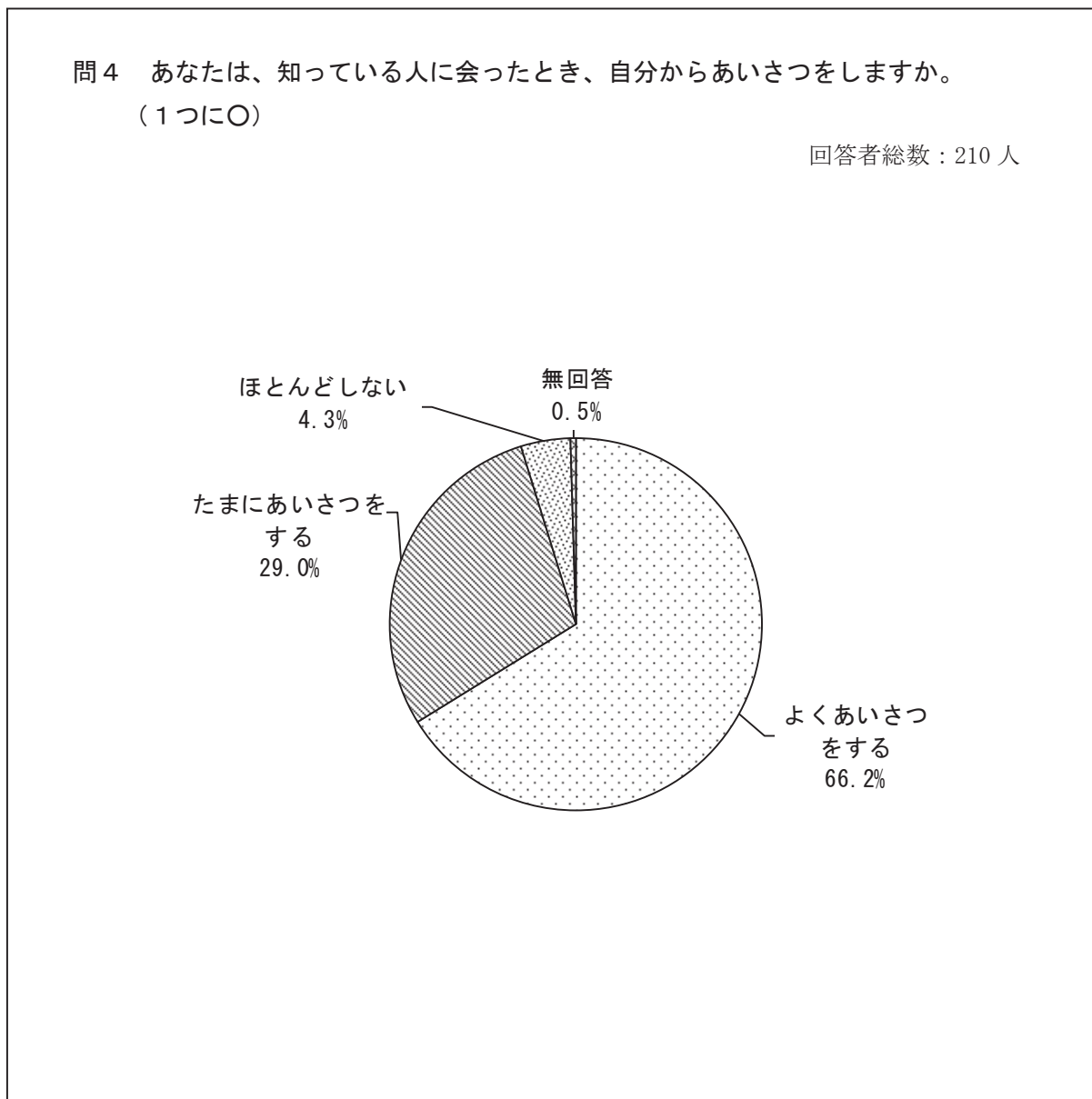
注) 無回答値は省略

5-1-3 自分からのあいさつ

「よくあいさつをする」が66.2%で高い。

中学生に、知っている人に会ったときに自分からあいさつをするかたずねたところ、「よくあいさつをする」が66.2%で高い。

図 自分からのあいさつ《中学生のみ》



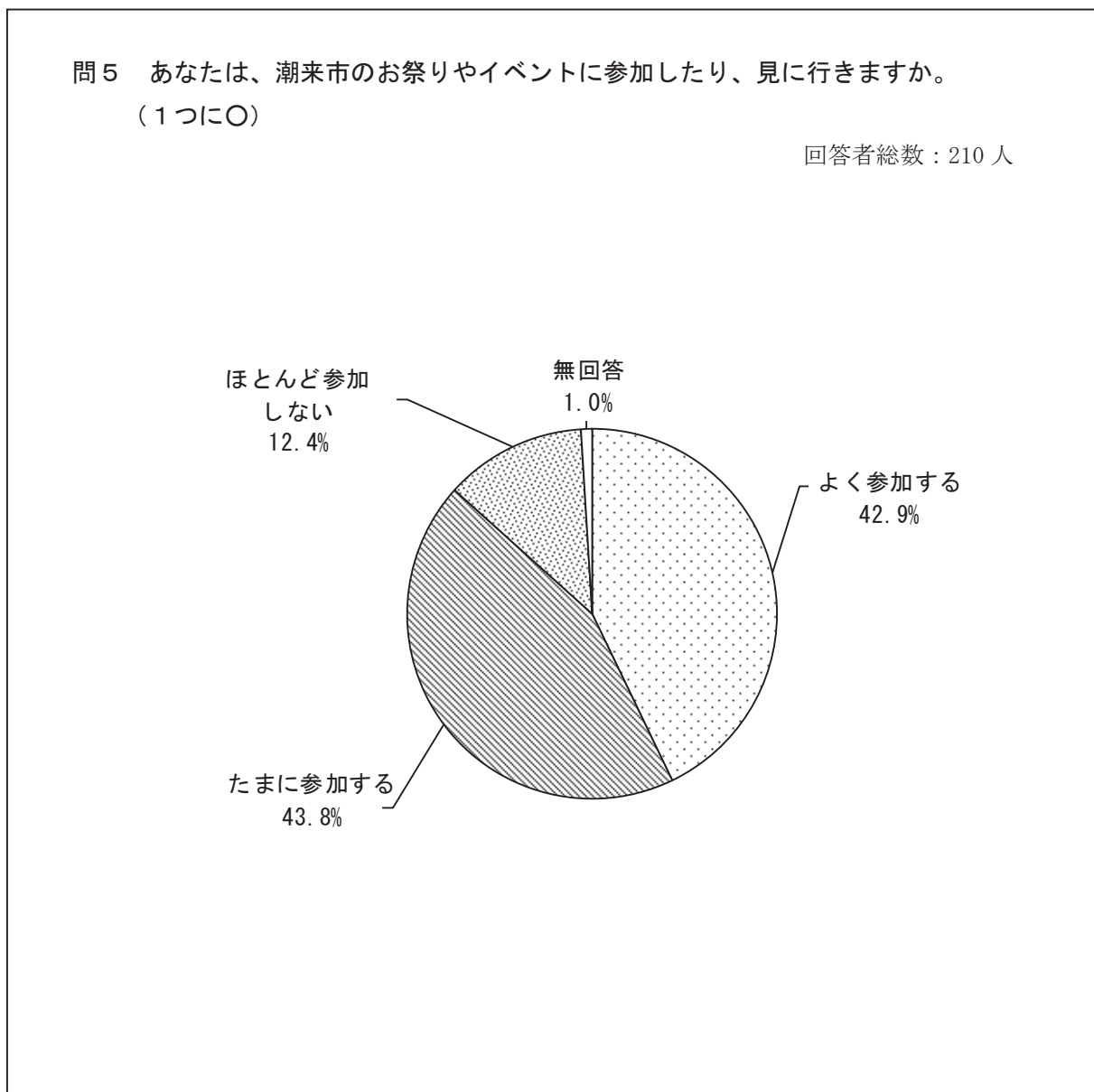
5-1-4 お祭りやイベントの参加

「よく参加する」が42.9%。

中学生に、潮来市のお祭りやイベントに参加したり、見に行くことをたずねたところ、「よく参加する」が42.9%、「たまに参加する」が43.8%である。

その一方で、「ほとんど参加しない」が12.4%である。

図 お祭りやイベントの参加《中学生のみ》

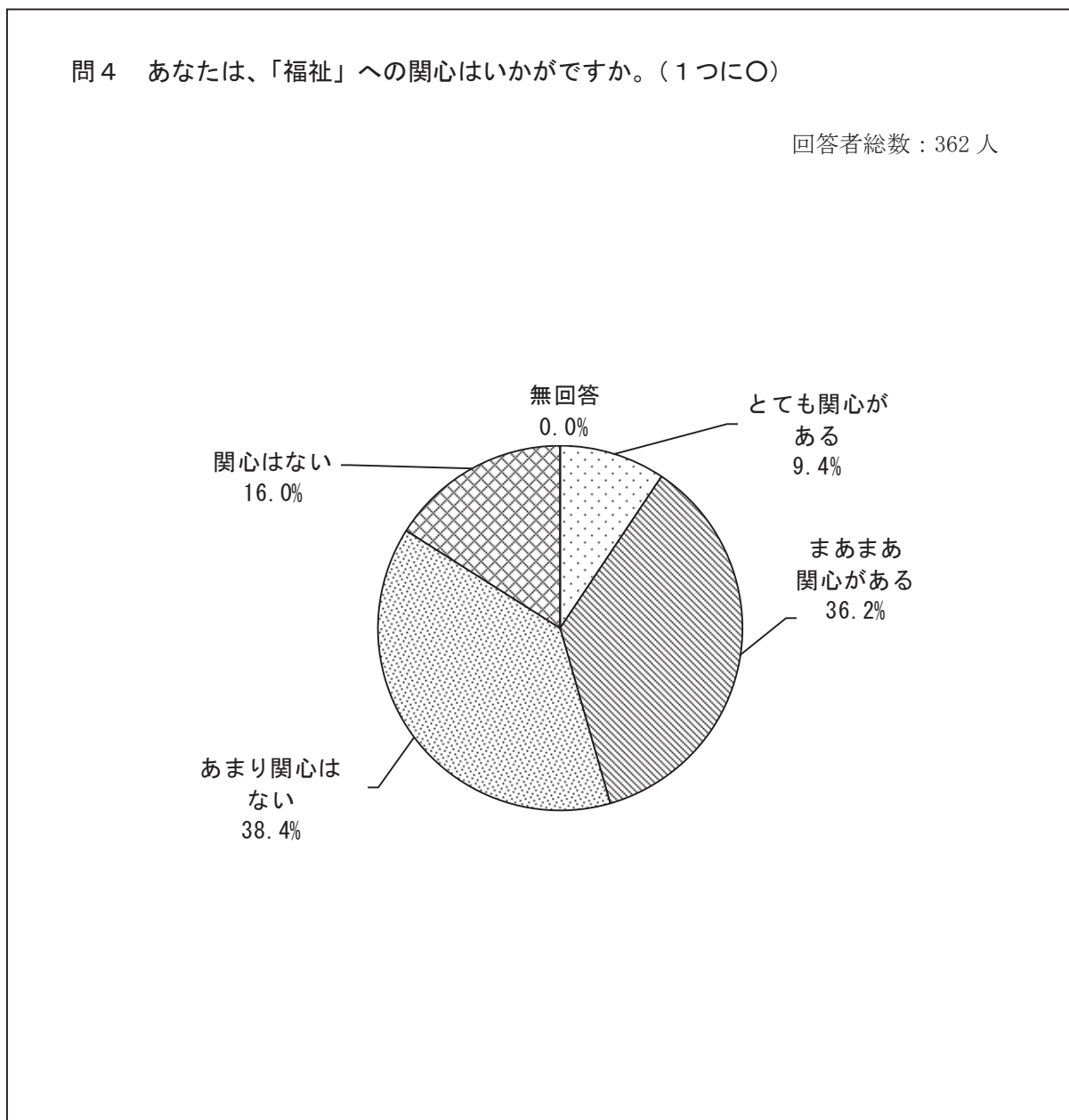


5-1-5 「福祉」への関心

「とても関心がある」と「まあまあ関心がある」を合わせて45.6%。

高校生に、「福祉」への関心をたずねたところ、「とても関心がある」が9.4%、「まあまあ関心がある」が36.2%で合わせると、「関心がある」が45.6%である。

図 「福祉」への関心《高校生のみ》



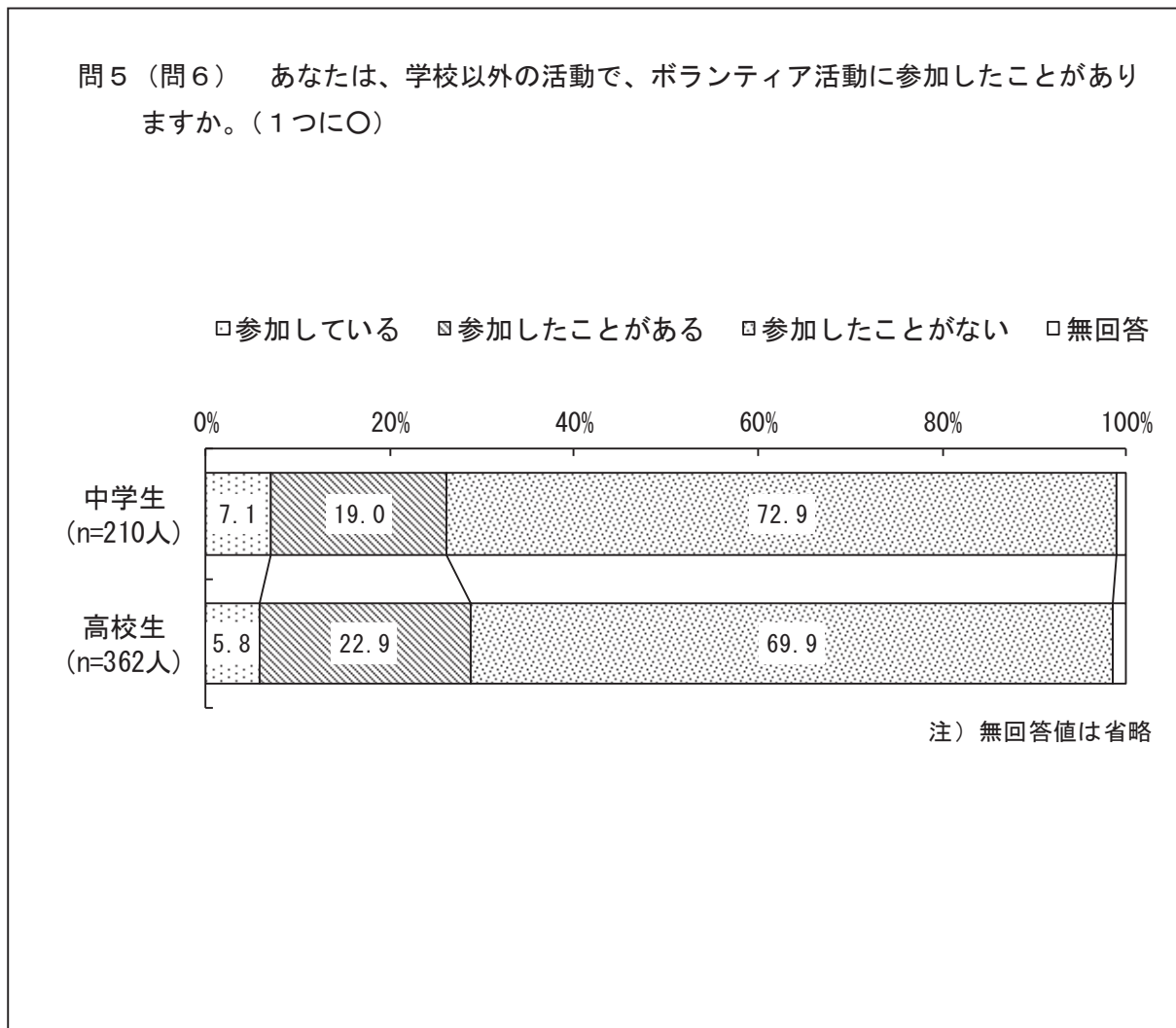
5-1-6 学校以外のボランティア活動への参加

「参加している」と「参加したことがある」を合わせて、中学生は26.1%、高校生は28.7%。

学校以外のボランティア活動への参加は、中学生は「参加している」が7.1%、「参加したことがある」が19.1%で合わせると26.1%である。

高校生は「参加している」が5.8%、「参加したことがある」が22.9%で合わせると28.7%である。

図 学校以外のボランティア活動への参加



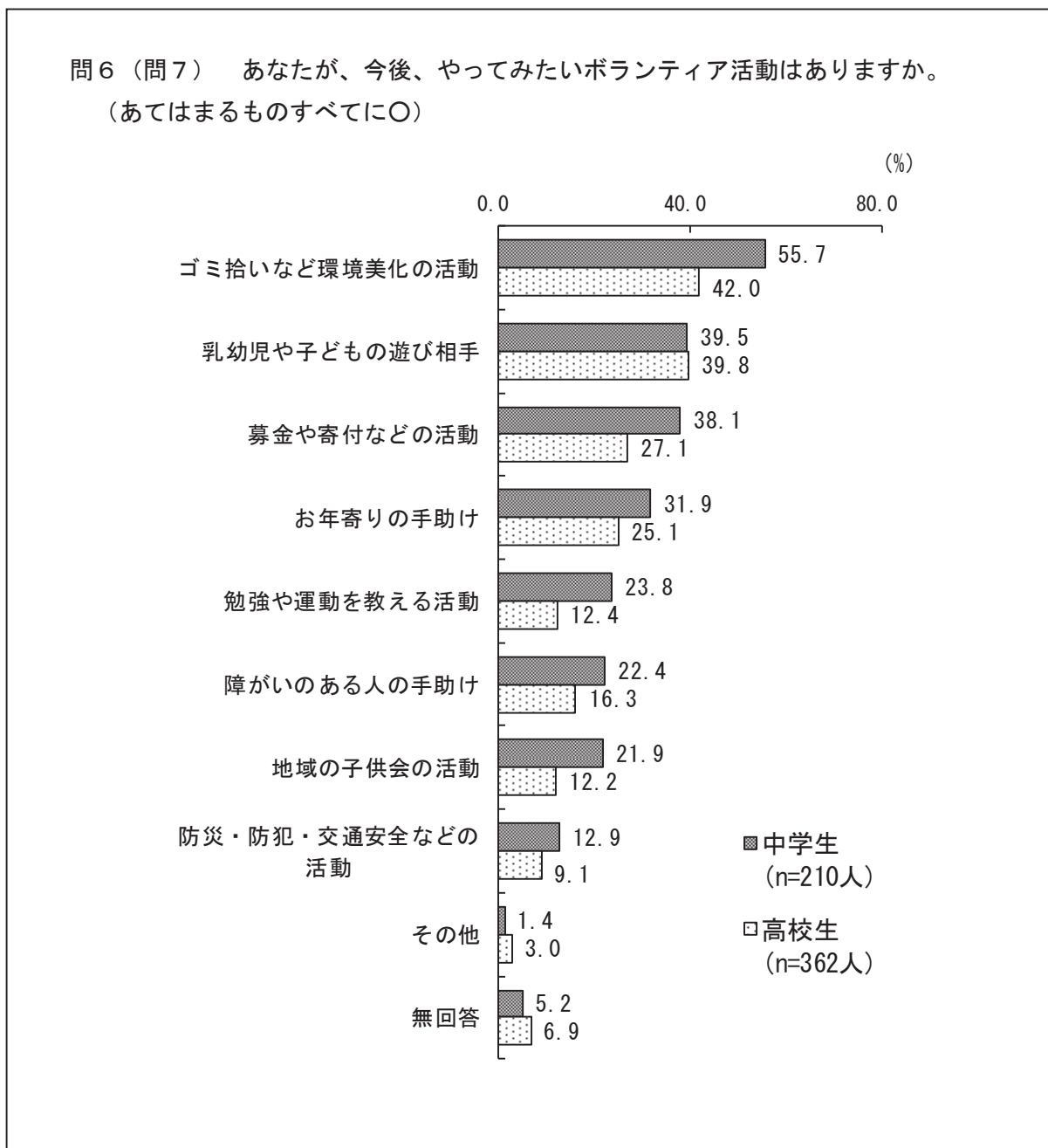
5-1-7 今後、やってみたいボランティア活動

「ゴミ拾いなど環境美化の活動」や「乳幼児や子どもの遊び相手」が高い。

今後、やってみたいボランティア活動をみると、中学生は「ゴミ拾いなど環境美化の活動」が55.7%で最も高く、次に「乳幼児や子どもの遊び相手」が39.5%で続く。

また、高校生についても「ゴミ拾いなど環境美化の活動」が42.0%で最も高く、次に「乳幼児や子どもの遊び相手」が39.8%で続く。

図 今後、やってみたいボランティア活動



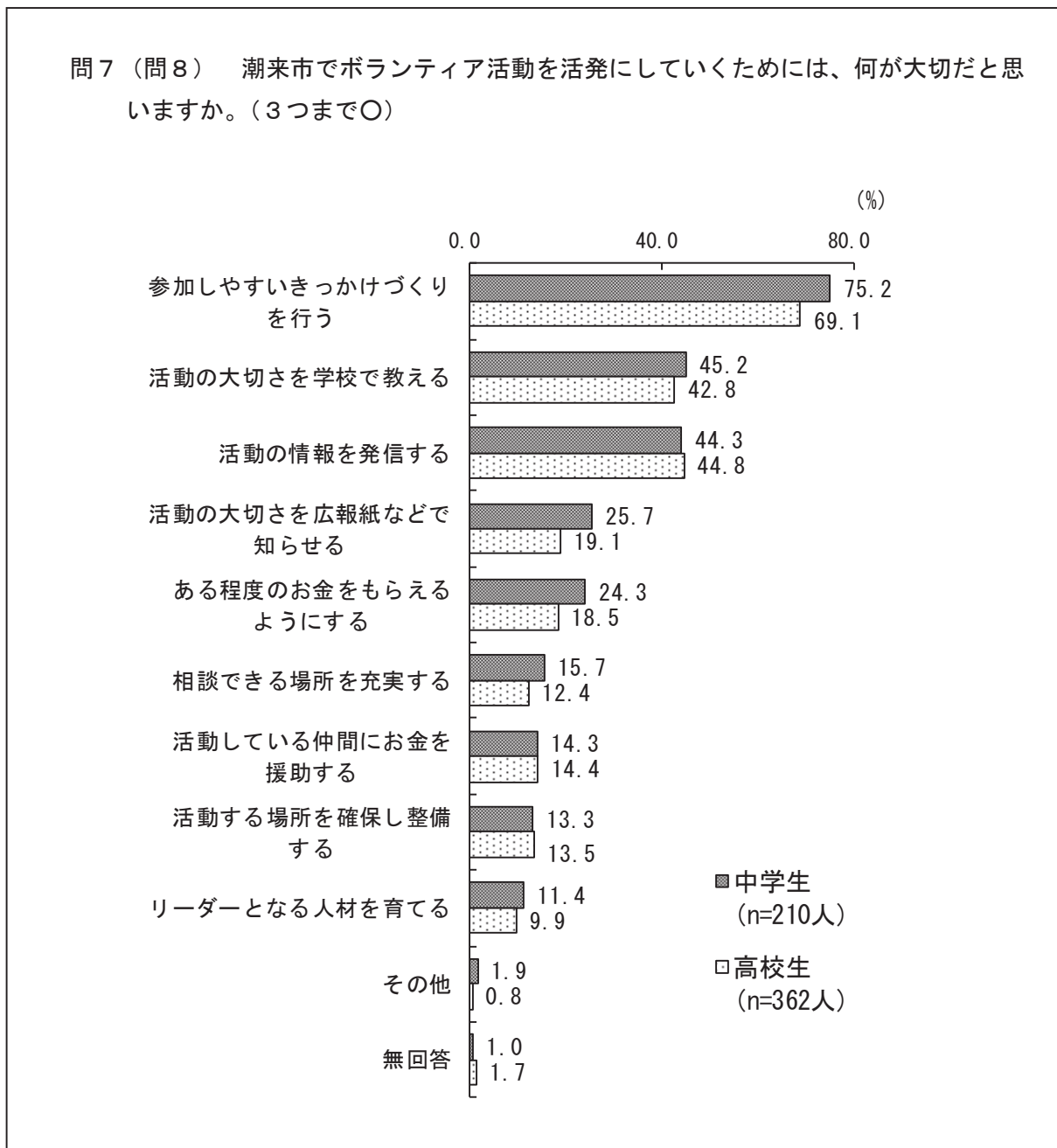
5-1-8 ボランティアを活発にするために大切なこと

中学生と高校生ともに、「参加しやすいきっかけづくりを行う」が高い。

潮来市でボランティア活動を活発にしていくために大切なことをみると、中学生は「参加しやすいきっかけづくりを行う」が75.2%で最も高い。

また、高校生についても「参加しやすいきっかけづくりを行う」が69.1%で最も高い。

図 ボランティアを活発にするために大切なこと



第2節 地域福祉活動の推進について

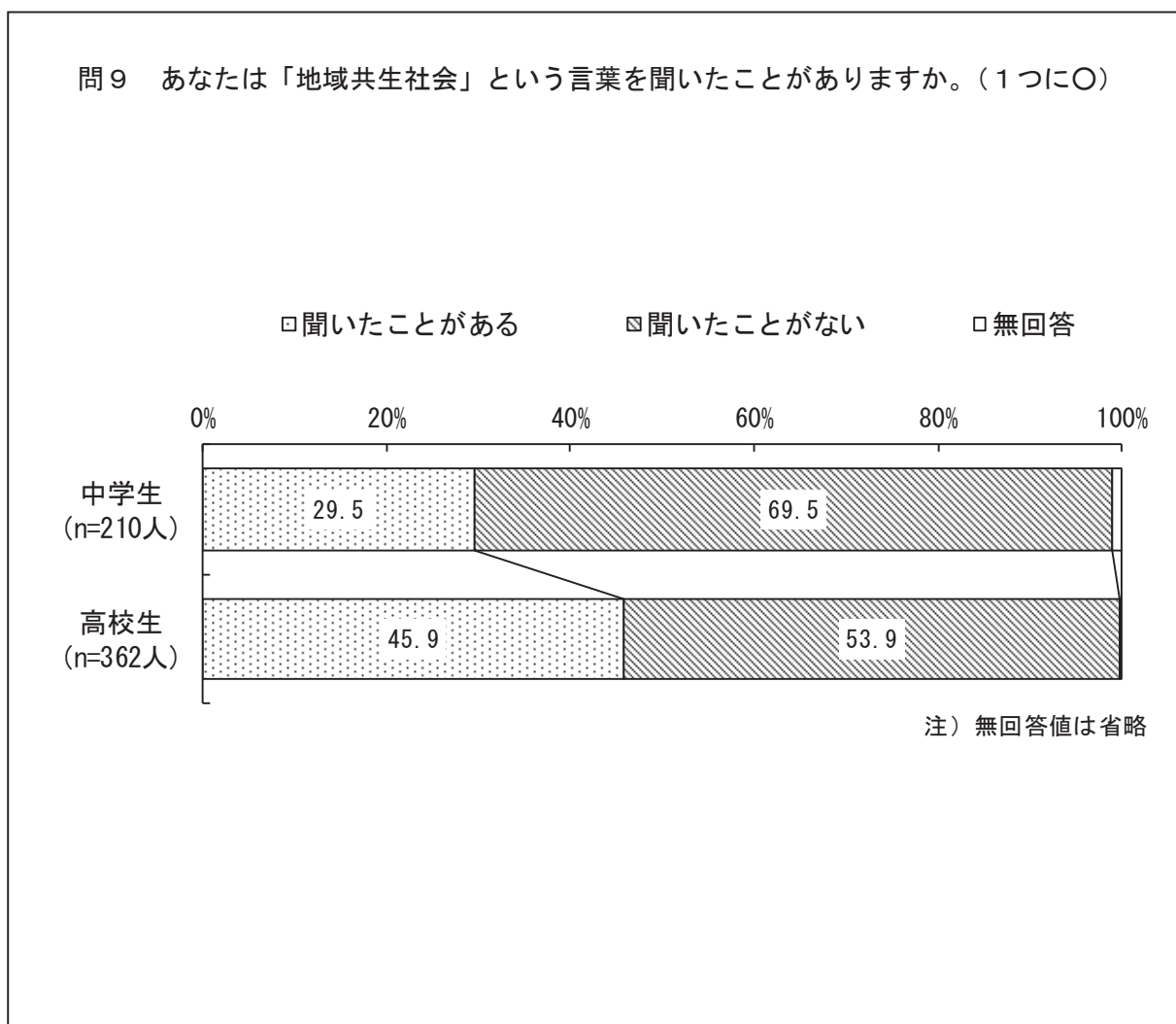
5-2-1 「地域共生社会」の言葉の認知度

「聞いたことがある」が、中学生は29.5%、高校生は45.9%。

「地域共生社会」という言葉を聞いたことがあるかをたずねたところ、中学生は「聞いたことがある」が29.5%である。

また、高校生は、「聞いたことがある」が45.9%である。

図 「地域共生社会」の言葉の認知度

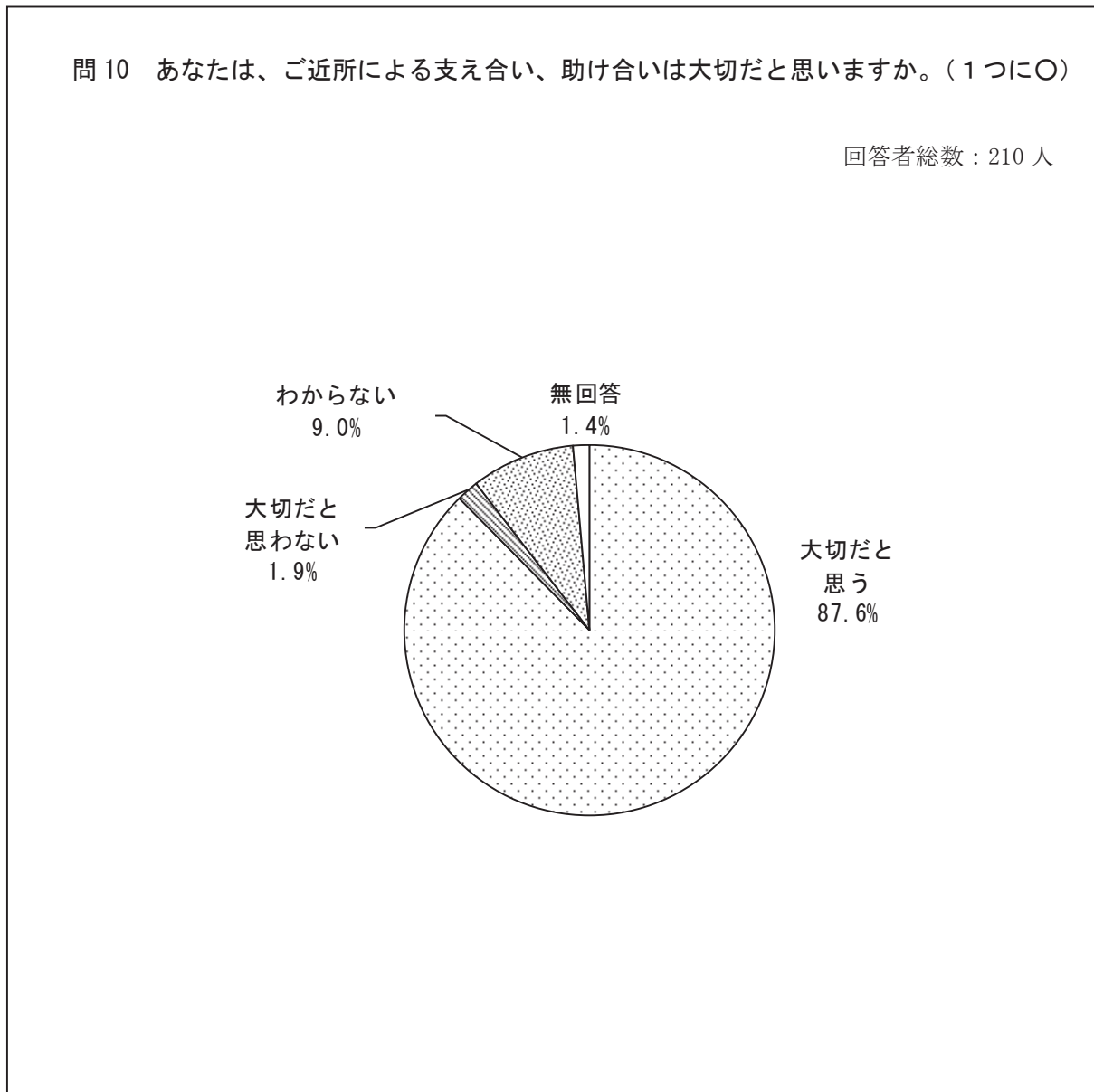


5-2-2 ご近所による助け合い

「大切だと思う」が 87.6%を占める。

中学生に、ご近所による支え合い、助け合いは大切かたずねたところ、「大切だと思う」が 87.6%を占める。

図 ご近所による助け合い《中学生のみ》



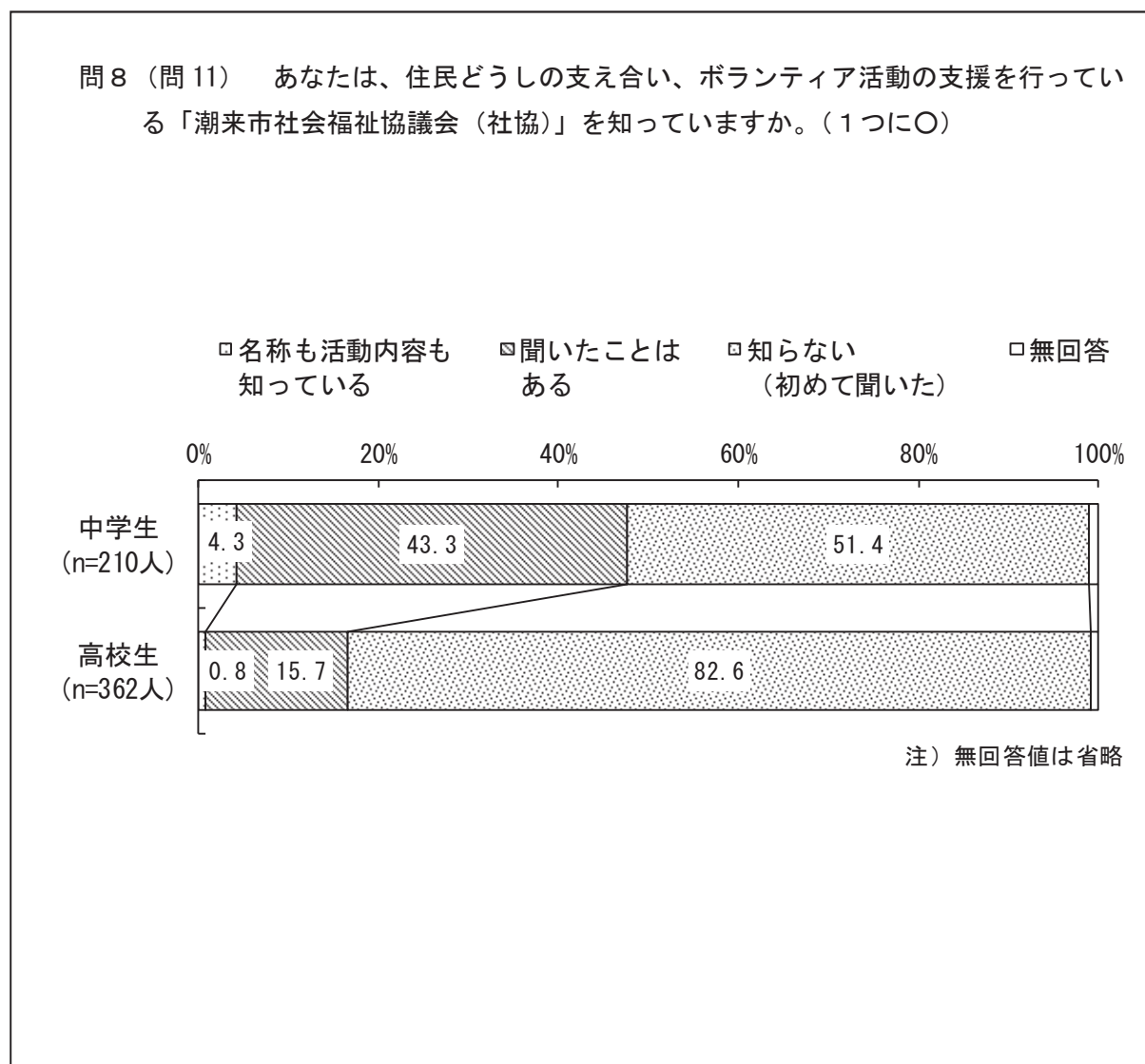
5-2-3 「潮来市社会福祉協議会（社協）」の認知度

「名称も活動内容も知っている」と「聞いたことはある」を合わせて、中学生は47.6%、高校生は16.5%。

「潮来市社会福祉協議会（社協）」の認知度をみると、中学生は「名称も活動内容も知っている」が4.3%、「聞いたことはある」が43.3%で合わせると47.6%である。

また、高校生は「名称も活動内容も知っている」が0.8%、「聞いたことはある」が15.7%で合わせると16.5%である。

図 「潮来市社会福祉協議会（社協）」の認知度

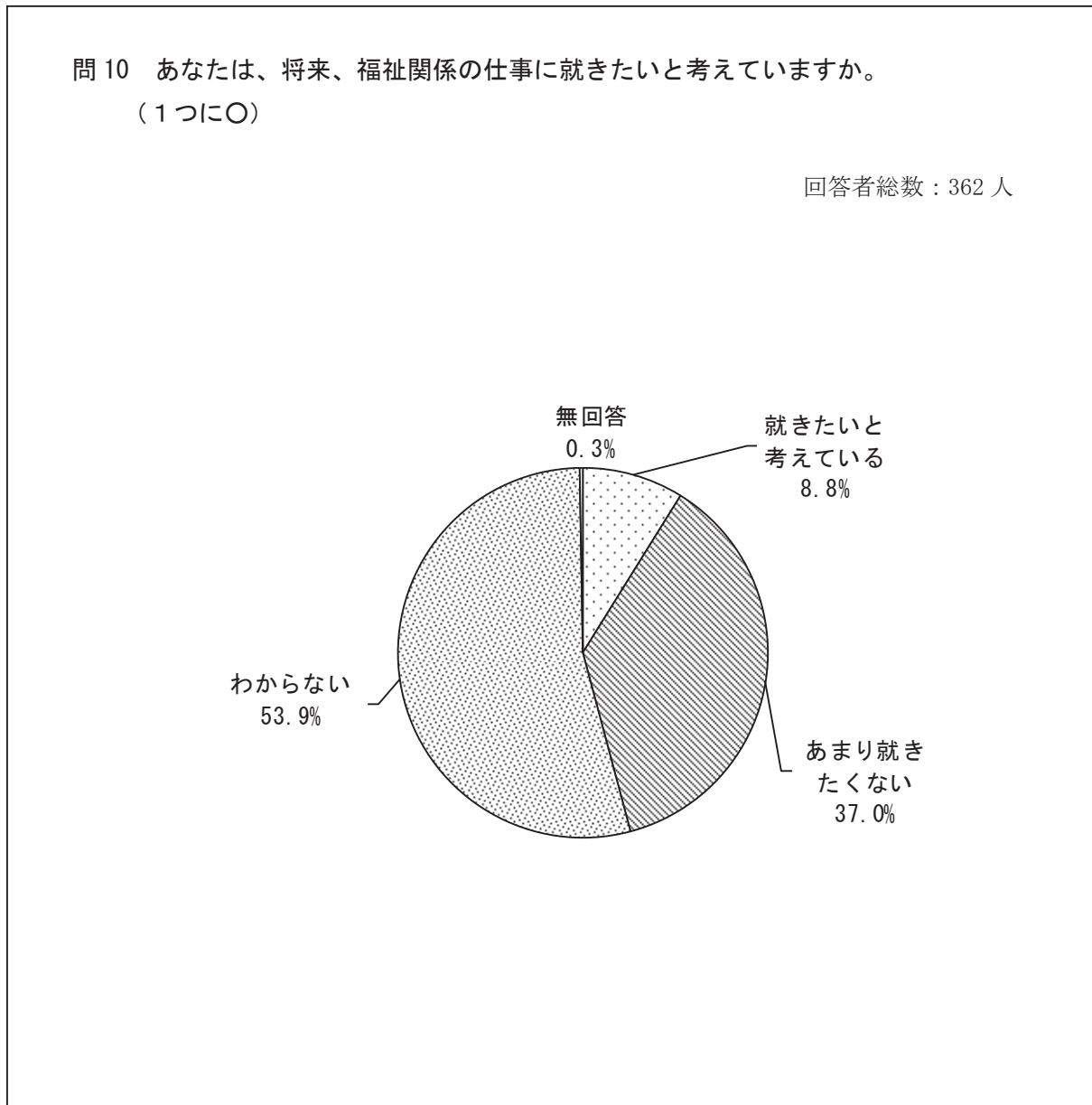


5-2-4 福祉関係への就労希望

「就きたいと考えている」が8.8%。

高校生に、福祉関係への就職希望をたずねたところ、「就きたいと考えている」が8.8%である。また、「あまり就きたくない」が37.0%である。

図 福祉関係への就労希望《高校生のみ》



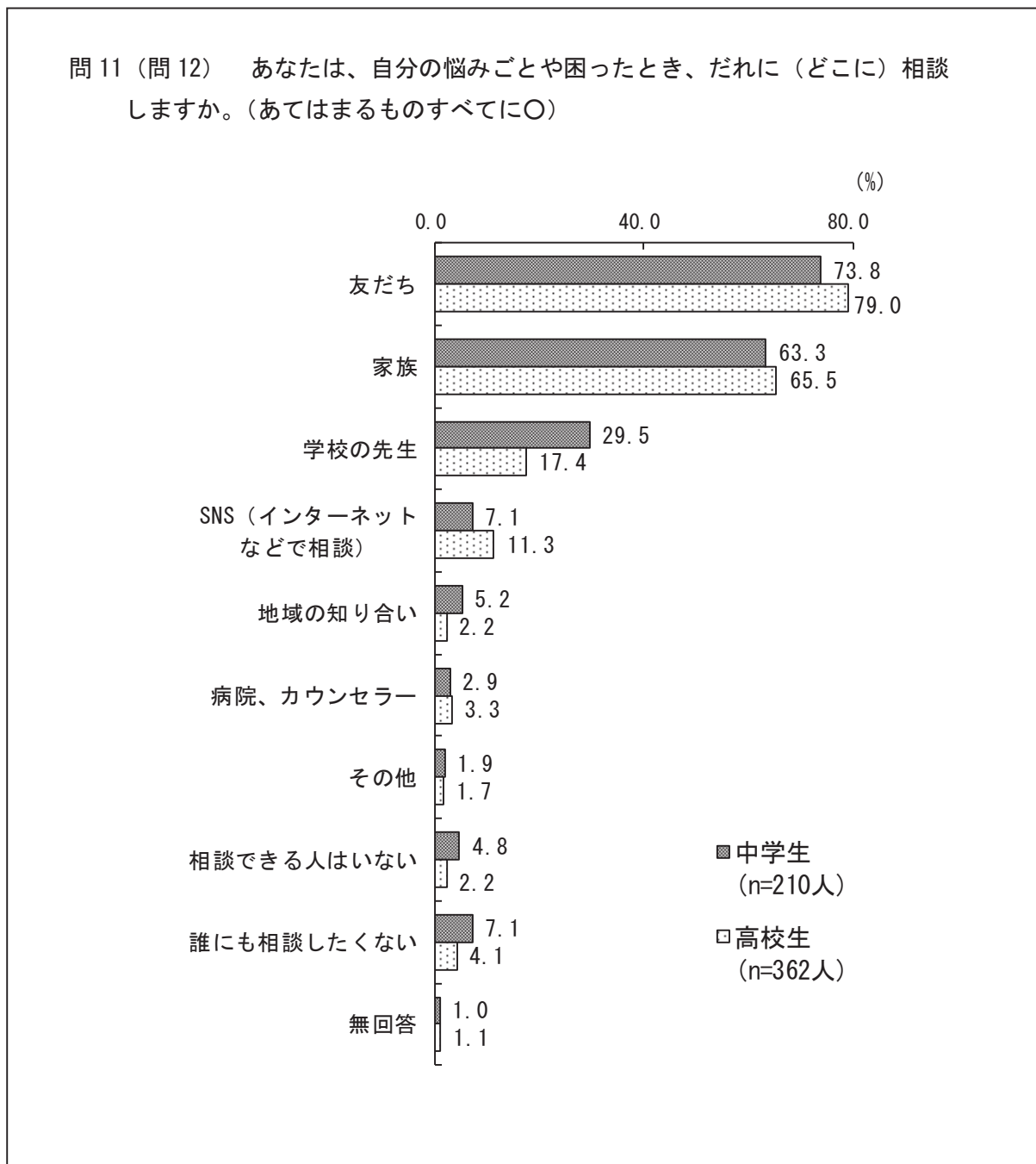
5-2-5 悩みごとの相談相手

「友だち」と「家族」が高い。

自分の悩みごとや困ったときの相談相手をたずねたところ、中学生は「友だち」が73.8%、「家族」が63.3%である。

また、高校生についても「友だち」が79.0%、「家族」が65.5%で高い。

図 悩みごとの相談相手

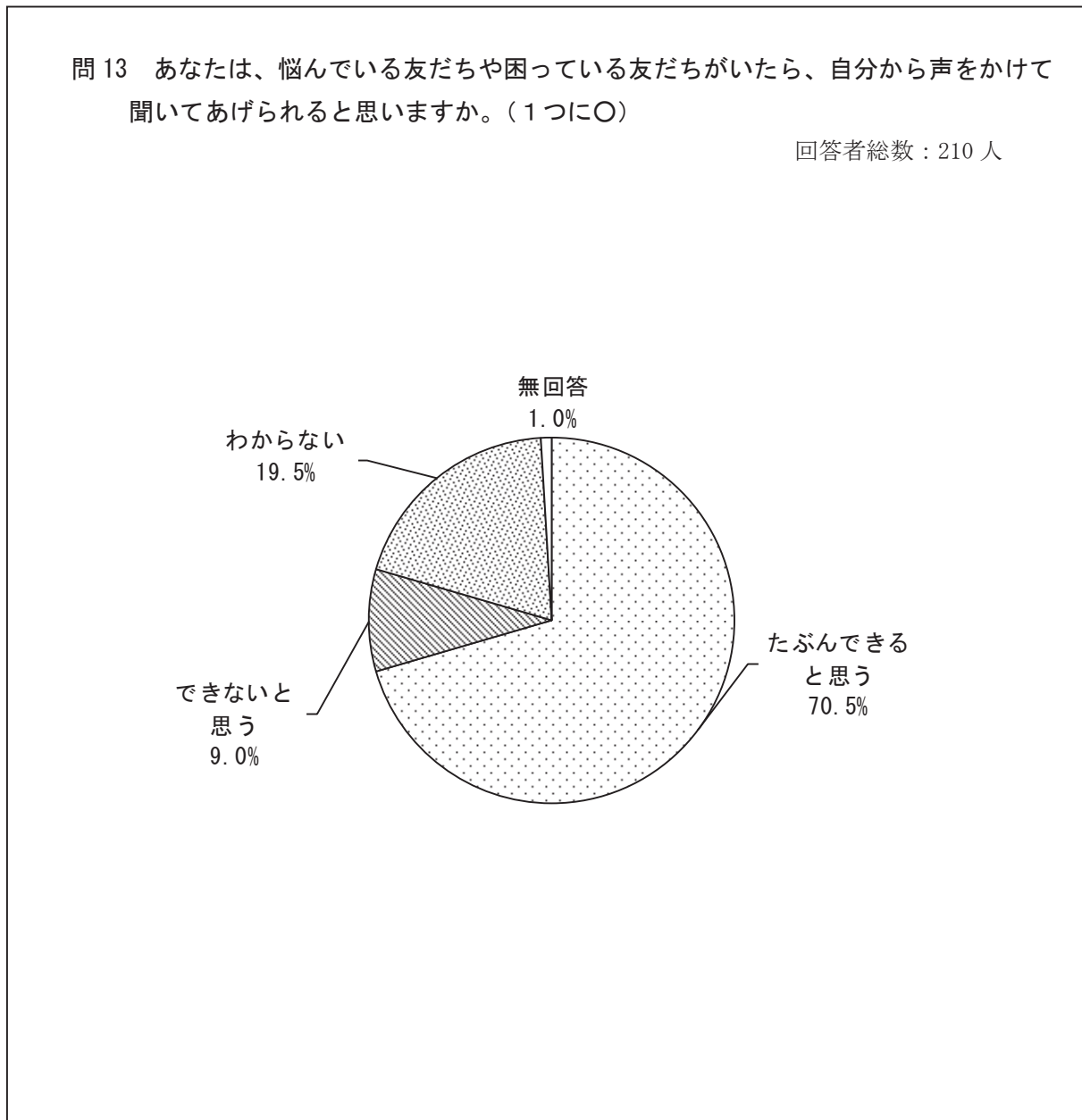


5-2-6 自分からの声かけ

「たぶんできると思う」が70.5%。

中学生に、悩んでいる友だちや困っている友だちがいたら、自分から声をかけられるかたずねたところ、「たぶんできると思う」が70.5%である。

図 自分からの声かけ《中学生のみ》

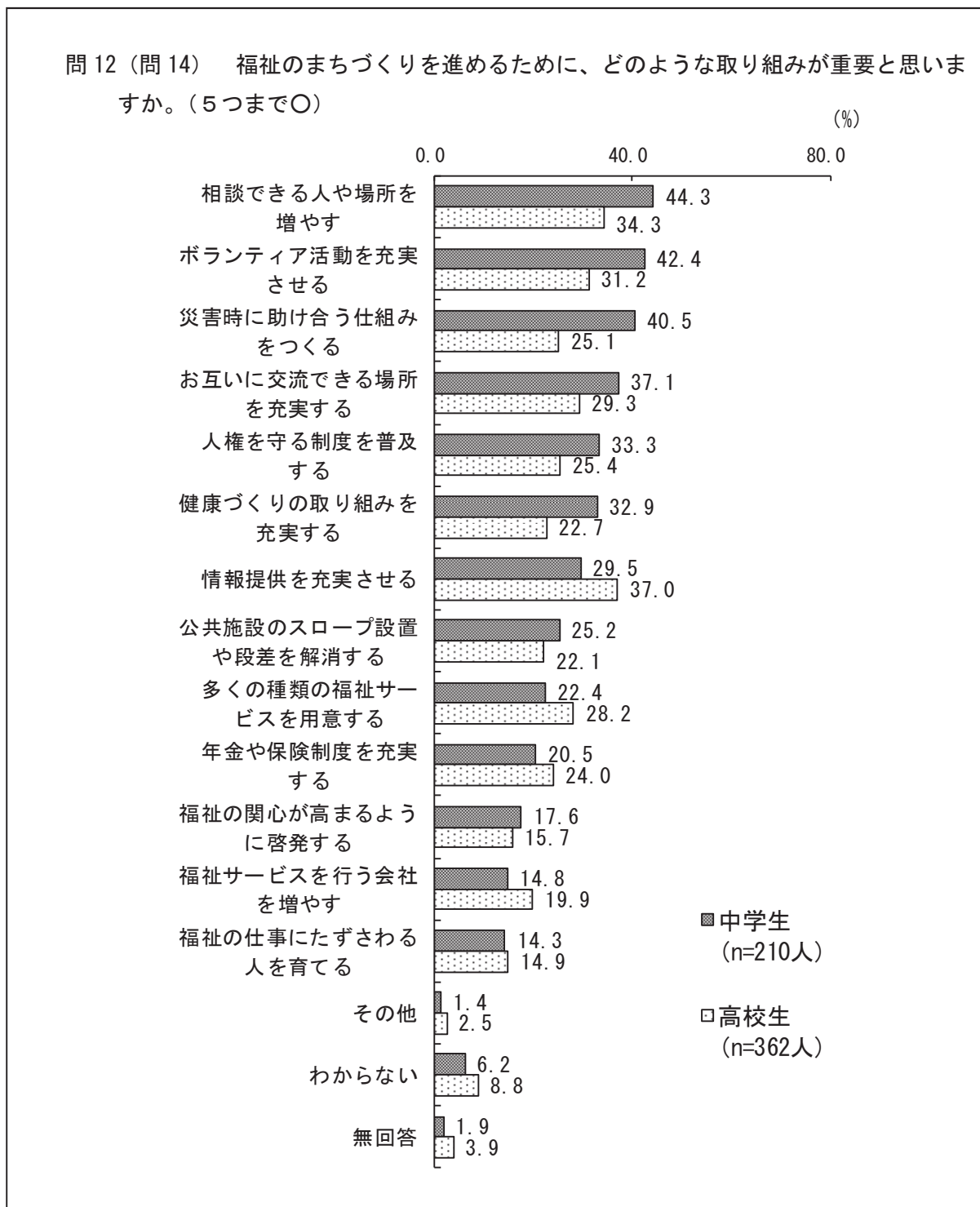


5-2-7 福祉のまちづくりの重点施策

中学生は「相談できる人や場所を増やす」。高校生は「情報提供を充実させる」が高い。

福祉のまちづくりを進めるために重要なことをたずねたところ、中学生は「相談できる人や場所を増やす」が44.3%で最も高く、次に「ボランティア活動を充実させる」が42.4%で続く。その一方で、高校生は「情報提供を充実させる」が37.0%で最も高い。

図 福祉のまちづくりの重点施策



資 料 編

(裏白)

集計表 自由記述

(1) 一般市民アンケート

I あなた自身のことについて

問1 性別は。(1つに○)

回答者総数=940人

1. 男性	436 (46.4)	2. 女性	494 (52.6)
			無回答
			10 (1.1)

問2 年齢は。(1つに○) (令和2年8月1日現在(基準日))

回答者総数=940人

1. 18~29歳	74 (7.9)	5. 60~69歳	216 (23.0)
2. 30~39歳	95 (10.1)	6. 70~79歳	201 (21.4)
3. 40~49歳	119 (12.7)	7. 80歳以上	83 (8.8)
4. 50~59歳	148 (15.7)		
			無回答
			4 (0.4)

問3 お住まいの地区は。(1つに○)

回答者総数=940人

1. 潮来地区	184 (19.6)	5. 日の出地区	174 (18.5)
2. 津知地区	116 (12.3)	6. 大洲区、十番区	14 (1.5)
3. 延方地区	238 (25.3)	7. かすみ地区	61 (6.5)
4. 大生原地区	57 (6.1)	8. 八代地区	76 (8.1)
			無回答
			20 (2.1)

問4 あなたの家族構成は。(1つに○)

回答者総数=940人

1. ひとり暮らし	90 (9.6)	4. 三世帯世帯(親、子、孫で暮らしている)	173 (18.4)
2. 一世帯世帯(夫婦のみ又は兄弟姉妹のみ)	251 (26.7)	5. その他()	30 (3.2)
3. 二世帯世帯(親、子で暮らしている)	386 (41.1)		

無回答 10 (1.1)

II 地域とのつながりについて

問5 あなたは、どの程度、ご近所付き合いをしていますか。(1つに○) 回答者総数=940人

1. とても親しく付き合っている	81 (8.6)	3. 付き合いはあるが、それほど親しくない	277 (29.5)
2. ある程度親しく付き合っている	385 (41.0)	4. 付き合いは、ほとんどない	192 (20.4)
無回答			5 (0.5)

問6 あなたは、ご近所による支え合い、助け合いの必要性をどう感じますか。

(1つに○)

回答者総数=940人

1. とても必要だと思う	183 (19.5)	3. あまり必要だと思わない	103 (11.0)
2. ある程度必要だと思う	630 (67.0)	4. まったく必要だと思わない	11 (1.2)
無回答			13 (1.4)

問6 - ① 主な理由を教えてください。(1つに○)

回答者総数=114人

1. とくに困ることがないと思うから	41 (36.0)	4. ほとんど家にいないから	26 (22.8)
2. 近所付き合いがわずらわしいから	24 (21.1)	5. その他 ()	6 (5.3)
3. 人との関わりが苦手だから	16 (14.0)	無回答	
			1 (0.9)

問7 お住まいの地域をみて、気になること、問題と覚えることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

回答者総数=940人

1. まつりなど地域行事の衰退	173 (18.4)	6. 災害など非常時での協力体制	292 (31.1)
2. 地域の役員のなり手が不足	287 (30.5)	7. 手助けを必要とする方の見守り	153 (16.3)
3. 地域組織の弱体化	181 (19.3)	8. ごみや騒音などモラルの問題	252 (26.8)
4. 住民同士のつながりが減少	282 (30.0)	9. その他 ()	46 (4.9)
5. 防犯・治安・風紀の問題	152 (16.2)	10. とくにない	166 (17.7)
無回答			26 (2.8)

問8 お住まいの地域では、だれかが困っている場合に助け合う気風がありますか。

(1つに○)

回答者総数=940人

1. 全体的にあると思う	92 (9.8)	3. あまりない	137 (14.6)
2. 部分的にはあると思う	492 (52.3)	4. わからない	210 (22.3)
無回答			9 (1.0)

問9 あなたは、自治会（区）に入っていますか。（1つに○）

回答者総数=940人

1. 入っている	655 (69.7)	2. 今は入っていない	123 (13.1)
		3. 以前から今も入っていない	130 (13.8)
		無回答	32 (3.4)

問9 - ① 主な理由を教えてください。（3つまで○）

回答者総数=253人

1. 必要性を感じない	86 (34.0)	5. 活動の内容が不透明	50 (19.8)
2. 加入方法がわからない	37 (14.6)	6. 役員の業務が負担	68 (26.9)
3. 会費の支払いが負担	44 (17.4)	7. その他 ()	41 (16.2)
4. 活動がわずらわしい	63 (24.9)		
		無回答	20 (7.9)

問10 潮来市では、地域のコミュニティ活動を担う自治会（区）の加入率が減少するなど停滞が見られます。あなたはこのことについてどのように思いますか。

（1つに○）

回答者総数=940人

1. 課題であり対策を強化すべき	159 (16.9)	4. その他 ()	18 (1.9)
2. 課題であるが時代の流れで仕方ない	579 (61.6)	5. わからない	118 (12.6)
3. 将来的にもまったく問題はない	34 (3.6)		
		無回答	32 (3.4)



Ⅲ 地域共生社会について

問11 あなたは「地域共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。(1つに○)

回答者総数=940人

1. 聞いたことがある	367 (39.0)	2. 聞いたことがない	532 (56.6)
		無回答	41 (4.4)



『地域共生社会』とは、

社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すものです。

「地域共生社会の実現に向けて」厚生労働省より

問12 生活上の相談や福祉の手助けが必要になったとき、あなたはだれに(どこに)相談や手助けを頼みますか。(あてはまるものすべてに○)

回答者総数=940人

1. 身近にいる家族	751 (79.9)	9. 病院・薬局、カウンセラー	228 (24.3)
2. 友人・知人	423 (45.0)	10. 福祉サービス事業者	200 (21.3)
3. 地域住民	77 (8.2)	11. 法律相談(法律事務所・法テラス等)	57 (6.1)
4. 民生委員・児童委員	114 (12.1)	12. SNS(インターネットを利用し、電子掲示板等で相談)	34 (3.6)
5. 市役所などの各種相談窓口	540 (57.4)	13. その他()	14 (1.5)
6. 保健所や保健センター	168 (17.9)	14. 相談できる人はいない	12 (1.3)
7. 社会福祉協議会(社協)	190 (20.2)	15. 誰にも相談したくない	1 (0.1)
8. 警察	82 (8.7)		

無回答 21 (2.2)

問13 あなたは、ご近所の人や友人・知人などが、悩んでいたたり困っていることを知って、どこかに相談した経験がありますか。(1つに○)

回答者総数=940人

1. ある	131 (13.9)	2. ない	774 (82.3)
		無回答	35 (3.7)

問14 ご近所に介護や病気、子育てなどで困っているご家庭があったら、あなたにできそうなことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

回答者総数=940人

1. 安否確認の声かけ	566 (60.2)	8. 食事・入浴・排泄の介助	21 (2.2)
2. 話し相手	378 (40.2)	9. 散歩の付き添い	81 (8.6)
3. 生活必需品等の買い物の手伝い	217 (23.1)	10. 病院や学校などの送迎	117 (12.4)
4. ごみ出しの手伝い	187 (19.9)	11. 短時間の子どもの預かり	82 (8.7)
5. 掃除や洗濯などの家事	35 (3.7)	12. その他()	20 (2.1)
6. 草むしりや庭の掃除	136 (14.5)	13. とくにない	180 (19.1)
7. 食事のしたく	27 (2.9)		
		無回答	30 (3.2)

問15 あなたは、地域活動やボランティア活動に関心がありますか。(1つに○)

回答者総数=940人

1. 関心がある	318 (33.8)	2. 関心がない	208 (22.1)
		3. わからない	322 (34.3)
		無回答	92 (9.8)

問15 - ① 地域活動やボランティア活動に関する情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

回答者総数=318人

1. 市の広報紙	214 (67.3)	8. 民生委員・児童委員	15 (4.7)
2. きずな(社協の広報紙)	126 (39.6)	9. テレビ・ラジオ	72 (22.6)
3. 市役所の窓口や掲示物	36 (11.3)	10. 新聞・雑誌	66 (20.8)
4. 社会福祉協議会の窓口や掲示物	25 (7.9)	11. インターネット	46 (14.5)
5. 回覧板	169 (53.1)	12. どこで情報を得たらよいか わからない	13 (4.1)
6. 友人・知人	88 (27.7)	13. その他()	11 (3.5)
7. ボランティア実践者	37 (11.6)	14. とくにない	15 (4.7)
		無回答	0 (0.0)

問16 あなたは、「潮来市ボランティアセンター」をご存じですか。(1つに○)

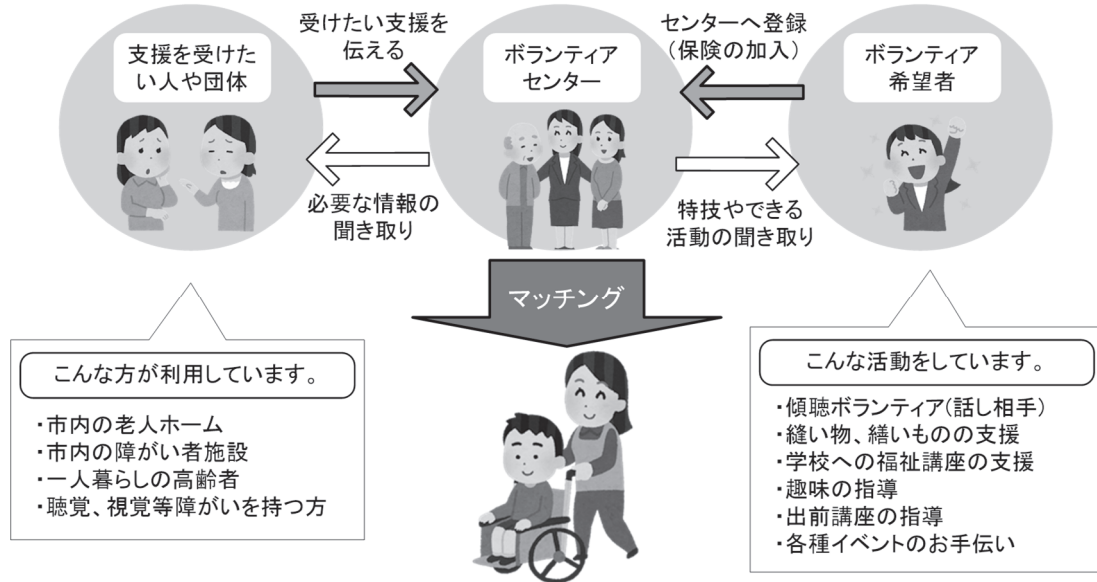
回答者総数=940人

1. 名称も活動内容も知っている	88 (9.4)	3. 知らない(初めて聞いた)	491 (52.2)
2. 聞いたことはある	331 (35.2)		
		無回答	30 (3.2)



『ボランティアセンター』の仕組み

「ボランティアセンター（潮来市社会福祉協議会内）」では、ボランティアをしたい人と、してほしい人との調整役を行っています。



問17 あなたは、どのような条件が整えば地域活動やボランティア活動に参加してみたいと思いますか。（3つまで○）

回答者総数=940人

1. 自分にあった時間や活動内容であること	525	(55.9)
2. 自分の仕事や特技を生かせること	218	(23.2)
3. 友人や家族と一緒に活動ができること	137	(14.6)
4. 家族や職場の理解があること	114	(12.1)
5. ボランティアの選択肢が充実すること	81	(8.6)
6. 団体の活動に関する情報が充実すること	54	(5.7)
7. 活動への参加の仕方が分かりやすいこと	210	(22.3)
8. 活動資金の補助や援助が充実していること	48	(5.1)
9. 進学や就職活動の評価につながる事	17	(1.8)
10. わずかでも報酬があること	71	(7.6)
11. その他（ ）	41	(4.4)
12. わからない	94	(10.0)
13. 参加したいとは思わない	140	(14.9)

無回答

41 (4.4)

IV 地域福祉活動の推進について

問18 あなたは、担当地区の「民生委員・児童委員」をご存じですか。

(1つに○)

回答者総数=940人

1. 担当している人の名前や顔も知っている	324 (34.5)	3. 担当している人は誰か知らない	371 (39.5)
2. 担当している人の名前は知っている	107 (11.4)	4. はじめて聞いた(知らなかった)	113 (12.0)
		無回答	25 (2.7)

問19 「民生委員・児童委員」の活動についてご存知ですか。(項目ごと1つずつ○)

回答者総数=940人

	1. 知っていた	2. 知らなかった	無回答
ア) 高齢者・障がい者・子育て世帯の訪問や見守り	642 (68.3)	258 (27.4)	40 (4.3)
イ) 国から委嘱された非常勤の地方公務員であること	270 (28.7)	613 (65.2)	57 (6.1)
ウ) 住民の生活上の様々な相談に応じていること	600 (63.8)	290 (30.9)	50 (5.3)
エ) 民生委員は、児童委員も兼ねていること	262 (27.9)	623 (66.3)	55 (5.9)
オ) 給与の支給なく(無報酬)活動していること	384 (40.9)	504 (53.6)	52 (5.5)

問20 あなたは、「潮来市社会福祉協議会(社協)」をご存じですか。

(1つに○)

回答者総数=940人

1. 名称も活動内容も知っている	248 (26.4)	3. 名称も活動内容も知らない	150 (16.0)
2. 名称は聞いたことがあるが、活動内容は良く知らない	519 (55.2)		
		無回答	23 (2.4)

問21 あなたは、行政（市）や社会福祉協議会に、福祉の相談窓口があることの安心感はいかがですか。（1つに○）

回答者総数=940人

1. とても安心感がある	243 (25.9)	3. あまり安心感がない	169 (18.0)
2. 少しは安心感がある	470 (50.0)	4. まったく安心感がない	37 (3.9)
無回答			21 (2.2)

問22 「社会福祉協議会」の活動についてご存知ですか。（項目ごと1つずつ○）

回答者総数=940人

	1. 知っていた	2. 知らなかった	無回答
ア) 地域福祉活動を担う中心的な組織であること	488 (51.9)	402 (42.8)	50 (5.3)
イ) 市民の会費等によって運営されていること	205 (21.8)	673 (71.6)	62 (6.6)
ウ) 福祉に関する様々な相談事業を行っていること	523 (55.6)	362 (38.5)	55 (5.9)
エ) 成年後見制度の普及など権利擁護事業を行っていること	171 (18.2)	709 (75.4)	60 (6.4)
オ) 市と連携・協力しながら活動していること	548 (58.3)	342 (36.4)	50 (5.3)

問23 地域福祉を推進するうえで、「社会福祉協議会」は重要な役割を担っています。あなたは、潮来市社会福祉協議会にどのようなことを期待しますか。

(5つまで○)

回答者総数=940人

1. 福祉意識を高める啓発活動	382 (40.6)
2. 福祉体験学習・講座、福祉教育の充実	265 (28.2)
3. ボランティア講座やコーディネートなど活動支援	221 (23.5)
4. 住民主体の「ふれあい・いきいきサロン※」などの支援	213 (22.7)
5. 専門的で継続的な相談支援	443 (47.1)
6. 身近な生活支援サービスの充実（買い物支援、外出支援など）	415 (44.1)
7. 介護保険や障害福祉などの公的サービス	545 (58.0)
8. 成年後見制度など権利擁護事業の充実	124 (13.2)
9. その他()	17 (1.8)
10. とくに期待していない	78 (8.3)

無回答

52 (5.5)

※ふれあい・いきいきサロンとは…集会所や公民館などに集まって気軽におしゃべりしたり、健康づくりに取り組む住民の自主的活動。

V 安心して暮らせる福祉のまちづくりについて

問24 あなたが住んでいる地域の治安について、どのように感じていますか。

(1つに○)

回答者総数=940人

1. 以前と比べて良くなったと思う	62 (6.6)	3. 以前と比べて悪くなったと思う	98 (10.4)
2. あまり変わらないと思う	730 (77.7)	4. その他 ()	19 (2.0)
無回答			31 (3.3)

問25 『福祉』のあり方は、どのようにあるべきと思いますか。(1つに○) 回答者総数=940人

1. 福祉を必要とする人は、家族や親せきが面倒をみればよい	45 (4.8)
2. 福祉は、行政(国や地方自治体)の責任で行うべき	207 (22.0)
3. 福祉は、行政と市民が協力しながら、地域で支え合うのがよい	627 (66.7)
4. その他 ()	22 (2.3)
無回答	39 (4.1)

問26 あなたは、これからの『福祉』の担い手として、家族以外にどのような人や団体がふさわしいと思いますか。(3つまで○) 回答者総数=940人

1. 地域住民(隣近所)	237 (25.2)	5. 福祉サービス提供事業者	451 (48.0)
2. 民生委員・児童委員	202 (21.5)	6. ボランティアやNPO団体	221 (23.5)
3. 行政機関	448 (47.7)	7. その他 ()	6 (0.6)
4. 社会福祉協議会(社協)	435 (46.3)	8. わからない	93 (9.9)
無回答			27 (2.9)

問27 あなたはふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。(1つに○) 回答者総数=940人

1. とてもあると思う	97 (10.3)	3. とくにないと思う	307 (32.7)
2. 少しはあると思う	514 (54.7)		
無回答			22 (2.3)

問28 障害者差別解消法は、障がいのある人への「不当な差別的取扱い」を禁止し、障がいのある人が困らないように役所や会社・お店などに「合理的配慮の提供」を求めています。あなたは、この法律を知っていますか。(1つに○) 回答者総数=940人

1. だいたい内容は知っている	145 (15.4)	3. 知らなかった	483 (51.4)
2. 聞いたことはある	288 (30.6)		
無回答			24 (2.6)



『障害者差別解消法』とは、

役所や会社、お店などの事業者が、障がいのある人に対して、正当な理由なく、障がいを理由として差別することを禁止しています(不当な差別的取扱いの禁止)。

また、障がいのある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応することを求めています(合理的配慮の提供)。「内閣府リーフレットより」

問29 あなたは「成年後見制度」をご存知ですか。(1つに○) 回答者総数=940人

1. だいたい内容は知っている	265 (28.2)	3. 知らなかった	310 (33.0)
2. 聞いたことはある	339 (36.1)		
無回答			26 (2.8)



『成年後見制度』とは、

認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力が不十分の方々を保護し、支援する制度です。家庭裁判所によって選ばれた成年後見人等が本人の利益を考えながら、判断能力の程度など本人の事情に応じて財産を管理したり、身のまわりの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約を結ぶなど、本人を代理して保護・支援します。「法務省リーフレットより」

問30 あなたは「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(1つに○) 回答者総数=940人

1. すでに利用している	3 (0.3)	3. 利用したいと思わない	232 (24.7)
2. 今は必要ないが、将来は利用したい	269 (28.6)	4. わからない	417 (44.4)
無回答			19 (2.0)

問31 今後、潮来市で地域福祉を推進していくためには、どのような取り組みが重要と考えますか。(5つまで○)

回答者総数=940人

1. 保健や福祉に関する情報提供を充実させる	463 (49.3)
2. 身近な場所で相談できる窓口を増やす	482 (51.3)
3. 自由に交流できる場を用意する	148 (15.7)
4. 公共の場のバリアフリー化を進める	154 (16.4)
5. 緊急時や災害時に身近な地域で助け合う仕組みを作る	423 (45.0)
6. 人権を守る制度の普及を図る	87 (9.3)
7. ボランティア活動を充実させる	127 (13.5)
8. 地域での保健・福祉活動の中心となる人材を育てる	234 (24.9)
9. 多様な要望に応えられるよう豊富な種類のサービスを用意する	236 (25.1)
10. サービスを提供する事業者を増やす	205 (21.8)
11. 健康づくり活動や健康教育を充実させる	197 (21.0)
12. 保健や福祉に関する関心が高められるような啓発を行う	161 (17.1)
13. 社会保障制度（年金・保険など）の安定を図る	510 (54.3)
14. その他（)	10 (1.1)
15. わからない	40 (4.3)
無回答	24 (2.6)

最後に、市や社会福祉協議会へのご意見、ご要望、ご提案などがございましたら、お知らせください。

《一般市民の自由回答》

記述のあった内容は、以下のとおりである。（注）記述内容の一部を修正または削除している。

【潮来第一中学校区】

内 容	性別	年齢
○ 名前を聞いたことがあっても、内容まで知らないことが多かったので、ポスターとかチラシとかで福祉について身近に分かるようになったらいいなと思う。	女性	18～29 歳
○ 皆で力を合わせて、素敵な町になれたら良いと思う。今年は行事は全て中止なので県外からのお客さんは少ないかもしれませんがアイモアが汚いので、ボランティアなど呼びかけて皆でキレイにできたらと思う。	女性	18～29 歳
○ 相談される側の意識の高さを求める。相談しやすい環境づくりが大切。地域コミュニティーは成り立たず民生委員さんなどの質の高い方を望む。シングルマザーなどは困っていてもどうしていいかわからない方も多い。	男性	18～29 歳
○ 核家族化が進み、共働き等で時間が取れない中なので、サービス事業者費用補助があると助かる。税収増も必要なので企業勧誘等の検討してほしい。	男性	30～39 歳
○ 地区等、境目に住まれてる方が安心して助け合えるもしくは関係なく交流出来るようにして欲しい。年配の方も大事だが若者にも住みやすい市にしていくべきだと思う。シニアは無料とか一切やめて、少しはお金を取って回すべきだと思う。	男性	30～39 歳
○ まずお年寄りや子供達が住みやすく安全な町づくりをしたほうが良いのではないのでしょうか？町の中を歩いてみると気付かない危険な所があったりしますよ。	女性	40～49 歳
○ 民生委員の役割はよくわかるが、自分が生活面で困った時に、地元の方(民生委員)に相談するのはしにくい。市の相談窓口についても、個人のプライバシーが保たれていない様を感じる(カウンターに席を仕切るついでにたがえないなど)。地域共生社会の実現については、もっと世代を超えてつながれる工夫をしていく必要があるのでは？ボランティアセンターについて、学生ボランティアができるような体制づくりはしていますか？	女性	40～49 歳
○ 共働き・二世帯世帯の増加に伴い、自治会・役員(PTA 含)は実質無理、民間に委託するなど時代に合わせた運用に変えていくべき。	女性	40～49 歳
○ 私は会社員ですが、10代20代の男の子達が、外でのあそび方を知りません(釣りをしたときがない、BBQ や虫取り)。そのような体験を地域などでできる様なボランティアがあると良いと思う。	女性	40～49 歳
○ 新型コロナウイルス感染防止に力を入れて欲しい。地域の行事は大事だが、コロナが終息するまで最低3年間は市内の行事・祭事は中止としなければ、市中感染を免れないだろう。三密になる様な地域活動は市がしっかりと指導しなければならない。	男性	40～49 歳
○ 高齢者の増加、若者の減少と家族の減少が現実化している。残された家族が不安にならない様アドバイスをいただきたい。また相談に対するフォローも充実させていただきたい。	男性	40～49 歳
○ まだまだ事業内容を理解している人は少ないと思う。積極的に広報活動をして市民に広く知らせて欲しい。	男性	50～59 歳
○ 自治会(区)に加入するメリットと無加入者に対してゴミ出しの有料化をするなど、市が強い姿勢を打ち出してもらいたい。	男性	50～59 歳

(続き)

内 容	性別	年齢
○ 意見があれば関係者に言える(書いて投書)できる場所(市が役所の出張所等)を増やす。防災無線の有効活用、流せるものをやれば少しでも変化があると思える。	男性	50～59歳
○ 身内に障がい者がいる。家族は障がい者を中心に生活している。障がい者が生き生きと暮らせる社会になるといいなと思う。少し家族の負担が軽くなるといいなと思う。障がい者が活動できる施設センターがほしい。	男性	50～59歳
○ 人に優しい街であって欲しい。福祉の充実が人口増加の一步になるのではと思う。現状の潮来市は人に優しくない気がする。人を大切に作る街づくりを願っている。	女性	50～59歳
○ 市への意見として、時々電話や窓口で相談すると、止む負えないのかもしれないが、「行政の立場上」ここまでしか話せませんと、もう少しかゆい所に手が届かない所を聞きたいのに応じてくれない事があった。	男性	50～59歳
○ 家族や1人で悩まない様に潮来市に無くても 電話やネットで生活の色々な相談事に対応してくれる所を皆に知らせる工夫をしたら良いのでは。	女性	50～59歳
○ 日々市民のために尽力されている事に感謝している。今後もひとりひとり相手の立場にたって思いやりと寄り添う気持ちを大切にさせて頂けるよう願っている。	女性	50～59歳
○ シルバー人材センターの働き方について、毎年作業時間が増えていて、金額も高くなる。業者の方が安いと評判だ。	女性	60～69歳
○ 私の娘は難病を患っていたので市の福祉課には大変お世話になった。感謝している。協議会の事はあまりよく解らないが、高齢化に入っている今、特に必要なことと存じる。私も近所に疾病を持たれた一人住まいの方のカギを預かり見守らせて頂いているが、皆が出来る事をする必要を感じる。	女性	60～69歳
○ 民生委員が“見守りの声かけ”で不愉快にさせられたり人選に疑問を感じる。	女性	60～69歳
○ 日頃の活動に敬意を表します。社協への需要がますます高まって体制が追いつかない様に感じられる。財政上の問題等あるものと思うが、要員確保体制の強化が必要。	男性	60～69歳
○ 世の中めまぐるしく忙しい中、ボランティアの人材確保がむずかしいように思う	女性	60～69歳
○ 我が家では、現在、社会福祉のサービスを受けなくても済んでいるが、もし、サービスが必要となった場合、専門的知識を持つ有能な職員の方がいると心強い。	男性	60～69歳
○ 問題をかかえ、どこへ、誰にと思い不安になっている方はいると思う。相談、話し難いと思わない、広い窓口を、安心して行ける場所を待っている。	女性	60～69歳
○ 施設の数をややしてほしい。介護を経験中なのでサービスの充実と情報をもっと気軽に入手できればありがたい。	女性	60～69歳
○ 現在は新型コロナウイルスのことでとても心配ですが、それ以上に高齢化社会は大変深刻な問題。住民 行政機関が一丸となって安心して暮らせるまちづくりを期待している。	女性	60～69歳
○ 元気に過ごしている間は福祉についてはあまり深く考えたことはない。夫婦2人暮らしで親戚や子供達が近くにいないと何かあった時の不安がとても大きい。交通の便も悪く病院も少なくいざという時の相談出来る人や場所が近くにあるという事はとても安心出来ると思う。そういう人材の育成や自由に出入り出来る場所がこれからはとても必要だと思う。	女性	70～79歳
○ 高齢のため、あまり良く理解されていない。	男性	70～79歳
○ 高齢化や1人暮らしなどに対応するような市政も考えていく。	男性	70～79歳

(続き)

内 容	性別	年齢
○ 自治会(区)に入っている区費は払ってるが、高齢者になると地区の役員が受けられない。若い人が同居しているが交代勤務なので区の色んな行事に出られないので脱退したいと思いますが、集辺の人との付き合いがなくなるので考え中。	女性	70～79 歳
○ 犬を連れ散歩している人が多く見受けられる。しかし、マナーがほとんどの人が守っていない。行政の方で市民にマナーを守るような啓発をお願いしたい。	女性	70～79 歳
○ ボランティア活動をしたいと常に考えているが、知人にはその様な人がいない為、高齢ではあるが自分が元気なうちは、他の為に役に立ちたいと希望している。	女性	70～79 歳
○ 市・社会福祉協議会・ボランティアの方々には、私にはとても出来ない障害の有る方等の手助け訪問等、親切ていねいに活動されているのをスーパー、身近でみかける。とても感心させられる。皆様のご協力に感謝致します。	女性	70～79 歳
○ 市民が潮来市の住民で良かったと安心して暮らせる潮来市でありたいですね。高齢者が多くなり若い方がボランティアに興味を持つ様に啓発してほしい。	女性	70～79 歳
○ 本当の意味で困っている人たちに開かれていないように思える。社会福祉協議会も、赤十字にしても(私はこの地に住んで40年近く)区者で強制的に寄付させられているが、それって「おかしい」という感覚が無いことにこの市への不信がある。	女性	70～79 歳
○ 社会福祉協議会の活動が良くやって来れてはおりますが、小さな市だから財政面を豊かにし、より充実して暮らせる市にして頂ければ幸福です。	男性	70～79 歳
○ 少子高齢化が進行する中で年々区民が減少している。新住民が区に入らない、入っていても役が廻ってくると区を抜ける人が多い。以前、市発行の入会促進ビラを見た事があるがほとんど変わらない。市を挙げての入会(区)促進キャンペーンなるものを実施してはどうかと思う。	男性	70～79 歳
○ 区加入、未加入を問わず、同じ地区に住んでいる人は市の伝達事項等を回覧する習慣を身につけさせる。安否確認のため是非検討下さい。	男性	80 歳以上
○ 自治会(区)に加入する事をもっと強化してほしい。	男性	80 歳以上
○ 高齢化が増々進む中、免許返上者に対し足の問題が今後の重要課題である。	男性	80 歳以上
○ 道の駅主催の「潮来市巡廻バス」の運行を望む。車の運転の出来ない者はグランドゴルフにも「さくら」の体操にも行かれない。	女性	80 歳以上
○ 私達が市役所等に行った時に、市の方から声をかけてくれると助かる。	女性	80 歳以上
○ 再なる充実した活動を期待する。	男性	80 歳以上

【潮来第二中学校区】

内 容	性別	年齢
○ 若者がもっと住みやすい市にして欲しい。たとえば子育て支援、働く場所など。潮来花嫁さんとあやめ園はとてもステキなので入場料を徴収して市の資金源になるといい。自然を活かしてキャンプ場を作るとか。交通機関が整っているので他県からも遊びに来やすそう。	女性	18～29 歳
○ 今の現場では市の職員、県の職員の対応がとても遅いし、迅速に取り組んでほしい！！	男性	18～29 歳
○ 障がい者・児へ対する理解が高齢者は低い。小学生等は環境により理解が高まっており、子どもから高齢者へ話す事があるが聞き入れてもらえない事が多く感じる。障がい者差別解消法を高齢者でも分かり易く認知させて欲しい。	女性	18～29 歳

(続き)

内 容	性別	年齢
○ 市の無料バスがなくなったので不便というのを聞いた事があるので週2, 3日程市の施設(ヘルスランドさくらや、かすみ保健センター等)だけでもバスを運行してもらえると便利かなと思う。	女性	30～39歳
○ 自治会に入り協力したいと思うが、古くからいる住民に「新しく来た人は入ってほしくない」と言われた。新しく来た人達は自治会で管理している物、場所は使うなど協力したくてもできない現状がある。	女性	30～39歳
○ 子どもの入学祝にランドセルはいらない。だったら5万円の方がよっぽど良い。若い世代がいないので子ども支援に力を入れるべき。	女性	30～39歳
○ 介護も大切かと思うが、育児に関する福祉整備が少ないと感じる。コロナ禍での開催は難しいと思うが、育児で悩みを抱えたり、孤独感を持つ人は多いと思う。そういう人のために気軽に参加できるイベントなどを定期的に行い、相談できる場も同時に開催するなど手軽に、ついでに、という感覚で相談する場所があるといい。	女性	30～39歳
○ 福祉に関する市の問題を共有する機会がない。社会福祉協議会はもっと活動すべき。	男性	30～39歳
○ 3～5月のコロナ休校で、ストレスを感じている子どもたちが少しでも元気ができるように、例えばこども商品券とかアイス引きかえ券とかクオカードとか、他の近隣の市町村がやっていない企画を望む。	女性	40～49歳
○ ボランティアが生活の一部になればいいと思う(買い物や仕事のように)。	女性	40～49歳
○ 数年前に引っ越してきたが、まわりの状況がわからないまま自治会にはいった。自治会にはいっていないとゴミ捨てができないとかあるのかと思えばそんな事はなく、若いからという理由で役員をやられたり、今では入会した事を後悔している。地域のつながりは大事だと思うが、今後の事を考えたらやめようと思う。	男性	40～49歳
○ アイモアの跡地(潮来駅の近くなので)何かできれば。年寄りが多くなるので、つどいの場みたいなの。	女性	40～49歳
○ 地域で助け合う体制づくりは重要であると思うが、近所付き合いを好まない人が増えてきているのも現状。基本何かあった時は、家族・身内で対応しようと思うが、無理な時に頼れる機関、または気軽に頼めるサポーターなどがあるとありがたい。	女性	40～49歳
○ 潮来市で暮らし始めて早や28年。静かで暮らしやすいと思いながら、しかし町の人気が少なく買い物中心にしか出かけないが淋しい感じがして、年を重ねるに従い不安さえ覚える。	女性	50～59歳
○ コロナで大変な情勢の中ですが、県外に下宿している学生などへ「ふるさと応援便」らしきものは潮来市では検討ないのか？	女性	50～59歳
○ 自分は、親の家の近くに住んでいるが、地域の人が自分の親の家に入り「問14」の様な内容をされる事に抵抗を感じると思うし、逆も有ると思う。やはり、その様な事は、まず家族・親族・行政・業者が行うべきだと思う。	男性	50～59歳
○ 介護でずいぶん苦労した。どこへ相談していいか、何をどのようにしたら改善されるか見当もつかず多々悩んだ。もう少し社会福祉関連とのつながりがあれば、少しは楽になったかも・・・。	女性	60～69歳
○ 自治会に入っていないと市の広報紙が届かない。税金を払っている以上、家に届けてほしい。市の事がまったくわからない。	女性	60～69歳

(続き)

内 容	性別	年齢
○ 社会福祉協議会のメンバーはどんな人ですか。	男性	60～69 歳
○ 障害者の入所施設が少ない、満員ですと断られる。	女性	60～69 歳
○ 近所でも家族構成が変化している。その中での福祉政策はピン、キリだと思う。時代の変化で多少なりとも良い環境作りが出来れば。	男性	60～69 歳
○ 福祉の充実には、お金がかかると思う。今の潮来市の財源を考えて福祉を進めることを望む。他にも市として行うことがあると思うので、福祉は人づくりからと思う。	女性	60～69 歳
○ 民生委員を受けて下さる方が中々いないと聞きますが、地域の民生委員を一人ではなくその下で補助する方が一人でも二人でもいた方が受けてくれるのではないかと思います。	女性	70～79 歳
○ 高齢者が多くなり事故を防ぐ為、免許証を返すと病院・買い物に行けない人の為に無料タクシー券の配布の充実。病院の送迎バスの運行。	女性	70～79 歳
○ 社会に関心がない人が多いと思う。どのように関心を持たせるか考えて下さい。	女性	70～79 歳
○ 社会福祉事務の用事で行った時、職員が色々説明してくれて嬉しかった。有難う御座いました。	男性	70～79 歳
○ 社会福祉協議会の具体的に、どの様に活動しているか、知らない。	女性	70～79 歳
○ お一人で悩まない様に相談相手になってあげたいと思う。聞いてあげる事(正しい返答がなくても)ただ聞いてあげる事が大事だと思う。	女性	70～79 歳
○ 私は若い方だと思うので少しでも自治会のためにいろんな仕事を手伝いたいと思う。	女性	70～79 歳
○ 高齢化社会となり、後期高齢者が多くなり、施設に入所するのに順番待ちが大変らしい。牛堀の小学校の廃校を利用して、市営老人ホームの建設を希望する。	男性	80 歳以上
○ 日の出地区に小さくてもよいので、スーパーが欲しいとみんな思っている。	男性	80 歳以上
○ 少子高齢化が更に厳しい時代の到来、高齢者も自覚が必要、自分のことは自分でやる。	男性	80 歳以上
○ 市の防災課へのお願いだが、防災イタコから無線放送があるが、私の耳が悪いのか、風向きによっては放送内容が聞きとれない時が多くあるので、一度防災課で確認して下さい。場所は、日の出 6 丁目幹線道路の南側約 100m 範囲です。	男性	80 歳以上

【日の出中学校区】

内 容	性別	年齢
○ 近隣の市では今年度中に産まれる子どもに対し 10 万円の給付があったり、市民に数万円ずつ給付があるのに対し、潮来市は支援が少なすぎる。	男性	30～39 歳
○ 安心して街を歩けるように市や警察の見回りを強化してほしい。	女性	30～39 歳
○ 虐待・育児放棄などのニュースが多いこの時代なので、もっと気軽に相談できたり子供とのびのびと遊べる環境を作してほしい。また、地域の人たちとの交流できる場所もあってほしい。	女性	30～39 歳
○ 福祉活動をするに当たり、ボランティア奉仕精神を求める事に疑問を感じる。対価を支払いよりよいサービス等を提供してもらえる仕組みを独自で確立してもらいたい。それに伴い福祉従事者への賃金仕事環境の向上も考えていただけると安心して生活できる、福祉が充実した市になると思う。	女性	30～39 歳
○ 市、及び社会福祉協議会のさらなる活動を希望する。	男性	50～59 歳

(続き)

内 容	性別	年齢
○ 福祉？潮来市はどんなことをしていますか？市民、どんな人にも理解できるような活動内容を、誰でも受けられる難しい手続きのない福祉を。アンケートを取ったわけですから充実した福祉を近隣の市のことを参考にしてほしい。	女性	50～59 歳
○ 「みんなが平等に幸せに暮らせる社会」を願っている。同じ時間を共に生きている仲間だから。	男性	50～59 歳
○ 昨年、予測のつかない災害が頻繁に起こっている。自分がその身になったらと不安に感じる。避難所の案内、避難後のケアの体制を整えてほしいと思う。東日本大震災の時、巡回車で市内の様子などを知らせて欲しいと思った。	男性	50～59 歳
○ アンケートの回答を今後の活動に役立てていただきたい。	男性	60～69 歳
○ 寄付文化を充実させ、活動の安定を図る。	男性	60～69 歳
○ 日の出地区は区の加入者が年々減少している。班長は祭の手伝い、区民の運動会の手伝い等があり、また区費も負担になるとの理由かと思われる。さらに、役員になると負担も大きくなり、それを避けて脱退していくようにも感じられる。新規で加入する人は少なく、区に加入していない方は近所でも顔も知らない。この現状において地域で助け合う仕組みは難しいように思われる。	女性	60～69 歳
○ 自治会への加入率の低さが問題だと思う。行政ももっと積極的に取り組み(加入促進)を行うべきだと思う。このままだと地域コミュニティがなくなり、人口の減少がさらに進んでいくと思う。	男性	60～69 歳
○ 今はコロナで集まれないが、公園や広場で大人も子供も体を使って遊べる(体力作り)になる様にものがあれば良いと思う。	女性	60～69 歳
○ 前にも書いたが、田舎(地方)ゆえに地方意識が強いのはある程度解るが、潮来の人口の何%が他県出身者である事をわきまえてほしい。行政的には差別的な事はないとは思っているが、住民感情的には今も残っている。	男性	60～69 歳
○ 病気やケガ、高齢になって支援が必要になってしまってから気軽に支援が受けられる仕組みが欲しい。	女性	60～69 歳
○ 自分の資格を生かして児童の養護や支援などしたいという思いがあるが、仕事をしながら…は。自分の仕事が終了した後には、お手伝いしたいという考えはある。	女性	60～69 歳
○ 私の住んでいる地域からは通院、買い物等はどうしても車が必要。	女性	70～79 歳
○ 潮来市はお祭りがあるお陰で人との結びつきが強い様に見受けられますので大変良い事だと思う。そのお祭りを維持していくのに各家庭の負担が大きいと伺っている。そこを市の方で補助してあげられませんか(出ているのかも知れませんがすみません)。	女性	70～79 歳
○ 市として市民全体が区に加入しなければならない仕組みを作らなければ、区は崩壊すると思う。	男性	70～79 歳
○ とにかく他人様に迷惑かけない様にと思っている。	女性	70～79 歳
○ 現在、グランドゴルフを週2～3回プレーしている。高齢化社会を見据え、グランド整備、水はけを良くするなど環境を整えて頂くなど高齢者に優しい運動促進した街づくりをお願いしたい。	女性	70～79 歳
○ どんなに本人がつらくとも福祉の方がそれを受け入れてくれなかったら二度と選ぶ事は無理でしょう。	女性	80 歳以上

【牛堀中学校区】

内 容	性別	年齢
○ 結局は自分自身のやる気次第だと思う。	男性	18～29 歳
○ 障害者の困っている人は沢山いると思う。市や社会福祉協議会がもっとよりそい、真剣に向き合い助けてあげるべきだと思う。障害者、弱者に優しい市であってほしいと思う。	男性	30～39 歳
○ コミュニティ内の協力はとても重要だがそれを暗黙のうちに実質強制させられるのは問題。(例)祭礼への支出や会合への出席強制・不参加の場合の出不足料徴収。このような前時代的な慣例が自治会(区)への加入者減、ひいては地域の人口減の要因となっていることを認識すべき。地域住民内での協力を同調圧力ではなく自発的に無理させずにできるようにする環境づくりが重要と思う。	男性	30～39 歳
○ 地域福祉は、一般事業の方々など広く協力関係を築く事が必要だと思う。一般向けに保健・福祉活動の講演やチラシなどわかりやすく広報すると良くなっていくと思う。	女性	30～39 歳
○ 障害者の程度に合った仕事を紹介して頂き、家族で安心して生活できる環境を用意する。	男性	40～49 歳
○ 本当に福祉の援助が必要な人と本当は必要ないけど援助されている人がいると思う。区には入りません活動をしません手伝いませんが災害時は同じ区の人に助けてほしいという人がいる。区費は入る入らない関係なく全世帯が払うと良いと思う。	女性	50～59 歳
○ 海沿いで海拔の低い地域なので津波、洪水対策を充実させてもらいたい。	男性	50～59 歳
○ 近い将来、運転免許証の返納等を考えなければならなくなった時、買い物・病院への通院等、どうなっていくのであろうか？デマンド型の交通整備をお願いしたい。	女性	60～69 歳
○ 何事もその場に直面しなければわからない手続きばかりだと思う。それぞれのエキスパートが頼り。今後も市民一人々に寄り添った支援をお願い申し上げます。	女性	60～69 歳
○ 社会福祉や地域ボランティアなど、今までたずさわった事がないのでうまく答えられなかった。	男性	60～69 歳
○ 我が家でも、精神障害者がいる。私も福祉課で大変お世話になった。とてもやさしい人に会い励まされた。やはり福祉関係には、心やさしい人材が必要と思われる。	女性	70～79 歳
○ 今回のアンケートで少しは理解できた様にも思う。	女性	80 歳以上

【地区不明】

内 容	性別	年齢
○ 各地区で組織をつくり、組織に基づいた活動をする。各家庭で同じサービス等共通に受けられるような社会になるよう期待します。	女性	50～59 歳
○ 一年半前に大阪から転入しました。大阪(岸和田)では社協さんとのかわりが多くあり、高齢者の送迎、障がい者の方々と集うコンサートなど多くの行事にも登場させていただきました。出来ることがあれば参加させていただきます。かつては認知症カフェを主催していました。また、こども食堂の開設も検討していました。	男性	60～69 歳
○ ぜひ、コミュニティバスの復活を！！町内の清掃等←手数料とかで代替できれば家庭内の人数の減少、高齢化で出席するのが大変になってきていると思います。	女性	60～69 歳
○ 身近な地域の整備、清掃など大きなことにならないための小さな積み重ねをお願いしたい。	女性	60～69 歳

(2) 民生委員アンケート

I あなた自身のことについて

問1 担当している地区は。(1つに○)

回答者総数=62人

1. 潮来第一中学校区	19 (30.6)	3. 日の出中学校区	11 (17.7)
2. 潮来第二中学校区	18 (29.0)	4. 牛堀中学校区	13 (21.0)
		無回答	1 (1.6)

問2 民生委員の経験年数は。(1つに○)

回答者総数=62人

1. 3年未満	46 (74.2)	4. 9～12年	2 (3.2)
2. 3～6年	7 (11.3)	5. 12年以上	4 (6.5)
3. 6～9年	3 (4.8)		
		無回答	0 (0.0)

II 民生委員活動について

問3 民生委員活動にやりがいを感じますか。(1つに○)

回答者総数=62人

1. とてもやりがいがある	9 (14.5)	3. どちらかといえば、やりがいがない	11 (17.7)
2. どちらかといえば、やりがいはある	41 (66.1)	4. まったくやりがいがない	1 (1.6)
		無回答	0 (0.0)

問4 民生委員活動に負担を感じていますか。(1つに○)

回答者総数=62人

1. まったく負担を感じない	5 (8.1)	3. やや負担を感じる	30 (48.4)
2. あまり負担を感じない	16 (25.8)	4. とても負担を感じる	11 (17.7)
		無回答	0 (0.0)

問5 あなたは、これからの『福祉』の担い手として、家族以外にどのような人や団体がふさわしいと思いますか。(3つまで○)

回答者総数=62人

1. 地域住民(隣近所)	35 (56.5)	5. 福祉サービス提供事業者	26 (41.9)
2. 民生委員・児童委員	21 (33.9)	6. ボランティアやNPO団体	17 (27.4)
3. 行政機関	29 (46.8)	7. その他()	1 (1.6)
4. 社会福祉協議会(社協)	40 (64.5)	8. わからない	0 (0.0)
		無回答	0 (0.0)

問6 この1年間に民生委員の定例会以外で、気になる世帯等について情報交換や連絡がありましたか。(あてはまるものに○)

回答者総数=62人

1. 行政区や地域団体を通じて連絡があった	7 (11.3)
2. 社会福祉協議会を通じて連絡があった	9 (14.5)
3. 住民から連絡があった	21 (33.9)
4. とくになかった	34 (54.8)
無回答	2 (3.2)

【その内容をご記入ください。】

- ・気になる家庭の最近の様子についての情報提供依頼。気になる家族の情報の共有。
- ・一人暮らしの男性で多少認知症があります。給付金(10万円)の請求書がでていないため、はがきが送付され気になって市に届け、市職員が「訪問します」という言葉を聞いて安心しました。
- ・居住しているアパートの立ち退きを大家から要求されている(詳しく聞いてみると相談者がアパート周辺に道具や荷物を散乱させ周囲に迷惑をかけている事実あり)。
- ・奥さんの担当ケアマネさんから、ご主人が施設に入所したので、高齢者の一人暮らしになりました。との連絡がありました。
- ・一人暮らしの方を近所の方が入院したらしいが分かりますかと連絡がありました。市で把握している時は民生委員と情報共有があればと思っている。
- ・給食サービスを手続きしてあげてください。担当地区外になると思います。
- ・アパート家主間の借人のトラブル。生活保護の申請について。
- ・家庭内の問題について、定かではないが夫の暴力、介護老人の世話の大変さ(一家庭より)。
- ・なかなか連絡のとれなかった担当高齢者の状況について、社協より連絡があった。訪問予定になっていた高齢者の死亡について、近隣住民より連絡があった。
- ・一人暮らしの方の情報。福祉関連手続き。
- ・新規登録依頼：介護に関するための介護用品申請。
- ・ほとんどが足又は腰を悪くして歩きづらいことによる介護用品についての申請等
- ・家族介護用品支給申請についての問合せ。
- ・寝たきり状態の母親と同居している息子さんが最初は市からの支援を全て拒絶していましたが、何とか支援を受けるようになり、今までよりも介護する側の負担が軽減された。
- ・一人暮らし高齢者の方の家に見回りを兼ねて安否確認にうかがいましたら補聴器の感度調整が悪く良く聞こえてなかったためでした。補聴器店に一緒に行き調整して頂き無事解決しました。
- ・近所で様子がおかしい高齢者がいるので見回ってほしいと連絡(住民から)。その後については社協と連絡を取り合った。
- ・(前民生委員の方から連絡を頂いた)私の担当している方が家の中で転倒し、骨折してしまい入院したという情報を頂いたのですぐに対応させていただきました。
- ・介護施設においても社会生活がやっていけずアパートに戻らざるを得なかった人の見守りについて。
- ・一人暮らしではあると思うが、近所づきあいもなく庭木など生い茂り、家の様子がわからない。夜も灯りが見えずに心配する声がある。

Ⅲ 安心して暮らせる福祉のまちづくりについて

問7 あなたは「地域共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。(1つに○)

回答者総数=62人

1. 聞いたことがある	36 (58.1)	2. 聞いたことがない	25 (40.3)
		無回答	1 (1.6)



『地域共生社会』とは、

社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すものです。

「地域共生社会の実現に向けて」厚生労働省より

問8 あなたはふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。(1つに○)

回答者総数=62人

1. とてもあると思う	5 (8.1)	3. とくにないと思う	20 (32.3)
2. 少しはあると思う	37 (59.7)		
		無回答	0 (0.0)

問9 お住まいの地域では、だれかが困っている場合に助け合う気風がありますか。(1つに○)

回答者総数=62人

1. 全体的にあると思う	9 (14.5)	3. あまりない	3 (4.8)
2. 部分的にはあると思う	45 (72.6)	4. わからない	5 (8.1)
		無回答	0 (0.0)

問10 お住まいの地域をみて、気になること、問題と感ずることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

回答者総数=62人

1. まつりなど地域行事の衰退	18 (29.0)	6. 災害など非常時での協力体制	20 (32.3)
2. 地域の役員のなり手が不足	44 (71.0)	7. 手助けを必要とする方の見守り	13 (21.0)
3. 地域組織の弱体化	20 (32.3)	8. ごみや騒音などモラルの問題	19 (30.6)
4. 住民同士のつながりが減少	46 (74.2)	9. その他 ()	5 (8.1)
5. 防犯・治安・風紀の問題	9 (14.5)	10. とくにない	1 (1.6)
		無回答	0 (0.0)

《民生委員の自由回答》

【潮来第一中学校区】

内 容	経験年数
○ 地域コミュニケーションが衰退するなかで、地域の実情をどのように把握していくか。地道に行っている民生委員活動が地域住民にあまり周知されていないことなどから、関心が低い状況がある。住みよい地域づくりに皆がもっと関心を持っていただき、地域の課題をもっと共有できるような話し合いの組織の構築。	3年未満
○ 一人暮らしのお年寄りの情報は早めにほしい（他町内からの移動については、特にほしいです）。	3年未満
○ 民生委員になって、あの人は地区の公民館の掃除をしにいった、民生委員になれたんだ等、いやな事が聞こえてきました。老人の給食ですが、持って行って当たり前、感謝（ありがとう）の一言もないものがっかりします。	3年未満
○ 子を持つ親が安心して住める町づくりに力を注ぎ、多くの若い方を呼び込みたい。活気があれば互いにつながりを持ち、親が子育てを楽しめれば、子ども生き生きと成長できると思う。	3年未満
○ 委員、行政、社協は何をどこまで実行するのか、どこまでが義務で責任？何を、どこを、どんな完成型を目指しているのか。国は、県は、そして何といてもわが潮来市は？協議、話し合い、学習会など。	3年未満
○ ひとり暮らしの生活にどこまで踏み入れて良いのか、考えます。準要保護状況、寝たきり、認知症等の報告書作成時も同様で（重要な事とは承知してはありますが…）課題と感じています。	3～5年
○ 高齢者や障害のある方たちが差別や偏見を出来るだけ感じる事が無く、気持ちよく暮らす地域社会づくりのお手伝いをしたいと考えています。	9～11年

【潮来第二中学校区】

内 容	経験年数
○ 会社仕事をしながら定例会、他の出席、参加できない事がある。民生児童委員をやってくれる人がいない。	3年未満
○ 一人暮らしの高齢者と会えない。	3年未満
○ 任命されて約半年は過ぎましたが、コロナ禍の中で、正常な活動がなかなか行われないので、まだ感じることはありません。	3年未満
○ 責務の重さもあり、長期活動をする人が少なく委員の交替が多い事。	3年未満
○ 在宅のひとり暮らしの人は増え続けると思うので、各地区の公民館等を利用して自由に交流できる場所があると良いと思います。月に1回だけでも良いのでボランティア（民生委員も含む）の方が話し相手になり楽しい時間を過ごしていただければ良いなと思います。	3年未満
○ 見守りに来てくれるのを楽しみに待っていただければ良いなと思います。	3年未満
○ 交流の場を求めているが、それを自分がやるか（サロンを開くなど）というところできないかな。児童委員の名もついているが、小中学生と触れ合う場がないから様子がわからない。一緒に活動するとか、話をするなどの機会があるなど。回覧板で配布された「うちわ」の共助～いたこは、理想です。しかし合言葉でなく、実質のコミュニティづくりはどんな方たちの活動で行われているのか。少しでも実効あるコミュニティになってほしいと思います。	3年未満

内 容	経験年数
○ 未入区者への対応について、市としても未入区者の増加は好ましいことではない。市政の推進を区行政を通して実施する場合は、未入区者に対して市政の意向が届かない結果になる。入区は個人の任意の判断であり、個人主義、自分主義、自己中心主義がまかり通る現代社会の中で難しい課題である。	3～5年

【日の出中学校区】

内 容	経験年数
○ 今回は、コロナの関係で訪問でなく電話等での指示がありましたが、マスク、消毒液等を市が委員に配布して活動することが必要と思う(今回は手作りマスク1枚いただきました)。	3年未満
○ 「見守り」がむずかしい。必要とする人、しない人がいる。	3年未満
○ 民生委員1期3年で退任してしまうケースが多いと感じている。依頼をする際に活動の内容を理解してもらい少なくとも2期は勤めてもらえるか等、人柄も含めて人選が大事。	12年以上

【牛堀中学校区】

内 容	経験年数
○ 活動期間が少ないため、何が課題であるのか、まだよくわかりません。	3年未満
○ まだ、民生委員1年目で仕事の内容が全部把握できていないので、課題がわからない。	3年未満
○ 個人情報保護のためと言いながら、役所の各課間、社協と情報共有がなされていない。これで迅速な対応や適切な福祉活動ができるのでしょうか。守秘義務の徹底の基、連携を密にしたいと思います。	3～5年
○ 連絡等が伝わらない場合がある。	3～5年
○ 課題と感じたら、色々ありますが出来る範囲で活動していけたらいいのではない。	6～8年

【地区不明】

内 容	経験年数
○ 活動内容を多くの人たちが知る必要があることが大事だと思います。私は民生委員を受けるとき、どんな活動？具体的に説明を受けるまでわかりませんでした。活動一つ一つを大変な仕事とくくらないようにPRの必要があり、一人一人が耳を傾けて関心を持ってもらうことが必要と思います。	3年未満
○ サロンの開設を考えていたが、もう少し様子を見ようと思っています。	不明

(3) 区長アンケート

I あなた自身のことについて

問1 担当している地区は。(1つに○)

回答者総数=57人

1. 潮来地区	13 (22.8)	5. 日の出地区	7 (12.3)
2. 津知地区	6 (10.5)	6. かすみ地区	6 (10.5)
3. 延方地区	13 (22.8)	7. 八代地区	7 (12.3)
4. 大生原地区	5 (8.8)		

無回答 0 (0.0)

問2 あなたの職業は。(1つに○)

回答者総数=57人

1. 会社員	16 (28.1)	4. 無職	17 (29.8)
2. 公務員	6 (10.5)	5. その他 ()	6 (10.5)
3. 自営業	11 (19.3)		

無回答 0 (0.0)

問3 あなたは、区長としての活動を1か月に何日ぐらい従事されますか。

(1つに○)

回答者総数=57人

1. 1～4日	27 (47.4)	4. 15～19日	3 (5.3)
2. 5～9日	19 (33.3)	5. 20日以上	1 (1.8)
3. 10～14日	7 (12.3)		

無回答 0 (0.0)

II 自治会(区長)活動について

問4 自治会(区長)活動にやりがいを感じますか。(1つに○)

回答者総数=57人

1. とてもやりがいがある	7 (12.3)	3. どちらかといえば、やりがいがない	13 (22.8)
2. どちらかといえば、やりがいはある	37 (64.9)	4. まったくやりがいがない	0 (0.0)

無回答 0 (0.0)

問5 自治会(区長)活動に負担を感じていますか。(1つに○)

回答者総数=57人

1. まったく負担を感じない	4 (7.0)	3. やや負担を感じる	28 (49.1)
2. あまり負担を感じない	16 (28.1)	4. とても負担を感じる	9 (15.8)

無回答 0 (0.0)

問6 あなたは、これからの『福祉』の担い手として、家族以外にどのような人や団体がふさわしいと思いますか。(3つまで○)

回答者総数=57人

1. 地域住民(隣近所)	27 (47.4)	5. 福祉サービス提供事業者	19 (33.3)
2. 民生委員・児童委員	23 (40.4)	6. ボランティアやNPO団体	14 (24.6)
3. 行政機関	27 (47.4)	7. その他()	1 (1.8)
4. 社会福祉協議会(社協)	29 (50.9)	8. わからない	1 (1.8)
		無回答	0 (0.0)

問7 最近、気になる世帯等について情報交換や連絡がありましたか。

(あてはまるものに○)

回答者総数=57人

1. 行政区や地域団体を通じて連絡があった	2 (3.5)
2. 社会福祉協議会を通じて連絡があった	2 (3.5)
3. 住民から連絡があった	7 (12.3)
4. とくになかった	43 (75.4)
無回答	3 (5.3)

【その内容をご記入ください。】

- ・民生委員児童委員協議会より、区長との懇談会(8/25)をすることに。
- ・区内の班から離脱養成(高齢、班役員回避などのため)区役員の直接対応が必要となり、負担増となる。
- ・小学校のとなりのアパートなどに多数の「元・薬物患者」などが生活するようになってしまいました。潮来市役所の皆さまに助けを求めます。どうか区民を守ってください。皆さんの人権もわかりますが、先に住んでいた人が苦しむことになった現状を市の皆さんに知っていただきたいです。
- ・児童手当の申請の助言。
- ・ひとり暮らしの高齢者が運転免許証を返納し、生活環境が変わり苦勞している。ひとり暮らしの老人が亡くなり、家はそのまま建っているため、防犯上の必要がある(娘さんより)。
- ・ひとり暮らしの高齢者は経済的にも厳しい状況であり、区を抜ける人が出ている(進んでいる)。
- ・潮来市民生委員児童委員協議会、区長との懇談会が行われ、担当区の民生委員と意見交換を行った。
- ・清掃活動への参加のあり方について。
- ・地区内の独居老人の紹介。
- ・普段より地域との交流がない一人暮らしの高齢者が施設に入所したとうわさで聞いたが実は亡くなっていて、すでに葬儀まで終えてそれまで住んでいたところは空き家になっている。
- ・民生委員と区長との懇談会。

Ⅲ 安心して暮らせる福祉のまちづくりについて

問8 あなたは「地域共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。(1つに○)

回答者総数=57人

1. 聞いたことがある	34 (59.6)	2. 聞いたことがない	22 (38.6)
		無回答	1 (1.8)



『地域共生社会』とは、

社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながら、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すものです。

「地域共生社会の実現に向けて」厚生労働省より

問9 あなたはふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。(1つに○)

回答者総数=57人

1. とてもあると思う	5 (8.8)	3. とくにないと思う	21 (36.8)
2. 少しはあると思う	31 (54.4)		
		無回答	0 (0.0)

問10 お住まいの地域では、だれかが困っている場合に助け合う気風がありますか。

(1つに○)

回答者総数=57人

1. 全体的にあると思う	12 (21.1)	3. あまりない	4 (7.0)
2. 部分的にはあると思う	38 (66.7)	4. わからない	3 (5.3)
		無回答	0 (0.0)

問11 お住まいの地域をみて、気になること、問題と感ずることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

回答者総数=57人

1. まつりなど地域行事の衰退	30 (52.6)	6. 災害など非常時での協力体制	18 (31.6)
2. 地域の役員のなり手が不足	50 (87.7)	7. 手助けを必要とする方の見守り	16 (28.1)
3. 地域組織の弱体化	31 (54.4)	8. ごみや騒音などモラルの問題	27 (47.4)
4. 住民同士のつながりが減少	41 (71.9)	9. その他 ()	4 (7.0)
5. 防犯・治安・風紀の問題	11 (19.3)	10. とくにない	0 (0.0)
		無回答	0 (0.0)

問12 今後、潮来市で地域福祉を推進していくためには、どのような取り組みが重要と考えますか。（5つまで○）

回答者総数=57人

1. 保健や福祉に関する情報提供を充実させる	26 (45.6)
2. 身近な場所で相談できる窓口を増やす	28 (49.1)
3. 自由に交流できる場を用意する	7 (12.3)
4. 公共の場のバリアフリー化を進める	8 (14.0)
5. 緊急時や災害時に身近な地域で助け合う仕組みを作る	24 (42.1)
6. 人権を守る制度の普及を図る	4 (7.0)
7. ボランティア活動を充実させる	12 (21.1)
8. 地域での保健・福祉活動の中心となる人材を育てる	22 (38.6)
9. 多様な要望に応えられるよう豊富な種類のサービスを用意する	15 (26.3)
10. サービスを提供する事業者を増やす	8 (14.0)
11. 健康づくり活動や健康教育を充実させる	19 (33.3)
12. 保健や福祉に関する関心が高められるような啓発を行う	11 (19.3)
13. 社会保障制度（年金・保険など）の安定を図る	28 (49.1)
14. その他（)	4 (7.0)
15. わからない	1 (1.8)
無回答	3 (5.3)

最後に、区長の活動を行う上で、課題と感じていることがありましたら教えてください。

《区長の自由回答》

内 容	担当地区
○ 地域役員のなり手がいない。	潮来地区
○ 民生委員の選任が難しい。社会福祉課（社会福祉協議会等）の経験者、OBを含めて、地域横断的に選任するか、あるいは職員増強で対応できないか？	潮来地区
○ 洪水や巨大地震など、いつ起こってもおかしくない災害時の緊急時の初動の対応は、班長→区長→といった縦割りの組織表は重要だと思います。区長の資格としては、専門出来る方が適任であると思います。会社員であって、出張などで区域に居ない区長では緊急時対応が不可能です。全国的な問題ですが、少子化問題は切実です。集団登校も組めない子供のいない地区はやがて消えてゆく地区である。ということをもっと真剣に考えなければならぬと思います。	潮来地区
○ やはり祭礼です。祭礼は3日ですが、準備、警察道路許可、打合せ等で自分の時間がとりづらく、8月の一番暑い時期にするため体力も限界を感じます。おまけに区への寄付を多目にしなければならず、祭り行列に裨着用のプレッシャー、本町の区長は大変だと思います。祭以外でしたら、大いにやりがいを感じます。	潮来地区
○ 民生児童委員へのなり手がいない。その要因としては、民生委員の職務が複雑、多様化しているとともに、地域住民とのふれあいが減少している。	潮来地区
○ 行政に相談などしたときに、まとめて受けってくれる部署、人材がいない。市役所に総合窓口がない。	潮来地区
○ 地区の安全。	潮来地区
○ 地区内の高齢者が増え、又、高齢者世帯の方で困っている事。相談事について、対応することはやはり地域の住民の方の協力が必要と感じている。市役所で管轄している各種団体（消防団、安協母の会等）について、区長の養成で協力いただける仕組みが必要。	津知地区
○ 改正個人情報保護法の施行後、地区内世帯の年齢構成等の情報が不明で、現状や今後の高齢化や少子化について見通し、対応を検討する情報が把握できていないこと（例えば、自治会費、地区交流イベント等の見直し）。	津知地区
○ 自治会活動から脱退する風潮を感じる。区内の情報が届かないことにつながることを懸念している。	津知地区
○ 役員のなり手不足。区の活動や行事への参加者の減少。無理強いすると区から脱退するなどの問題。市民運動会等への参加者の減少。特に区長のなり手がいない。	延方地区
○ 災害時等の緊急時に、市から区長への連絡は出来るが（電話番号を報告）区長から市への連絡手段がないのでは？区としては、緊急時の対応について行政からの指導、教育も必要と思う。	延方地区
○ ・空き家が多くなり、樹木や雑草の手入れをせずに放置されている。連絡先に電話をしてもつながらず。一人暮らしの高齢者、75才以上の高齢者ばかりで自治会の存続が難しくなっている。・転居されて区民になったが自治会員になってくれない。	延方地区
○ どの地区も同じだと思いますが、次期役員のなり手がなかなか決まらないこと。	延方地区
○ 区、加入世帯の減少。	延方地区
○ 情報がなにもないので、何が課題なのか、わからない。区長になって市との交流が一度もない。教えることなどわからない。	延方地区

内 容	担当地区
○ 自治会への加入。	延方地区
○ 厳しい生活環境の中で、生活苦を理由に区を抜ける方が増加している。また、区の役員（特に福祉関係）がなかなか決まらず苦慮している。祭り等も役員決定が遅れたり、人数の確保にも苦労する等、地域住民同士の交流も減り、結束感が薄れてきている感じがあり、今後の地域の運営の仕方に課題を感じる。	延方地区
○ 潮来市地域福祉計画あるいは社会福祉協議会等の目標、計画が良く伝わっていない。団体等の配布物を配達するなどの雑用に区長の立ち位置があります。	大生原地区
○ 各種行事への参加者が区民のなかで固定化して来ていますので、参加者を増やす工夫が必要と思っています。	日の出地区
○ 新しく家を建てられた若い家族（若い世帯）の皆さんは、どのように説得しようとも区に入る方はおりません。日の出などは震災後、区を抜ける方が沢山いて、区を存続させることが難しくなってきた町内（区）も、いくつか出てきた状況です。市役所の皆さんと相談する場を設けていただけたら幸いです。	日の出地区
○ 区として、継続して課題を共有できることが大きいと感じられました。区長が交代するとやり方が変わってしまっていた。	日の出地区
○ 自治会に入りたがらない。脱会者多数。原因：役員がまわってくる。引き受けたくない…身勝手。入会のメリットがない。隣近所との付き合いもしたくない。隣は誰だか知らない。といったかたが多い。別途、対策を協議したい。	日の出地区
○ 高齢化で行事・イベント等への参加が減少。次期役員のなり手が少ない。新規加入の訪問活動を行っても反応がない。	日の出地区
○ 区への未加入件数が多く、行事、市への協力が出来なくなってくる。地域住民の高齢化。	日の出地区
○ 区長を引き受ける人がなかなかいないので各班より輪番制にしようかと思う。	かすみ地区
○ 牛堀一区、二区共通、共同施設「農転センター」の使用状況が新型コロナ感染のため、利用者が減少し、センターの経営が難しく財政が若干ひっ迫しつつあります。何か良いアイデアがありましたら、ご教示くださることをお願い申し上げます。	かすみ地区
○ 地区内の空家の老朽化による対応。各種役職の区長推薦。	かすみ地区
○ 任命時点で、輪番制になっている。担い手が少なくなっている。	八代地区
○ 近年、区（班）を抜ける人が増えてきた。	八代地区

(4) ボランティアアンケート

I ボランティア活動について

問1 あなたが行っているボランティア活動について教えてください。 回答者総数=33人

1. 高齢者等	26 (78.8)	3. 児童	11 (33.3)
2. 障がい者(児)	6 (18.2)	4. その他()	5 (15.2)
		無回答	1 (3.0)

主な活動内容	[簡単で結構です]
--------	-----------

問2 ボランティア活動にやりがいを感じますか。(1つに○) 回答者総数=33人

1. とてもやりがいがある	11 (33.3)	3. どちらかといえば、やりがいがない	3 (9.1)
2. どちらかといえば、やりがいはある	18 (54.5)	4. まったくやりがいがない	0 (0.0)
		無回答	1 (3.0)


問3 ボランティア活動上の課題や問題点はありますか。(3つまで○) 回答者総数=33人

1. とくにない	2 (6.1)
2. ボランティア活動の大切さが理解されていない	6 (18.2)
3. 活動のPR方法がわからない	3 (9.1)
4. ニーズが把握できない	4 (12.1)
5. 活動場所の確保が難しい	2 (6.1)
6. 活動に経費がかかる	4 (12.1)
7. 他の団体や関係機関と連携がとれない	7 (21.2)
8. 新しい会員が入ってこない	23 (69.7)
9. 会員が高齢化している	21 (63.6)
10. リーダーが不足している	9 (27.3)
11. その他()	1 (3.0)
無回答	0 (0.0)

問4 今後、活動内容を広げたい点や強化したい点などがありますか。

(1つに○)

回答者総数=33人

1. ある	19 (57.6)	2. ない	10 (30.3)
		無回答	4 (12.1)

【その内容をご記入ください。】

- ・目の不自由な方以外にもお年寄りで広報紙を見るのが面倒だという方、忙しくて広報紙を読んでい
る暇がない等、聞いてくれる方を増やしたい。
- ・ボランティアで出来る事、この町をにぎやかに。
- ・若手の育成、他団体との連携、関係機関との連携。
- ・人材不足です。私も高齢者になり若い方をお願いしたいのですが。水泳はいくつになってもできる
活動なので益々必要と思います。
- ・貧困家庭が13%と増えている。大切な宝、子供たちの職について考えていきたい。
- ・災害時の避難について、障がい者と一緒に参加して訓練し共有化したい。
- ・デイサービスや老人ホームへ、話相手になるようなお手伝いをしたい。
- ・ボランティア活動に率先して参加しようとする方が減少している。
- ・子どもの預かりに高齢者が加わるようにすること（居場所づくりや生きがいくりにお互いが作
用するため）。
- ・高齢者の孤立を避け、健康で、バランスの良い食事が出来る拠り所、サロンのような場所の確保と活動
出来る人を確保。
- ・共生を見据えた活動（介護保険、精神の垣根をこえた地域での暮らしの支援）。
- ・現在はボランティアの人数は確保されているが地区によっては新会員をこれから加入させたい。
- ・市がセンターで笑いのある生活にする。10秒でも20秒でもみんなで笑うようにする。おかしくなく
ても笑う（本物の笑いになる）。
- ・独居の高齢者等で手助けを必要とする方への援助。
- ・教室、参加者を増やしたい。そのためには次の課題克服が必要。活動出来る人材の養成。関係諸団
体の協力。
- ・高齢者の見守り協力。児童通学路の防犯や交通安全（立哨など）。
- ・地区単位で住民誰もが順番に参加協力してもらうこともボランティアの内容によっては出来るので
はないか？
- ・活動の輪を広げたい。
- ・以前、地域の民生委員を通じて訪問してほしいという一人暮らしの方がいあるかどうか依頼したこ
とがあるのですが、訪問を希望する方はいらっしゃいませんでした。

Ⅱ 安心して暮らせる福祉のまちづくりについて

問5 あなたは「地域共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。(1つに○)

回答者総数=33人

1. 聞いたことがある	29 (87.9)	2. 聞いたことがない	4 (12.1)
		無回答	0 (0.0)



『地域共生社会』とは、

社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながら、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すものです。

「地域共生社会の実現に向けて」厚生労働省より

問6 あなたはふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。(1つに○)

回答者総数=33人

1. とてもあると思う	2 (6.1)	3. とくにないと思う	12 (36.4)
2. 少しはあると思う	19 (57.6)		
		無回答	0 (0.0)

問7 お住まいの地域では、だれかが困っている場合に助け合う気風がありますか。(1つに○)

回答者総数=33人

1. 全体的にあると思う	4 (12.1)	3. あまりない	4 (12.1)
2. 部分的にはあると思う	24 (72.7)	4. わからない	1 (3.0)
		無回答	0 (0.0)

問8 お住まいの地域をみて、気になること、問題と覚えることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

回答者総数=33人

1. まつりなど地域行事の衰退	13 (39.4)	6. 災害など非常時での協力体制	12 (36.4)
2. 地域の役員のなり手が不足	18 (54.5)	7. 手助けを必要とする方の見守り	17 (51.5)
3. 地域組織の弱体化	7 (21.2)	8. ごみや騒音などモラルの問題	9 (27.3)
4. 住民同士のつながりが減少	23 (69.7)	9. その他 ()	2 (6.1)
5. 防犯・治安・風紀の問題	5 (15.2)	10. とくにない	0 (0.0)
		無回答	0 (0.0)

問9 今後、潮来市で地域福祉を推進していくためには、どのような取り組みが重要と考えますか。（5つまで○）

回答者総数=33人

1. 保健や福祉に関する情報提供を充実させる	7 (21.2)
2. 身近な場所で相談できる窓口を増やす	15 (45.5)
3. 自由に交流できる場を用意する	16 (48.5)
4. 公共の場のバリアフリー化を進める	6 (18.2)
5. 緊急時や災害時に身近な地域で助け合う仕組みを作る	18 (54.5)
6. 人権を守る制度の普及を図る	2 (6.1)
7. ボランティア活動を充実させる	15 (45.5)
8. 地域での保健・福祉活動の中心となる人材を育てる	17 (51.5)
9. 多様な要望に応えられるよう豊富な種類のサービスを用意する	3 (9.1)
10. サービスを提供する事業者を増やす	3 (9.1)
11. 健康づくり活動や健康教育を充実させる	7 (21.2)
12. 保健や福祉に関する関心が高められるような啓発を行う	9 (27.3)
13. 社会保障制度（年金・保険など）の安定を図る	7 (21.2)
14. その他（)	2 (6.1)
15. わからない	1 (3.0)
無回答	1 (3.0)

最後に、ボランティア活動を行う上で、課題と感じていることがありましたら教えてください。

《ボランティア団体の自由回答》

内 容	活動対象
○ 高齢になり車の免許返上する人が多く、活動が出来なくなった。公共の足の確保。この町は何をするにも車が無いと暮らせない町だ。	高齢者等
○ ボランティアさんが高齢で若い人が入ってこない。	高齢者等
○ 近くの身近な方、知り合いの方にお話を聞くだけでも良いと思います。ボランティアの方が高齢で無理は出来ない。年齢関係なく元気な方はボランティアに参加してほしい。自分の空き時間に出来ることがあると思います。	高齢者等
○ ボランティアの志があっても組織化されて窮屈にならないように出来れば良いと思います。ボランティアがステータスシンボルとならない様に！	高齢者等
○ 協力者、理解者の存在。ワンポイント（資格）を活かす。年齢、体力、能力の評価。交通費等の支払い。	高齢者等
○ 地域住民の交流や健康づくりとしてグラウンドゴルフは有効だが、高齢により運転が出来ず、参加できない人が徐々に多くなる。タクシーも考えられるが循環マイクロバスも活用できたら良いと思う。	高齢者等
○ 公民館の利用基準の見直し。優先順位。利用人員、陽の当たらない人、地域の洗い出しと対策。ボランティア活動参加者の制度化。眠っている能力を引き出す施策が必要。活動の限界がある。私的か公的な活動か判断も必要だが、乗り越えるには公的な援助がないとできないことを痛切に感じる。	高齢者等
○ メンバーの高齢化が進む中で同年代の人をメンバーに誘うため、若返りが出来ない。新たな取り組みを模索するも踏み込んだところまで行っていない。	高齢者等
○ グループの上になっている人が何年も続いている。行政も同じ人に持っていく。一人で何役も担当しているのもいかがなものか。任期を設けては？	高齢者等
○ 若手の育成。	高齢者等、児童
○ 元気な高齢者をボランティア活動に参加させる。	高齢者等、児童
○ 現在の役員の期間は頑張りたいが次期役員のなり手がいるか不安を感じている。	高齢者等、児童
○ ひとり暮らしの高齢者の見守りと当番の日を定めて登下校児の見守りを続けていますが、私自身84才、若い会員さんの入会が待たれます。	高齢者等、児童
○ ボランティア協議会は、本年3月末で解散し、ボランティアセンターに移行しておりますので、課題については控えたい。	高齢者等、 障がい者（児童）
○ 今困っている人の役に立ちたいと思っておりますが、自分も80才を過ぎ、車の免許返納も考えておりますので1日でも早く高齢者が一番望んでいるバスの問題（玄関～玄関）まで（無料でなくて良い）はじめは予約制でもよいのではないのでしょうか。お願いします。	高齢者等、 障がい者（児童）
○ 指導者が欲しいですね。	高齢者等、 障がい者（児童）、 児童
○ ボランティアの高齢化、減少です。若い方がボランティアに興味がないのか、地味な活動だからなのか不安です。知らない方が多いのでボランティアの活動の様子を紙面で流してみたらと思います。	高齢者等、 障がい者（児童）、 その他
○ 笑いヨガは簡単で楽しいし誰でも健康になれるものです。これを指導、広げる人を作ることが必要です。潮来市民が毎日少しでも笑えるようにしよう。	高齢者等、 その他

内 容	活動対象
○ ボランティア活動に従事する時間の余裕のある年代が高齢化し、身体面の不都合で活動が思うようにいかない。	高齢者等、 その他
○ 有償に対して少し偏見があるかと思うが、今後は有償ボランティアを増やさなければやっていけない世の中になっている。	児童
○ 活動をする時の意識がさせていただくというところまで行かない。自分が助けられると感じるような啓蒙が必要かな？学生がもっとボランティアに参加できると社会人になってから役立つと思う。特に災害時は若い力が必要。	児童
○ 地域のコミュニティの衰退と組織の弱体化があります。そのため、地域福祉を推進するためにボランティアセンター機能を有する場と人材が必要となる。	児童

(5) -① 中学生アンケート

問1 あなたの性別は。(1つに○)

回答者総数=210人

1. 男性	100 (47.6)	2. 女性	109 (51.9)
			無回答
			1 (0.5)

問2 あなたは、潮来市は住みよいまちだと感じますか。(1つに○)

回答者総数=210人

1. 住みよいと思う	141 (67.1)	3. わからない	48 (22.9)
2. 住みにくいと思う	20 (9.5)		
			無回答
			1 (0.5)

[なぜ、問2のように思いましたか？ その理由を教えてください]**「住みよいと思う理由」**

- ・地域の人がやさしいから。
- ・自然が多いから。
- ・身近な場所に色々な施設があって過ごしやすいから。
- ・地域の人々が笑顔で会話してくれる。
- ・都会みたいに高い建物が無い。
- ・静かで環境が整っている。
- ・自然を感じるから。
- ・コンビニやベイシアなどの買い物する場所がある。
- ・潮来市は穏やかだから。
- ・友達がいる。
- ・事件がそんなに多くない。
- ・今まで暮らしてきて不自由を感じなかったから。など

「住みにくいと思う理由」

- ・田んぼしかない。
- ・お店の数が少ないから。
- ・何かあったとき、自由に入れる家や店が少ないから。
- ・歩いていける距離に店がない。交通の便が悪い。
- ・アイモアがなくなり、あのでかい建物をどうにかしてほしい。
- ・コンビニとかスーパーなどが少ないと思ったから。
- ・偏見がすごい。冷たいと思う。
- ・学校まで遠い。など

問3 あなたは、潮来市のことが好きですか。(1つに○)

回答者総数=210人

1. どちらかといえば好き	162 (77.1)	3. わからない	35 (16.7)
2. どちらかといえばきらい	12 (5.7)		

無回答 1 (0.5)

問4 あなたは、知っている人に会ったとき、自分からあいさつをしますか。

(1つに○)

回答者総数=210人

1. よくあいさつをする	139 (66.2)	3. ほとんどしない	9 (4.3)
2. たまにあいさつをする	61 (29.0)		

無回答 1 (0.5)

問5 あなたは、潮来市のお祭りやイベントに参加したり、見に行ったりしますか。

(1つに○)

回答者総数=210人

1. よく参加する	90 (42.9)	3. ほとんど参加しない	26 (12.4)
2. たまに参加する	92 (43.8)		

無回答 2 (1.0)

問6 あなたは、学校以外の活動で、ボランティア活動に参加したことがありますか。(1つに○)

回答者総数=210人

1. 参加している	15 (7.1)	3. 参加したことがない	153 (72.9)
2. 参加したことがある	40 (19.0)		

無回答 2 (1.0)

問7 あなたが、今後、やってみたいボランティア活動はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

回答者総数=210人

1. ゴミ拾いなど環境美化の活動	117 (55.7)	6. 乳幼児や子どもの遊び相手	83 (39.5)
2. 募金や寄付などの活動	80 (38.1)	7. 地域の子供会の活動	46 (21.9)
3. 防災・防犯・交通安全などの活動	27 (12.9)	8. 勉強や運動を教える活動	50 (23.8)
4. お年寄りの手助け	67 (31.9)	9. その他()	3 (1.4)
5. 障がいのある人の手助け	47 (22.4)		

無回答 11 (5.2)

問8 潮来市でボランティア活動を活発にしていくためには、何が大切だと思いますか。（3つまで○）

回答者総数=210人

1. ボランティア活動の大切さを学校で教える	95	(45.2)
2. ボランティア活動の大切さを広報紙などで知らせる	54	(25.7)
3. どのようなボランティア活動があるか情報を発信する	93	(44.3)
4. ボランティア活動について相談できる場所を充実する	33	(15.7)
5. 初めての人でも参加しやすいきっかけづくりを行う	158	(75.2)
6. ボランティア活動をする場所を確保し整備する	28	(13.3)
7. がんばって活動している仲間にお金を援助する	30	(14.3)
8. ボランティア活動でも、ある程度のお金をもらえるようにする	51	(24.3)
9. リーダーとなる人材を育てる	24	(11.4)
10. その他（)	4	(1.9)
無回答	2	(1.0)

問9 あなたは「地域共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。（1つに○）

回答者総数=210人

1. 聞いたことがある	62	(29.5)	2. 聞いたことがない	146	(69.5)
無回答		2	(1.0)		



『地域共生社会』とは、

地域には、さまざまな人々が暮らしており、地域の人々が年齢や性別、人種などの壁を超えつながら、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すものです。「地域共生社会の実現に向けて」厚生労働省を一部改変

問10 あなたは、ご近所による支え合い、助け合いは大切だと思いますか。

（1つに○）

回答者総数=210人

1. 大切だと思う	184	(87.6)	3. わからない	19	(9.0)
2. 必要だと思わない	4	(1.9)	無回答		3
				(1.4)	

問11 あなたは、住民どうしの支え合い、ボランティア活動の支援を行っている「潮来市社会福祉協議会（社協）」を知っていますか。（1つに○）

回答者総数=210人

1. 名称も活動内容も知っている	9	(4.3)	3. 知らない（初めて聞いた）	108	(51.4)
2. 聞いたことはある	91	(43.3)	無回答		2
				(1.0)	

問 12 あなたは、自分の悩みごとや困ったとき、だれに（どこに）相談しますか。
（あてはまるものすべてに○）

回答者総数=210人

1. 家族	133 (63.3)	6. SNS (インターネットなどで相談)	15 (7.1)
2. 友だち	155 (73.8)	7. その他 (4 (1.9)
3. 地域の知り合い	11 (5.2)	8. 相談できる人はいない	10 (4.8)
4. 学校の先生	62 (29.5)	9. 誰にも相談したくない	15 (7.1)
5. 病院、カウンセラー	6 (2.9)		
		無回答	2 (1.0)

問 13 あなたは、悩んでいたり困っている友だちがいたら、自分から声をかけられますか。（1つに○）

回答者総数=210人

1. たぶんできえると思う	148 (70.5)	3. わからない	41 (19.5)
2. できないと思う	19 (9.0)		
		無回答	2 (1.0)

問 14 福祉のまちづくりを行っていくために、重要なことは何だと思えますか。
（5つまで○）

回答者総数=210人

1. 情報提供を充実させる	62 (29.5)	
2. 相談できる人や場所を増やす	93 (44.3)	
3. お互いに交流できる場所を充実する	78 (37.1)	
4. 公共施設のスロープ設置や段差を解消する	53 (25.2)	
5. 災害時にみんなで助け合う仕組みをつくる	85 (40.5)	
6. 一人一人の人権を守る制度を普及する	70 (33.3)	
7. ボランティア活動を充実させる	89 (42.4)	
8. 福祉の仕事にたずさわる人を育てる	30 (14.3)	
9. 色々な種類の福祉サービスを用意する	47 (22.4)	
10. 福祉サービスを行う会社を増やす	31 (14.8)	
11. 健康づくりの取り組みを充実する	69 (32.9)	
12. 福祉の関心が高まるように啓発する	37 (17.6)	
13. 年金や保険を充実する	43 (20.5)	
14. その他	3 (1.4)	
15. わからない	13 (6.2)	
	無回答	4 (1.9)

◆あなたは『福祉』が充実しているまちとは、どのようなまちだと思えますか。

【潮来第一中学校】

福祉が充実しているまちとは	性別
○ 皆が暮らしやすい町	女子
○ 高齢者や障がい者も楽しく暮らせる町	男子
○ お年寄りや全ての人が住みやすい街だなと感じてくれれば、福祉が充実しているまちと言える	男子
○ お年寄りの介護や、ボランティア活動などでの行動	女子
○ 人と人との助け合いが出来ている町	男子
○ 地域の人、皆が仲が良い	男子
○ スロープなどがあったり、皆が住みやすい町	女子
○ 皆が協力しているととてもいい町	女子
○ 地域の皆さんが協力し合いながらボランティアなどをしている町	男子
○ 色々な人が元気で明るい町	男子
○ お互いが助け合える町	女子
○ 助け合いのできる町	男子
○ 穏やかな町	女子
○ お互いを支え合う町	男子
○ 皆が仲が良い	女子
○ 町にいる全ての人が笑顔でいる	男子
○ お金がたくさんあって、裕福な町	女子
○ 年代関係なく家族みんなで行ける場所がたくさんある	男子
○ 住みやすい環境がある	女子
○ ボランティアがたくさんいる	女子
○ 差別がない町	男子
○ ゴミなどが落ちていないとても綺麗で、相談できる人がたくさんいて、皆で助け合うとても良い町	男子
○ 一人一人が助け合い、協力できる町	女子
○ どんな人にも笑顔で接している人がいる	男子
○ もっと住みやすく、明るい町	女子
○ 福祉サービスが充実していてどんな人でも人権を守る町	女子
○ お年寄りの人に優しい	女子
○ 楽しい町	男子
○ 色々な年代の人達が「住みやすい」と思う町	男子
○ どんな時でも皆が助け合える町	女子
○ 楽しく交流して災害時に助け合ったり、お年寄りなど車いすの人のために段差などを解消したり、とても明るい街	男子
○ 地域の人が住みやすい	女子
○ 一人一人が助け合って協力している町	男子
○ 住んでいると自然と心がおおらかになる町	男子
○ 地域の皆が支え合える町	男子
○ 安心・安全で老人など、交流が行われている所	女子

福祉が充実しているまちとは	性別
<input type="radio"/> 安心・安全で暮らせる町になる	男子
<input type="radio"/> みんなが更に住みやすい町	男子
<input type="radio"/> どんな人でも住みやすく、皆が協力して過ごしている町	女子
<input type="radio"/> 悩み事がなく住みやすい町になる	男子
<input type="radio"/> お年寄りや障がい者にも優しく住みやすい町	男子
<input type="radio"/> 助け合える町	女子
<input type="radio"/> 福祉が充実している町	男子
<input type="radio"/> 地域の人達同士での助け合いが出来ていて、色々な施設がある事。不便な所が少ない事。誰もが安心して楽しく過ごせる事。	女子
<input type="radio"/> 一人一人が助け合い友達が悩んでいたら声を掛けたり、ボランティア活動を自分からやれる事	男子
<input type="radio"/> ボランティアをしている町	男子
<input type="radio"/> 小さい人からお年寄りまでが助け合って住みやすい町	女子
<input type="radio"/> 一人一人が明るく元気な町	男子
<input type="radio"/> 皆が笑顔で暮らせる町	女子
<input type="radio"/> 公共施設の階段にスロープなどが設置してあったり、ボランティアなどが充実している町	男子
<input type="radio"/> 助け合いがある町	女子
<input type="radio"/> とてもいい町	男子
<input type="radio"/> 障がいのある方やお年寄りが普通に歩けたり、その人達も入れて皆で楽しむ事が出来るイベントや行事がある町	女子
<input type="radio"/> 皆が明るく元気に毎日を過ごし、地域の方々と協力していけるような町	男子
<input type="radio"/> 皆が悪い事をせず好きな事が出来る町	男子
<input type="radio"/> 助け合いがたくさん行われる町	男子

【潮来第二中学校】

福祉が充実しているまちとは	性別
<input type="radio"/> 町に老人や障がい者がいたら、手助けをする町	女子
<input type="radio"/> 色々な人が困っている人を助け合っている町	男子
<input type="radio"/> 皆が親切に暮らせる町	女子
<input type="radio"/> 皆が親切	女子
<input type="radio"/> 障がいのある人などに皆が協力して支え合っている町	女子
<input type="radio"/> 誰もが気軽に話せる町	男子
<input type="radio"/> 高齢者のためのものがきちんと整っていて、市民皆が安心して楽しく過ごすことの出来る町	男子
<input type="radio"/> 高齢者も安心して過ごせるような設備が整っていて、地域の人同士が協力している町	女子
<input type="radio"/> 高齢者が安心して暮らせる町	女子
<input type="radio"/> 誰もが住みやすく、笑顔を絶やさないような町	女子
<input type="radio"/> 地域などが綺麗で、安全に暮らせている町	男子
<input type="radio"/> お年寄りの方でも子供でも大人でも、安心して住みやすい	女子
<input type="radio"/> お年寄りを大切にしている町	男子
<input type="radio"/> お年寄りや障がい者に優しい町	女子

福祉が充実しているまちとは	性別
○ 誰でも住みやすい町	女子
○ 平和な町	男子
○ そのまちの人々が若い人から老人まで助け合っている	女子
○ 皆が笑顔でいられる町	男子
○ 皆が自分から募金をする町	女子
○ 笑顔の多い町	男子
○ 地域の人達で協力し合ったりしているような町	女子
○ 皆で助け合い、障がい者にも優しく出来る場所	男子
○ ボランティアをやったり、地域で協力している町	女子
○ 一人一人がまちの事を思っていて、助け合える町	女子
○ 協力して頑張っている町	女子
○ 優しい人々がたくさんいて、助け合いを常にしているような町	女子
○ 障がい者や高齢者にも優しく接する事が出来る人々がいる町	女子
○ 困っている人がいたら助け合える町	女子
○ まちや地域の人達の団結力や絆が強く、協力し合っている町。また助け合いが出来ている町。	女子
○ 災害時など手助けし合っていて被害が少なく、辛い時に気軽に相談できる明るい町	女子
○ 協力し、助け合える町	女子
○ コミュニケーションがとれる人が多い町	男子
○ 皆が笑顔でいる町	男子
○ 互いが助け合ったりする事ができる町	女子
○ 協力し合い、皆が地域に役立てる町	男子
○ 色々な年代からも愛される町	女子
○ ボランティア活動など	女子
○ 優しい町	女子
○ 皆が楽しく、バリアフリーが多い町	男子
○ スロープなどがあり、お年寄りのための宅配業者(食べ物など)がある町	女子
○ 町の人々が協力し合い、問題を解決できる町	男子
○ 障がい者や病気の人なども、過ごしやすい町	女子
○ 住みやすい町	男子
○ お年寄りの人が困ったりせずのびのびと生活していける町	女子
○ 良い町	女子
○ ボランティアがいて、ボランティアに参加していない人でも何かプラスになる事をしている	男子
○ 色々な人と交流を持てる	男子
○ 楽しい町	女子
○ 段差などの危険な場所が無かったり、地域の人達とのコミュニケーションを大切にしている町	女子
○ 人々が助け合いが出来て、笑顔で接する事が出来る人がたくさんいる町	男子
○ ずっと住んでいなくなる町	男子
○ ボランティア活動が充実していて、まち全体が協力し合っている	女子
○ 誰もが自分の意志で行動し、まち全体が明るく綺麗な町	女子
○ 地域や学校での生活が不自由なくでき、安全な町	女子

【日の出中学校】

福祉が充実しているまちとは	性別
○ ボランティアや募金活動をしっかりやっていて寄付する人がたくさんいる町	男子
○ 一人一人が積極的にボランティアに参加する町	女子
○ お年寄りの人や障がいの人、この町に住んでいる人達、全員が安全に暮らせて安心できる町	男子
○ 皆で助け合う町	女子
○ お年寄りを大切にしている町	女子
○ どんな人にも充実した生活ができる所	男子
○ お年寄りや障がいのある人達が笑顔で安心して暮らせる町	女子
○ 施設が整っている町	男子
○ お年寄りなどが笑顔でいる事	女子
○ 福祉施設が十分に設置されていて、一人一人が意識している	女子
○ 人同士が助け合えて、誰も不安な思いをしない(地域に対して)	女子
○ 皆が住みやすい町	女子
○ 町の一人一人が困っている人などを助け合える	女子
○ ボランティアや相談出来る場所、お互いに交流出来る場所がある	男子
○ 地域で支え合っている	女子
○ 地域で支え合っていて、地域の人達が仲が良い	女子
○ 一人一人が助け合う事の出来る町	男子
○ 人間関係の良い町	男子
○ 安心して皆が楽しく充実した町	女子
○ お年寄りも幼い子供も安全に生活できる町	女子
○ 大人も子供も皆平等に、健康に生きる為の活動あるいは、そうなるような平和な暮らしが大切	女子
○ 地域の人に限らず誰とでも助け合える	女子
○ 一番は潮来市に、お互いに交流出来る場所を充実させ、少しでも関わりを良くするような町にしたい	男子
○ お年寄りの方も安心して暮らせるとても住みやすい町	女子
○ その地域に住んでいる人、一人一人が外にゴミを捨てるなどの悪い行いをせずに協力する事	女子
○ 自分が丸をつけた所が当てはまっている町	男子
○ 皆で助け合ったり、一人一人の協力が大事だと思う。お互いの交流を増やすのも良いと思う	女子
○ 何事にも平等で障がいのある人やお年寄り優先の町	男子
○ 地域の人達で交流をしている町	女子
○ 相談出来る場所を増やしたり、ボランティア活動を充実させたような町	女子
○ 誰にも嫌な事を言わない、誰もが住みやすい町になる	男子
○ 住みやすく、安心・安全な所	女子
○ 全ての場所にスロープを設置する	男子
○ 町の人が仲が良い	女子
○ 誰もが住みやすいと言う町	男子
○ 皆で支え合って協力して動いている町	男子
○ 住民達が助け合っていける町	女子
○ 地域の皆が協力し合い助け合いながら、ボランティアを多くの人が積極的に行っている町	女子

【牛堀中学校】

福祉が充実しているまちとは	性別
<input type="radio"/> ボランティアやデイサービス、老人ホームが充実している町	男子
<input type="radio"/> お年寄りにも住みやすい町	男子
<input type="radio"/> サービスがいい町	男子
<input type="radio"/> 高齢者の方々に負担を掛けない様に、階段じゃなくスロープを増やしたりボランティア活動が盛んな町	男子
<input type="radio"/> 災害の対策が出来ている町	男子
<input type="radio"/> 誰にでも優しく対応する町	男子
<input type="radio"/> 高齢者に優しい、犯罪がない、住んでる人の人柄が良い	男子
<input type="radio"/> 平和な町	男子
<input type="radio"/> お年寄りが杖をついていない	男子
<input type="radio"/> 住んでいて楽しい町	女子
<input type="radio"/> 一人一人に優しくしていて、差別が無く、あまりストレスにならなそう	女子
<input type="radio"/> 知らない人、会った事無い人にでもきちんと優しく対応できる町	女子
<input type="radio"/> 老人ホームやスロープが多すぎず、少なすぎない町	女子
<input type="radio"/> 年金や保険制度が充実している町	女子
<input type="radio"/> 近所同士でしっかり助け合える町	女子
<input type="radio"/> スロープを設置したり、デイサービスや老人ホームがたくさんある町	女子
<input type="radio"/> 人々が助け合い、支え合っている町	女子
<input type="radio"/> 色々なボランティア活動をしている	女子
<input type="radio"/> 不便な事が少なく、そこに住みたいと思えるような町	女子
<input type="radio"/> お年寄りが安心・安全で笑顔が見られる町	女子
<input type="radio"/> お金があって発展している町、ちゃんとした人がたくさんいて土地がある町	男子
<input type="radio"/> 豊かな町。自分が目指してる潮来市のよさ	男子
<input type="radio"/> 整備されていて綺麗で、どんな人も住みやすいと思える町。明るく活気のある町	女子
<input type="radio"/> 人を救う、人々が満足して暮らせる	男子
<input type="radio"/> どの年代の人も充実した生活が送れる	女子
<input type="radio"/> 誰にでも住みやすい町	男子
<input type="radio"/> 皆が地域の人と仲良し、お年寄りを見つけたら誰でも気に掛けたり、手伝ってあげたりする	女子
<input type="radio"/> 支え合いが出来る町	女子
<input type="radio"/> 発展している町	女子
<input type="radio"/> ゴミなどを無くし、自然環境を良くする	男子
<input type="radio"/> 皆が楽しくできる町	男子
<input type="radio"/> 全員が笑って楽しく暮らせる町	男子
<input type="radio"/> お年寄り達が悩みがない満足した生活出来る町	女子
<input type="radio"/> 一人一人が支え合っていて、みんな笑顔の町	男子
<input type="radio"/> お年寄り、若者そして小さい子まで笑顔で暮らせる町	女子
<input type="radio"/> お年寄り達がニコニコしている町	男子
<input type="radio"/> 笑顔で暮らせる町、安心して暮らせる町	男子
<input type="radio"/> 人と人の助け合いが出来て、ボランティア活動が充実している所	女子

(5) -② 高校生アンケート

問1 あなたの性別は。(1つに○)

回答者総数=362人

1. 男性	179 (49.4)	2. 女性	183 (50.6)
		無回答	0 (0.0)

問2 あなたの居住地は。(1つに○)

回答者総数=362人

1. 潮来市内	135 (37.3)	2. 潮来市外(市・町・村)	227 (62.7)
		無回答	0 (0.0)

問3 あなたは、潮来市のことは好きですか。(1つに○)

回答者総数=362人

1. どちらかといえば好き	132 (36.5)	3. わからない	197 (54.4)
2. どちらかといえばきらい	33 (9.1)		
		無回答	0 (0.0)

問4 あなたは、「福祉」への関心はいかがですか。(1つに○)

回答者総数=362人

1. とても関心がある	34 (9.4)	3. あまり関心はない	139 (38.4)
2. まあまあ関心がある	131 (36.2)	4. 関心はない	58 (16.0)
		無回答	0 (0.0)

問5 あなたは、学校以外の活動で、ボランティア活動に参加したことがありますか。(1つに○)

回答者総数=362人

1. 参加している	21 (5.8)	3. 参加したことがない	253 (69.9)
2. 参加したことがある	83 (22.9)		
		無回答	5 (1.4)

問6 あなたが、今後、やってみたいボランティア活動はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

回答者総数=362人

1. ゴミ拾いなど環境美化の活動	152 (42.0)	6. 乳幼児や子どもの遊び相手	144 (39.8)
2. 募金や寄付などの活動	98 (27.1)	7. 地域の子供会の活動	44 (12.2)
3. 防災・防犯・交通安全などの活動	33 (9.1)	8. 勉強や運動を教える活動	45 (12.4)
4. お年寄りの手助け	91 (25.1)	9. その他()	11 (3.0)
5. 障がいのある人の手助け	59 (16.3)		
		無回答	25 (6.9)

問7 潮来市でボランティア活動を活発にしていくためには、何が大切だと思いますか。（3つまで○）

回答者総数=362人

1. ボランティア活動の大切さを学校で教える	155	(42.8)
2. ボランティア活動の大切さを広報紙などで知らせる	69	(19.1)
3. どのようなボランティア活動があるか情報を発信する	162	(44.8)
4. ボランティア活動について相談できる場所を充実する	45	(12.4)
5. 初めての人でも参加しやすいきっかけづくりを行う	250	(69.1)
6. ボランティア活動をする場所を確保し整備する	49	(13.5)
7. がんばって活動している仲間にお金を援助する	52	(14.4)
8. ボランティア活動でも、ある程度のお金をもらえるようにする	67	(18.5)
9. リーダーとなる人材を育てる	36	(9.9)
10. その他（)	3	(0.8)
無回答	6	(1.7)

問8 あなたは、住民どうしの支え合い、ボランティア活動の支援を行っている「潮来市社会福祉協議会（社協）」を知っていますか。（1つに○）

回答者総数=362人

1. 名称も活動内容も知っている	3	(0.8)	3. 知らない	299	(82.6)
2. 聞いたことはある	57	(15.7)			
			無回答	3	(0.8)

問9 あなたは「地域共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。（1つに○）

回答者総数=362人

1. 聞いたことがある	166	(45.9)	2. 聞いたことがない	195	(53.9)
			無回答	1	(0.3)



『地域共生社会』とは、

地域には、さまざまな人々が暮らしており、地域の人々が年齢や性別、人種などの壁を超えつながら、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すものです。「地域共生社会の実現に向けて」厚生労働省を一部改変

問10 あなたは、将来、福祉関係の仕事に就きたいと考えていますか。

(1つに○)

回答者総数=362人

1. 就きたいと考えている	32	(8.8)	3. わからない	195	(53.9)
2. あまり就きたくない	134	(37.0)			
			無回答	1	(0.3)

〔なぜ、問 10 のように思いましたか？ その理由を教えてください〕

「就きたいと考えている理由」

- ・だれかの支えになりたいと思ったから。
- ・親を少しでも楽させてあげたいと思った。
- ・人の役に立ちたいと思ったから。
- ・事務職に就きたいと考えているが、福祉関係も少し興味ある。
- ・少しでも社会や人々の役に立ちたいから。
- ・お年寄りの人だと落ち着いて話すことができ、支えてあげたいと思った。
- ・いい仕事だと思った。など

「あまり就きたくないと思う理由」

- ・親の話を聞いているから。
- ・姉が福祉関係の仕事に就いていて辛いのを知っているから。
- ・ほかに就きたい仕事がある。
- ・授業で習ったり、実習に行ったりして大変だと思ったから。
- ・給料が安いから。
- ・労働的にも精神的にも一番きつい仕事だと思うから。
- ・介護するのが大変だから。
- ・一人の命を預かるような存在だと思っているから。など

問 11 あなたは、自分の悩みごとや困ったとき、だれに（どこに）相談しますか。
（あてはまるものすべてに○）

回答者総数=362人

1. 家族	237 (65.5)	6. SNS (インターネットなどで相談)	41 (11.3)
2. 友だち	286 (79.0)	7. その他 ()	6 (1.7)
3. 地域の知り合い	8 (2.2)	8. 相談できる人はいない	8 (2.2)
4. 学校の先生	63 (17.4)	9. 誰にも相談したくない	15 (4.1)
5. 病院、カウンセラー	12 (3.3)		
		無回答	4 (1.1)

問 12 福祉のまちづくりを進めるために、どのような取り組みが重要と思いますか。
(5つまで○)

回答者総数=362人

1. 情報提供を充実させる	134 (37.0)
2. 相談できる人や場所を増やす	124 (34.3)
3. お互いに交流できる場所を充実する	106 (29.3)
4. 公共施設のスロープ設置や段差を解消する	80 (22.1)
5. 災害時にみんなで助け合う仕組みをつくる	91 (25.1)
6. 一人一人の人権を守る制度を普及する	92 (25.4)
7. ボランティア活動を充実させる	113 (31.2)
8. 福祉の仕事にたずさわる人を育てる	54 (14.9)
9. 色々な種類の福祉サービスを用意する	102 (28.2)
10. 福祉サービスを行う会社を増やす	72 (19.9)
11. 健康づくりの取り組みを充実する	82 (22.7)
12. 福祉の関心が高まるように啓発する	57 (15.7)
13. 年金や保険を充実する	87 (24.0)
14. その他	9 (2.5)
15. わからない	32 (8.8)
無回答	14 (3.9)

◆最後に、『福祉』が充実しているまちとは、どのようなまちだと思いますか。

【高校1年生】

福祉が充実しているまちとは	性別
<input type="radio"/> 助け合いの出来る町	男子
<input type="radio"/> 皆で助け合える町	男子
<input type="radio"/> サービスが充実している町	男子
<input type="radio"/> 子供から高齢者が生活しやすい町	男子
<input type="radio"/> 人々が助け合える町	男子
<input type="radio"/> 誰もが住みやすい環境にある町	女子
<input type="radio"/> 治安がよく人々が幸せな町	男子
<input type="radio"/> 地域の人達が皆、手を取り合って生きていける町	男子
<input type="radio"/> 一人一人が周りの人達の事をよく考えている人が多く、整備が整っている町	女子
<input type="radio"/> 体が不自由なお年寄りの方、障がいのある方にとっても快適に過ごせる町が福祉が充実している町と言えるのではないか	女子
<input type="radio"/> お年寄りや障がい者でも快適に暮らせる町	男子
<input type="radio"/> 福祉の環境が整っている町	男子
<input type="radio"/> 介護する人達を増やす	女子
<input type="radio"/> 高齢者が明るく楽しく安心して暮らせる町	女子
<input type="radio"/> 皆が皆の事を思って、教え合ったり助け合ったり誰も困らない町	男子
<input type="radio"/> 皆が安心して生活できるような町	女子
<input type="radio"/> 福祉の会社が多く、交流が出来ている所だと思う	男子
<input type="radio"/> 誰もが「不安」や「不満」などを一切溜め込まない町。皆が自由でどんな人にでも優しくできる環境の良い町	女子
<input type="radio"/> ボランティアに積極的に参加しやすい	男子
<input type="radio"/> 人が助け合う町	男子
<input type="radio"/> 一人一人が活動に協力しあう町	女子
<input type="radio"/> 生き生きしている	男子
<input type="radio"/> 人権が守られている社会	女子
<input type="radio"/> たくさんの方がコミュニケーションしやすい町になっている	女子
<input type="radio"/> 交流が多く、過ごしやすい	女子
<input type="radio"/> 福祉が充実していれば住みたいと思う人が増える、福祉が充実しているという事は、高齢者が満足して笑顔でいる事だと思う	女子
<input type="radio"/> 優しい人がいっぱいいる	男子
<input type="radio"/> 歩道の歩く所を目が不自由な人でも大丈夫のように工夫して作られている	女子
<input type="radio"/> 賑やかな町	女子
<input type="radio"/> 福祉の施設が一個ぐらいいはあること	女子
<input type="radio"/> ボランティアを自分から進んで参加する事	男子
<input type="radio"/> お互いが協力し、暮らしやすい環境	女子
<input type="radio"/> 皆が優しい町	女子
<input type="radio"/> 介護サービスの会社が多くて、今の時代は少子高齢化の時代だから介護が必要な人が居る人もいるから、介護サービスの会社を増やした方が良い	女子
<input type="radio"/> 介護施設が充実している、人々の事をよく考えている町	女子

福祉が充実しているまちとは	性別
<input type="radio"/> 思いやりのある町	女子
<input type="radio"/> 明るい	女子
<input type="radio"/> 福祉関係の場所が多くあり、ボランティアに参加する人が多い町	男子
<input type="radio"/> 自分が高齢になっても不安がない町	女子
<input type="radio"/> 皆が安心して暮らせる町	女子
<input type="radio"/> 差別などが一切ない町	男子
<input type="radio"/> お年寄り達が笑顔で困っていない町	男子
<input type="radio"/> 全員が協力し合っている町	女子
<input type="radio"/> 良い町だと思う	女子
<input type="radio"/> 皆で支え合っている町	女子
<input type="radio"/> 助け合える人が多い、思いやりがある	女子
<input type="radio"/> 助け合いの町	男子
<input type="radio"/> とても良い町だと思う、もっと増えたらいいなと思う	女子
<input type="radio"/> 高齢者が安心・安全に暮らせる町、スロープとかが多すぎもせず少なすぎもしない程度の町	男子
<input type="radio"/> 住みやすい町	男子
<input type="radio"/> 住みやすい	女子
<input type="radio"/> 周りの整備がきちんとされていて、公共マナーを守る人がほとんどをしめている様に努力をするまち作り	男子
<input type="radio"/> 上記の事全てを重要視し、工夫する事	男子
<input type="radio"/> 地域に住んでいる一人一人が生活しやすいと思える環境	男子
<input type="radio"/> 人々が安心して暮らせるような町	男子
<input type="radio"/> とても住みやすい町になり、町全体の雰囲気も明るくなる	女子
<input type="radio"/> 素晴らしい町	女子
<input type="radio"/> 一人でも多くの人がお互いを助け合い、協力し合ったり多くの福祉サービスが設置されている	女子
<input type="radio"/> 助け合いが出来る町	女子
<input type="radio"/> お年寄りのためや障がい者の方達に、役に立つ手すりや点字ブロックが沢山ある町	女子
<input type="radio"/> 地域が綺麗	男子
<input type="radio"/> 安心・安全な町	女子
<input type="radio"/> 小さい子からお年寄りまでの人が住みやすい町。また安全である事	女子
<input type="radio"/> どんな人でも登れたり不自由がない町	男子
<input type="radio"/> 車いすの人達用の通路などが知らない人でも積極的に助け合えて、介護される側の人達に親切に出来る町	男子
<input type="radio"/> 色々な人達が交流して助け合っているような町	男子
<input type="radio"/> 過ごしやすい所	男子
<input type="radio"/> 綺麗な町	男子
<input type="radio"/> 潮来市で行われる行事などでゴミのポイ捨てが無かったり、市がキレイすぎてボランティア活動がいらぬような町	男子
<input type="radio"/> 普通の町	男子
<input type="radio"/> 皆で支え合う町	女子
<input type="radio"/> 自然が豊かで美しい	男子

福祉が充実しているまちとは	性別
○ 皆の悩みを無くし、一人一人がHAPPYな生活をおくれる町	男子
○ 綺麗な町	男子
○ 誰もが生活しやすい町	女子
○ 誰もが暮らしやすい町	男子
○ 周りの人々が、手助けを求めている人に対して目を配り、互いに助け合うことの出来る町を福祉が充実している町	女子
○ 皆が快適に何も不自由無く、楽しく幸せな町	女子
○ その町にいる人達が、住みやすい・居心地が良いと思えるような町	男子
○ 福祉について知ることが大切だと思うし、お年寄りに対し自分達がどう対応をするのかが大事なことになる	女子
○ スロープを設置したり段差を無くして、皆が暮らしやすい	女子
○ 皆が幸せな町	男子
○ ちゃんとお年寄りが使いやすい整備が整っている	女子
○ 地域住民が生きやすい町、とても賑わっている町	男子
○ 住民の事などをしっかりと考えられているような町	男子
○ 道路が整備されている・公共施設・治安が良い	男子
○ 治安が良い	男子
○ ボランティア活動とかをしている町	女子
○ 福祉関係の建物が多数ある町	男子
○ 学生に毎月5万円ぐらい配布している町、お願いします！！	男子
○ 市民同士がとても仲が良い町	男子
○ 介護やボランティア活動が充実している町	男子
○ 障がいのある人も高齢者も安心して暮らせる町	男子
○ お金持ちな町	男子
○ 今ではあやめ祭りなど知られる行事がたくさんあるが、さらにもっと人との交流を深め地域の方々との行事を増やしていった方が良くと思う	女子
○ 高齢者や障がいのある人達が安心して暮らすことが出来る町	男子
○ 困っている人がいたら助ける。段差とかをあまり作らないようにする。	女子
○ 皆、平等に暮らせて安心と安全で皆が幸せと思える町	男子
○ 道路の道が綺麗で誰も怪我しない町	女子
○ 皆が支え合っている町	男子
○ 楽しく暮らせる町	女子
○ 高齢者や障がい者が不自由なく暮らせる町	女子
○ お年寄りや障がい者も楽しく暮らせる、バリアフリーが充実している町	女子
○ 段差もなく車いすの人でも見やすい店などがたくさんあって、お年寄りが笑顔で溢れている町	女子
○ 車いすのためのスロープを作る、あとスケートパークを作る、スポーツの出来る公園を作る	男子
○ 良い人しかいない	男子
○ ボランティア活動を増やして、誰もが住みやすい環境を作る	女子
○ 高齢者や障がいのある人達が不便なく暮らせること	女子
○ 住む人全員が優しい、トラブルがない	男子

【高校2年生】

福祉が充実しているまちとは	性別
<input type="radio"/> 助け合う町	男子
<input type="radio"/> 子供から大人やお年寄りの人でも楽しくいられる町	男子
<input type="radio"/> 年寄りなど障がい者の方に優しく手を差し伸べる事の出来る、温かく笑顔溢れる町	男子
<input type="radio"/> 人々が助け合いながら生活が出来るような町	男子
<input type="radio"/> 人に優しい町のイメージ	女子
<input type="radio"/> 介護がちゃんと行われ高齢者が安心して暮らせる町	男子
<input type="radio"/> お年寄りの方々が暮らしやすい町	女子
<input type="radio"/> 誰もが笑顔でいれて生活がしやすい町	女子
<input type="radio"/> 老人に優しい	女子
<input type="radio"/> 施設や福祉サービスの多い所	女子
<input type="radio"/> 町のいたるところに、細やかだけど多くの福祉的工夫がされている。例えば、スロープ・手すり・点字・音が出る物など他にも色々な物が町に散りばめられていたら充実していると思う	女子
<input type="radio"/> 平和な町	女子
<input type="radio"/> 優しい町	男子
<input type="radio"/> お年寄りと若者が多い所。福祉施設が充実している所	男子
<input type="radio"/> スロープがある・段差が少ない・ゴミがない・町が綺麗	男子
<input type="radio"/> 町が綺麗・本屋がある町	男子
<input type="radio"/> ユニバーサルデザインが充実する	男子
<input type="radio"/> 環境が整っている	男子
<input type="radio"/> 多くの人がいて思いやりがあったり、施設や制度が充実している町	女子
<input type="radio"/> お年寄りに優しく、介護施設などが充実している所	女子
<input type="radio"/> 福祉サービスが充実している町	女子
<input type="radio"/> 相談できる人がいる、協力的	女子
<input type="radio"/> 皆で助け合う町	女子
<input type="radio"/> 段差があまりなく、車いす専用の板が設けられているなど	女子
<input type="radio"/> お年寄りや、怪我をしている人達が暮らしやすい町	女子
<input type="radio"/> 地域の人達が楽しく暮らしやすい場所がある。スロープや点字ブロックなどがたくさんある所	女子
<input type="radio"/> 何不自由なく、皆が笑顔で安心して暮らせる町	女子
<input type="radio"/> 皆が不自由なく平等に常に笑顔が溢れる町	女子
<input type="radio"/> お年寄りの方とそうでない人が仲良く、明るい町	女子
<input type="radio"/> バリアフリーに配慮された老若男女が住みやすい町	女子
<input type="radio"/> 沢山の人の手助けして笑顔にしていける。色々な情報を周りから集める事が出来ている。福祉の活動だけではなくボランティア活動を行う。皆とすぐ仲良くなれて何でも話し合える事が出来る	女子
<input type="radio"/> ボランティアに参加する人が多くいる町、皆で協力出来る町	女子
<input type="radio"/> 誰もが暮らしやすい町	女子
<input type="radio"/> 福祉に関する情報を提供し、ボランティア活動や交流を充実させる。学校などで講演会などを開く	女子
<input type="radio"/> 明るく、賑やかな町	女子

福祉が充実しているまちとは	性別
<input type="radio"/> 困っている人を一人も見捨てない	女子
<input type="radio"/> とても豊か	男子
<input type="radio"/> 暮らしている人が住みやすい町	女子
<input type="radio"/> 誰もが気持ち良く住める風通しの良い町	男子
<input type="radio"/> 年齢に関係なく全ての人々が笑っていられるような町	男子
<input type="radio"/> どの年でも健康な町	男子
<input type="radio"/> 色々な整備がされている町	男子
<input type="radio"/> 皆が過ごしやすい環境	男子
<input type="radio"/> ボランティア活動が盛んな所	女子
<input type="radio"/> 一人一人が人を思いやること	男子
<input type="radio"/> 多くの福祉サービスを受ける事が出来る町	男子
<input type="radio"/> バリアフリーの場所を増やす	男子
<input type="radio"/> お年寄りなどが普通の暮らしが出来る	男子
<input type="radio"/> みんな長生き	男子
<input type="radio"/> 綺麗で不便のない町	女子
<input type="radio"/> 皆が助け合って生活している町。差別がない。	男子
<input type="radio"/> 町の人々が助け合って暮らしていく町	男子
<input type="radio"/> 体の不自由な人達が快適に暮らせる町	男子
<input type="radio"/> 一人一人が助け合える町	女子
<input type="radio"/> 優しそうな町	女子
<input type="radio"/> 人が優しい町	女子
<input type="radio"/> 皆が協力して住みやすいまちを作っていく事の出来る町	女子
<input type="radio"/> 年齢や性別関係なく一人一人が平等になるような町の活性化	女子
<input type="radio"/> 安全で皆が住みやすい町	女子
<input type="radio"/> 住んでいる人が誰でも住みやすい町	男子
<input type="radio"/> 仲が良くみんなあいさつをする	女子
<input type="radio"/> 町そのものの人口が多く、生活していてもあまり不便さを感じない町	男子
<input type="radio"/> トラブルが起きない町	男子
<input type="radio"/> ゴミのない綺麗な町	女子
<input type="radio"/> 年寄りの人も皆が笑顔でいられるような町	男子
<input type="radio"/> 有言実行している所。何言ったってやろうとしたって、口だけの大人ばっかの町は充実してないと思う。	女子
<input type="radio"/> 誰一人として不安や不満をいだかない町	男子
<input type="radio"/> 誰もが暮らしやすい町	男子
<input type="radio"/> 綺麗な町	男子
<input type="radio"/> 環境の良い場所	女子
<input type="radio"/> 子供も大人も高齢者なども生活しやすい町	女子
<input type="radio"/> 誰もが、安心して暮らしやすい町	男子
<input type="radio"/> 住みやすい町	男子

福祉が充実しているまちとは	性別
<input type="radio"/> 体が不自由な人と、そうでない人が一緒に楽しく暮らせる町	男子
<input type="radio"/> 災害時、皆で助け合う仕組みがあること	男子
<input type="radio"/> 何も問題が起こらない静かな町	女子
<input type="radio"/> 誰もが自由気ままに過ごせる町	女子
<input type="radio"/> 皆の生活が難しくなく、楽に生活できる所	男子

【高校3年生】

福祉が充実しているまちとは	性別
<input type="radio"/> もっと電車やバスを充実させる町	男子
<input type="radio"/> みんな笑顔	男子
<input type="radio"/> お年寄りを皆で助け合う町	女子
<input type="radio"/> バリアフリーがある	男子
<input type="radio"/> 優しい人が多い	男子
<input type="radio"/> 施設とか近場にあたり。	女子
<input type="radio"/> スロープなどが多くある町	男子
<input type="radio"/> 皆が笑顔で過ごす事が出来て、困っている人などを助け合うのが当たり前になっている町	女子
<input type="radio"/> 積極的に老人や子供の手助けとなるような事をする	男子
<input type="radio"/> お年寄りや障がいを持っている人達も普通の人も、楽しく生活出来る町	男子
<input type="radio"/> バリアフリー(手すりなど)が充実していて、高齢者が一人で困っていたら声を掛けられるようなこと	女子
<input type="radio"/> 一人一人が過ごしやすく安全な町	女子
<input type="radio"/> ご老人の人達がきちんと生活ができていると思う。	男子
<input type="radio"/> 子供から大人、障がいを持っている人まで不便がない町	女子
<input type="radio"/> 地域や建物が綺麗	女子
<input type="radio"/> 福祉国家の国のような感じだと充実している町だと思う	女子
<input type="radio"/> 介護を必要としている人達がきちんと介護してもらえて、一人一人の人権が守れる町	女子
<input type="radio"/> 皆が過ごしやすい町	男子
<input type="radio"/> バリアフリー・皆が優しい・皆で助け合う	女子
<input type="radio"/> 皆で助け合う	女子
<input type="radio"/> 皆が優しい町	女子
<input type="radio"/> バリアフリー	女子
<input type="radio"/> お年寄りの人が健康に暮らしている町	女子
<input type="radio"/> 段差などが無かったりする所	女子
<input type="radio"/> 高齢者がひとりきりにならないようにサポートする	女子
<input type="radio"/> 高齢者が住みやすいと思える町	女子
<input type="radio"/> 都会	女子
<input type="radio"/> 思いやりのある町	女子
<input type="radio"/> 一人一人が住みやすいと思うような町	女子
<input type="radio"/> ユニバーサルデザインがしっかりしている所	男子

福祉が充実しているまちとは	性別
<input type="radio"/> バリアフリー	男子
<input type="radio"/> まちが綺麗で住民が住みやすい町	女子
<input type="radio"/> 皆、協力的でちゃんとしている	女子
<input type="radio"/> 高齢者を支えるために福祉施設で働く人が多く、福祉サービスや施設がたくさんある町	女子
<input type="radio"/> 多分良い町なんだと思う	男子
<input type="radio"/> お年寄りが困らない町	男子
<input type="radio"/> 思いやりが多く平和な町	男子
<input type="radio"/> 素敵な町だと思う	女子
<input type="radio"/> 様々な場所にバリアフリーとかユニバーサルデザインとかをたくさん増やして、高齢者や障がい者の人達が気分よく生活していけるまちづくり	女子
<input type="radio"/> ユニバーサルデザインが多い街	男子
<input type="radio"/> 住みやすい町・安心する町	女子
<input type="radio"/> 気遣いが出来る町・協力出来る町	女子
<input type="radio"/> 段差がある所はスロープが設置されている	男子
<input type="radio"/> 一人一人が協力して過ごしているような町	女子
<input type="radio"/> 子供からお年寄りまで皆が過ごしやすい町	女子
<input type="radio"/> 充実出来るような場所作りがあったり、支援などがしっかりしているところ	男子
<input type="radio"/> 偽善ではなく、ちゃんと心の底から人の事を心配できる人が多い町	男子
<input type="radio"/> バリアフリーな事が多い町	男子
<input type="radio"/> とても素晴らしいと思う	男子
<input type="radio"/> 平和	男子
<input type="radio"/> 一人一人の思いやりが大きい	男子
<input type="radio"/> 生きやすい町	女子
<input type="radio"/> 高齢者などの施設が充実している	男子
<input type="radio"/> 平和だと思う	男子
<input type="radio"/> 時代が進んでいる所	男子
<input type="radio"/> お年寄りの方が暮らしやすい安全な町	女子
<input type="radio"/> 目の不自由な人とかの事を考えて作られている町	女子
<input type="radio"/> とても良い町だと思う	男子
<input type="radio"/> 住民同士のコミュニケーションが盛んな町	女子
<input type="radio"/> 皆が住みやすい環境の町	女子
<input type="radio"/> お年寄りや障がいを持つ人が安心して充実して暮らせている町	女子
<input type="radio"/> 頑張っている町	男子
<input type="radio"/> もっと店を作って	男子
<input type="radio"/> 素晴らしい町	男子
<input type="radio"/> 愛されている町	男子
<input type="radio"/> 一人一人が支え合い、何不自由なく暮らせる町	男子
<input type="radio"/> ユニバーサルデザインが沢山ある優しい町	女子
<input type="radio"/> 人と人が助け合える町	女子

福祉が充実しているまちとは	性別
<input type="radio"/> 一人一人が優しい心を持つ	女子
<input type="radio"/> その町が日本の中で有名になっている	男子
<input type="radio"/> お年寄りなどが安心して住みやすい環境	男子
<input type="radio"/> バリアフリーやユニバーサルデザインがされている町	男子
<input type="radio"/> 人口が多い町	男子
<input type="radio"/> 若い子は都会の方に働きに出ている、高齢化で落ち着いた町	女子
<input type="radio"/> 明るく優しく、自然と助け合いが出来る人が多いイメージ	女子
<input type="radio"/> お年寄りと寄り添って支えられる町	男子
<input type="radio"/> 一人一人がボランティアに協力する	男子
<input type="radio"/> 安心・安全な町	女子
<input type="radio"/> 自殺件数や孤独死が少ない町	女子
<input type="radio"/> 皆が仲良し	女子
<input type="radio"/> 町の皆が仲が良い	女子
<input type="radio"/> バリアフリー	男子
<input type="radio"/> 若者も高齢者もどちらにとっても住みやすい町	女子
<input type="radio"/> 住民一人一人の繋がりが強い町	女子
<input type="radio"/> 若者や高齢者の人達が気軽にコミュニケーションをとれるような町づくりをしている町	男子
<input type="radio"/> 皆に優しい町	女子
<input type="radio"/> お年寄りでも住みやすい町	女子
<input type="radio"/> バリアフリーとかがたくさんある町	女子
<input type="radio"/> どこか障害を持った人が何不自由なく過ごせる環境が整えられており、他の人々が理解ある行動をするような町	男子
<input type="radio"/> ポイ捨てされたゴミが少なく、明るい街だと思う	女子
<input type="radio"/> 高齢者も元気な街	男子
<input type="radio"/> 住んでいる人、全てが助け合って生きていける町	女子
<input type="radio"/> バリアフリーやユニバーサルデザインが多く誰でもボランティアに参加しやすいような町	男子
<input type="radio"/> 町そのものが清潔で活気にあふれている。子供が元気に活動出来る	女子

潮来市
地域福祉に関するアンケート
結果報告書

令和2年10月発行

〔発行〕 潮来市
〔編集〕 潮来市 市民福祉部 社会福祉課
Tel 0299 (63) 1111 (代) / Fax 0299 (80) 1410
〔調査・分析〕 株式会社まち研
